

〔八秋〕 ハクセツ 67 田中和 三・三・四  
 〔九春〕 ライリキ 58 清水権 三・三・三  
 (この競走は前年の競馬に出走した五歳、六歳の古馬を出走資格とし、八年春から重量はハンデイクヤツブとなつた)  
 ▼京都牝馬聯合(三千二百米) 春秋  
 〔八秋〕 アサハギ 60 二本柳 三・三・四  
 〔九春〕 エツフオード 60 武田文 三・三・一  
 (前年の競馬に出走して賞を得た六歳以下の牝馬のみのレース)  
 ▼小倉特別(三千二百米) 春秋  
 〔八秋〕 スアレンヒット 56 小林 三・三・三  
 〔九春〕 ソラリオン 55 小林 三・三・三  
 (九州産馬のみ出走権を持つ大レースである)  
 ▼目黒記念(三千四百米) 春秋  
 〔八秋〕 ハクセツ 68 田中和 三・四・二  
 〔九春〕 タイホウ 62 田中和 四・三・〇  
 (前年の競馬に出走した馬盡く出走資格がある。重量はハンデイクヤツブ、東京二哩一分と通稱されてゐるが、同俱樂部が府中に移轉したについてこの名稱を付したものである)  
 ▼中山特別(四千米) 九年春  
 ハクセツ 66 田中和 四・三・三  
 (呼馬は盡く登録権がある。重量は馬齢重

量より牡馬は五匹、牝馬は六匹を減じ、駈歩三千二百米以上のレースの一着馬は一回毎に一匹を増すといふことになつてゐる。これが日本に於ける最長距離のレースである)  
 ▼帝室御賞典(二千米、福島八百米)  
 東 〔八秋〕 レッドサン 60 古川政 二・三・四  
 京 〔九春〕 ラトルエイトピア 57 中村一 二・〇・七  
 阪 〔八秋〕 クラックミンテン 56 石 二・〇・七  
 神 〔九春〕 エツフオード 56 武田文 二・〇・五  
 日 〔八秋〕 ハクセツ 63 田中和 二・〇・一  
 本 〔九春〕 タイホウ 63 田中和 二・〇・四  
 函館 〔八秋〕 ミスシヤイニシヤ 56 千葉勝 二・三・三  
 小倉 〔九春〕 スタートカツブ 56 中 島 二・四・一  
 福島 〔九春〕 カブトヤマ 58 大久房 一・五・二  
 札幌 〔九春〕 スタートカツブ 61 藤 二・〇・〇  
 (このレースは長き邊りより特に馬匹改良の思召を以て、優良馬匹に御紋章入りの大銀盃を賜はるもので、各馬主の最も光榮とする所、従来は千八百米であつたが最近殆んど二千米となり、中距離のレースとなつて来た)  
 日本最高記録  
 ◆千六百米(駈歩)……◆  
 (サラ新抽) ダイミヤザキ 56 中野 一・四・一 (五秋宮)

〔ア系新抽〕 ヲカミツ 53 星 一・四・二 (八春京)  
 〔新 呼〕 ヤエヒカ 53 大 龜 一・三・〇 (九春阪)  
 〔ア 抽〕 タツヒ 60 伊藤正 一・四・〇 (八秋中)  
 ◆千八百米(駈歩)……◆  
 (サラ新抽) カムプロン 55 佐藤嘉 一・五・四 (八春日)  
 〔ア系新抽〕 サンキチ 55 上村 二・〇・二 (六春札)  
 〔新 呼〕 ミラクルユートピア 55 中村一 一・四・〇 (九春阪)  
 〔ア 抽〕 ミヤチダケ 62 中村一 一・五・四 (七秋新)  
 〔古 抽〕 ヒロウイツク 60 相 羽 一・五・〇 (五春福)  
 〔古 呼〕 キンケセカンド 57 函 館 一・三・四 (七春福)  
 ◆千二百米(駈歩)……◆  
 (サラ新抽) カンブー 53 清水権 二・二・〇 (三春札)  
 〔ア系新抽〕 キンギン 55 元 石 二・二・一 (六春札)  
 〔新 呼〕 ヨラクルユートピア 66 中村一 二・〇・〇 (九春阪)

〔ア 抽〕 ミヤチダケ 66 中村一 二・二・二 (七秋新)  
 〔古 抽〕 ライオン 61 清水権 二・〇・四 (三春阪)  
 〔古 呼〕 ヤマヤス 55 二本柳 二・〇・五 (七春新)  
 ◆千二百米(駈歩)……◆  
 〔新 呼〕 ロックライト 55 武田文 二・三・二 (八春日)  
 〔ア 抽〕 カツトヨ 59 中 島 二・三・三 (九春阪)  
 〔古 抽〕 トクワン 61 二本柳 二・六・一 (八春日)  
 〔古 呼〕 シラメヒ 57 古 野 二・三・三 (七春日)  
 ◆千四百米(駈歩)……◆  
 〔ア 抽〕 マスホニー 61 美馬信 二・四・二 (九春阪)  
 〔古 抽〕 リンカーン 60 柴田寛 二・五・〇 (四秋阪)  
 〔古 呼〕 パンリュウ 55 中村一 二・三・〇 (九春福)  
 ◆千六百米(駈歩)……◆  
 〔古 呼〕 アサハギ 67 二本柳 二・五・三 (九春阪)  
 ◆千八百米(駈歩)……◆

〔古 呼〕 センツ 60 柴田寛 三・二・三 (八春中)  
 ◆千二百米(駈歩)……◆  
 〔古 呼〕 ハクセツ 60 尾 形 三・三・〇 (八秋中)  
 ◆千四百米(駈歩)……◆  
 〔古 呼〕 ハクセツ 68 田中和 三・四・二 (八春東)  
 ◆四 千 米(駈歩)……◆  
 〔古 呼〕 ハクリユウ 59 中村一 四・三・四 (七春中)  
 ◆千二百米(障碍)……◆  
 〔ア 抽〕 ハチパン 55 中 館 二・三・三 (九春阪)  
 〔古 抽〕 ショウト 57 古 野 二・三・二 (八春日)  
 〔古 呼〕 ヒンオー 58 後 野 二・九・二 (八春札)  
 ◆千四百米(障碍)……◆  
 〔ア 抽〕 カツフク 60 稻葉幸 二・四・三 (九春阪)  
 〔古 抽〕 イチフジ 60 岩 佐 二・四・二 (八春日)  
 〔古 呼〕 シヤダイノボル 58 近 藤 二・五・〇 (九春阪)  
 ◆千五百米(障碍)……◆

〔呼 馬〕 サイルキヤツブ 57 大久石 二・五・四 (八秋新)  
 ◆千六百米(障碍)……◆  
 〔呼 馬〕 ヤマミチ 71 田 村 二・五・二 (九春阪)  
 ◆千八百米(障碍)……◆  
 〔呼 馬〕 ダイビー 61 鶴 飼 三・〇・二 (八秋阪)  
 ◆千二百米(障碍)……◆  
 〔呼 馬〕 アスベル 57 金 丸 三・三・〇 (八春札)  
 ◆千六百米(障碍)……◆  
 〔ア 抽〕 フクフジ 58 永 松 四・三・二 (九春小)  
 〔呼 馬〕 シヤダイノボル 58 近 藤 三・五・二 (九春阪)  
 ◆千二百米(障碍)……◆  
 ツルシマ 0 田中瞳 五・六・二 (九春小)  
 ◆千四百米(障碍)……◆  
 リ ヨ 0 青 池 五・二・一 (九春阪)  
 ◆千六百米(障碍)……◆  
 キングスポート 0 瀧直 五・三・四 (九春阪)  
 ◆千八百米(障碍)……◆  
 キングスポート 60 瀧直 五・五・〇 (九春中)  
 ◆千 米(障碍)……◆  
 ゴールデンベイ 60 瀧直 六・六・二 (九春日)

趣味・娯楽——競馬

五三三



◆	四十二百(繁駕)	◆
◆	四十四百(繁駕)	◆
◆	四十六百(繁駕)	◆
◆	四十八百(繁駕)	◆
◆	五十百(繁駕)	◆
◆	五十二百(繁駕)	◆
◆	五十四百(繁駕)	◆
◆	五十六百(繁駕)	◆
◆	五十八百(繁駕)	◆
◆	六十百(繁駕)	◆
◆	六十二百(繁駕)	◆
◆	六十四百(繁駕)	◆
◆	六十六百(繁駕)	◆
◆	六十八百(繁駕)	◆
◆	七十百(繁駕)	◆
◆	七十二百(繁駕)	◆
◆	七十四百(繁駕)	◆
◆	七十六百(繁駕)	◆
◆	七十八百(繁駕)	◆
◆	八十百(繁駕)	◆
◆	八十二百(繁駕)	◆
◆	八十四百(繁駕)	◆
◆	八十六百(繁駕)	◆
◆	八十八百(繁駕)	◆
◆	九十百(繁駕)	◆
◆	九十二百(繁駕)	◆
◆	九十四百(繁駕)	◆
◆	九十六百(繁駕)	◆
◆	九十八百(繁駕)	◆
◆	百(繁駕)	◆

トリーニチスクエア 三三、七〇八  
 シヤニンクスピア 四六、三六六  
 第二ホンビーム 四六、三六六  
 サイクリス ト 三三、七〇八  
 第十一チヤヘルブラムブト 三三、七〇八  
 (註)クラックマンナン系の跳躍は頗る注目に値する。小岩井の誇りシヤンモア、宮内省のトルムソルをぬいて、昭和八年春秋を通じてトップに位置したことは偉とするに足るものがある。内國産種牡馬としては七年度は第七ガロンがベストテンの中に入ったが、今年には、第二ホンビームと第十一チヤヘルブラムブトが加はつたのは、異色とするに足る。兩馬とも嘗て競走界に活躍した馬だけに一層の興味がそよられる。地方別に見ると北海道がクラックマンナン、ペリオン、チヤヘルブラムブト、トリニチスクエア、第二ホンビーム、第十一チヤヘルブラムブトの六頭を占め、東北がシヤンモア、シヤニンクスピア、關東がトルムソル、九州がサイクリストといふ分布状態を示してある事から北海道馬が相變らず良好な成績を擧げてゐる事が判る。

ラヂオ

放送事業の沿革 歐洲大戰が終つた頃から米國に起つたラヂオ熱はついに世界に波及したのである。我が國も當然この風潮に追んだのであつたが、大震災のためやゝ遅れた感みはあつたが、大正十二年十二月二十日逓信省の放送用私設無線電話規則が公布され、十三年四月までに出版書は一齊に逓信省へ集まつた。中に東京附近の出願數二十八に上つたが、中六團體の有力會社が代表として逓信省の德通を受け、他を合同してこゝに株式會社東京放送局を作る事になつたが、政變に遭遇して又々遅延を見た。結局八月下旬逓信當局より公益社團法人として許可するに變更通知あり、こゝに社團法人東京放送局が十月中旬設立され總裁に後藤新平子、理事長に岩原謙三氏を推し、十一月その放送設備の許可指令が下つたのであつた。かくて芝浦の高等工藝の一隅に假放送設備を急造し大正十四年三月一日愈々試験放送を行ふこととなり、同月十二日正式に假放送時代に入つた。同時に工を進めた愛宕山の放送局も成り、本放送に移つたのは七月十二日であつた。この日

こそ我が放送史上最も記念すべき日で、數年後には日本全土を蔽ふに至つたラヂオの波が天下晴れて空へ放流されたのであつた。假放送中は燦山二郎氏(理事)が兼任してゐた放送部長の椅子も服部憲夫氏の就任により、こゝに専任者を得て事業躍進又躍進、わづか半歳にして十萬の聴取者を得、十五年には二十萬を突破する隆盛を見るに至つた。引つゞいて大阪、名古屋の二放送局も開始されたが、聴取者は東京の如く増加せず、經濟的にも自立の不可能を傳へられるに至つた。こゝに大正十五年逓信省當局は三局の理事者を集めて合同の機運を作ることを進めつゝに社團法人日本放送協會の設立を見るに至り、既設放送局は解散され、全國礦石化に向つて事業を進め、放送局も増設され、電力も十キロとなり、今日の隆盛を見たのであつて、昭和九年五月十六日の第八回總會において更に定款の改正を行ひ放送事務の改善統制、放送プログラムの充實改善をなすために放送編成會を設け、また昭和十年からは聴取料を五十錢に引下ぐるの豫約をなす等ラヂオの普及化に向つて最善を盡しつゝあるを認められるのである。

東	京	大	阪	名	古	廣	島	仙	臺	札	山	岡	野	都	京	静	岡	新	高	小	
J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O	J	O
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	
三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	四〇	三五	

諸手續の仕方 ◇申込の場合 最寄の郵便局なり、取次所と看板を出してゐる家、或は支部に行つて申込用紙を貰つて所要の欄に書き入れて差出す。その時逓信局に納める一圓の許可料を切手で貼つておく事を忘れてはいけぬ。さうして暫くすると逓信局から許可證が届くから、それから願書に書いたセットをすゝめて聞いていゝのである。

◇引越した場合 移轉の場合と、これまで礦石式のセットで聞いたのを眞空管式に直す様な時、つまり願書を出した時と状況の違ふ様に變更する時は變更届の用紙を貰つて來て移轉の時だけ許可書をつけて届ける。これを六ヶ月以上怠つた場合には許可書の效力がなくなり、再び正式の聴取者となれぬのである。



中止する場合、ラザオがつかまらないから聞きたくないとか、あきたから止めるとか又は他の理由で止めようとする時は、廢止届用紙に書込み、許可書と門標（放送局から聴取者へ渡して門へ出しておくしるし）をつけて支部へ送る。これはきくのを止めてから五日以内に出すことになつてゐる。許可書と門標紛失の場合、この時は直ぐ届けて再交附をして貰はねばならぬ。許可書の場合には理由を書いて保証人と連署して通信局長へ願を出す。門標の場合には管轄支部へ通知して新しいのを貰ふのである。
(附)罰則 第一は盗聴—無届できく事、これは一年以下の懲役又は罰金千圓以下と法律に定められてゐる。又加入者が月七十五錢の聴取料を拂はない時は解約される。

支部分別 聴取者 人口千 人當り
關東 六八、四七九 三五・七
關西 五〇、五三六 四一・一
關東 一八、三三八 三三・五
關西 七五、九三三 一一・二
關東 八八、七九一 九・二
關西 五三、五五五 八・一
關東 三六、三六六 三・三

講談

明治の中年講談全盛の時代に於ては東京在住の講談師約四百名、これが出演席東京市内のみで百軒を降らす、しかも大部分は晝夜の開演であつたが、時世の變遷に伴れて業績年々不振の状態に陥る結果、演者も出演席も追々其数を減じて、昭和九年八月現在の調査に據れば演者の總數四十名を出でず、席數は僅々五六軒に過ぎず、轉た今昔の感に堪へぬものがある。大阪に於ては更に一層甚だしく全市にこれを業とする者僅かに數名講談席漸く一軒を數ふるのみ其他の京都名古屋に至つては實に全滅と云ふみじめさである、併し斯く實演の慘憺たる有様に引替へ讀み物としての講談は依然全盛を持續して全國の新聞雜誌は多く其速記を掲載し多數の愛讀者を有するは寧ろ不思議の現象と云ふべきである。▲東京講談界の現狀は頭取一龍齋貞山大島伯鶴桃川若燕等三人の中、貞山は落語協會に入つて隠然其牛耳を執り却つて講談席には減少に出でず、伯鶴は所謂お座敷を専門に時に色物席に出動し、若燕は講談席を根據としたるも昭和の夏病ひに罹りて休養すること一ヶ月漸く

合 計 一、六七、八八五 二五・一

關東支部管内 東京隅田公園 高知城山公園
東京隅田公園 高知城山公園
新瀉野毛山公園 廣島招魂社外苑
長野城山公園 九州支部管内
靜岡清水公園 熊本花畑公園
前橋前橋公園 福岡記念公園
移動用(一) 福岡東公園
關西支部管内 小倉勝山遊園地
天王寺公園 八幡宮田遊園地
京都圓山公園 若松蛭子神社
奈良公園 門司老松公園
神戸淡川公園 東北支部管内
大阪住吉公園 福島中央公園
德島公園 盛岡物産館前
和歌山公園 秋田千秋公園
堺大濱公園 北海道支部管内
東海支部管内 札幌大通遊藝地
名古屋鶴舞公園 函館東川小公園
金澤兼六公園 小樽公園
岐阜公園 旭川常盤公園
福井佐枝神社 龜田郡大沼公園
中國支部管内 函館驛前
吳二河公園 札幌中島公園
計 四十一個所

國民文藝會の推奨

國民文藝會では毎年前年中に於ける演劇中技藝其他總ての點に就いて推奨に價すべき俳優及劇作家を選定表彰して來た。即ち左の如くである。
大正八年度 井上 正夫 市川 蓮升
同 九年度 市川 猿之助 守田 勘彌
同 十年度 市川 左團次 田中 良
同 十一年度 中村吉右衛門 花柳 章太郎
同 十二年度 谷崎 潤一郎
同 十三年度 尾上 菊五郎
同 十四年度 土方 與志
同 十五年度 尾上 松助
昭和二年度 尾上 松助
同 三年度 沙 見 洋 會我廬家五郎
同 四年度 山本 久三郎
同 五年度 市川 中車 遠山 靜雄
同 六年度 藤間 靜枝 花柳 壽輔
同 七年度 伊藤 憲朝 水谷 八重子
同 八年度 市川 壽美藏 吉住 小十郎

落語

健康を恢復して昭和九年の春秋久々で再び出席することとなつた▲神田伯龍神田伯治の兩人は昭和八年末從來の講談に鳴り物振音を入れたる芝居がよりの講談おとみ與三郎をラザオに放送し次いで昭和九年夏再び同形式によつて鼠小僧を放送し共に好評を博した、此様式はまたラザオの創始されざる前故伯知若圓等が既に寄席に於て演出したもので敢て新奇の試みではないが普通講談の單調を破つた物珍らしさに特異の印象を與へたものであつた▲曩きに講談組合を脱して八丁堀菊松亭に立籠り十五年間悪戦苦闘を續けた松林右圓は昭和九年一月組合に復歸し菊松亭亦組合席に加盟した▲組合外に在つて紙上講演に一家を爲す悟道軒圓玉こと速記者浪上義三郎翁は老いてますます壯で昭和九年六月以來國民新聞紙上に得意の健筆を揮つて一世一代大岡政談を連載し好評噴々同紙の呼び物となつて居る▲代議士にして新講談に獨歩の妙を極むる痴遊伊藤仁太郎氏は昭和九年の春以來話術研究会なるものを創設し毎月丸ノ内鐵道協會講堂に其講演會を開いて居る。

東京落語界は依然落語協會總會藝術協會の三派に別れ、都下の落語色物席亦各所屬を異にし暗に競争を續けて居たが、出演者はいつとも同じ顔觸れを繰返へして變化に乏しく自然客足に影響する處から三派の席亭が其打開策として三派の提携を企て演藝者側これに動かされて昭和九年七月以來提携出演を實行することとなり幾分の景氣を恢復した而してこれは主として寄席側に取つての利益のみで演藝者側には種々の感情問題其他で不平が絶えずそれかあらぬか落語協會の如きは依然自派のみの出演者を以て打廻つて居る、されば此表面のみの提携は果して何時まで續くものか▲陸會の主將三遊亭圓生は同派のおん大左樂に代つて營業權を握ることとなつたが何か嫌らぬことあつてか昭和九年八月陸會を去り伴圓藏を率ゐて落語協會に加入した▲陸會の幹部古今亭今輔は昭和九年夏咽喉痛を傳へられて靜養のため八月引退することとなつた▲都下の落語色物席は從來寄席の不振はラザオの影響大なるものあるためなりとラザオを目的の敵として居たが昭和九年七月放送局が寄席の中繼放送を行ふこととなり先づ第一回を上野の鈴木亭次いで神田の立花亭神樂坂演藝場等にこれを實行したところ何



れも近年稀れなる大入を占め大阪の寄席亦ラサオ中繼は非常の呼び物となつて何れも此中繼後は俄かに景氣付きたる観あるよりラサオの宣傳効果の著大に驚き各席とも今は却つてこれを希望するに至つた▲昭和九年春寄席を引退した陸會の雷門助六は引退御名残興行として各地を巡業中五月靜岡市で急逝した享年五十二▲斯界の元老談洲樓燕枝は昭和九年春寄席を引退専らお座敷とラサオ放送にのみ出演することとなつた。

浪花節

全國に於けるラサオ聴取者の演藝放送嗜好調査によると浪花節が圧倒的多數を占めて居ることは明かな事實である、然るに其實演興行となると東京は勿論各地方とも概して其成績の芳ばしからぬことは寧ろ不思議な位と云はれて居る、これは斯界の巨頭を多數に集めて劇場其他で催す大會、若しくは中堅處を十名以上の頭を揃へ映畫館其他で一日二日の短期興行を比較的低廉の入場料で開演することが人氣を寄せる例となつて、普通單獨の興行では一向聴衆の感興を惹かぬ傾向となつて來たに原因するのであらう▲斯かる中に斷然異彩を放つてゐる

のは壽々木米若で、其吹込みレコードの賣れ行き著しく、實演興行も大當りを占めて居る、されば東京放送局も賣出して以來の米若をマイクの前に立たせたく再三交渉の結果漸く話が纏つて昭和九年九月久々で放送することになつた▲東京に於ける浪花節組合は一時全盛時代には淺草組、神田組の二つに分れて居たのみであつたが、近年は其主なる者は各獨立して支配人事務員を置いて興行に關する事務を取扱はせ、其他の者亦三々伍々團結して事務所を設け其數廿餘ヶ所に及んで居る。

義太夫

一時全盛を極めた女義太夫も逐年凋落して今や殆ど其存在さへ疑はるゝ程になり市内一二の寄席に孤壘を守つて奮闘するの餘儀なき有様を呈して居る▲元老素行は死ぬ迄語るの意氣を以て地方巡業を續けて居たが其後の消息を詳かにせず、過去の人氣王綾之助は大塚に孫のお守りをする善良のお婆さんとなり、美聲を唄はれた小土佐は五反田に隠れて時折ラサオ放送に其存在を知らるゝのみ僅に素女のみ一門を率ゐて時々飛行館あたりに研究的開演を爲しつゝあ

るも類勢如何とも詮方なしこれ等巨頭連を除いては殆ど圍碁の背比べで取立てゝ云ふ程の人氣者更になし▲一時評判のよかつた越喜美は人氣盛りを醫學士の許に嫁して以來其肉聲に接しなかつたが昭和九年七月久し振りでラサオ放送に出演し越喜美ファンを喜ばせた▲女義太夫の形勢振はす男義太夫は如何と見れば元老津賀太夫の一派僅に孤軍奮闘の意氣を示したが時利あらず間もなく旗を巻いて陣を引きそれ以來一座殆ど全滅となつてしまつた▲男女義太夫の一座頗る不振を極め義太夫は捨てゝ顧みられぬかと思へば素義の意氣と熱は頗る盛んなものにて素義の演藝會は殆ど連夜其處此處の貸席俱樂部に開催され男女義太夫の玄人筋は是等素人連の三味線を弾き或は其稽古臺となつて何うやらお茶を濁し得らるゝとは御方便なもの云ふべし▲大阪文樂座の形淨瑠璃は地元にては餘り芳しからぬ成績なれどこれが東京へ出開帳となれば何時も非常の大入を占め好成績を収め得ると云ふ

圍碁

現代碁客 日本棋院

段井上氏はその十六世である。

將棋

現代碁客

Table listing names and ranks of various figures in the Go world, including 七段 本因坊秀哉, 六段 宮坂案二, 五段 喜多文子, etc.

野村方毅
◇日本棋院(麹町區永田町二ノ一)
棋界の統一は多年の懸案であつたが、大正十三年七月諸名士の盡力の結果、本因坊始め全國著名の碁客を網羅して、茲に日本棋院の創立を見た。唯大阪の井上派はこれに参加しなかつた。本院役員は左の如くである。

Table listing names and ranks of figures in the Shogi world, including 八段 關根金次郎, 七段 溝呂木光治, 六段 石井秀吉, etc.



一年史

昭和八年八月

一日 陸軍定期大異動正式發令。農村負債整理組合法實施さる。  
 二日 京大法學部事件に關聯せる講師、助手、副手、八名免官となる。  
 三日 大同電力對宇治電間の料金紛争問題に電氣委員會の裁定下る。  
 四日 永井拓相提示の植民地人事異動案に南選相、鳩山文相強硬反對し閣内に政友民政の對立を暴露す。  
 五日 奉天に開演中のサーカスに滿洲國軍人亂入して邦人五名を射殺。  
 六日 松方のソグイェト油第一船横濱に入港す。  
 七日 故武藤元帥の葬儀日比谷で執行。朴敬元嬢伊豆玄岳で墜落惨死、我が女島人最初の犠牲となる。マチャド大統領に對する不滿からキューバに反亂起る。  
 八日 七日關東軍を全部長城線に撤收せる旨陸軍省發表。治安維持法違反事件の河上肇博士に懲役五年の判決下る。  
 九日 關東防空大演習早曉より開始さる。

税休日協定より脱退。スウェーデンのアザナ内閣總辭職。  
 九日 銅山號拿捕事件に關し滿洲國ソグイェト政府に對して要求三項目を提出。  
 十日 内閣統計局第一回全國家計調査集計を發表。  
 十一日 五・一五海軍側公判において山本檢察官峻烈なる論告求刑す。キューバ大統領にサンマルチン博士正式就任。  
 十二日 三十四、山口、鴻池の三銀行合併三和銀行新設に決定、調印を了す。  
 十三日 上村進、布施辰治氏等の赤色辯護士團檢擧さる。  
 十四日 内田外相辭職、廣田前駐露大使後任に起用され親任式を舉行。福田海軍機關少尉五・一五論告に憤慨自殺を企つ。  
 十五日 滿洲國承認一周年記念式を東京並に新京で盛大に舉行。教育界の大不祥事たる所謂長野八・二・四事件記事解禁。  
 十六日 五・一五海軍側論告に對する部内の情勢を憂慮し大角海相全海軍に訓示。  
 十八日 滿洲事變二周年記念行はる。  
 十九日 西村裁判長は五・一五陸軍側被告後藤映範外十名へ一律に禁錮四年を判決す。  
 二十一日 ドルフス塊國首相獨裁政府樹立

十二日 皇后陛下には御妊娠第五箇月にあらせられ御經過御願調の御由宮内省より發表せらる。首相、藏相間に鈴木政友會總裁への入閣交渉は時機尙早といふに意見一致、無任相問題行儀みとなる。イタリーの二十三機編隊飛行北太平洋横斷に成功、ローマに凱旋す。  
 十四日 菱刈全權東京驛發新京に赴任。  
 十六日 大元帥陛下には海軍特別大演習御統裁のため横須賀より軍艦比叡に御乗艦南海に向はせらる。  
 十七日 イラク國內におけるアツシリア人虐殺事件につき英國正式に抗議す。  
 十九日 五・一五事件陸軍側公判において勾坂檢察官は十一被告全部に對し禁錮八年を求刑。オーストリア、ドルフス首相は獨逸關係打開のためムソリーニ伊首相を訪問懇談す。  
 二十一日 天皇陛下下横須賀に還幸あらせらる。世界小麥限産會議倫敦に開かる。  
 二十二日 佛國の新南群島先占問題に對する我抗議書簡公表。シムラ會商出席のため澤田、寺田兩代表出發。  
 二十四日 皇后陛下には葉山御用邸において内御着帯の御儀をとり行はせらる。  
 二十五日 天皇陛下御親閱の下に海軍大演

に成功、五相を兼攝す。  
 二十二日 三井銀行池田成彬氏筆頭總務を辭任す。  
 二十四日 大連兒玉博士邸の獵奇的殺人事件暴露す。  
 二十五日 荒木陸相提唱にかゝる交通審議會の初會合開かる。シムラ會商本會議開く。メキシコ東海岸一帯大暴風雨に襲はれ死者五千名と稱せらる。  
 二十六日 五・一五事件民間側第一回公判東京地方裁判所法廷に開く。  
 二十七日 黄河大洪水被害甚大、死者五萬人罹災者二百萬人に上る。  
 二十八日 停頓せる北鐵交渉打開のため廣田外相、ユレニエフ露大使を招致懇談す。  
 十日  
 一日 改正恩給法、兒童虐待防止法、身元保障に關する法律及び軍令部條例改正の重要四法律實施さる。  
 三日 ドルフス塊首相狙撃され負傷。  
 五日 石井、深井經濟會議兩代表歸る。  
 八日 露國政府北鐵不正事件に關し日本を誣ひたる怪文書四通を公表。  
 十二日 シヤムに兵變起り首都バンコックに戒嚴令布かる。

習の大觀艦式横濱沖に舉行せらる。午前十一時丹那トネルの本導坑貫通す。  
 二十六日 十四日以来カナダのパンフに開かれてゐた第五回太平洋會議閉會。  
 二十七日 米國々務次官補モレー氏辭職。  
 二十九日 鈴木政友會總裁は齋藤首相を訪問、國策五項目を提示す。米國ルーズヴェルト大統領新産金買入れ許可並に金退藏禁止の二行政令に署名。  
 三十一日 張學良一味の滿洲國擾亂陰謀事件檢擧一段落し暴露さる。(記事解禁)

九月

一日 關東大震災第十周年記念日。  
 二日 伊露不侵略條約ローマで調印。  
 三日 駐支英公使ラムプソン氏の後任にアレキサンダー・カドカン氏任命。  
 四日 總額三億圓の四分利國庫債券日銀引受を以て發行さる。  
 六日 國民政府各要人蔣介石氏邸に參集し第三次廬山會議開く。  
 七日 一九三五年の第二次華府會議に備ふべき外務、陸、海軍の三省協議會第一回會合外務省で開催。駐滿第六師團の歸還並に北支駐屯軍の交代發令さる。  
 八日 國民新聞一萬五千號を迎ふ。愛蘭開

十四日 獨逸政府國際聯盟並に軍縮會議退を宣言す。  
 十五日 日本國家社會主義全國協議會結成さる。  
 十七日 フランス前文相オノラ夫妻入京。  
 十九日 アフガニスタンの初代駐日公使ハビーブラー氏信任狀を捧呈。  
 二十日 第五次五相會議で各大臣間に外交國防、財政の調整の根本に關して意見一致、一先づ幕を閉づ。大阪商船屋島丸須磨沖で顛覆し六十餘名溺死。  
 二十二日 大元帥陛下には南越における陸軍特別大演習御統裁のため帝都を御進發京都に向はせらる。  
 二十四日 佛國ダラザエ内閣總辭職す。  
 二十五日 米穀統制委員會は公定價格標準最低二十二圓七十錢、最高三十四圓五十錢と發表。  
 二十六日 二十四日より舉行の陸軍特別大演習終了。ラゲーザお玉五十年ぶりで歸國す。フランス關稅休日協定より脱退。  
 二十七日 フランス、アルベール・サロイ氏の第四次急進社會黨内閣成る。  
 二十九日 國民政府財政部長宋子文氏辭任。トルコ共和國でケマル・パシヤ大統領就任十周年記念式舉行。



三十日 滿洲國中央銀行總裁榮厚氏入京。  
三十一日 天皇陛下京都より還幸遊ばさる。

十一月

一日 米穀統制法實施さる。三井合名公益事業へ三千万圓提供を發表。  
二日 新生共産黨事件連坐の大塚元商大教授控訴公判判決言渡さる。  
三日 朝香宮妃九子内親王殿下薨去あらせらる。  
六日 故濱口首相狙撃犯人佐郷屋留雄の上告棄却、死刑確定す。  
七日 農村問題の審議を中心とする第一回内政五相會議開く。  
八日 國民新聞、新愛知及び全日本アマチユア拳闘聯盟共同主催の内鮮對抗拳闘試合開催。アフガニスタン國王モハメツド・ナザール・シャー・カーザ陛下暗殺さる。  
九日 五・一五事件海軍側公判において高須裁判長より古賀中尉以下十名に判決下る(最高禁錮十五年、執行猶豫四名)  
十日 國民精神作興に關する詔書漢發滿十周年記念日、齋藤首相告諭を發す。  
十一日 田中光顯翁内大臣廢止論を發表す。

十二日 故朝香宮妃九子内親王殿下の御喪儀豊島岡葬場において執り行はせらる。  
ドイツ國會總選舉の結果與黨全議席を占めナチスの獨裁完成す。  
十四日 獻納愛國機「國民號」の目録を陸軍大臣に贈呈。ムソリーニ首相下院を廢しギルド組織の立法機關創立を公表。  
十五日 米財務長官ウィアン氏辭職。フイレンランドも關稅休戰脫退。  
十六日 無電王マルコニ侯夫妻入京。斷交以來十六年目で米露國交回復す。  
十七日 久米正雄氏等の文壇人賭博事件暴露一齊檢擧さる。  
十八日 大阪のゴーストツブ事件五ヶ月ぶりで圓滿解決。  
二十日 全協大檢舉及び學習院赤化事件記事解禁。李濟探を主席とする福建獨立人民政府成立。  
二十一日 若槻民政黨總裁上野驛で怪漢に襲撃されたが無事。  
二十四日 フランス、サロ内閣總辭職。  
二十七日 ショータン氏フランス後繼内閣の組閣に成功。  
二十八日 皇后陛下にはめでたく御着帯の儀を執り行はせらる。  
二十九日 爲成榮之助外六名に係る赤化判

十二月

四日 内政五相會議再開さる。滿鐵改組案審議第一回委員會新京に開催。  
五日 國民政府マツチ煙草洋灰稅引上を公布即日實施す。  
六日 日印會商停頓に業を衰やし關東紡側對印民間代表即時引揚斷行を決議。  
七日 警備隊令公布さる(十一日實施)。  
東部シベリヤにユダヤ自治體建設をソグイエト政府聲明。  
八日 豫算削減反對の農民大會各地に開かる。ボンネ佛藏相金本位死守を言明。  
九日 スペインに黒色革命勃發す。  
十二日 日本團體保險正式認可。獨逸、佛國にザール河流域返還を要求。  
十三日 滿洲國政府遼河工程局を接收。  
十五日 スペイン、パリオス内閣總辭職しレル氏新内閣を組織す。  
十六日 日蘭綿業會商初會合。  
十七日 キューバ、ハヴァナに再び暴動起

昭和九年一月

一日 米財務長官にヘンリー・モーゲンソ一氏正式就任。  
四日 日印會商事實上の協定成立を見る。  
六日 日印新通商條約全貌外務省公表。紡績聯合會協議會は昭和八年六月十三日以降執行中の印棉不買決議を撤回す。  
七日 米露復交後の初代駐米露大使トロヤノフスキー氏ワシントンに着任。  
八日 京都驛構内にて吳海兵團入團壯丁見送りの群集殺到七十七名壓死す。臺銀では同行保有の神鋼株廿二萬株賣却決定。外遊中の張學良上海に歸着。  
十日 國民政府中央軍厦門を接收、福建獨立政府崩壊に瀕す。  
十一日 米海軍機の桑港、ハワイ間無着陸編隊飛行成功。佛露通商協定正式調印。  
十二日 私的遣米使節松方乙彦氏渡米。  
十三日 福建獨立政府壊滅す。  
十四日 法政大學豫科教授間紛糾で辭表提出の三十六氏解職さる。キューバ大統領サンマルチン氏辭職。國內再び不安。  
十五日 共産黨の私刑事件暴露さる。  
十六日 民政黨長老田中隆三氏政界引退。ドイツ政府新勞働法を發布。

十七日 帝都教育疑獄の摘發峻烈、二校長收容さる。  
十八日 伊太利下院職業別代表法可決。  
十九日 三井物産首腦安川雄之助氏辭任。  
二十日 駐滿西部隊歸還、杉原本部隊交代派遣正式發令。滿洲國政府は三月一日を期し帝政實施に決定の旨發表。  
二十一日 政、民兩黨各々大會を開く。  
二十二日 皇后陛下御床拂ひ遊ばさる。病氣靜養中の荒木陸相辭表提出。和蘭政府人絹織物に對し輸入制限實施。  
二十三日 陸相後任林銑十郎大將親任式。第六十五議會再開さる。支那四中全體會議で蔣介石獨裁強化の省政改革案可決。  
二十四日 貴衆兩院で綱紀紊亂及び軍民離間聲明問題に關し論争行はる。  
二十五日 製鐵合同參加の民間五社正式調印す。赤化華族八條隆孟、森俊守判決。  
二十六日 ムソリーニ首相の排日的首動に對し松島駐伊大使抗議す。露國第十七回共産黨大會でスターリン氏對日演説。  
二十七日 佛國ショータン内閣倒る。  
二十九日 日本製鐵株式會社創立せられ、製鐵合同成る。駐日英大使リンドレー氏更迭、クライグ氏任命さる。  
三十日 佛國アラザエ内閣成立。

る。西藏の連頓喇嘛死去。  
十八日 滿鐵改組案貫徹に關東軍側強硬決意表明、拓務との對立激化す。鳥居龍藏博士の滿蒙探検隊一行新京着、南下。  
十九日 汎米會議でバラカイの休戰提議にボリビア應諾す。  
二十日 齋藤駐米大使正式任命。陸軍定期異動發表、松木直亮大將親任式。  
二十一日 日英民間協議會豫備會商倫敦で開催。獨逸國會議事堂放火犯人判決。  
二十二日 メートル法實施五ヶ年延期の勅令案閣議決定。國民政府中央軍福州攻撃を開始、漳州を空襲す。  
二十三日 午前六時三十九分皇太子殿下御誕生遊ばさる。  
二十六日 天皇陛下御親臨、第六十五議會開院式舉行。第七回汎米會議終る。  
二十七日 佛國政府緊急閣議を開き獨逸の再軍備拒絶の回答を發す。  
二十八日 ソグイエト聯邦中央執行委員會總會開き人民委員長モロトフ氏日本攻撃の演説をなす。  
二十九日 皇太子殿下繼宮明仁親王と御命名、全國到る處に奉祝の催はし行はる。  
三十日 日米通商審議會成る。



三十一日 原首相暗殺犯人中岡良一出所。ルーズヴェルト米大統領ドル價をもとの五十九パーセントに切下げを布告。

二月

二日 帝都教育疑獄進展、江東の四校長召喚さる。  
三日 五・一五事件民間側最終公判において橋孝三郎(無期懲役)大川周明(懲役十五年)以下それれ判決さる。  
五日 關直彦氏貴族院で臺銀問題を糾弾し大久保銀行局長事務的説明をなす。  
六日 帝都消防出初式舉行。パイヨンヌ市警質屋募債に關する憤激の結果パリに暴動勃發す。  
七日 佛國グララエ内閣天折す。張學良三省副副司令に任命さる。  
八日 「尊氏問題」に關する貴族院の糾弾激しく中島商相辭職。衆議院本會議で政友會岡本一巳氏暴露的質問演説をなす。  
九日 商相後任に松本蒸治博士親任。佛國ゾーメルグ舉國一致内閣成立。ギリシヤトルコ、ユーゴスラビヤ及びブルーマニア四ヶ國間にバルカン條約調印さる。  
十日 政友會、岡本代議士を除名す。赤化判事々件判決。

不侵略條約批准交換。  
二十八日 日英第三次會商決裂に瀕す。

三月

一日 滿洲國帝制實施、溥儀執政、帝位に即かれ、年號を康德と改む。  
三日 鳩山文相辭表を提出す。  
六日 佛國女流飛行家イルツ嬢再度の訪日飛行に成功羽田に着陸。  
七日 岡本一巳代議士東京憲兵隊に出頭、小山法相を演職罪で告發。  
八日 賀陽宮同妃兩殿下御渡歐の途に就かせらる。衆議院本會議において國民同盟提出の内閣不信任案政民兩黨の反對により難らる。  
九日 武藤山治氏暴漢に狙撃さる。  
十日 第二十九回陸軍記念日。  
十一日 ソグイエト聯邦の輕爆撃機一機滿洲國東部國境に不時着。  
十二日 佐世保鎮守府所屬水雷艇友鶴長崎志々伎沖にて顛覆、殉難者百名を出す。  
十三日 建武中興六百年祭日本青年館にて秩父宮殿下の台臨を仰ぎ盛大に舉行。  
十四日 昭和十年度豫算案二十一億一千二百萬圓餘議會通過成立す。折衝僅かに一ヶ月にして日英民間會商決裂。

十一日 紀元の佳節に當り恩赦の大詔頒發さる。佐郷屋留雄外四名死一等を減せらる。大衆十萬參加し建國祭盛大を極む。國民新聞愛讀者による獻納機愛國第百八(國民)號命名式代々木で舉行。  
十二日 ウィンに暴動起り全國的に波及。  
十三日 蘭領東印度政府一九三四年非常時織物輸出取締令を發布。  
十四日 南洋ロソツブ島における日食觀測成功す。日英通商協議會第一回正式會合ロンドンで開催。  
十五日 岡本代議士衆院本會議で所謂鳩山文相構工五萬圓事件を暴露す。  
十六日 英露通商協定成立。  
十八日 ベルギー皇帝アルベール一世陛下御奇禍により崩御。  
二十日 浦鹽極東廳で執行の露領漁區入札、日本側無効を宣せられ紛糾。  
二十一日 支那九江共產軍に占領され、砲艦保津同地に急行す。  
二十三日 皇太子殿下御誕生御慶祝の御盛宴宮中豐明殿に催させらる。ベルギー皇儲レオポルド殿下御即位、レオポルド三世陛下と號せらる。  
二十四日 紐育滞在中の徳川家達公日米親善の放送演説を行ふ。獨逸、ポーランド

十五日 ソグイエト聯邦政府、行政組織並に經濟的機構に關する新法令を發布。

十六日 文士、俳優、醫師等名士の麻雀賭博大檢舉行はる。内務省第一次國立公園指定地として雲仙、霧島、瀬戸内海の三ヶ所を指定。  
十七日 帝國政府關稅稅決議より脱退。駐滿第十、第十四師團歸還、若山、蒲本部隊を夫々交代派遣の旨公表。伊、塊、匈三ヶ國間に政治經濟協商成立す。  
十九日 澄宮殿下には士官候補生として習志野騎兵第十五聯隊に御入隊遊ばさる。佳木斯附近で匪賊と衝突激戦、北川大尉以下二十一名戦死す。  
二十日 熱河戦に勇名を馳せた川原部隊教賀に凱旋。  
二十一日 廣田外相、ハル米國務長官間の日米親善交換文書公表さる。北海道函館市に暴風中大火災起り中心市街殆ど全滅罹災者九萬餘に上る。湯淺宮相華族子弟の赤化防止に關し學習院職員首腦に訓示す。  
二十四日 郷軍代表八百三十四名宮城内御車寄廣場で天皇陛下賜謁の光榮に浴す。  
五・一五海軍側主任裁判官海軍法務官高頼治氏自殺を企つ。ルーズヴェルト米國

大統領比島獨立許可案に署名裁可す。  
二十五日 選舉法改正案議會通過。治安維持法改正案は兩院妥協成らず流産す。  
二十六日 第六十五議會閉院式。三木武吉、中島守利氏等に係る東京市疑獄上告棄却前審通り刑確定し兩氏代議士を失格。滿洲國防日修聘特使鄭國務總理、熙財政部大臣一行入京。  
二十七日 滿洲國修聘特使、天皇陛下に拜謁、康德皇帝の親書を捧呈す。井上日召等血盟團のやり直し第一回公判藤井裁判長係り、木内檢事立會で開廷。  
三十日 第二次日本共產黨轉向派巨頭佐野學、鍋山貞親等の第一回公判開く。日米修交八十周年記念交驛放送行はる。  
三十一日 八年十一月十四日川越市で開催の政友會關東大會臨時の鈴木總裁暗殺を企てた救國培玉青年隊事件記事解禁。

四月

一日 農林省米穀部、局に昇格。東京市の山口貯水池完工式舉行。第九回日本醫學大會開かる。  
二日 水雷艇友鶴遭難難査問會の調査完了。シヨホル國王御入京。  
三日 天皇陛下宮城二重橋前廣場において

三萬六千の小學校教員代表を御親問あらせらる。一木喜徳郎男樞密院議長に親任。  
四日 シヨホル國王參内。國際労働局次長フエルナン・モイレツト氏入京。  
五日 水雷艇友鶴遭難真相公表。加藤海軍大將を委員長とする水雷艇性能調査會設置。滿洲國特使鄭孝胥氏退京。テ杯戦出場の途にある庭球選手佐藤次郎氏マラツカ海峽にて投身自殺す。  
六日 滿洲帝國康德皇帝即位に對する南京政府の抗議文國際聯盟事務局より公表。スペイン政府モロッコ西岸占領。  
七日 日銀金買入法に基く第一回産金買上値段一匁十一圓九錢(後六錢と訂正)と決定實施。齋藤駐米大使の櫻の日本紹介放送演説全米に好評を博す。  
八日 堀切大藏政務次官、文部大臣就任の交渉を拒絶す。  
九日 若山本部隊國防第一線へ向け出發。南昌で對滿對日方針確立の蔣汪黃三巨頭會議開かる。アメリカ海軍太平洋部隊パナマ運河超速通航演習開始。滿洲國極東選手權大會參加問題討議の日比支三國圓卓會議上海に開く。  
十日 シュエネーグ軍縮會議幹部會形式的ながら久しぶりに開會。上海の三國圓卓會



議決定を延期して散會。  
 十一日 林陸相辭表提出。自上佑吉、大神田軍治氏等に係る東京市會疑獄の判決言渡。滿洲國特使熙洽氏退京。  
 十二日 雲南邊境班洪金鐵地で英支軍激戰。ジョホール國王米國へ向け出發。  
 十三日 米國海軍土曜休日制實施。小山法相告發事件に關連し岡本一巳代議士拘引。  
 十五日 林陸相續意留任に決す。  
 十六日 司法官會議開く。レオン・トロツキ、パリ郊外の寓居から突如姿を消す  
 十七日 帝國政府の對支態度に關し外務當局談の形式で非公式聲明を發表す。代議士佐藤重遠、鈴木寅彦兩氏議員辭任。  
 十八日 凱旋の第八師團長中村孝太郎中將參内軍狀を奏上。  
 十九日 インド、デリーに於て澤田、ホア兩代表の間に日印通商條約假調印行はる  
 二十一日 駐日蘇聯邦大使ユレニエフ氏林陸相を訪ひ國防軍備その他の所見を質す  
 二十二日 スエイン、マドリッドでフアツシヨ反對の總罷業行はれ死傷者を出す。  
 二十三日 伊豆下田で黒船祭舉行。春のリーグ戦開始。  
 二十四日 日米修交八十周年記念祝賀會日

米協會主催で舉行。ソグイエト中央執行委員會議長カリニン氏、ウスリ沿線の陣地要塞視察。  
 二十五日 故武藤元帥等千六百六十八の英靈を合祀する靖國神社臨時大祭始まる。滿洲事變論功行賞第十二回發表。米國艦隊のパナマ運河通航四十八時間以内で完了。  
 二十六日 滿蘇の北鐵交渉東京で再開。印度の聖雄ガンダー正統派インド教徒のため襲撃さる。  
 二十七日 天皇陛下、靖國神社臨時大祭行幸御親拜あらせらる。  
 二十八日 對支政策打合せのため有吉駐支公使歸朝。伊太利舊議會最終の開院式を舉行す。  
 二十九日 天長節。觀兵式代々木練兵場において舉行さる。佳辰を壽ぐ汎太平洋交際放送。恩賜財團愛育會發會式舉行。マニラ極東大會出場の我代表選手神戶を出發。早大競走部學生陸上競技聯盟より脱退す。  
**五月**  
 一日 廣田外相對支政策の根本的態度宣明。エックアドル政府組、人絹、綿布を含む

む輸入禁止發令。メーデー、左右二つの示威行進行はる。  
 二日 西園寺公二年振りて上京。畑本部隊主力教習に凱旋上陸。アメリカ商業會議所大會で會頭ハリマン氏世界的景氣回復の曙光を認むと演説す。  
 三日 イギリス商相ランシマン氏、日本品輸入割當に關する覺書を松平大使に手交。駐日ソ聯邦大使廣田外相訪問ヘシコフ號引渡を要求。國民政府外交部日支直接交渉開始を辭せずと發表す。故植田玄節に贈位の恩命降る。  
 四日 地方長官會議開會。齋藤首相庶政革新を強調演説す。宮城内濟寧館で皇太子殿下御誕生奉祝武道大會開く。愛國婦人會第三十三回總會。メキシコ國國際聯盟脱退通告を撤回。  
 五日 秩父宮殿下滿洲國御差遣宮内省より正式に發表。天覽武道大會にて山本、野間、天谷、平田四選士優勝す。ソ聯邦、波蘭兩國間に「永遠の平和」締結。  
 六日 フイリツピン議會獨立受諾案可決。  
 七日 英植民地の輸入割當制即時實施をイギリス商相下院で聲明。  
 八日 日蘭會商の我代表決定。ソ聯邦極東地方のビロビジャン、ユダヤ人區を州に

改編する旨發表す。  
 九日 日濠親善使節濠洲外相レーサム氏神戸著訪日の第一聲を揚ぐ。  
 十日 日本ウルグワイ兩國間の最惠國約款通商條約調印。中村海軍大將軍參議官、艦政本部長兼補。濠洲外相レーサム氏入京參内す。在ブラジル邦人五名ブラジル人のため慘殺さる。  
 十一日 佐野學等轉向派五巨頭に寛大な控訴判決。三浦安針ことウイリアム・アマダスの記念塔その生地において松平駐英大使により除幕式行はる。  
 十二日 竹田宮恒徳王殿下、三條公輝公二女光子姫と御結婚の御儀を挙げさせらる。濠洲外相レーサム氏廣田外相と會談、日濠間の諒解を深む。外務省より日英通商交渉の經過公表。  
 十三日 姫路凱旋部隊宇品上陸。黒龍江岸のソ聯邦砲臺滿洲國汽船を砲撃す。  
 十四日 外務次官々々で滿ソ兩國北鐵交渉再開。日ソ間のヘシコフ號引渡問題滿洲解決。日印會商の政府首席代表澤田公使歸京す。  
 十五日 英巨船ネルソン號イングラナド南端ウーランド・ローズで坐礁。  
 十六日 國際聯盟諮問委員會滿洲國との郵

便協定を可決。レーサム濠洲外相退京。  
 十七日 秩父宮殿下宮城前廣場において東京市聯合防護團を御閱圖あらせらる。ドイツの金準備率四分八厘に減す。ジュネーグ對支援助特別委員會ライヒマン報告書採擇。日蘭會商帝國代表長岡大使出發近衛貴族院議長渡米。  
 十八日 駐日ソ聯邦大使廣田外相訪問、四時間半に亘り三大懸案折衝。  
 十九日 サルバドル共和国率先滿洲國を承認。黒田大藏次官東京地方検事局に召喚取調への上市ヶ谷刑務所に收容さる。シカゴ市大火、一哩四方燒野原となる。  
 二十日 大藏省銀行局の大野特銀課長等三名東京地方検事局に召喚。在滿鏡泊學園山田第一總務等一行十四名匪賊に襲はる  
 二十一日 在京滿洲國公使館サルバドル國より受領せる承認に關する書簡並に覺書を發表す。大久保大藏省銀行局長も亦東京地方検事局に召喚收容さる。マニラ會議で極東體育大會解散、新に東洋體育協會成立。大藏次官に藤井真信氏任命。リノ子共産黨の記事解禁。  
 二十二日 ルーズヴェルト大統領銀法案教書を議會に提示す。  
 二十三日 アメリカ海軍長官スワンソン氏

比率を變更せば太平洋根據地を強化せんと力む。  
 二十四日 日支の無電協定成立。マサリツク博士チエツコスログアキア大統領に又復當選。  
 二十五日 排日移民法案ブラジル議會を通過す。イギリス、海軍會議の豫備交渉を日米佛伊四ヶ國に提議。  
 二十六日 ロンドンで松平大使とピンガム米國大使軍縮問題を懇談。第一次市會疑獄で下獄せる三木武吉氏假出所す。  
 二十七日 海軍記念日。天皇陛下海軍經理學校に行幸記念式に臨御あらせらる。時も時、東郷元帥病篤しの報に市民憂懼す  
 二十八日 黒河航行中の滿洲國汽船に對しソ聯邦警備兵不法射撃をなす。沼津の初滿取引稀有の安値出現。  
 二十九日 東郷元帥に陸爵の恩命降る。  
 三十日 午前七時東郷元帥終に薨去す。故元帥に對し特に國葬を賜はる。南京中央政治會議で北支通車解決辦法可決。  
 三十一日 廣瀬第十、畑第十四兩師團長凱旋將軍として入京直ちに參内軍狀を奏上す。ベルギー新皇帝御即位御披露の使命を帯び特使ウキリアム・タイス氏横濱着來朝。坂野海軍軍事普及部委員長政局に



對する海軍の態度を聲明發表す。巡洋艦三隈進水。中國銀公司正式成立。

六月

- 一日 ベルギー特使タイス氏參内、新帝の親書を捧呈す。第一航空戰隊司令官に和田少將補せらる。坂野軍事普及部委員長聲明問題で罷免。我が極東選手神戸に凱旋。
- 二日 秩父御名代宮殿下滿洲國へ向け帝都を御出發。
- 三日 長岡代表バタヴィア着。
- 四日 東郷邸に勅使甘露寺侍從を御差遣、故元帥の靈前に生前の勳功を嘉せられ誄を賜はる。第十八回國際労働會議總會シエネーグで開會。
- 五日 故東郷元帥の國葬儀日比谷公園に於て嚴肅に行はれ、英魂永へに多磨墓地に眠る。シエネーグの軍縮幹部會英伊及佛國間の意見衝突し喧嘩分れとなる。
- 六日 天皇、皇后兩陛下には皇太子殿下、兩内親王殿下を御同伴葉山へ行幸啓あらせらる。秩父御名代宮殿下新京御着、驛頭御出迎への康徳皇帝と堅き御握手を交はさせらる。長岡市外及び鳥取縣岩井温泉に大火。

七日 秩父御名代宮殿下宮廷府に康徳皇帝を御訪問、御親書並に大勳位菊花大綬章を、皇妃に勳一等寶冠章を御贈進遊ばされ、康徳皇帝、御名代宮殿下の御旅館に御答訪あらせらる。

- 八日 海軍巨星、海相官邸で重要懇談。バタヴィアの日蘭會商開く。廣島文理大學長に武部普通學務局長を任命。南京總領事館書記生藏本英明氏突如行方不明となる。
- 九日 宇垣朝鮮總督、清浦伯を訪問會談政界注目目的となる。廣島文理大の空氣程かならず、武部新學長辭表を提出す。
- 十日 北支派遣交代兵神戸出帆。在滿鏡泊學園職員學生また匪賊に襲はる。
- 十一日 ベルギー特使タイス氏退京。尾關東福寺派管長行方不明となる。サルバドル颶風慘害の報至る。
- 十三日 秩父御名代宮殿下新京御發御歸朝の途に就かせらる。鈴木侍從長西園寺公を訪問。藏本書記生無事、南京郊外孝陵裏山で發見。
- 十四日 水都ヴェニスで伊獨兩首相會見。ドイツ全般的モラトリアム斷行を宣言す。
- 十五日 清水澄、藤澤幾之輔兩氏樞密顧問

官に親任され、二上樞密院書記官長出でて行政裁判所長官となる。シエネーグ労働會議委員會で四十時間労働條約案を採擇。キューバ大統領爆弾を見舞はれ負傷す。

- 十六日 アメリカ太平洋沿岸の埠頭仲仕罷業四十日目で解決。
- 十七日 臺灣施政四十年記念日。イギリス汽船順天號黄河河口沖航行中海賊船に襲はれ日英人數名拉致さる。
- 十八日 秩父御名代宮殿下御歸京、直ちに御參内御復命あらせらる。ロンドン・イギリス首相官邸で英米間の海軍豫備交渉開始。
- 十九日 北白川宮永久王殿下徳川義恕男二女祥子姫と御結婚の御内約あらせらる旨宮内省より發表。内臺無線電話開通式開催。米國軍縮代表アグニス氏松平大使訪問、日米の海軍豫備交渉始まる。
- 二十日 内臺間無線電話開始。フランス政府海軍豫備交渉に關するイギリスの招請受諾。
- 二十一日 帝都復興事業功勞者行賞發表。地下鐵新橋尾張町間開通。日蘭會商再開。
- 二十二日 石油六社・松方日ソの石油協定成立。東京乙種銀行利下決定。行方不明

の尾關東福寺管長發見さる。

- 二十三日 選舉法改正法律公布。
- 二十六日 來年度豫算編成方針閣議で決定。
- 二十七日 滿洲國政府康徳元年度豫算に共同國防費分擔金九百萬圓を計上、日本に對する肉身的衷情を披瀝す。
- 二十八日 北支懸案の通車問題解決、東方旅行社により奉山・北齊直通列車運轉。第十師團長更迭。
- 二十九日 齋藤内閣總辭職の期愈々迫まり政客頻りに動く。朝鮮濟州島沖にて驅逐艦深雪、電兩艦衝突死傷者を出す。
- 三十日 滿洲事變出征第二師團の行賞發表。赤化司法官控訴判決。ドイツの第二革命陰謀發覺、突撃隊總司令レーム氏等捕へらる。

七月

- 一日 小山法相、高橋藏相を訪ひ大藏省事件の内容を報告。滿支直通の初列車茶淀驛西方地點で爆破さる。
- 三日 大藏省事件の責を負ひ齋藤内閣總辭職。勅選十二名決定。和蘭皇配ヘンリー殿下薨去。
- 四日 海軍大將岡田啓介氏に組閣の大命降

- 下す。
- 五日 前商相中島久萬吉男、東京地方検事局に召喚さる。政黨以外の入閣額觸決定。
- 六日 政友會入閣拒絶に決す。
- 八日 岡田内閣の親任式行はる。政友會の臨時總務會で入閣せる床次、山崎、内田三氏除名に決す。
- 十日 岡田内閣の初閣議、昭和十年度豫算編成方針を決定。四次官三知事更迭。
- 十一日 北陸地方豪雨の被害甚し。
- 十三日 新艦十九隻建造計畫を米國海軍省發表。
- 十四日 新五相會議開く。鳩山元文相東京地方検事局に召喚さる。桑港の罷業委員會總罷業斷行に決定。
- 十六日 海軍最高首腦部會議開かる。桑港總罷業に入り暴動勃發す。
- 十七日 政務官の割當政民各九、貴院六に決定。海軍豫備交渉十月迄休止。齋藤駐米大使歸朝。林權助男樞府入り。
- 十八日 第二回汎太平洋佛敎青年大會桑港地本願寺で開催。桑港總罷業失敗に終る。
- 十九日 政務官漸く決定。政友會九政務官を除名。日本エストニア國間暫定通商取極公表。
- 二十日 岡田内閣の十大政綱發表。



哀悼錄

哀悼錄

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like 古賀 春江, 田村 彩天, 山口孫右衛門, etc.

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like シエームス・メイソン・テイ, 依田銈次郎, 佐々木善次郎, etc.

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like 岸 清一, 平福 百穂, 熊谷 巖, etc.

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like 來島 良亮, 村山 龍平, 胡維 德, etc.

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like 池谷信三郎, 岩倉 靖子, ラスムツセン, etc.

Table with columns: 氏名 (Name), 職業又は身分 (Occupation or Status), 享年 (Age at Death), 死亡年月日 (Date of Death). Includes names like 大倉 徳子, 楊 樹 莊, 佐藤 愛磨, etc.

哀悼錄

五五一



哀悼錄

大山 覺威	大阪時事主筆	五二	二・二二
三田村 甚三郎	前代議士	六六	二・二二
永井 來	豫備陸軍中將	六八	二・二四
横瀬 夜雨	詩人	七〇	二・二四
多門 二郎	豫備陸軍中將	七二	二・二五
吉井 友兄	前日銀理事	七三	二・二七
伊東 巳代治	樞密顧問官伯爵	七九	二・二九
秋野 孝道	鶴見總持寺貫主	七九	二・三〇
大道 良太	元東鐵局長	七九	二・三〇
シクル・モ グスタフ	英國陸士校長陸軍少將	五五	二・三三
平野 亮禪	眞言宗醍醐派管長大僧正	七五	二・三三
岡本 連一郎	豫備陸軍中將	七五	二・三三
清家 吉次郎	代議士	六九	二・三三
直木 三十五	大衆作家	四四	二・三四
ジョン・マ マアロ	米國職業野球界の古老	六〇	二・三五
東園 基光	貴族院議員子爵	六〇	二・三六
山本 長方	工學博士	六五	二・三六
宮島 新三郎	早大教授、文藝評論家	三三	二・三七
高 義 教	朝鮮中樞院顧問	六三	二・三七
服部 金太郎	貴族院議員	七五	二・三一
澁澤 かね子	濠洲榮一子未亡人	八〇	三・一
村田 宮吉	阪大教授	五二	三・一
長澤 鼎	在米邦人の最古	八三	三・一
堀 又幸	關東軍參謀、陸軍少將	一	三・二
龍池 密雄	高野山管長	九二	三・四
松田 清一	山梨高工校長	五九	三・四
原 脩次郎	元鐵相	六四	三・六
金子 政吉	民政黨顧問	六八	三・六
大工原 銀太郎	佃政親分	七六	三・八
藤田 文藏	同志社大學總長	六八	三・九
武藤 山治	農學博士	七四	三・九
喜多 孝治	彫刻界の元老	六八	三・一〇
生一 綾雲	時事新報相談役	七〇	三・一〇
黒木 親度	代議士	五七	三・一一
三浦 得一郎	關西能樂界の長老	六〇	三・一二
八道 彌七	退役陸軍少佐元セミヨノフ顧問	五三	三・一四
ウイリアム・マ イスター	在郷陸軍少佐元陸軍主計監	七九	三・一四
権 重 顯	獨逸劇作家	六三	三・一五
大熊 氏廣	朝鮮中樞院顧問	七三	三・一八
銅像彫刻家	子爵	八一	三・一九
澤山 精八郎	前貴族院議員	八〇	三・二一
岡田 良平	樞密顧問官	七一	三・二二
中橋 徳五郎	代議士、政友會顧問、元内相	七二	三・二五
鳥栖 越山	昌林寺住職	七二	三・二五
オットー・カ ーリン	米國金融界の重鎮	六七	三・二九
武藤 虎太	前五高校長	六八	三・二九
白鳥 徳之助	前東京市財務局長	五五	三・三〇
落合 豊三郎	豫備陸軍中將	七四	三・三一
松村 久子	農林省參與官夫人	三八	四・一
安藤 貞雄	第一火災海上保險常務取締役	六三	四・二
出石 敏彦	退役陸軍少將	八七	四・二
佐藤 次郎	ア杯庭球選手	二七	四・四
沖 三雄	陸軍歩兵大佐	一	四・五
本多 正復	子爵宮中顧問官	六三	四・六
關屋 うた	關屋貞三郎氏母	九二	四・九
山下 英一	劇作家	四三	四・一〇
俣野 現有	知恩院門跡	一〇三	四・一一
小堀 平七	元法政野球主將	七九	四・一二
田島 應親	小堀流水泳宗家退役陸軍砲兵大佐	八四	四・一三

五五二

三井 高連	三井生命取締役	四二	四・二三
加藤 定吉	元代議士	六五	四・二四
草野 きよ子	大審院判事草野豹一郎氏母堂	七七	四・二五
白神 邦二	政友會所屬代議士	五三	四・二五
小林 鎌吉	新内の八代目富士松加賀太夫	六	四・二五
大谷 雄介	海軍中佐、ロイマ駐在大使館付子爵貴族院議員	四四	四・二六
土御門 晴善	子爵貴族院議員	五二	四・二七
三上 文太郎	横須賀市長	七〇	四・二八
宇都宮 鼎	早大教授	七二	四・二九
鹿島 清平	鹿島本店主	五八	四・二九
高橋 かね子	市川左團次母堂	六六	四・三〇
關 直彦	貴族院議員	六六	四・三二
黒田 鐸子	子爵黒田長敬氏母堂	六八	四・三四
川瀬 勝太郎	俳優市川伊達藏	六五	四・三五
土田 茂	論家、社会評論家	四四	四・三五
大原 昇	大審院検事	四四	四・三五
古川 まち子	古川阪次郎氏夫人	六七	四・三七
宗里 悦太郎	第一航空學校長	四九	四・三八
片多 徳郎	洋畫家	四五	四・三八
エドワード クラーク	元京大講師	六一	四・三八
牧 朴 眞	大日本水産會副總裁	八一	四・二九
松村 猛	實業家	五五	五・一
渡邊 祺十郎	在郷陸軍少將	七五	五・二
長谷川 正吾	汽車製造會社社長	五五	五・二
那須 章彌	技術家	五五	五・二
西 忠義	西陸軍中將殿父	七九	五・三
ウイリアム・ハ ートマン	前米國財務長官	六七	五・三
ウイリアム・ウ ーティン	醫學博士	四〇	五・四
細谷 憲吉	アララギ派歌人	四六	五・五
中村 憲吉	熊本福王流家元	六三	五・五
野島 信	元日銀監事	八四	五・六
山口 宗義	落語家、本名青木鏡太郎	五三	五・六
雷門 助六	鐵道工業先覺者	七九	五・六
平岡 照	映畫俳優、本名大村龜三郎	四七	五・六
尾上 紋十郎	尾崎行雄氏令弟	六〇	五・六
尾崎 行昌	男爵、貴族院議員	六六	五・六
平野 長祥	伯爵	七二	五・七
松浦 厚	陸軍砲兵中佐	七二	五・七
木下 清三郎	橋本商事社長	五五	五・七
橋本 菊次郎	富士瓦斯紡重役	五五	五・八
伊東 要藏		七二	五・九
柴田 佐平	前内閣書記官長	八七	五・九
渡邊 福三郎	横濱渡邊銀行頭取	八〇	五・一〇
昇 須美子	畫家、曙夢氏長女	二六	五・一〇
崎山 武夫	前代議士	四五	五・一一
柴田 くま子	柴田善三郎氏養母	七四	五・一一
岩上 照雄	藤倉工業元重役	七三	五・一三
梅若 みつ	梅若流宗家梅若六郎氏の夫人	五五	五・一四
奥村 千藏	元代議士	五二	五・一五
田中 謙	元代議士	六二	五・一六
川村 清雄	洋畫界の先輩	八三	五・一六
長谷川 勘太郎	相撲の「呼出し」人	七七	五・一七
池内 信嘉	能樂會理事	七七	五・一七
久保 勇	元洋毛整製社長	六八	五・二〇
ウキリス・ホ ット	米國の親日論客	七二	五・二一
内藤 安三	日本興業無盡會長	五五	五・二一
片岡 直温	貴族院議員	七六	五・二二
川上 みれ	東洋女子商專教授	三九	五・二二
福地 信世	東大理學部講師	五八	五・二二

哀悼錄

五五三



小笠原きれ子	故乃木將軍令妹	八三	五・三三
添田 定一	興銀監査役	四三	五・三六
長與 程三	舊茂木合名重役	六〇	五・二六
有馬 豐子	有馬伯爵堂	六六	五・二六
三松 武夫	中央卸賣市場顧問	五九	五・二六
河原田八重子	前内務次官河原田稼吉氏夫人	六六	五・二七
渡邊 章	男爵、退役陸軍中將	八四	五・二七
芝川龜太郎	元慶大路上競技部主將	三八	五・二七
平田 千秋	洋畫家	一	五・二八
太田 正隆	醫學博士	四七	五・二九
東郷平八郎	侯爵元帥海軍大將	八	五・三〇
久保 得二	號天隨、臺北帝大教授	六〇	六・一
シエームス・ロルフ	親日家、カリフォルニア州知事	六五	六・二
菅原 良吉	豫備陸軍少將	一	六・三
小宮勇三郎	實業家	七二	六・四
西尾 忠義	西尾子嫡男	三	六・四
ミゲル・コルト	伯國排日派巨頭	一	六・六
伊澤平左衛門	仙臺商議會頭	七三	六・九
笠原 房吉	長野縣多額納稅者	五三	六・九

今井千代子	勝本忠兵衛フレアリツク、デリウス	七四	六・九
山田流箏曲家元	慶松氏夫人	七四	六・九
大阪の鋼鐵商	英人自作曲家	六二	六・九
大田市教育部長	農學博士	七三	六・〇
高尾登山鐵社長	國華徵兵保險重役	五	六・〇
鐵道省事務官	元東大總長	六二	六・〇
長瀬商會重役	退役陸軍中將	六六	六・〇
商大名譽教授	映畫俳優	六六	六・〇
號湖南文學博士	日本信託重役	六六	六・〇
山崎達之輔氏母	堂	六六	六・〇
京大名譽教授	中野正剛氏夫人	六六	六・〇
畫家	女流化學者、ラザウムの發見者	六六	六・〇
三土忠造氏養母	三土忠造氏	七五	七・四
日本通信社長	眞學	七五	七・四

水町袈裟六	福密顧問官	七二	七・〇
忽滑谷快天	前駒澤大學長	六六	七・二
ドゲガレウスキー	駐佛蘇聯邦大使	四八	七・四
廣瀬 猛	陸軍中將、陸大校長	五三	七・七
平野桑四郎	政友會代議士	七二	七・八
石井 孝慈	豫備陸軍少將	五八	七・八
渡邊 祐策	元代議士	七二	七・〇
山田 嘉吉	言語學者	七〇	七・二
松崎 市郎	號天民、文士	五七	七・三
黒田 越郎	東京地方檢事	四三	七・三
大内 一二	學習院教授	五〇	七・三
大谷 周庵	元侍醫、醫學博士	七	七・四
荒井 實	東大醫學部助教	四	七・五
長島鷲太郎	日本曹達工業社長	六七	七・七
伊藤 秀一	慶大教授	三七	七・七
久米桂一郎	洋畫界の先覺者	六九	七・七
山本 孝治	海軍法務官	一	七・七
上坂 熊勝	岡山醫大名譽教授	六	七・七
リオーテイ	佛國陸軍元勳	九	七・七
池貝庄太郎	池貝鐵工社長	六	七・八
三井きやう	元之助氏夫人	六	七・三〇

# 便覽

## 租稅稅率摘要

### ▲地 租

地租の課稅標準は土地臺帳に登録したる賃賃價格とす。賃賃價格は貸主が公課、修繕費其の他土地の維持に必要な經費を負担する條件を以て之を賃賃する場合に於て貸主の收得すべき一年分の金額に依り之を定む。

賃賃價格は十年毎に一般に之を改訂す。地租の稅率は百分の三・八とす。

### ▲所得稅

第一種 甲 法人の普通所得  
 本法施行地に本店又は主たる事務所を有する法人 百分の五  
 本法施行地に本店又は主たる事務所を有せざる法人 百分の十  
 乙 法人の超過所得 超過所得金額を左の各級に區分して遞次に各稅率を適用す

便覽——租稅稅率摘要

### 丙

用す 普通所得金額中資本金額に對し年百分の十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の四  
 同百分の二十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の十  
 同百分の三十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の二十  
 法人の清算所得 清算所得金額を左の如く區分し各稅率を適用す  
 積立金又は本法其の他の法律に依り所得稅を課せられざる所得より成る金額 百分の五  
 其の他の金額 百分の十  
 法人が各事業年度に於て納付したる第二種の所得に對する所得稅額は命令の定むる所に依り當該事業年度の第一種の所得に對する所得稅額より之を控除す  
 前項の場合に於て控除すべき第二種の所得に對する所得稅は第一種の所得計算上之を損金に算入せず  
 前二項の規定は法人の清算所得に對する所得稅に付之を準用す

第二種 甲 本法施行地に於て支拂を受くる  
 日本公債の利子 百分の四

社債銀行預金の利子 百分の五  
 及貸付信託の利益 百分の七・五  
 乙 配當及賞與 百分の七・五  
 信託會社が其の引受けたる貸付信託の信託財產に納付したる第二種の所得に對する所得稅額は命令の定むる所に依り當該貸付信託の利益に對する所得稅額より之を控除す

第三種 前二種に屬せざる個人の所得  
 所得金額を次の各級に區分し遞次に各稅率を適用す但し山林の所得と山林以外の所得とは之を區分し山林に付ては其の所得を五分したる金額に對し此の稅率を適用して算出したる金額を五倍したるものを以て其の稅額とす。

千二百圓以下の金額	百分の〇・八
千二百圓を超過する金額	百分の二
千五百圓を超過する金額	百分の三
二千圓を超過する金額	百分の四
三千圓を超過する金額	百分の五
五千圓を超過する金額	百分の六・五
七千圓を超過する金額	百分の八
一萬圓を超過する金額	百分の九・五



一萬五千圓を超ゆる金額	百分の十一
一萬圓を超ゆる金額	百分の十三
七萬圓を超ゆる金額	百分の十五
五萬圓を超ゆる金額	百分の十七
三萬圓を超ゆる金額	百分の十九
十萬圓を超ゆる金額	百分の二十一
二十萬圓を超ゆる金額	百分の二十三
五十萬圓を超ゆる金額	百分の二十五
百萬圓を超ゆる金額	百分の二十七
二百萬圓を超ゆる金額	百分の三十三
三百萬圓を超ゆる金額	百分の三十三
四百萬圓を超ゆる金額	百分の三十六

(イ) 第三種の所得は千二百圓に満たざるときは免除。ロ、ハの控除を爲したる爲千二百圓に満たざるに至りたるとき亦同じ。

(ウ) 第三種の所得總額一萬二千圓以下なるときはその所得中勤勞所得(賞與又は賞與の性質を有する給與、俸給、給料、歳費、年金、恩給、退職料及此等の性質を有する給與)に付左の金額を控除す。

一、所得總額六千圓以下なるときは勤勞所得の十分の二。

二、所得總額中勤勞所得以外の所得六千圓以上なるときは勤勞所得の十分

▲相続税

課税價格	相続人が被相続人の家族たる直系卑屬なるとき	相続人が被相続人の指定したる者、民法第九百八十二條に依り選定せられたる者、被相続人の家族たる直系卑屬又は入夫なる時	相続人が民法第九百八十五條に依り選定せられたるものなる時
五千圓以下	百分の六	百分の六	百分の八
一萬圓を超ゆる金額	百分の七	百分の七	百分の十
二萬圓を超ゆる金額	百分の八	百分の八	百分の十五
三萬圓を超ゆる金額	百分の十	百分の十	百分の二十
四萬圓を超ゆる金額	百分の十二	百分の十二	百分の二十五
五萬圓を超ゆる金額	百分の十五	百分の十五	百分の三十
七萬圓を超ゆる金額	百分の二十	百分の二十	百分の四十
十萬圓を超ゆる金額	百分の二十五	百分の二十五	百分の五十
十五萬圓を超ゆる金額	百分の三十	百分の三十	百分の六十
二十萬圓を超ゆる金額	百分の四十	百分の四十	百分の八十
三十萬圓を超ゆる金額	百分の五十	百分の五十	百分の九十
四十萬圓を超ゆる金額	百分の六十	百分の六十	百分の百
五十萬圓を超ゆる金額	百分の七十	百分の七十	百分の百
七十萬圓を超ゆる金額	百分の八十	百分の八十	百分の百
百萬圓を超ゆる金額	百分の九十	百分の九十	百分の百
二百萬圓を超ゆる金額	百分の百	百分の百	百分の百
三百萬圓を超ゆる金額	百分の百	百分の百	百分の百

の二、其の金額の十分の一。

(ハ) 所得總額三千圓以下なるときは其の所得を有する者の申請に依り其の所得より其の年三月一日現在の同居の戸主及家族中年齢十八歳未満若しくは六十歳以上の者又は不具癡疾者一人に付百圓を控除す。

(ニ) 自己若しくは家族又は其の相続人を保險金受取人とする生命保險契約の爲に拂込みたる保險料は年額二百圓を限り本人の申請に依り其の所得より之を控除す。

▲營業收益稅

營業收益稅は營業の純益に付之を賦課すその稅率は

個人 純益金額千圓以下なるとき 百分の三・四

法人 純益金額千圓以下の金額百分の二・二

千圓を超ゆる金額 百分の二・六

▲資本利子稅

資本利子稅は甲種の資本利子(公債、社債、産業債券若しくは銀行預金の利子又は貸付信託の利益)及乙種の資本利子(第三種の所得に付納稅義務を有する者の第三種の所得中營業に非ざる資金又は預金の利子)に付之を賦課する。稅率は甲種も乙種も資本利子金額百分の二である。

信託會社が其の引受けたる貸付信託の信託財産に付納付したる資本利子稅額は命令の定むる所に依り當該貸付信託の利益に對する資本利子稅額より之を控除す。

前項の場合に於て控除すべき資本利子稅は其の貸付信託の利益に之を加算す。

個人がその營業用の土地に付納付したる地租額は命令の定むる所に依り其の營業收益稅額より之を控除す。

前二項の場合に於て控除すべき地租又は資本利子稅は純益計算上之を損金又は必要經費に算入せず。

▲鑛業稅

鑛區稅 鑛區一千坪毎に(武州) 金參拾錢

鑛產稅 鑛產物の價格の百分の一

砂鑛區稅 河床 砂鑛區域一町毎に參拾錢

砂鑛區域一町毎に參拾錢

▲狩獵免許稅

一等 所得稅二百圓以上を納むる者又は其の家族 金 五拾圓

二等 所得稅を納むる者又は其の家族 金 參拾圓

三等 一等及二等以外の者 金 五圓

▲酒稅

酒造稅

第一種 酒精分二十三度以下の濁酒 一石に付 金參拾六圓

第二種 酒精分二十三度以下の清酒、白酒及酒精分三十度以下の味噌、焼酎 一石に付 金四拾圓

第三種 酒精分三十度を超ゆる四十五度以下の焼酎 一石に付前號の金額に酒精分三十度を超ゆる一度毎に金壹



課税價格	遺産	相続	税率
五百萬圓を超える金額	千分の百三十	千分の百四十	千分の百六十
千圓以下	千分の十	千分の十二	千分の十七
千圓を超ゆる金額	千分の十二	千分の十四	千分の二十
一萬圓を超ゆる金額	千分の十四	千分の十七	千分の二十五
二萬圓を超ゆる金額	千分の十七	千分の二十	千分の三十
三萬圓を超ゆる金額	千分の二十	千分の二十五	千分の三十五
四萬圓を超ゆる金額	千分の二十五	千分の三十五	千分の四十五
五萬圓を超ゆる金額	千分の三十五	千分の四十五	千分の五十五
七萬圓を超ゆる金額	千分の四十五	千分の五十五	千分の六十五
十萬圓を超ゆる金額	千分の五十五	千分の六十五	千分の七十五
十五萬圓を超ゆる金額	千分の六十五	千分の七十五	千分の八十五
二十萬圓を超ゆる金額	千分の七十五	千分の八十五	千分の九十五
三十萬圓を超ゆる金額	千分の八十五	千分の九十五	千分の百
四十萬圓を超ゆる金額	千分の九十五	千分の百	千分の百
五十萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
七十萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
二百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
三百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
五百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百

第四種 圓五拾錢を加へたる金額

酒精及酒精含有飲料税 造石税 一石に付原容量百分中純酒精の容量一箇毎に 金壹圓八拾錢

麥酒税 一石に付 金貳拾五圓

第一種 玉ラムネ壺詰のもの 一石に付 金 七 圓

第二種 其の他の壺詰のもの 一石に付 金 拾 圓

第三種 壺詰以外のもの 炭酸瓦斯使用料一坵に付 金 參 圓

第一種 砂糖 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿

▲清凉飲料税

第一種 玉ラムネ壺詰のもの 一石に付 金 七 圓

第二種 其の他の壺詰のもの 一石に付 金 拾 圓

第三種 壺詰以外のもの 炭酸瓦斯使用料一坵に付 金 參 圓

▲砂糖消費税

第一種 砂糖 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿

甲 樽入白糖 百斤に付 壹 圓  
樽入白下糖但し分蜜したるもの、白下糖以外の砂糖に加工して製造したるもの及全部又は一部の新式機械に依り製造したるものを除く 百斤に付 貳 圓

甲 糖分を蔗糖として計算したる重量の百分の六十を超えざるもの 百斤に付 壹 圓  
乙 其他のもの 百斤に付 貳圓五拾錢  
三、糖水 百斤に付 七圓參拾五錢

▲印紙税

丙 其他のもの 百斤に付 貳圓五十錢  
第二種 砂糖色相和蘭標本第十八號未滿の砂糖 百斤に付 五 圓  
第三種 砂糖色相和蘭標本第二十一號未滿の砂糖 百斤に付 七圓參拾五錢  
第四種 砂糖色相和蘭標本第二十一號以上の砂糖 百斤に付 八圓參拾五錢  
第五種 米砂糖、角砂糖、棒砂糖其他類 似のもの 百斤に付 拾 圓

二、糖蜜 第一種 米砂糖を製造する時に生ずる糖蜜 糖分を蔗糖として計算したる重量全重量の百分の七十を超えざるも 百斤に付 參 圓

乙 其他のもの 糖分を蔗糖として計算したる重量百斤に付 八圓參拾五錢の割合を以て算出したる金額

第二種 其他の糖蜜

便覽——租稅稅率摘要

左に掲ぐる證書、帳簿に關しては證書は一冊毎に、帳簿は一冊一年以内の附込に對し不動産、鐵道財團、軌道財團又は船舶の所有權移轉に關する證書  
消費貸借に關する證書  
請負に關する證書  
運送に關する證書  
備給契約書  
委任狀  
約束手形  
爲替手形  
銀行預金證書  
産業組合又は産業組合聯合會

の發する貯金證書  
産業組合聯合會、重要輸出品工業組合、重要輸出品工業組合聯合會又は輸出組合の發する出資證書  
船荷證券  
運送貨物引換證  
倉庫證券  
保險證券  
債券  
相互保險會社の發する基金證券、株式申込證  
地上權、永小作權又は地役權に關する證書  
使用貸借、賃貸借、雇傭、寄託又は定期金に關する證書  
信託行爲に關する證書  
無盡に關する證書  
定款又は組合契約書  
權利の變更に關する證書  
追認又は承認に關する證書  
物品切手  
受取書  
質權、抵當權に關する證書  
前各號以外の證書、預金通帳



預金通帳以外の通帳 五拾錢  
刃取帳 五拾錢

▲骨牌稅

一組毎に 麻雀 三圓、其の他 五拾錢

▲登録稅

(一)不動産に關する登記(第二條)

- 一 相續に因る所有權の取得  
不動産價格 千分の五
- 二 遺言、贈與其他無償名義に因る所得權の取得  
不動産價格 千分の四十五  
但し神社、寺院、祠宇、佛堂又は民法第三十四條に依り設立したる法人が無償名義又は寄附行為に因り所有權を取得したるときは  
不動産價格 千分の二十五
- 三 前各號以外の原因に因る所有權の取得  
不動産價格 千分の三十三
- 四 所有權の保存  
不動産價格 千分の五
- 五 共有物の分割  
分割に因りて受くる不動産の價格 千分の五
- 六 地上權、永小作權又は賃借權の取得  
千分の五

- イ 存續期間十年以下のもの  
不動産價格 千分の一
- ロ 同 二十年以下のもの  
不動産價格 千分の二
- ハ 同 三十年以下のもの  
不動産價格 千分の四
- ニ 同 五十年以下のもの  
不動産價格 千分の七
- ホ 同 七十年以下のもの  
不動産價格 千分の十
- ヘ 同 百年以下のもの  
不動産價格 千分の十五
- ト 同百年を超ゆるもの  
不動産價格 千分の二十
- チ 存續期間の定めなきもの  
不動産價格 千分の一
- リ 存續期間の定めなきものにして民法第二百六十八條若しくは第二百七十八條の規定の適用あるもの又は借地法第二條第一項の規定の適用あるもの  
不動産價格 千分の四
- ヌ 相續に因る取得にして存續期間三十年を超ゆるもの  
不動産價格 千分の五

- 除し其の殘期間を以て存續期間と看做す
- 七 地役權の取得  
要役地價格 千分の一
- 八 華族世襲財産の設定  
不動産價格 千分の二十五
- 九 先取特權の保存又は取得  
債權金額又は不動産工事費用豫算金額 千分の五・五
- 十 質權、抵當權の取得  
債權金額 千分の五・五
- 十一 信託の登記  
イ 所有權に付ては  
不動産價格 千分の四
- ロ 所有權以外の權利に付ては  
不動産價格 千分の二
- 十二 競賣、強制管理の申立  
債權金額 千分の五・五
- 十三 假差押、假處分  
債權金額 千分の四
- 十四 抵當ある債權の差押  
債權金額 千分の五・五
- 十五 相續財産の分離  
イ 所有權に付ては  
不動産價格 千分の五・五
- ロ 所有權以外の權利に付ては

(一)船舶に關する登記(第三條)

- 一 相續に因る所有權の取得  
船舶價格 千分の三
- 二 遺言、贈與其他無償名義に因る所有權の取得  
船舶價格 千分の三十五
- 三 前各號以外の原因に因る所有權の取得  
船舶價格 千分の三十三
- 四 委託  
船舶價格 千分の三

- 五 所有權の保存  
船舶價格 千分の三
- 六 質借權の取得  
船舶價格 千分の一
- 七 抵當權の取得  
債權金額 千分の五・五
- 八 信託の登記  
イ 所有權に付ては  
船舶價格 千分の三
- ロ 所有權以外の權利に付ては  
船舶價格 千分の一
- 九 競賣の申立  
債權金額 千分の五・五
- 十 假差押、假處分  
債權金額 千分の四
- 十一 抵當ある債權の差押  
債權金額 千分の五・五
- 十二 滯納處分以外の原因に因る權利の處分の制限にして特に掲げざるもの  
債權金額 千分の四
- 十三 登記證書を提出せずして受けたる特別登記簿の登記を登記簿に移す場合に於ける登記  
船舶每一箇 金 壹圓
- 十四 抹消したる登記の回復  
船舶每一箇 金 四拾錢
- 十五 假登記  
船舶每一箇 金 四拾錢

(三)信託財產たる不動産又は船舶を委託者より受託者に移す場合に於ける所有權取得の登記(第三條之二)

- 一 委託者が元本の歸屬權利者にして委託者以外の者又は委託者と委託者以外の者とのが収益の受益者なる信託  
不動産 不動産價格 千分の四
- イ 船舶 船舶價格 千分の三
- 二 委託者が収益の受益者にして委託者以外の者又は委託者と委託者以外の者とのが元本の受益者又は歸屬權利者なる信託にして信託財産の處分を目的とするもの  
不動産 不動産價格 千分の四十五
- イ 但し神社、寺院、祠宇、佛堂又は民法第三十四條に依り設立したる法人が元本の受益者又は歸屬權利者なるときは  
船舶 船舶價格 千分の三十五
- ロ 委託者以外の者又は委託者と委託者



以外の者とが元本の受益者又は歸屬權利者にして委託者以外の者又は委託者と委託者以外の者とが収益の受益者なる信託

イ 不動産 不動産價格 千分の四十五  
但し神社、寺院、祠宇、佛堂、又は民法第三十五條に依り設立したる法人が元本の受益者又は歸屬權利者なるときは 千分の二十五

ロ 船舶 船舶價格 千分の三十五  
前項第一號の信託に付信託の登記事項を變更したる爲前項第二號又は第三號の信託に該當するに至りたるときは其の變更の登記を以て受託者の所有權取得の登記と看做し前項第二號又は第三號の規定を適用す

(四)委託者が収益の受益者にして委託者以外の者又は委託者と委託者以外の者とが元本の受益者又は歸屬權利者なる信託にして信託財産たる不動産又は船舶の管理を目的とするものに付其の元本を受託者より受益者又は歸屬權利者に移す場合に於ける所有權取得の登記 (第三條の四)  
イ 不動産 不動産價格 千分の四十五  
但し神社、寺院、祠宇、佛堂又は

民法第三十四條に依り設立したる法人が元本の受益者又は歸屬權利者なるときは 千分の二十五

ロ 船舶 船舶價格 千分の三十五  
受託者より受益者又は歸屬權利者に不動産又は船舶を移す場合に於ける所有權取得の登記に付ては前項に該當する場合の外登録税を課せず

(五)鐵道抵當原簿又は軌道抵當原簿登録 (第三條の五)  
一 抵當權の取得 債權金額 千分の一

一の二 信託の登録 債權金額 千分の一  
二 強制競賣、強制管理の申立 債權金額 千分の一  
三 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金 貳圓

(六)工場財團登記簿、鐵業財團登記簿又は漁業財團登記簿の登記 (第三條の六)  
一 抵當權の取得 債權金額 千分の一

二 信託の登記 債權金額 千分の一  
三 競賣、強制管理の申立 債權金額 千分の一  
四 假差押、假處分 每一件 金 拾圓

債權金額 千分の一  
五 抵當ある債權の差押 債權金額 千分の一

六 滯納處分以外の原因に因る權利の處分の制限にして特に掲げざるもの 債權金額 千分の一

七 抹消したる登記の回復 每一件 金 貳圓

八 假登記 每一件 金 貳圓

九 附記登記 每一件 金 貳圓

十 登記の更正、變更又は抹消 每一件 金 貳圓

(七)船籍の登録 (第四條)

一 新規登録 每十噸 金 五拾錢  
二 轉籍 每十噸 金 拾錢  
三 除籍 每十噸 金 五錢  
四 登録の變更 船舶每一箇 金 拾錢

(八)商會社其の他營利を目的とする法人の登記 (第六條)  
一 合名會社、合資會社設立 財產を目的とする出資の價格 千分の五

二 合名會社、合資會社出資増加 財產を目的とする出資の價格 千分の五  
三 株式會社設立

廿六 登記の更生又は抹消 每一件 金 拾圓

廿七 合名會社、合資會社設立の取消 每一件 金 七圓

廿八 解散 每一件 金 七圓

廿九 清算人の選任又は變更 每一件 金 貳圓

三十 清算の結了 每一件 金 貳圓

(九)商業の新設其他に關する登記 (第六條の二)  
一 商號の新設又は取得 每一件 金 拾圓  
二 支配人の選任又は代理權の消滅 每一件 金 拾圓  
三 船舶管理人の選任又は代理權の消滅 每一件 金 拾圓  
四 商法第五條第七條に依る登記 每一件 金 五圓  
五 民法第七百九十四條第七百九十五條

拂込金額 千分の五

四 株式會社資本増加 増資拂込株金額 千分の五

五 株式會社第二回以後の株金拂込 毎回拂込株金額 千分の五

六 株式會社設立 拂込株金額及財產を目的とする株金以外の出資の價格 千分の五

七 株式會社資本増加 増資拂込株金額及財產を目的とする株金以外の出資の價格 千分の五

八 株式會社第二回以後の株金拂込 毎回拂込株金額 千分の五

九 合併又は組織變更に因る會社の設立 拂込株金額及財產を目的とする株金以外の出資の價格 千分の五

十 合併に因る會社資本の増加 増資拂込株金額及財產を目的とする株金以外の出資の價格 千分の五



- 及第七百九十七條に依る登記 每一件 金五圓
- 六 登記事項の變更消滅又は廢止 每一件 金貳圓
- 七 登記の更正又は抹消 每一件 金貳圓
- 支店所在地に於て前各號の登記を受くるときは 每一件 金壹圓
- (十) 辯護士名簿の登録(第七條)
  - 一 新規登録 金貳拾圓
  - 二 登録換 金拾圓
  - 三 取消の請求 金壹圓
- (十一) 醫師其他の官簿登録(第八條)
  - 一 新規登録
    - イ 醫師 金貳拾圓
    - ロ 藥劑師 金拾貳圓
    - ハ 獸醫 金拾貳圓
    - ニ 蹄鐵工 金五圓
    - ホ 假業醫師 金五圓
    - ヘ 假免許蹄鐵工 金參圓
    - ト 假免許蹄鐵工 金壹圓
  - 二 登録事項の變更 每一件 金五拾錢
  - (十二) 海員の官簿登録(第九條)
    - 一 新規登録 金拾五圓
    - イ 甲種船長

- 甲種一等運轉士 金拾圓
- ハ 甲種二等運轉士 金拾圓
- ニ 乙種船長 金拾圓
- ホ 乙種一等運轉士 金拾圓
- ヘ 乙種二等運轉士 金拾圓
- ト 丙種船長 金拾圓
- チ 丙種運轉士 金拾圓
- リ 機關長 金拾圓
- ヌ 一等機關士 金拾圓
- ル 二等機關士 金拾圓
- ヲ 三等機關士 金拾圓
- ワ 水先人 金拾圓
- 二 登録事項の變更 每一件 金五拾錢
- (十三) 著作權に關する登録(第十條)
  - 一 著作權の移轉
    - イ 相續 每一件 金壹圓
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金五圓
  - 二 著作權を目的とする質權の設定 債權金額 千分の五・五
  - 三 前號の權利の移轉
    - イ 相續 每一件 金五拾錢
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金壹圓
  - 四 無名又は變名著作物の著作者の實名登録 每一件 金貳圓

- 四の二 信託の登録 每一件 金壹圓
- 五 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢
- (十四) 特許に關する登録(第十一條)
  - 一 特許權の移轉
    - イ 相續 每一件 金壹圓
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金壹圓
  - 二 實施權の設定又は保存 每一件 金五圓
  - 三 前二號の權利を目的とする質權の設定 債權金額 千分の五・五
  - 四 前二號の權利の移轉
    - イ 相續 每一件 金五拾錢
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金貳圓
  - 五 信託の登録 每一件 金貳圓
  - 六 帶納處分以外の原因に因る第一號乃至第三號の權利の處分の制限 債權金額 千分の四
  - 七 代理人の選任又は代理權の登録 每一件 金五拾錢
  - 八 抹消したる登録の回復 每一件 金五拾錢
  - 九 假登録 每一件 金五拾錢
  - 十 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金五拾錢

- (十二) 意匠に關する登録(第十二條)
  - 一 意匠權の移轉
    - イ 相續 每一件 金壹圓
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金貳圓
  - 二 實施權の設定又は保存 每一件 金壹圓
  - 三 前二號の權利を目的とする質權の設定 債權金額 千分の五・五
  - 四 前二號の權利の移轉
    - イ 相續 每一件 金五拾錢
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金壹圓
  - 五 信託の登録 每一件 金壹圓
  - 六 帶納處分以外の原因に因る第一號乃至第三號の權利の處分の制限 債權金額 千分の四
  - 七 代理人の選任又は代理權の登録 每一件 金五拾錢
  - 八 抹消したる登録の回復 每一件 金五拾錢
  - 九 假登録 每一件 金五拾錢
  - 十 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢
- (六) 實用新案に關する登録(第十二條の二)
  - 一 商標權の移轉 每一件 金壹圓

- 一 實用新案權の移轉
  - イ 相續 每一件 金壹圓
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金五圓
- 二 實施權の設定又は保存 每一件 金貳圓
- 三 前二號の權利を目的とする質權の設定 債權金額 千分の五・五
- 四 前二號の權利の移轉
  - イ 相續 每一件 金五拾錢
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金壹圓
- 五 信託の登録 每一件 金壹圓
- 六 帶納處分以外の原因に因る第一號乃至第三號の權利の處分の制限 債權金額 千分の四
- 七 代理人の選任又は代理權の登録 每一件 金五拾錢
- 八 抹消したる登録の回復 每一件 金五拾錢
- 九 假登録 每一件 金五拾錢
- 十 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢

- (七) 商標に關する登録(第十三條)
  - 一 商標權の移轉 每一件 金壹圓
- (八) 鐵業權に關する登録(第十四條)
  - 一 試掘權の設定 每一件 金百圓
  - 二 試掘權の變更
    - イ 増區又は増減區 每一件 金四拾五圓
    - ロ 減區 每一件 金拾圓
  - 三 試掘權の移轉
    - イ 相續 每一件 金拾圓
    - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金四拾五圓
  - 四 探掘權の設定
    - イ 新規登録 每一件 金貳百圓
    - ロ 鐵區合併 每一件 金五拾圓
    - ハ 鐵區分割 設定鐵區每一箇 金五拾圓
  - 五 探掘權の變更 五六五



- イ 鑛區訂正 每一件 金五拾圓
- ロ 増區又は増減區 每一件 金百圓
- ハ 減區 每一件 金貳拾圓
- ニ 探掘權の移轉 每一件 金貳拾圓
- イ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金百圓
- ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金百圓
- 七 抵當權の設定
  - イ 新規登録 債權金額 千分の五・五
  - ロ 鑛業法第三十五條第二項に基き爲したる承諾及協定に因る設定 每一件 金五圓
- 八 順位の變更に因る抵當權の變更 每一件 金拾圓
- 九 抵當權の移轉
  - イ 相續 每一件 金五圓
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金拾圓
- 十 信託の登録 每一件 金拾圓
- ニ 共同鑛業權者脱退 每一件 金五圓
- 三 帶納處分以外の原因に因る鑛業權又は抵當權の處分の制限 債權金額 千分の四
- ニ 廢業に因る鑛業權の消滅

- 四 抹消したる登録の回復 每一件 金五圓
- 五 假登録 每一件 金四拾錢
- 六 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢
- (一九)砂鑛に關する登録(第十五條)
  - 一 砂鑛權の設定
    - イ 新規登録
      - 採取區域河床每二里迄其他は每十萬坪迄 金拾五圓
      - 砂鑛合併 每一件 金參圓
      - 砂鑛區分割 設定砂鑛區每一箇 金參圓
    - 二 砂鑛權の變更
      - イ 増區
        - 採取區域河床每二里迄其他は每十萬坪迄 金拾五圓
        - 減區 每一件 金壹圓
        - 但し増區と同時に爲す減區に付ては此の限にあらざ
      - 三 砂鑛權の移轉
        - イ 相續 每一件 金五圓
        - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金拾五圓

- イ 新規登録 債權金額 千分の五・五
- ロ 砂鑛區の合併又は分割の出願に付砂鑛法に基き爲したる承諾又は協定に因る設定 每一件 金五圓
- 五 順位の變更に因る抵當權の變更 每一件 金拾圓
- 六 抵當權の移轉
  - イ 相續 每一件 金五圓
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金拾圓
- 七 信託の登録 每一件 金五圓
- 八 帶納處分以外の原因に因る砂鑛權又は抵當權の處分の制限 債權金額 千分の四
- 九 廢業に因る砂鑛權の消滅 每一件 金壹圓
- 十 抹消したる登録の回復 每一件 金四拾錢
- 二 假登録 每一件 金四拾錢
- 三 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢
- (二〇) 漁業權又は入漁權に關する登録(第十五條之二)
  - イ 相續 每一件 金壹圓

租稅納期摘要

- 一 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金五圓
- 二 漁業權の持分の移轉
  - イ 相續 每一件 金四拾錢
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金壹圓
- 三 入漁權の設定 每一件 金參圓
- 四 入漁權の保存 每一件 金五拾錢
- 五 入漁權の移轉
  - イ 相續 每一件 金五拾錢
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金貳圓
- 六 入漁權の持分の移轉
  - イ 相續 每一件 金貳拾錢
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金五拾錢

- 七 賃借權の取得
  - イ 相續 每一件 金五拾錢
  - ロ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金貳圓
- 八 先取特權の保存又は取得 債權金額又は工事費用豫算金額 千分の五・五
- 九 抵當權の設定又は移轉 債權金額 千分の五・五
  - イ 設定 債權金額 千分の五・五
  - ロ 相續 每一件 金壹圓
  - ハ 相續以外の原因に因る移轉 每一件 金貳圓
- 十 信託登録 每一件 金貳圓
- 二 假差押、假處分 債權金額 千分の五・五

- 二 抵當ある債權の差押 債權金額 千分の五・五
- 三 帶納處分以外の原因に因る權利の處分の制限にして特に掲げざるもの 債權金額 千分の四
- 四 抹消したる登録の回復 每一件 金四拾錢
- 五 假登録 每一件 金四拾錢
- 六 附記登録 每一件 金貳拾錢
- 七 登録の更正、變更又は抹消 每一件 金貳拾錢
- (二一) 法人の合併に因る不動産又は船舶に關する權利の取得(第十六條) 不動産又は船舶の價格 千分の三

月別	項目	租稅目	納期	期限
一	地所	租田宅地(第三種)租	前年第一期	前年三月三十一日限
一	地所	租田宅地(第三種)租	前年第二期	前年六月三十日限
一	地所	租田宅地(第三種)租	前年第三期	前年九月三十日限
二	地所	租田宅地(第三種)租	前年第一期	前年三月三十一日限
二	地所	租田宅地(第三種)租	前年第二期	前年六月三十日限
二	地所	租田宅地(第三種)租	前年第三期	前年九月三十日限
二	酒造	酒造稅	前年第一期	前年三月三十一日限
二	酒造	酒造稅	前年第二期	前年六月三十日限
二	酒造	酒造稅	前年第三期	前年九月三十日限

便覽——租稅率摘要











◎特殊取扱料

至急料 官報 通常電報料の二倍  
私報 通常電報料の三倍  
照校料 電報料の四分の一  
電報受信料 和文 十五字に相當する電報料に同じ  
報知料 歐文 五語に相當する電報料に同じ  
郵便受信報知料 三 錢

外國郵送料

支那に宛つるもの 二十三錢  
其他の外國に宛つるもの 二十六錢

時間外料

三十錢

別使配達料

別に告示する場合を除く外著信電信官署より二里以内は三十錢、二里を超ゆる時は一里迄毎に二十五錢を加ふ但し島嶼に配達するものは里程に拘らず三十錢とし配達實費之を越ゆるときは其の實費額による。

郵船配達料

別に告示する場合を除く外三十錢とし其の配達實費之を越ゆるときは其の實費額に依る

局渡料

局渡證票一箇に付、常時年額六圓、臨時月額六十錢

略號登記料

常時年額十二圓、臨時月額二十錢

配達先登記料

常時年額十二圓、臨時月額二十錢

閱覽料

五錢

正寫料

和文百字以内毎に 五錢  
歐文二十五語以内毎に 十錢

追尾、再送電報料

追尾、再送とも一回毎に新に差出したるものとして計算す

返信料前納

返信を受けんとするものは之に要する返信の電報料を前納することを得

電報託送料

一通に付三錢

▲日滿電報料

同文料 五十文字以内を増す毎に 十五錢

◎電報料

一、本邦内地、臺灣、樺太又は南洋ヤツプ島と關東州、滿鐵附屬地、滿洲國又は支那芝罘間  
官報 一語に付 六錢 私報 一語に付 八錢

二、朝鮮若は芝罘と關東州、滿鐵附屬地、若は滿洲國との間又は朝鮮と芝罘との間  
官報私報共 一語に付 六錢

◎新聞電報料

一、本邦内地、臺灣、樺太又は南洋ヤツプ島と關東州、滿鐵附屬地、滿洲國又は芝罘との間  
一語に付 三錢

二、朝鮮若は芝罘と關東州、滿鐵附屬地若は滿洲國との間又は朝鮮と芝罘との間  
一語に付 二錢

至急料 新聞電報料の二倍  
同文騰寫料 原信本文の語數に依り十語迄毎に十錢  
豫約新聞電報料

一、本邦内地、臺灣、樺太又は南洋ヤツプ島と關東州、滿鐵附屬地又は滿洲國との間  
百語以内 七百二十圓  
一豫約に付年額 二百語以内 一千二百六十圓  
三百語以内 一千八百圓

二、朝鮮と關東州、滿鐵附屬地又は滿洲國との間  
便覽——内國郵便電信電話略則

◎新聞電報料

内地間のもの 五十文字以内  
内地小笠原島間内地又は小笠原島と臺灣、樺太、朝鮮及南洋ヤツプ島間 二十五錢  
至急料 新聞電報料の二倍 三十五錢  
同文料 内地間五十文字以内十五錢、五十文字以内を増す毎に十錢、内地小笠原島間内地又は小笠原島と臺灣、樺太、朝鮮及南洋ヤツプ島間同二十錢、同十五錢

豫約新聞電報料(一豫約に付年額)

内地間のもの 五百字以内 四百八十圓  
一千五百字以内 八百四十圓  
内地小笠原島間内地又は小笠原島と臺灣、樺太、朝鮮及南洋ヤツプ島間 一千五百字以内 七百二十圓  
豫約同文料 豫約新聞電報料の半額に同じ 一千八百圓  
無線電報料 海岸局又は船舶局に於て取扱をなす毎に左の料金を課す

私官報及

和文 通常料 五十文字以内を増す毎に 二十五錢  
歐文 通常料 五十語以内を増す毎に 二十五錢  
同文料 一語を付す毎に 二十五錢

一豫約に付年額 百語以内 四百八十圓  
三百語以内 一千二百圓  
豫約新聞電報同文料 豫約新聞電報料の二分の一 八百四十圓

▲電話

◎電話使用料

度數料金制施行地 單獨加入 甲地 乙地 丙地 丁地  
共同線加入 三三 二九 二五 三一  
基本料年額 連接加入 一六 一六 一六 一六  
度數料 市内通話一度數毎に 三錢

◎加入登記料名義書換料及電話番號簿掲載料

均一料金 單獨加入 甲地 乙地 丙地 丁地 戊地 己地 庚地 辛地 壬地  
制施行地 共同線加入 六〇 八二 七四 六六 六〇 四〇  
年額 連接加入 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四 三四

◎附加使用料



特別加入	加入者	加入者
長距離通話用電話機	區域外加入者	區域內加入者
一個毎に年額	十圓	四十圓
卓上電話機	十圓	四十圓
一個毎に年額	七圓	五十圓
甲	十圓	四十圓
乙	十圓	四十圓

◎土地種別  
 甲地 東京  
 乙地 大阪  
 丙地 京都、名古屋、神戸  
 丁地 横濱  
 戊地 福岡、小樽、金澤、和歌山、岡山、下關、長崎、札幌、函館、仙臺、新潟、静岡、鹿児島、熊本、濱松、大森、岐阜、堺、御影、甲府、豊橋

富山、徳島、門司、福井、高知、旭川、松本、西宮、福知山、宇都宮、荏原、姫路、高松、吳、長岡（已地以下略）

▲内臺電話通話料  
 普通通話料 一通話毎に六圓  
 至急通話料 普通通話料の二倍  
 定時通話料 普通通話料の四倍  
 通話取消料 毎回定時通話八十錢、其の他の通話三十錢  
 通話は三通話迄繼續することを得

▲日滿無線電報料  
 一、別に定むるものを除くの外  
 通常料（官報及私報） 一語に付 二五錢  
 二、艦船發着日滿無線電報の有線電信系上の傳送に對し左の有線電報料を課す  
 電報に付 官報及私報 六錢 新聞電報 二錢

各國貨幣

國名	貨幣	換算
英國	鎊	九・六三三
美國	ドル	〇・四八三
法國	フラン	〇・〇四七
德國	マルク	〇・〇〇二
日本	圓	一・〇〇〇
蘇聯	ルーブル	〇・〇〇二
印度	ルピーヤ	〇・〇〇二
暹羅	バツ	〇・〇〇二
菲律賓	ピソ	〇・〇〇二
暹羅	クワン	〇・〇〇二
暹羅	シリング	〇・〇〇二
暹羅	セディン	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	〇・〇〇二
暹羅	ニ	〇・〇〇二
暹羅	ハ	〇・〇〇二
暹羅	ヒ	〇・〇〇二
暹羅	フ	〇・〇〇二
暹羅	ボ	〇・〇〇二
暹羅	ト	〇・〇〇二
暹羅	ク	〇・〇〇二
暹羅	ロ	



段	九・九一七三五アール	二・四五〇六平方鎖
町	〇・九七五五ヘクタール	二・四五〇六平方鎖
平方里	一五・四二三四七平方料	五・九五五五平方哩
立方里	〇・〇五五四三五勾	〇・〇六一〇三立方方吋
立方メートル	五・五四三五二石	二・八三七六米アツセル
ミリリットル	〇・〇五五四三五勾	〇・〇六一〇三立方方吋
リットル	五・五四三五二石	二・八三七六米アツセル
キロリットル	〇・一八〇三九一立	〇・四七六五米米噸
合	一八・〇三九一立	四・七六五三九米噸
斗	〇・八〇三九一立	五・一九三三米アツセル
石	二・五二〇一四升	四・五四六九立
ガロン	二・〇九八四六升	三・七八五四立
ブツセル	二・〇一六一一斗	三・六三六八七立
オンス(液量)	一・九五三四七斗	三・五二三九二八立
オンス(重量)	〇・一六三九四合	〇・〇二九五七三立
ミリグラム	〇・二六六六六七毛	〇・二五三三三ゲレーン
センチグラム	〇・二六六六六七厘	〇・二五三三三ゲレーン
グラム	〇・二六六六六七匁	〇・二五三三三ゲレーン
キログラム	〇・二六六六六七貫	二・二〇四五九封度
トン	二六六・六六六七貫	〇・九四二九重噸(英)
短	三・七五グラム	〇・一三二二六オンス
斤	六〇〇グラム	一・三二二七五封度
貫	三・七五匁	八・二六七一九封度

メートル法換算法

米を町(長さ)に直すには  
 一割引いて百で割る  
 二割加へて四で割る  
 米を里に直すには  
 二割加へて四で割る  
 八倍して三で割る  
 米を町に直すには  
 二倍して五で割る  
 一割加へて三で割る  
 一割加へる  
 二十で割る  
 五倍して八で割る  
 一割引いて三で割る  
 一分を加へる  
 一分を加へる  
 五倍して九で割る  
 五分加へて四で割る  
 五割を加へて百で割る  
 五分加へて三十で割る  
 一割加へて二倍する

正数に對する誤差

噸を英噸に直すには  
 二倍引く  
 尺を米に直すには  
 三割引いて十で割る  
 間を米に直すには  
 一割加へて二倍する  
 町(長さ)を米に直すには  
 一割加へて百倍する  
 里を米に直すには  
 三割加へて三倍する  
 餘尺を米に直すには  
 五割加へて四で割る  
 吋を米に直すには  
 五倍して二で割る  
 呎を米に直すには  
 三倍して十で割る  
 碼を米に直すには  
 一割引く  
 鎰を米に直すには  
 二十倍する  
 哩を米に直すには  
 八倍して五で割る  
 坪を平方米に直すには  
 一割加へて三倍する  
 畝をアールに直すには  
 一分引く  
 町(面積)をヘクタールに直すには  
 一分引く  
 升を立に直すには  
 九倍して五で割る  
 噸を立に直すには  
 五分引いて四で割る

千分の四  
 千分の二  
 千分の二  
 千分の六  
 千分の六  
 千分の六  
 千分の十  
 千分の七  
 千分の十  
 千分の六  
 千分の六  
 千分の二  
 千分の二  
 千分の二  
 千分の二  
 千分の二  
 千分の二

ゲレーンを瓦に直すには  
 三割加へて五十倍する  
 オンスを瓦に直すには  
 五分引いて三十倍する  
 封度を瓦に直すには  
 一割引いて二で割る  
 英噸を噸に直すには  
 二分加へる  
 右は概數を得る換算法で、正確なる數を出すものでなく、一の便法であるから正數に對して少し宛の誤差がある。表に掲げたものは千分の一未満は四捨五入してある。

△速算

メートルを間に直すには  
 一割を加へて二で割る  
 メートルを尺に直すには  
 一割を加へて三倍する  
 貫をキログラムに直すには  
 四で割つて十五倍する  
 キログラムを貫に直すには  
 二割引いて三で割る  
 キログラムを斤に直すには  
 五倍して三で割る  
 斤をキログラムに直すには  
 五で割つて三倍する、又は〇・六を掛ける

攝氏華氏寒暖計比較表

攝氏	華氏	攝氏	華氏	攝氏	華氏
〇	三二・〇	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
一	三三・八	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
二	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
三	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
四	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
五	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
六	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
七	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
八	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
九	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八
一〇	三五・六	三三・〇	九一・四	三六・〇	九六・八

備考 華氏を攝氏に換へるにはその度から三二を引いたものに5/9を掛ければよくまた攝氏を華氏に換へるには攝氏の度を二倍してその一割を引きこれに三二を加へればよい。



利息制限法 (大正八年改正)

第一條 凡そ金銀貸借上の利息を分て契約上の利息と法律上の利息とす

第二條 契約上の利息とは人民相互の契約を以て定め得べき所の利息にして元金百圓未満は一箇年に付百分の十五(一割五分)百圓以上千圓未満は百分の十二(一割二分)千圓以上百分の十(一割)以下とす若し此制限を超過する分は裁判上無効のものとし各その制限にまで引直さしむべし

第三條 削除

第四條 第二條により定限利息の外總て人民相互の契約を以て金銀貸借等の名目を用る者あるとも總て裁判上無効の者とす

第五條 返還期限を違ふるときは債主よ

り債主に對し若干の償金罰金違約金料等を差出すべきことを約定することあるも概して損害の補償と看做し裁判官に於て該債主の事實受けたる損害の補償に不當なりと思量するときは之れに相當の減少を爲すことを得

海里を哩に換算表

元金	一箇年	一箇月	一日
100	1.151	1.151	1.151
200	2.302	2.302	2.302
300	3.453	3.453	3.453
400	4.604	4.604	4.604
500	5.755	5.755	5.755
600	6.906	6.906	6.906
700	8.057	8.057	8.057
800	9.208	9.208	9.208
900	10.359	10.359	10.359
1000	11.510	11.510	11.510

利子早見表

元金	年二割の利息 即百分の二十 (十五兩一分)			年一割五分の利息 即百分の十五 (二十兩一分)			年一割二分の利息 即百分の十二 (二十五兩一分)		
	一箇年	一箇月	一日	一箇年	一箇月	一日	一箇年	一箇月	一日
100	20.000	1.667	0.017	15.000	1.250	0.013	12.000	1.000	0.010
200	40.000	3.333	0.033	30.000	2.500	0.027	24.000	2.000	0.020
300	60.000	5.000	0.050	45.000	3.750	0.040	36.000	3.000	0.030
400	80.000	6.667	0.067	60.000	5.000	0.053	48.000	4.000	0.040
500	100.000	8.333	0.083	75.000	6.250	0.063	60.000	5.000	0.050
600	120.000	10.000	0.100	90.000	7.500	0.077	72.000	6.000	0.060
700	140.000	11.667	0.117	105.000	8.750	0.087	84.000	7.000	0.070
800	160.000	13.333	0.133	120.000	10.000	0.100	96.000	8.000	0.080
900	180.000	15.000	0.150	135.000	11.250	0.113	108.000	9.000	0.090
1000	200.000	16.667	0.167	150.000	12.500	0.125	120.000	10.000	0.100

單利積算表 (元金一圓に付)

年次	年									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
五分	0.020	0.040	0.060	0.080	0.100	0.120	0.140	0.160	0.180	0.200
六分	0.024	0.048	0.072	0.096	0.120	0.144	0.168	0.192	0.216	0.240
七分	0.028	0.056	0.084	0.112	0.140	0.168	0.196	0.224	0.252	0.280
八分	0.032	0.064	0.096	0.128	0.160	0.192	0.224	0.256	0.288	0.320
九分	0.036	0.072	0.108	0.144	0.180	0.216	0.252	0.288	0.324	0.360
一分	0.040	0.080	0.120	0.160	0.200	0.240	0.280	0.320	0.360	0.400
一分二分	0.044	0.088	0.132	0.176	0.220	0.264	0.308	0.352	0.396	0.440
一分三分	0.048	0.096	0.144	0.192	0.240	0.288	0.336	0.384	0.432	0.480
一分四分	0.052	0.104	0.156	0.208	0.264	0.320	0.376	0.432	0.488	0.544
一分五分	0.056	0.112	0.168	0.224	0.280	0.336	0.392	0.448	0.504	0.560
一分六厘	0.060	0.120	0.180	0.240	0.300	0.360	0.420	0.480	0.540	0.600
一分七厘	0.064	0.128	0.192	0.256	0.320	0.384	0.448	0.512	0.576	0.640
一分八厘	0.068	0.136	0.204	0.272	0.344	0.408	0.472	0.536	0.600	0.664
一分九厘	0.072	0.144	0.216	0.288	0.368	0.432	0.496	0.560	0.624	0.688
二分	0.076	0.152	0.228	0.304	0.392	0.456	0.520	0.584	0.648	0.712
二分一分	0.080	0.160	0.240	0.320	0.416	0.480	0.544	0.608	0.672	0.736
二分二分	0.084	0.168	0.252	0.336	0.440	0.504	0.568	0.632	0.696	0.760
二分三分	0.088	0.176	0.264	0.352	0.464	0.528	0.592	0.656	0.720	0.784
二分四厘	0.092	0.184	0.276	0.368	0.488	0.552	0.616	0.680	0.744	0.808
二分五厘	0.096	0.192	0.288	0.384	0.512	0.576	0.640	0.704	0.768	0.832
二分六厘	0.100	0.200	0.300	0.400	0.536	0.600	0.664	0.728	0.792	0.856
二分七厘	0.104	0.208	0.312	0.416	0.560	0.624	0.688	0.752	0.816	0.880
二分八厘	0.108	0.216	0.324	0.432	0.584	0.648	0.712	0.776	0.840	0.904
二分九厘	0.112	0.224	0.336	0.448	0.608	0.672	0.736	0.800	0.864	0.928
三分	0.116	0.232	0.348	0.464	0.632	0.696	0.760	0.824	0.888	0.952
三分一分	0.120	0.240	0.360	0.480	0.656	0.720	0.784	0.848	0.912	0.976
三分二分	0.124	0.248	0.372	0.496	0.680	0.744	0.808	0.872	0.936	1.000
三分三分	0.128	0.256	0.384	0.512	0.704	0.768	0.832	0.896	0.960	1.024
三分四厘	0.132	0.264	0.396	0.528	0.728	0.792	0.856	0.920	0.984	1.048
三分五厘	0.136	0.272	0.408	0.544	0.752	0.816	0.880	0.944	1.008	1.072
三分六厘	0.140	0.280	0.420	0.560	0.776	0.840	0.904	0.968	1.032	1.096
三分七厘	0.144	0.288	0.432	0.576	0.800	0.864	0.928	0.992	1.056	1.120
三分八厘	0.148	0.296	0.444	0.592	0.824	0.888	0.952	1.016	1.080	1.144
三分九厘	0.152	0.304	0.456	0.608	0.848	0.912	0.976	1.040	1.104	1.168
四分	0.156	0.312	0.468	0.624	0.872	0.936	1.000	1.064	1.128	1.192
四分一分	0.160	0.320	0.480	0.640	0.896	0.960	1.024	1.088	1.152	1.216
四分二分	0.164	0.328	0.492	0.656	0.920	0.984	1.048	1.112	1.176	1.240
四分三分	0.168	0.336	0.504	0.672	0.944	1.008	1.072	1.136	1.200	1.264
四分四厘	0.172	0.344	0.516	0.688	0.968	1.032	1.096	1.160	1.224	1.288
四分五厘	0.176	0.352	0.528	0.704	0.992	1.056	1.120	1.184	1.248	1.312
四分六厘	0.180	0.360	0.540	0.720	1.016	1.080	1.144	1.208	1.272	1.336
四分七厘	0.184	0.368	0.552	0.736	1.040	1.104	1.168	1.232	1.296	1.360
四分八厘	0.188	0.376	0.564	0.752	1.064	1.128	1.192	1.256	1.320	1.384
四分九厘	0.192	0.384	0.576	0.768	1.088	1.152	1.216	1.280	1.344	1.408
五分	0.196	0.392	0.588	0.784	1.112	1.176	1.240	1.304	1.368	1.432



**日歩を年利に換算表** (換算法は日歩を三百六十五倍して元金に對する割合を算出したもので、繰位未滿は切捨てゝある)

日歩	年利	日歩	年利	日歩	年利	日歩	年利
0.005	0.1575	0.010	0.3150	0.015	0.4725	0.020	0.6300
0.006	0.1890	0.011	0.35175	0.016	0.5280	0.021	0.68625
0.007	0.2205	0.012	0.3825	0.017	0.5835	0.022	0.7425
0.008	0.2520	0.013	0.41325	0.018	0.6390	0.023	0.79875
0.009	0.2835	0.014	0.4440	0.019	0.6945	0.024	0.8550
0.010	0.3150	0.015	0.47475	0.020	0.7500	0.025	0.91125
0.011	0.3465	0.016	0.5055	0.021	0.8055	0.026	0.9675
0.012	0.3780	0.017	0.53625	0.022	0.8610	0.027	1.02375
0.013	0.4095	0.018	0.5670	0.023	0.9165	0.028	1.0800
0.014	0.4410	0.019	0.59775	0.024	0.9720	0.029	1.13625
0.015	0.4725	0.020	0.6285	0.025	1.0275	0.030	1.1925
0.016	0.5040	0.021	0.65925	0.026	1.0830	0.031	1.24875
0.017	0.5355	0.022	0.6900	0.027	1.1385	0.032	1.3050
0.018	0.5670	0.023	0.72075	0.028	1.1940	0.033	1.36125
0.019	0.5985	0.024	0.7515	0.029	1.2495	0.034	1.4175
0.020	0.6300	0.025	0.78225	0.030	1.3050	0.035	1.47375
0.021	0.6615	0.026	0.8130	0.031	1.3605	0.036	1.5300
0.022	0.6930	0.027	0.84375	0.032	1.4160	0.037	1.58625
0.023	0.7245	0.028	0.8745	0.033	1.4715	0.038	1.6425
0.024	0.7560	0.029	0.90525	0.034	1.5270	0.039	1.69875
0.025	0.7875	0.030	0.9360	0.035	1.5825	0.040	1.7550
0.026	0.8190	0.031	0.96675	0.036	1.6380	0.041	1.81125
0.027	0.8505	0.032	0.9975	0.037	1.6935	0.042	1.8675
0.028	0.8820	0.033	1.02825	0.038	1.7490	0.043	1.92375
0.029	0.9135	0.034	1.0590	0.039	1.8045	0.044	1.9800
0.030	0.9450	0.035	1.08975	0.040	1.8600	0.045	2.03625
0.031	0.9765	0.036	1.1205	0.041	1.9155	0.046	2.0925
0.032	1.0080	0.037	1.15125	0.042	1.9710	0.047	2.14875
0.033	1.0395	0.038	1.1820	0.043	2.0265	0.048	2.2050
0.034	1.0710	0.039	1.21275	0.044	2.0820	0.049	2.26125
0.035	1.1025	0.040	1.2435	0.045	2.1375	0.050	2.3175
0.036	1.1340	0.041	1.27425	0.046	2.1930	0.051	2.37375
0.037	1.1655	0.042	1.3050	0.047	2.2485	0.052	2.4300
0.038	1.1970	0.043	1.33575	0.048	2.3040	0.053	2.48625
0.039	1.2285	0.044	1.3665	0.049	2.3595	0.054	2.5425
0.040	1.2600	0.045	1.39725	0.050	2.4150	0.055	2.59875
0.041	1.2915	0.046	1.4280	0.051	2.4705	0.056	2.6550
0.042	1.3230	0.047	1.45875	0.052	2.5260	0.057	2.71125
0.043	1.3545	0.048	1.4895	0.053	2.5815	0.058	2.7675
0.044	1.3860	0.049	1.52025	0.054	2.6370	0.059	2.82375
0.045	1.4175	0.050	1.5510	0.055	2.6925	0.060	2.8800
0.046	1.4490	0.051	1.58175	0.056	2.7480	0.061	2.93625
0.047	1.4805	0.052	1.6125	0.057	2.8035	0.062	2.9925
0.048	1.5120	0.053	1.64325	0.058	2.8590	0.063	3.04875
0.049	1.5435	0.054	1.6740	0.059	2.9145	0.064	3.1050
0.050	1.5750	0.055	1.70475	0.060	2.9700	0.065	3.16125
0.051	1.6065	0.056	1.7355	0.061	3.0255	0.066	3.2175
0.052	1.6380	0.057	1.76625	0.062	3.0810	0.067	3.27375
0.053	1.6695	0.058	1.7970	0.063	3.1365	0.068	3.3300
0.054	1.7010	0.059	1.82775	0.064	3.1920	0.069	3.38625
0.055	1.7325	0.060	1.8585	0.065	3.2475	0.070	3.4425
0.056	1.7640	0.061	1.88925	0.066	3.3030	0.071	3.49875
0.057	1.7955	0.062	1.9200	0.067	3.3585	0.072	3.5550
0.058	1.8270	0.063	1.95075	0.068	3.4140	0.073	3.61125
0.059	1.8585	0.064	1.9815	0.069	3.4695	0.074	3.6675
0.060	1.8900	0.065	2.01225	0.070	3.5250	0.075	3.72375
0.061	1.9215	0.066	2.0430	0.071	3.5805	0.076	3.7800
0.062	1.9530	0.067	2.07375	0.072	3.6360	0.077	3.83625
0.063	1.9845	0.068	2.1045	0.073	3.6915	0.078	3.8925
0.064	2.0160	0.069	2.13525	0.074	3.7470	0.079	3.94875
0.065	2.0475	0.070	2.1660	0.075	3.8025	0.080	4.0050
0.066	2.0790	0.071	2.19675	0.076	3.8580	0.081	4.06125
0.067	2.1105	0.072	2.2275	0.077	3.9135	0.082	4.1175
0.068	2.1420	0.073	2.25825	0.078	3.9690	0.083	4.17375
0.069	2.1735	0.074	2.2890	0.079	4.0245	0.084	4.2300
0.070	2.2050	0.075	2.31975	0.080	4.0800	0.085	4.28625
0.071	2.2365	0.076	2.3505	0.081	4.1355	0.086	4.3425
0.072	2.2680	0.077	2.38125	0.082	4.1910	0.087	4.39875
0.073	2.2995	0.078	2.4120	0.083	4.2465	0.088	4.4550
0.074	2.3310	0.079	2.44275	0.084	4.3020	0.089	4.51125
0.075	2.3625	0.080	2.4735	0.085	4.3575	0.090	4.5675
0.076	2.3940	0.081	2.50425	0.086	4.4130	0.091	4.62375
0.077	2.4255	0.082	2.5350	0.087	4.4685	0.092	4.6800
0.078	2.4570	0.083	2.56575	0.088	4.5240	0.093	4.73625
0.079	2.4885	0.084	2.5965	0.089	4.5795	0.094	4.7925
0.080	2.5200	0.085	2.62725	0.090	4.6350	0.095	4.84875
0.081	2.5515	0.086	2.6580	0.091	4.6905	0.096	4.9050
0.082	2.5830	0.087	2.68875	0.092	4.7460	0.097	4.96125
0.083	2.6145	0.088	2.7195	0.093	4.8015	0.098	5.0175
0.084	2.6460	0.089	2.75025	0.094	4.8570	0.099	5.07375
0.085	2.6775	0.090	2.7810	0.095	4.9125	0.100	5.1300
0.086	2.7090	0.091	2.81175	0.096	4.9680	0.101	5.18625
0.087	2.7405	0.092	2.8425	0.097	5.0235	0.102	5.2425
0.088	2.7720	0.093	2.87325	0.098	5.0790	0.103	5.29875
0.089	2.8035	0.094	2.9040	0.099	5.1345	0.104	5.3550
0.090	2.8350	0.095	2.93475	0.100	5.1900	0.105	5.41125
0.091	2.8665	0.096	2.9655	0.101	5.2455	0.106	5.4675
0.092	2.8980	0.097	2.99625	0.102	5.3010	0.107	5.52375
0.093	2.9295	0.098	3.0270	0.103	5.3565	0.108	5.5800
0.094	2.9610	0.099	3.05775	0.104	5.4120	0.109	5.63625
0.095	2.9925	0.100	3.0885	0.105	5.4675	0.110	5.6925
0.096	3.0240	0.101	3.11925	0.106	5.5230	0.111	5.74875
0.097	3.0555	0.102	3.1500	0.107	5.5785	0.112	5.8050
0.098	3.0870	0.103	3.18075	0.108	5.6340	0.113	5.86125
0.099	3.1185	0.104	3.2115	0.109	5.6895	0.114	5.9175
0.100	3.1500	0.105	3.24225	0.110	5.7450	0.115	5.97375

**年利を日歩に換算表** (換算法は年利を三百六十五分し百圓に對する一日分を算出したもので、毛位未滿は四捨五入してある)

年利	日歩	年利	日歩	年利	日歩	年利	日歩
0.005	0.001575	0.010	0.003150	0.015	0.004725	0.020	0.006300
0.006	0.001890	0.011	0.0035175	0.016	0.005280	0.021	0.0068625
0.007	0.002205	0.012	0.003825	0.017	0.005835	0.022	0.007425
0.008	0.002520	0.013	0.0041325	0.018	0.006390	0.023	0.0079875
0.009	0.002835	0.014	0.004440	0.019	0.006945	0.024	0.008550
0.010	0.003150	0.015	0.0047475	0.020	0.007500	0.025	0.0091125
0.011	0.003465	0.016	0.005055	0.021	0.008055	0.026	0.009675
0.012	0.003780	0.017	0.0053625	0.022	0.008610	0.027	0.0102375
0.013	0.004095	0.018	0.005670	0.023	0.009165	0.028	0.010800
0.014	0.004410	0.019	0.0059775	0.024	0.009720	0.029	0.0113625
0.015	0.004725	0.020	0.006285	0.025	0.010275	0.030	0.011925
0.016	0.005040	0.021	0.0065925	0.026	0.010830	0.031	0.0124875
0.017	0.005355	0.022	0.006900	0.027	0.011385	0.032	0.013050
0.018	0.005670	0.023	0.0072075	0.028	0.011940	0.033	0.0136125
0.019	0.005985	0.024	0.007515	0.029	0.012495	0.034	0.014175
0.020	0.006300	0.025	0.0078225	0.030	0.013050	0.035	0.0147375
0.021	0.006615	0.026	0.008130	0.031	0.013605	0.036	0.015300
0.022	0.006930	0.027	0.0084375	0.032	0.014160	0.037	0.0158625
0.023	0.007245	0.028	0.008745	0.033	0.014715	0.038	0.016425
0.024	0.007560	0.029	0.0090525	0.034	0.015270	0.039	0.0169875
0.025	0.007875	0.030	0.009360	0.035	0.015825	0.040	0.017550
0.026	0.008190	0.031	0.0096675	0.036	0.016380	0.041	0.0181125
0.027	0.008505	0.032	0.009975	0.037	0.016935	0.042	0.018675
0.028	0.008820	0.033	0.0102825	0.038	0.017490	0.043	0.0192375
0.029	0.009135	0.034	0.010590	0.039	0.018045	0.044	0.019800
0.030	0.009450	0.035	0.0108975	0.040	0.018600	0.045	0.0203625
0.031	0.009765	0.036	0.011205	0.041	0.019155	0.046	0.020925
0.032	0.010080	0.037	0.0115125	0.042	0.019710	0.047	0.0214875
0.033	0.010395	0.038	0.011820	0.043	0.020265	0.048	0.022050
0.034	0.010710	0.039	0.0121275	0.044	0.020820	0.049	0.0226125
0.035	0.011025	0.040	0.012435	0.045	0.021375	0.050	0.023175
0.036	0.011340	0.041	0.0127425	0.046	0.021930	0.051	0.0237375
0.037	0.011655	0.042	0.013050	0.047	0.022485	0.052	0.024300
0.038	0.011970	0.043	0.01335				



十日 金毘羅神社初祭、初年兵入營  
 中旬 春場所大相撲  
 十一日 蔵豆粥開  
 十五日 小豆粥入  
 十六日 藪二十日正月  
 廿一日 川崎大師初詣  
 廿八日 不動初詣  
 ◇二月  
 四日 節分、舊正月朔日  
 五日 立 春  
 八日 針 供 養  
 十一日 紀元節、初午  
 十四日 深川八幡新年祭(十八日迄五日間  
 參詣者へ白羽矢の守を出す)  
 十五日 涅槃會、西行忌、火焚(嵯峨清涼寺)  
 廿一日 西新井大師開帳、雛市  
 廿八日 利久忌(茶人はを行ふ)  
 ◇三月  
 一日 雛を飾る  
 三日 雛 祭  
 六日 地 久 節  
 十日 陸軍記念日、金毘羅大祭  
 十五日 梅 若 忌  
 十八日 彼岸入り、池上本門寺開帳(廿八日迄)

廿一日 春季皇靈祭、大師詣  
 廿五日 北野天神御忌、蓮如忌  
 ◇四月  
 上旬 沙 干 狩  
 三日 神武天皇祭  
 四日 諸新聞休刊  
 六日 泉岳寺義士祭  
 八日 灌 佛 會  
 十一日 吉野花會式  
 十五日 聖德太子御忌、銃獵停止  
 十八日 東照宮大祭(上野、芝)  
 下旬 五月人形市  
 廿九日 天 長 節  
 三十日 靖國神社祭  
 ◇五月  
 一日 メーデー、幟を立て武者人形を飾る  
 三日 八十八夜  
 五日 端午の節句  
 初旬 鷹 鬨  
 八日 各所薬師開帳  
 十日 金毘羅神社開帳  
 中旬 牡丹、夏場所大相撲  
 十四日 東寺大供養  
 十五日 神田明神祭  
 下旬 藤

廿一日 見真大師除誕會  
 廿七日 海軍記念日  
 廿八日 各地不動尊開帳  
 ◇六月  
 一日 更衣(軍人警官夏服用)、多摩川  
 鮎漁解禁  
 上旬 花 菖 蒲  
 四日 光琳忌、六月會(傳教大師忌)  
 十日 時の記念日  
 十二日 入 梅  
 十五日 東京日枝祭  
 十七日 伊勢大神宮祭  
 廿一日 熱田祭(尾張)  
 廿二日 夏 至  
 廿四日 愛宕社四萬六千日、清正公忌日  
 廿八日 相州阿夫利神社祭  
 三十日 大 祓  
 ◇七月  
 一日 商家中元賣出し開始、富士山開、  
 水泳場開始、施餓鬼(十五日迄)  
 七日 七夕祭  
 十日 觀世音四萬六千日  
 十二日 草 市  
 十五日 盂蘭盆、中元  
 十六日 藪入、闍魔詣  
 十七日 京都祇園會

下旬 兩國花火  
 二十日 定 家 忌  
 廿一日 土用の入り  
 廿四日 土用丑の日  
 ◇八月  
 一日 八 朔  
 四日 北野天滿宮祭  
 八日 立 秋  
 十日 西 鶴 忌  
 十二日 王子神社槍祭  
 十六日 大文字火(京都如意岳)  
 十八日 堀之内妙法寺千部會(二十八日迄)  
 十九日 鎌倉圓覺寺蟲干(縦覽許可)、山城  
 愛宕山燈籠焚き  
 廿三日 鎌倉建長寺開山忌(二十六日蟲干  
 縦覽許可)  
 三十日 日韓併合記念日  
 ◇九月  
 一日 鎌倉圓覺寺開山忌  
 二日 二百十日  
 八日 上州太田吞龍開山忌  
 九日 重 陽 節  
 十一日 芝神明生姜市、日蓮上人法難會(相  
 州片瀨龍口寺)、空也忌  
 十五日 神田明神祭、横濱山王祭  
 十七日 鎌倉半僧坊大權現祭

十八日 豐國祭(京都)  
 十九日 正岡子規忌  
 廿一日 彼岸入り、六阿彌陀詣  
 廿四日 秋季皇靈祭  
 廿五日 龜戸神社大祭、鬼貫忌、諸新聞休刊  
 廿八日 各地不動尊開帳  
 ◇十月  
 一日 更衣(軍人警官冬服用)、各呉服  
 店冬着賣出  
 五日 達 磨 祭  
 十二日 池上本門寺會式  
 十三日 芭 蕉 忌  
 十五日 銃 獵 解 禁  
 十七日 神 嘗 祭  
 十九日 べつたら市(日本橋區大傳馬町)  
 二十日 夷 講  
 中旬 帝 展 開  
 廿二日 御取越、鞍馬火祭  
 廿三日 靖國神社祭  
 ◇十一月  
 一日 新 曆 賣 出  
 三日 明治節、明治神宮祭  
 五日 西の市(二の酉十七日、三の酉二  
 十九日)  
 八日 輔祭、火焚祭(伏見稻荷其他)  
 十一日 世界大戦平和克復記念祭

十五日 七五三祝、中山法華經寺會式  
 廿一日 大師講、近松巢林子忌  
 廿三日 新 嘗 祭  
 廿七日 品川千體梵神祭  
 三十日 滿期兵除隊  
 ◇十二月  
 五日 納の水天宮  
 十日 納の金毘羅  
 十四日 年の市(十四、十五深川八幡、十  
 七、十八淺草觀音、二十、二十一  
 神田明神、二十三日芝大神宮、廿  
 四日愛宕神社、廿五日平河天神、  
 湯島天神、二十八日薬研堀不動堂  
 三十、三十一日市内各所)  
 二十日 年賀郵便別扱(二十九日迄)  
 廿一日 納の大師詣  
 廿三日 冬 至  
 廿五日 大正天皇祭、クリスマス、蕪村忌  
 廿八日 納の不動詣  
 卅一日 大祓、年越の行事、除夜の鐘











文德 清和 陽成 光孝 宇多 醍醐 朱雀 村上 冷泉 圓融 花山

仁壽	齊衡	天安	貞觀	元慶	仁和	寬平	昌泰	延喜	延長	承平	天慶	天曆	天德	應和	康保	安和	天祿	天延	貞元	天元	永觀	寬和
一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二	一五二
八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二	八五二

一條 三條 後一條 後朱雀 後冷泉 後三條 白河 堀河

永延	永祚	正曆	長德	長保	長弘	長和	寬仁	治安	萬壽	長元	長曆	長久	寬德	永承	天喜	康平	治曆	延久	承保	承曆	永保	應德	寬治	嘉保	
一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七	一六四七
九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七	九八七

鳥羽 崇德 近衛 後白河 二條

永長	承德	康和	長治	嘉承	天仁	天永	永久	元永	保安	天治	大治	天承	長承	保延	永治	康治	天養	久安	仁平	久壽	保元	平治	永曆	
一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九	一七五九
一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六	一〇九六

高倉 安德 後鳥羽 土御門 順德 順德 仲恭 後堀河

應保	長寬	永萬	仁安	嘉應	承安	安元	治承	養和	壽永	(元曆)	文治	建久	正治	建仁	元久	建永	承元	建曆	建保	承久	貞應	元仁	嘉祿	安貞	
一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二	一八二
二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一

四條 後醍醐 後深草 龜山 後宇多 伏見 後伏見 後二條 花園

寬喜	貞永	天福	文曆	嘉禎	曆仁	延應	仁治	寬元	寶治	建長	康元	正嘉	正元	文應	弘長	文永	建治	弘安	正應	永仁	正安	乾元	嘉元	德治	延慶	
一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九	一八九
一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九	一三九

後醍醐 後村上 長慶 後龜山 後小松 稱光 後花園

應長	正和	文保	元應	元亨	正中	嘉曆	元德	元弘	建武	延元	興國	正平	建德	文中	天授	弘和	元中	明德	應永	正長	永享	嘉吉	文安	寶德	享德	
一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七	一九七
一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一	一三一







の中年一

の御用を松坂屋へ



屋坂松

皇紀西曆對照

後土御門	長祿	康正	後柏原	明應	延享	長享	文應	應仁	文正	寬正	長祿	康正
後奈良	享祿	大永	永正	文龜	明應	延享	長享	文應	應仁	文正	寬正	長祿
正親町	弘治	永祿	元龜	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應	
後陽成	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
後水尾	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
後水尾	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
明正	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
後光	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
明正	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				
後光	天正	文祿	慶長	元和	寬永	正保	慶安	承應				

後西	靈元	東山	中御門	櫻町	桃園	後櫻町	後桃園	光格	仁孝	孝明
萬治	延寶	天和	貞享	元祿	寶永	正徳	享保	元文	寬保	延享
寶曆	寬延	天明	安永	天明	寬政	享和	文化	文政	天保	弘化
嘉永	安政									
明曆	萬治	延寶	天和	貞享	元祿	寶永	正徳	享保	元文	寬保
二五二五	二五二八	二五三一	二五三三	二五三六	二五三九	二五四一	二五四四	二五四七	二五五〇	二五五三
一六五五	一六五八	一六六一	一六六三	一六六六	一六六九	一六七二	一六七五	一六七八	一七八一	一七八四

後小松	後圓融	崇光	光嚴	光明	今大	明正
康應	嘉慶	至德	永徳	康曆	永和	應安
貞治	康安	文和	觀應	貞和	康永	曆應
正慶	正應	康永	貞和	觀應	文和	延安
二五二〇	二五二二	二五二四	二五二六	二五二八	二五三〇	二五三二
一八六〇	一八六二	一八六四	一八六六	一八六八	一八九二	一九二〇

五九〇



# 孔雀印各種印刷機



商標工

株式會社 諸星代吉商店

諸星油墨公司	保土ヶ谷工場	横濱工場	奉天分行	名古屋支店	大阪支店	東京支店	本店
上海	横濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町	横濱市中區久保町千七百七十八番地	奉天	名古屋市東區大津町五丁目七番地	大阪市南區鍛冶屋町廿七番地	東京市京橋區東町二丁目	横濱市中區久保町千七百七十八番地
電話 蓬路	電話 長者町(3) 一六八九番	電話 長者町(3) 一五八六番	電話 城内(日) 四〇一五番	電話 東(4) 三六五七番 電話 名古屋 一七九六六番	電話 南 五二二二番 電話 大 六六五七六番	電話 京橋(56) 七〇二〇番 電話 東 四三〇〇八七番	電話 長者町(3) 一〇三三六番 電話 東 二四〇二五番
電話 北(4) 二四八三番	電話 五 二九四八三番	電話 一 四八三番	電話 門 一五番	電話 七 七番	電話 七 七番	電話 丁 七番	電話 番 番

# クラブ煉齒磨

齒磨は

是非！クラブ！！

○あなたの健康のために○



品質は世界的  
香味は近代的



各種印刷・和洋封筒

三優堂  
印刷部

東京・下谷・南稻荷町・五二  
電話 下谷 (83) 五六三七番

尖端を行く  
破格の廉價

彦三優堂商店

店主 高野彦三郎

三優堂  
紙部

紙截所 東京・向島・吾嬬町西四丁目・一  
紙部 東京・下谷・南稻荷町・五二

各種寸法・輪轉更紙

最新型の高級車を取揃へ  
親切迅速丁寧をモットー  
とし皆様の御用命をお待  
ちして居ります

料廉金

みくにタクシー

電話銀座 (57) 〇三九二

京橋區銀座數寄屋橋際



專賣特許

ゴムブランケット  
ゴムローラー  
印刷用ゴム製品

輪轉機用  
オフセット用  
活版用



東京市品川区東大崎  
株式會社  
金陽社

電話高輪一五一五番

專賣特許

膠性ローラー  
コンポーション  
ローラー諸材料

### 特色

- 一、自動鑄造機ニ使用スルモ殆ト永久使用ニ耐ユル事
- 一、不良種字ハ手入レ修正ノ上字型製作スル事
- 一、高低寄引ハ壹個宛嚴密試験ノ上納入ニ付鑄造能率上リ且印刷鮮明ナル事

## 活版字母型製造所 河西三益堂

東京市京橋區新富町一ノ一(櫻橋際河岸)

(川崎第百銀行横丁)

電話京橋(56)〇三二二三番



# 宋朝活字

方体  
長体

壹號より六號まで  
全部完成

日本最初之

宋朝活字製造元

和洋活字鑄造

印刷諸機械器具

其他附屬品一切

名古屋市東區鶴重町

## 津田三省堂

電話東二〇九五番  
發售名古屋七二〇番

# 職員錄

附銀行會社役員錄

官應職員錄

主要銀行會社役員錄

有爵者一覽

政黨各會派幹部

學藝團體役員會員

文藝家一覽

商工會議所會頭名簿

宗教各派管長

俳優名鑑

主要團體一覽



# 宋朝活字

方体  
長体

壹號より六號まで  
全部完成

日本最初之

宋朝活字製造元

和洋活字製造  
印刷活字製造器具  
其他附屬品一併

名古屋市東區鶴重町

津田三省堂

電話東二〇九五番  
郵便名古屋七二〇番

# 職員録

附銀行會社役員録

官廳職員録

主要銀行會社役員録

有爵者一覽

政黨各會派幹部

學藝團體役員會員

文藝家一覽

商工會議所會頭名簿

宗教各派管長

俳優名鑑

主要團體一覽



內閣(宮城内)

(昭和九年九月一日)

內閣總理大臣 岡田 啓介  
 海軍大臣 海軍大將 大角 岑生  
 外務大臣 廣田 弘毅  
 陸軍大臣 陸軍大將 林 銑十郎  
 內務大臣 後藤 文夫  
 犬藏大臣 藤井 真信  
 司法大臣 小原 直  
 文部大臣 松田 源治  
 農林大臣 山崎 達之輔  
 商工大臣 町田 忠治  
 逓信大臣 床次 竹二郎  
 鐵道大臣 內田 信也  
 拓務大臣(兼) 岡田 啓介  
 內閣書記官長 河田 烈  
 內閣總理大臣秘書官 福田 耕  
 同 迫水 久常  
 同(兼) 大久保 利雄  
 ○內閣官房

總務課長 橫溝 光輝  
 記錄課長 川島 孝彦  
 會計課長 稻田 周一  
 ○內閣恩給局(和田倉門内)  
 局長(兼) 樋貝 詮三  
 庶務課長 上原 秋三  
 審查課長(兼) 上原 秋三  
 ○內閣統計局(麻布區富士見町)  
 局長 長谷川 越夫  
 人口課長 高田 太一  
 庶務課長 平木 弘  
 勞働課長 水谷 良一  
 第一製表課長 森 數樹  
 第二製表課長 松田 泰二郎  
 審查課長 中川 友長  
 ○內閣印刷局(麹町區大手町一丁目)  
 局長 杉 精三  
 總務部長 土屋 耕二  
 總務部監理課長(兼) 土屋 耕二  
 同經理課長(兼) 土屋 耕二  
 同官報課長(兼) 土屋 耕二  
 同業務課長 山上 謙一  
 同工作課長 寺田 浩作  
 印刷部長 矢野 道也

印刷部證券課長 安延 郁太郎  
 同 活版課長 坂井規矩一郎  
 同 材料課長 松本 純三  
 同 彫刻課長 磯部 忠一  
 抄紙部長 村井 操  
 抄紙部抄造課長(兼) 村井 操  
 同 紙料課長 白井亞細亞丸  
 同 研究所長(兼) 矢野 道也  
 ○法制局(和田倉門内)  
 局長 金森 德次郎  
 第一部長 森山 銳一  
 第二部長 樋貝 詮三  
 ○賞勳局(和田倉門内)  
 總裁 下條 康廣  
 ○資源局(和田倉門内)  
 局長 川久保 修吉  
 總務部長 松井 春生  
 總務部庶務課長植村 甲午郎  
 同 調査課長 山田 秀三  
 同 資料課長 厚東 常照  
 同 施設課長 久保 喜六  
 同 分室主任 內田 源兵衛  
 企業部長 篠塚 義男  
 企業部第一課長本郷 義夫  
 同 第二課長 八木 秀綱

○高等試驗委員  
 委員長 金森 德次郎  
 法制局長官 金森 德次郎  
 第一部長(兼) 金森 德次郎  
 第二部長 外務次官 重光 葵  
 第三部長 司法次官 金山 季逸  
 ○中央統計委員會  
 會長 阪谷 芳郎  
 ○恩給審查會  
 會長 法制局長官 金森德次郎  
 ○文政審議會  
 總裁 內閣總理大臣 岡田 啓介  
 副總裁 文部大臣 松田 源治  
 ○資源審議會  
 總裁 內閣總理大臣 岡田 啓介  
 副總裁 海軍大臣 大角 岑生  
 同 商工大臣 町田 忠治  
 ○法制審議會  
 總裁 男 平沼 騏一郎  
 副總裁 原 嘉道  
 ○臨時產業審議會  
 會長



內閣總理大臣 岡田 啓介  
○米穀對策調査會 會長 內閣總理大臣 岡田 啓介

副會長 農林大臣 山崎 達之輔  
同 大藏大臣 藤井 真信  
○文官高等分限委員會 會長 內閣總理大臣 岡田 啓介

樞密院

議長 一木 喜徳郎  
副議長 平沼 騏一郎  
親王 兼仁 親王  
宣仁 親王  
載仁 親王  
金子 堅太郎  
伯 久保 田 讓  
男 富井 政章  
子 石黒 忠恵  
侯 黒田 長成  
櫻井 鏡二  
荒井 賢太郎  
河合 健三  
石原 貫太郎  
鈴木 貫太郎

內大臣府

書記官長 男 村上 恭一  
林 權助  
藤澤 幾之輔  
清水 敏一  
石渡 敏一  
坂本 彰之助  
鈴木 英藏  
元田 慎一郎  
栗野 慎一郎  
子 有馬 良橋  
石井 菊次郎

宮內省

大臣 湯淺 倉平  
次官 大谷 正男  
宮中顧問官 井上 通泰  
小笠原 長生

○大臣官房 秘書課長 金田 才平  
總務課長 酒卷 芳男  
大膳課長 岩波 武信  
皇宮警察部長 白井 演  
侍從長 鈴木 貫太郎  
侍從次長(兼)侯廣幡 忠隆  
侍從次長(兼)子 黒田 長敬  
內廷課長(兼) 大金 益次郎  
庶務課長(兼) 永積 寅彦  
經理課長(兼) 永積 寅彦

○式部職 式部長官 子 松平 慶民  
式部次長 鹿見島 虎雄  
外事課長 山縣 武夫  
儀式課長 男 武井 守成  
主簿課長 伯 坊城 俊良  
△掌典部 掌典次長 公 三條 公輝  
掌典次長 立花 寬篤  
△樂部 部長(兼) 子 相馬 孟胤  
○宗秩寮 總裁 侯 木戸 幸一  
宗親課長(兼) 岩波 武信  
爵位課長 本多 猶一郎  
庶務課長(兼) 本多 猶一郎  
○諸寮 頭(兼) 渡部 信  
庶務課長 土師 貞次郎  
考證課長(兼) 土師 貞次郎  
圖書寮 頭 渡部 信  
庶務課長 久保 覺次郎  
圖書課長(兼) 久保 覺次郎  
編修課長 芝 葛盛  
侍醫寮 侍醫 芝 葛盛

頭 佐藤 恒丸  
庶務課長(兼)子 黒田 長敬  
醫事課長 高橋 信  
藥劑課長 細井 美水  
○內藏寮 頭 男 白根 松介  
主計課長 三浦 篤  
財務課長(兼) 三浦 篤  
用度課長 鈴木 重孝  
○内匠寮 頭 木下 道雄  
監理課長 土岐 政夫  
臨時帝室博物館造營課長 北村 耕造  
工務課長 鈴木 鎮雄  
○主馬寮 頭 杉村 愛仁  
自動車課長(兼) 小倉 庫次  
庶務課長 小倉 庫次  
廐馬課長 城戸 俊三  
○皇后宮職 大夫 侯 廣幡 忠隆  
內廷課長(兼)子 黒田 長敬  
庶務課長(兼) 大金 益次郎  
經理課長(兼) 永積 寅彦  
○皇太后宮職

大夫 子 入江 爲守  
庶務課長 西邑 清  
會計課長 清閑寺 良貞  
○澄宮附職員 御養育掛長 内田 三吉  
宮中顧問官 犬塚 太郎  
皇族附職員 秩父宮別當 石川 岩吉  
高松宮別當 稻垣 三郎  
關院宮別當 高橋 孝輔  
東伏見宮別當 四宮 正吉  
伏見宮別當 大石 良之助  
山階宮別當 山田 其三  
賀陽宮別當 久通宮別當 高橋 敬一郎  
梨本宮別當 朝香宮別當 東 乙彦  
朝香宮別當 東久通宮別當 松本 幹之介  
北白川宮別當 石川 健平  
竹田宮別當 石原 健三  
○帝室會計審査局 長官 河井 彌八  
○帝室林野局 長官 三矢 宮松  
監理課長 武宮 雄彦  
整理課長 池田 秀吉

樂務課長 松本 正巳  
札幌支局長 井上 重則  
東京支局長 津村 昌志  
名古屋支局長 眞崎 脩  
木曾支局長 小林 哲司  
○御歌所 所長(兼) 子 入江 爲守  
○學習院 院長 荒木 寅三郎  
庶務課長 山口 眞  
會計課長(兼) 山口 眞  
衛生課長 清水 眞  
教務課長 倉敷 福太郎  
圖書課長 落合 貞三郎  
○女子學習院 院長 長屋 順耳  
教務課長 上田 駿一郎  
學生課長 山口 德三郎  
圖書課長 佐藤 幹二  
○帝室博物館 △東京帝室博物館(上野公園) 總長 杉榮三郎  
歷史課長(事務取扱) 杉榮三郎  
經理課長 杉榮三郎  
美術課長 矢島 正昭  
溝口 頼次郎

△奈良帝室博物館 館長心得 和田 軍一  
○李王職 長官 藤田 治策  
次官 李 恒九  
○學習院評議會 議長 公 徳川 家達  
○華族世襲財產審議會 議長 公 三條 公輝  
○宮內省考査委員會 委員長 宮內次官 大谷 正男  
○宮內省恩給審査會 會長 宮內次官 大谷 正男  
○王公族審議會 總裁 男 一木 喜徳郎  
○公刊明治天皇御紀編修委員會 會長 湯淺 倉平

外務省

(麹町區霞ヶ關一丁目)  
大臣 廣田 弘毅  
政務次官 井阪 豊光  
次官 重光 葵  
參與官 松本 忠雄  
○大臣官房 秘書官 岸 倉松



職員録—外務省

秘書官 松村 基樹
人事課長 日高 信六郎
文書課長 寺嶋 廣文
會計課長 岡本 季正
翻譯課長(兼) 寺嶋 廣文
電信課長 米澤 菊二
○東亞局
局長 桑島 主計
第一課長 守島 伍郎
第二課長 田尻 愛義
第三課長 柳井 恒夫
○歐亞局
局長 東郷 茂徳
第一課長 西郷 春彦
第二課長 吉田 丹一郎
○亞米利加局
局長 堀内 謙介
第一課長 塩崎 觀三
第二課長 坂本 龍起
第三課長 福岡 豊吉
○通商局
局長 來栖 三郎
第一課長 井上 庚二郎
第二課長 松嶋 鹿夫
第三課長 若松 虎雄
○條約局

局長 栗山 茂
第一課長 小林 龜久雄
第二課長 松本 俊一
第三課長 阪本 瑞男
○情報部
部長 天羽 英二
第一課長 佐藤 敏人
第二課長 田代 重徳
第三課長 佐藤 忠雄
○文化事業部
部長 岡田 兼一
第一課長 江戸 千太郎
第二課長 柳澤 健
○調査部
部長 栗原 正
第一課長 永田 安吉
第二課長 水澤 孝策
第三課長(心得) 宮川 船夫
第四課長 加藤 三郎
第五課長 山形 清
○對支文化事業調査會
會長 廣田 弘毅
○永代借地權委員會
會長 廣田 弘毅
○國際會議帝國事務局
局長 澤田 節藏

次長 在外公館

○大使館
英國大使 松平 恒雄
佛國大使 佐藤 尙武
獨國大使 永井 松三
伊國大使 杉村 陽太郎
白耳義國大使 有田 八郎
ソグイエト國大使 大田 爲吉
土耳其國大使 齋藤 久治郎
米國大使 齋藤 久治郎
アラシム國大使 林 久治郎
滿洲國大使(兼) 菱 隆
○公使館
瑞西國公使(代理公使) 安東 義良
西班牙國公使 青木 新
ホルトガル國公使 笠間 果雄
蘭國公使 武富 敏彦
瑞典國公使 白鳥 敏夫
ラトグイア國公使(兼) 永井 松三
ポーランド國公使 伊藤 達史

五九四

チエツコ・スロヴァキア國公使 堀田 正昭
埃國(兼ハンガリー國)公使 松永 直吉
ルーマニア國(兼ユーゴスラヴィア國)公使 藤田 榮介
希臘國(兼アルバニア國)代理公使 三枝 茂智
ヘルシア國公使 岡本 武三
中華民國公使 有吉 明
暹羅國公使 矢田部 保吉
カナダ公使 徳川 家正
キユバ國公使(兼) 齊藤 博
メキシコ國公使 堀 義貴
ペルー國公使 村上 義温
チリ國公使 矢野 眞
アルゼンティン國(兼パラグアイ、ウルグアイ國)公使 山崎 次郎
コロンビア國公使 岩手 嘉雄
アフガニスタン國公使 北田 正元
○總領事館

職員録—内務省

倫敦總領事 松山 晋二郎
漢口總領事 七田 基玄
○エネーヅ總領事(兼)
浦潮斯德總領事 渡邊 理恵
アレクサンドロフスク總領事 緒方 整肅
○ハバロフスク總領事
島田 正靖
森島 守人
吉澤 清次郎
吉林總領事 森岡 正平
間島總領事 永井 清
奉天總領事 蜂谷 輝雄
天津總領事 川越 茂
青島總領事 坂根 準三
濟南總領事 西田 晴一
上海總領事 石射 猪太郎
南京總領事 須磨 彌吉郎
漢口總領事 清水 八百一
福州總領事 宇佐美 珍彦
廣東總領事 河相 達夫
香港總領事(代理) 副領事 桑折 鐵次郎
河內總領事 永田 安吉
新嘉坡總領事 郡司 喜一

マニラ總領事 木村 惇
カタグイア總領事 越田 佐一郎
カルカタ總領事 三宅 哲一郎
アレキサンドロフスク總領事 シドニー總領事 村井 倉松
ホノルル總領事(代理) 山崎 恒四郎
副領事 富井 周
桑港總領事 澤田 廉三
紐育總領事 サンパウロ總領事 市毛 孝三
○領事館
リヴァプール領事 野田實之助
里昂領事 友田 二郎
馬耳塞領事 宗村 丑生
未蘭領事 井上 静一
オアテッサ領事 平田 稔
アラゴウエスチエンスク副領事 下村 未郎
ハトロパウロフスク領事 齋藤 輝宇良
ノグオ・シビルスク副領事 小柳 雪生
滿洲里領事 田中 文一郎

綾芬河副領事 興津 良郎
海拉爾領事 米内山 庸夫
齊々哈爾領事 内田 五郎
鄭家屯副領事 石塚 邦器
安東領事 岡本 一策
營口領事 太田 知庸
錦州領事 後藤 祿郎
赤峰領事 清野 長太郎
承德領事 中根 直介
張家口領事 小泉 敏次
芝罘領事 山崎 誠一郎
杭州(兼)領事 下川 久市
蘇州領事 川南 省一
蕪湖領事 吉竹 貞治
九江領事 西田 長康
宜昌領事 柴崎 白尾
沙市(兼)副領事 生田 一雄
長沙領事 精谷 廉二
重慶領事 中野 高一
厦門領事 塚本 毅
汕頭(兼)副領事 水元 恒八
西貢副領事 伊藤 憲三
ダウアオ副領事 金子 豐治
ストラバヤ領事 姉齒 準平
メダン領事 荒川 充雄
盤谷(兼)領事 宮崎 申郎

内務省

コロソボ領事 乙津 錦次
孟買領事 栗原 作次郎
ボートサイド副領事 大野 道造
モンパサ領事 久我 成美
ケープタウン領事 藤村 信雄
ロスアンゼルス領事 堀 公一
ボートランド領事 中村 豊一
シヤトル領事 内山 清
シカゴ領事 官補仲内 憲治
ニューオルレアンズ副領事 佐藤 由巳
晚香坡領事 石井 康
ハグアナ領事 渡邊 知雄
パナマ副領事 齋田 從義
マサトラン領事 大谷 彌七
里馬領事 春日 廓明
アエノスアイレス(兼)領事 宮腰 千葉太
リオデジャネイロ(兼)領事 市毛 孝三
ベレーン領事 濱口 光雄



大臣 後藤 文夫  
 政務次官 男 丹羽 七郎  
 參事官 伯 橋本 實斐  
 ○大臣官房 橋本 清之助  
 秘書官 挾間 茂  
 同(兼) 挾間 茂  
 人事課長 增田 甲子七  
 文書課長(兼) 山崎 巖  
 會計課長 松村 光磨  
 都市計畫課長 石田 馨  
 神政局 兒玉 九一  
 局長 宮地 直一  
 考證課長 安井 英二  
 ○地方局 坂 千秋  
 行政課長 大村 清一  
 財務課長 加藤 於菟丸  
 地方債課長 唐澤 俊樹  
 ○警保局 宮野 昌三  
 局長 中里 喜一  
 警務課長 相川 勝六  
 圖書課長 保安課長

高等課長(兼) 相川 勝六  
 ○土木局 廣瀬 久忠  
 局長 青山 士  
 技監 武井 群嗣  
 河川課長 雪澤 千代治  
 港灣課長 新居 善太郎  
 道路課長 第一技術課長 谷口 三郎  
 第二技術課長 鈴木 雅次  
 東京土木出張所(麹町區大手町一丁目) 辰馬 謙藏  
 所長 辰馬 謙藏  
 橫濱土木出張所(橫濱市神奈川區表高島町) 木津 正治  
 所長 木津 正治  
 仙臺土木出張所(仙臺市北三番丁) 福田 次吉  
 所長 福田 次吉  
 新潟土木出張所(新潟市白山浦一丁目) 伊藤 百也  
 所長 伊藤 百也  
 名古屋土木出張所(名古屋市中區上野杉ノ町四丁目) 金古 久次  
 所長 金古 久次  
 大阪土木出張所(大阪市西區土佐堀通二丁目)

所長 高西 敬義  
 神戸土木出張所(神戸市神戶區海岸通) 山内 喜之助  
 所長 山内 喜之助  
 下關土木出張所(下關市阿彌陀寺町) 牧野雅樂之丞  
 所長 牧野雅樂之丞  
 土木試驗所(東京市本郷區駒込上富士前町) 物部 長穂  
 所長 物部 長穂  
 ○衛生局 大島 辰次郎  
 局長 大島 辰次郎  
 醫務課長 白松 篤樹  
 保健課長 藤原 孝夫  
 防疫課長 內野 仙一  
 豫防課長 高野 六郎  
 ○社會局(麹町區大手町一丁目) 赤木 朝治  
 局長 赤木 朝治  
 庶務課長 成田 一郎  
 勞務課長 赤松 小寅  
 監督課長 北岡 壽逸  
 勞政課長 中野 善教  
 勞務課長(兼) 木村 清司  
 保險課長 川西 實三  
 規畫課長 清水 支  
 監査課長 荒山 隆

經理課長 熊谷 憲一  
 醫務課長 古瀬 安俊  
 社會部長 富田 愛次郎  
 保護課長 藤野 惠  
 職業課長 長谷川 透  
 福利課長(兼) 持永 義夫  
 ○國際勞働機關帝國事務所(瑞西國ヤエネー) 吉阪 俊藏  
 所長 吉阪 俊藏  
 ○中央職業紹介事務局(麹町區大手町一丁目) 愛次郎  
 局長 愛次郎  
 △東京地方職業紹介事務局(麹町區大手町) 糸井 謙治  
 局長 糸井 謙治  
 △大阪地方職業紹介事務局(大阪府西區) 遊佐 敏彦  
 局長 遊佐 敏彦  
 △名古屋地方職業紹介事務局(愛知縣廳內) 千田 專平  
 局長 千田 專平  
 △福岡地方職業紹介事務局(福岡縣廳內) 那須 時夫  
 局長 那須 時夫  
 △青森地方職業紹介事務局(青森市柳町)

局長 木田 徹郎  
 △長野地方職業紹介事務局(長野市南長野) 花澤 武夫  
 局長 花澤 武夫  
 △岡山地方職業紹介事務局(岡山市弓之町) 小林 伊三郎  
 局長 小林 伊三郎  
 ○傷兵院(豊島區巢鴨六丁目) 原田 武  
 院長 原田 武  
 ○造神宮使廳(內務省構內) 多嘉 王  
 使 多嘉 王  
 副使(兼) 石田 馨  
 ○警察講習所(麹町區三番町) 唐澤 俊樹  
 所長 唐澤 俊樹  
 ○武藏野學院(埼玉縣北足立郡大門村) 菊池 俊諦  
 院長 菊池 俊諦  
 ○東京衛生試驗所(神田區和泉町) 衣笠 豊  
 所長 衣笠 豊  
 ○大阪衛生試驗所(大阪市東區京橋三丁目) 町口 英三  
 所長 町口 英三  
 ○榮養研究所(小石川區駕籠町) 佐伯 矩  
 所長 佐伯 矩  
 ○國立癩瘰癧所

△長島愛生園(岡山縣邑久郡裳掛村) 光田 健輔  
 所長 光田 健輔  
 △栗生樂泉園(群馬縣吾妻郡草津町) 古見 嘉一  
 所長 古見 嘉一  
 ○神社制度調査會 男 平沼 麒一郎  
 會長 男 平沼 麒一郎  
 ○醫師試驗委員 羽 七郎  
 委員長 內務次官 丹羽 七郎  
 ○齒科醫師試驗委員 羽 七郎  
 委員長 內務次官 丹羽 七郎  
 ○藥劑師試驗委員 羽 七郎  
 委員長 內務次官 丹羽 七郎  
 ○中央衛生會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○日本藥局方調査會 池口 慶三  
 會長 池口 慶三  
 ○保健衛生調査會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○阿片委員會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○國立公園委員會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○補償審査會(內務省構內) 星野 錫

○都市計畫中央委員會(內務省構內) 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○勞働保險調査會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○失業對策委員會 後藤 文夫  
 會長 內務大臣 後藤 文夫  
 ○中央職業紹介委員會 朝治  
 會長 社會局長 官赤木 朝治  
 ○神宮司廳(宇治山田市) 多嘉 王  
 祭主 多嘉 王  
 大宮司 伯 三條西 實義  
 少宮司 茂丸  
 庶務課長 慶光院 利敬  
 儀式課長 阪本 廣太郎  
 會計課長 坂口 岩七  
 警衛部長 橋本 和二郎  
 林苑課長 篠田 良二  
 ○神宮皇學館(三重縣度會郡濱郷村) 平田 貫一  
 館長 平田 貫一  
 圖書部長 千田 憲  
 庶務部長 西村 爲之助  
 教務部長 木村 春太郎  
 學生監部長 鎌田 春雄  
 ○神宮神部署(宇治山田市神宮)

司廳內) 遠山 正雄  
 署長 遠山 正雄  
 ○土木會議 後藤 文夫  
 議長 內務大臣 後藤 文夫  
 大藏省(麹町區大手町)  
 大臣 藤井 真信  
 政務次官 男 矢吹 省三  
 次官 津島 壽一  
 參事官 豐田 義一  
 秘書官 深田 養一  
 ○大臣官房 石渡 莊太郎  
 秘書課長(兼) 廣瀬 豊作  
 文書課長 入間野 武雄  
 會計課長 富田 勇太郎  
 △海外駐在官 富田 勇太郎  
 英佛駐在 富田 勇太郎  
 米國駐在(兼) 富田 勇太郎  
 ○主計局 賀屋 興宣  
 局長 賀屋 興宣  
 豫算決算課長 山田 龍雄  
 司計課長 入江 昂  
 ○主稅局 中島 鐵平  
 局長 中島 鐵平  
 關稅課長 谷口 恒二  
 國稅課長 石渡 莊太郎



臨時土地調査課長(兼) 石渡 莊太郎  
 ○理財局 青木 一男  
 局長 西村 淳一郎  
 國庫課長 湯本 武雄  
 ○銀行局 川越 丈雄  
 局長 上山 英三  
 普通銀行課長 原口 武夫  
 特別銀行課長 荒川 昌二  
 ○外國爲替管理部 和田 正彦  
 部長 井川 忠雄  
 審査課長 星野 喜代治  
 總務課長 荒井 誠一郎  
 ○預金部 山路 鎮夫  
 部長 原 邦道  
 運用課長 津島 壽一  
 監理課長 關原 忠三  
 ○管轄管財局 津島 壽一  
 長官大藏次官 關原 忠三  
 總務部長 關原 忠三  
 國有財産課長 山口 順一  
 總務課長 山田 鐵之助  
 工務部長 池田 讀次  
 工務課長 池田 讀次

監督課長 小島 榮吉  
 △神戸出張所(神戸市神戸區新港町)所長(兼) 飯田 九州雄  
 △門司出張所(門司市海岸通地先) 所長(兼) 金光 秀文  
 ○造幣局(大阪市北區新川崎町) 局長 泉 至剛  
 總務部長 松山 宗治  
 作業部長 廣瀬 亞夫  
 △東京出張所(麹町區大手町) 所長 柴田 武  
 ○專賣局 佐野 正次  
 長官官房 花田 政春  
 總務課長 磯江 泰雄  
 販賣部 磯江 泰雄  
 販賣課長 光山 盛貞  
 監査課長 森尾 敏男  
 收納部 岡 雅枝  
 部長 河西 金城  
 技術課長 田中 新吾  
 製造部

部長 野並 龜治  
 管理課長 森本 靖男  
 作業課長 森澤 博  
 部長 河副 重一  
 主計課長 野呂 一雄  
 會計課長 南 勝治  
 △專賣局板橋製作所(板橋區板橋町五丁目) 所長 岩本 龍三  
 △專賣局中央研究所(荏原區戸越町)所長北浦 重之  
 △專賣局秦野試驗場(神奈川縣中郡秦野村) 所長 長谷川 浩  
 △專賣局水戸試驗場(茨城縣久慈郡山田村) 所長 仁藤 武雄  
 △專賣局三田試驗場(山口縣佐波郡中關村) 所長 久保田美壽雄  
 △東京地方專賣局(淺草區南元町)局長 山下 博敏  
 △水戸地方專賣局(水戸市) 局長 高木 千壽  
 △宇都宮地方專賣局(宇都宮

市)局長 井上 健彦  
 △高崎地方專賣局(高崎市) 局長 高橋 周三  
 △郡山地方專賣局(郡山市) 局長 上林 一枝  
 △仙臺地方專賣局(仙臺市) 局長 鈴木 徹雄  
 △函館地方專賣局(函館市) 局長 常陰 庫二  
 △名古屋地方專賣局(名古屋市中區)局長神山 政良  
 △金澤地方專賣局(金澤市) 局長 黒瀬 勘一  
 △大阪地方專賣局(大阪市) 局長 有田 靖  
 △岡山地方專賣局(岡山市) 局長 松崎 漸吉  
 △廣島地方專賣局(廣島市) 局長 實來 龜四郎  
 △坂出地方專賣局(香川縣綾歌郡坂出町) 局長 加藤 嘉藏  
 △德島地方專賣局(德島市) 局長 栗田 進  
 △福岡地方專賣局(福岡市宇妙見)局長 平澤 法入

△熊本地方專賣局(熊本市) 局長 二井 藤三郎  
 △鹿兒島地方專賣局(鹿兒島市榮町)局長末廣 喜久治  
 ○橫濱稅關(橫濱市中區新港町) 稅關長 金子 隆三  
 監視部長 中村 重喜  
 港務部長 明石 幸橋  
 總務課長 永井 武藏  
 會計課長 福武 清次  
 檢査課長 中本 清次  
 植物檢査課長 狩谷 精之  
 ○神戸稅關(神戸市神戶區加納町) 稅關長 飯田 九州雄  
 監視部長 中村 應  
 港務部長 河北 一男  
 總務課長 高瀬 武寧  
 會計課長 小原 敏  
 檢査課長 岡本 敏男  
 植物檢査課長 秋山 忠次郎  
 ○大阪稅關(大阪市港區三條通) 稅關長 菅野 榮三郎  
 監視部長(兼) 谷岡 勝美  
 港務部長 谷岡 勝美  
 總務課長 谷口 吉太郎

會計課長(兼) 吉田 佐一  
 檢査課長 木下 勇男  
 植物檢査課長 金山 巖  
 ○長崎稅關(長崎市羽衣町) 稅關長 福地 惣治  
 監視部長 沼田 龍太郎  
 港務部長(兼) 沼田 龍太郎  
 會計課長(兼) 田崎 干夫  
 檢査課長 三宅 忠平  
 ○門司稅關(門司市西海岸通) 稅關長 金光 秀文  
 監視部長 服部 辰藏  
 港務部長 山本 一  
 總務課長(兼) 服部 辰藏  
 會計課長(兼) 江淵 香松  
 檢査課長 永井 重輝  
 植物檢査課長 河原 高  
 ○函館稅關(函館市仲濱町) 稅關長 太田 龜太郎  
 會計課長(兼) 前川 貞治  
 檢査課長 原田 信行  
 ○東京稅務監督局(麹町區大手町一丁目)局長野津 高次郎  
 總務部長 武部 弘成  
 直稅部長 長谷川 安次郎  
 間稅部長 式村 義雄

經理部長 多田 喜一  
 鑑定部長 鹿又 親  
 ○大阪稅務監督局(大阪市北區中ノ島)局長 窪 寺 勉  
 總務部長 玉井 徳和  
 直稅部長 安藤 明道  
 間稅部長 榎谷 孝典  
 經理部長 太田 幸作  
 鑑定部長 金井 春吉  
 ○札幌稅務監督局(札幌市大通西七丁目)局長安江 好治  
 總務部長 木内 五助  
 直稅部長 木内 五助  
 間稅部長 戸田 忠壽  
 經理部長(兼) 戸田 忠壽  
 鑑定部長(兼) 山内 山彦  
 ○仙臺稅務監督局(仙臺市北一番丁)局長 元尾 光輝  
 總務部長 川又 公平  
 直稅部長 川又 公平  
 間稅部長 新 敏雄  
 鑑定部長 大塚 喜一  
 ○名古屋稅務監督局(名古屋市中區)局長 嶺田 丘造  
 總務部長 河野 乙三

經理部長(兼) 河野 乙三  
 直稅部長 山住 克巳  
 間稅部長 青木 正映  
 鑑定部長 副島 昌  
 ○廣島稅務監督局(廣島市八丁堀)局長 柳橋 直馬  
 總務部長 松崎 憲司  
 經理部長(兼) 松崎 憲司  
 直稅部長 齊藤 和三郎  
 間稅部長 今井 一男  
 鑑定部長 山田 滋朗  
 ○熊本稅務監督局(熊本市練兵町)局長 柳澤 直衛  
 總務部長 長谷川 孝治  
 經理部長(兼) 長谷川 孝治  
 直稅部長 山田 義見  
 間稅部長 佐藤 一郎  
 鑑定部長 渡會 六治  
 ○釀造試驗所(瀧野川町) 所長主稅局長 中島 鐵平  
 庶務課長 濱田 徳海  
 事業課長 黒野 勘六  
 ○關稅訴訟審査委員會 會長大藏次官 津島 壽一  
 ○國有財産調査會 會長大藏大臣 藤井 真信



- 預金部資金運用委員會  
會長大藏大臣 藤井 真信
- 中央諸官衙建築準備委員會  
會長大藏大臣 藤井 真信
- 關稅調查委員會  
會長大藏大臣 藤井 真信
- 特別融通審査會  
會長 日本銀行總裁 土方 久徵
- 特別融通損失審査會  
會長大藏大臣 藤井 真信
- 外國爲替管理委員會  
會長大藏大臣 藤井 真信
- 外貨評價委員會  
會長大藏大臣 藤井 真信

元帥府

- 元帥 陸軍大將 載仁 親王
- 海軍大將 博 恭 王
- 陸軍大將 守 正 王

軍事參議院

軍事參議院は元帥、陸海軍大臣參謀總長、軍令部總長並に特に軍事參議官に親補せられたる陸

海軍將官を以て組織せられるも、元帥、陸海軍大臣、參謀總長、軍令部總長は當然軍事參議官たるのである。左には特に親補せられたる軍事參議官を示す。

參議官

- 海軍大將 加藤 寛治
- 海軍大將 南 次郎
- 海軍大將 山本 英輔
- 海軍大將 渡邊 錠太郎
- 海軍大將 眞崎 甚三郎
- 海軍大將 阿部 信行
- 海軍大將 小林 躰造
- 海軍大將 野村 吉三郎
- 海軍大將 荒木 貞夫
- 海軍大將 中村 良三
- 海軍大將 松井 石根
- 海軍大將 川島 義之

侍從武官府

- 武官長陸軍大將 本庄 繁
- 武官 海軍少將 出光 萬兵衛
- 陸軍少將 川岸 文三郎
- 陸軍步兵大佐 中島 鐵藏
- 海軍大佐 桑折 英三郎

- 陸軍騎兵大佐 石田 保秀
- 陸軍砲兵大佐 町尻 量基
- 海軍中佐 小林 謙五
- 陸軍省(麹町區永田町)
- 大臣 大將 林 銑十郎
- 政務次官 中將 橋本 虎之助
- 參謀官 中將 石井 三郎
- 大臣官房  
秘書官 少少佐 有末 精三
- 同(兼) 少少佐 小松 光彦
- 人事局  
局長 中將 松浦 淳六郎
- 補任課長 少佐 小 藤 惠
- 恩賞課長 少佐 中井 良太郎
- 軍務局  
局長 少將 永田 鐵山
- 軍事課長 砲大佐 橋本 群
- 兵務課長 砲大佐 山田 長三郎
- 徵募課長 少佐 黒田 重徳
- 防備課長 工大佐 大久保 雄賢
- 馬政課長 騎大佐 吉 田 眞
- 整備局  
局長 少將 山岡 重厚
- 動員課長 砲大佐 田辺 盛武
- 統制課長 少大佐 上月 良夫
- 兵器局  
局長 少將 多田 禮吉
- 銃砲課長 砲大佐 前田 治
- 器材課長 航大佐 中川 泰輔
- 經理局  
局長 主計總監 平手 勘次郎
- 主計課長 一主計正 大城戸 仁輔
- 監査課長 一主計正 迫 榮吉
- 衣糧課長 一主計正 市川 乙佑
- 建築課長 一主計正 山本 瑛一
- 醫務局  
局長 軍醫總監 小泉 親彦
- 衛生課長 一軍醫正 梶塚 隆二
- 醫事課長 一軍醫正 名和 克己
- 法務局  
局長 大山 文雄
- 陸軍軍需審議會  
會長 中將 橋本 虎之助
- 陸軍造兵廠(小石川區小石川)

- 町)長官中將 植村 東彦
- 總務部長 砲大佐 中山 徳治
- 作業部長 少將 林 羽之助
- 技術部長 砲大佐 渡邊 吉太郎
- 會計部長 一主計正 江川 恒雄
- △火工廠(王子區下十條町)  
長 少將 津田 藤左エ門
- 庶務課長 砲中佐 光 道
- 作業課長 砲大佐 駿
- 技術課長 砲大佐 秀藏
- 研究課長 砲中佐 龍夫
- 會計課長 二主計正 井原 清一
- 板橋火藥製造所長 砲大佐 榑田 圭藏
- 王子火藥製造所長 砲中佐 安藤 六郎
- 岩鼻火藥製造所長 砲中佐 間藤 徹十郎
- 宇治火藥製造所長 砲中佐 中島 敬太郎

- 十條兵器製造所長 砲中佐 杉本 春吉
- 忠海兵器製造所長 砲中佐 生田 重勝
- △名古屋工廠(名古屋市南區)  
長 少將 内藤 喜三郎
- 庶務課長 砲中佐 下田 充
- 作業課長 砲中佐 本田 義三郎
- 技術課長 砲少佐 大山 富士松
- 會計課長 二主計正 養田 隆一
- 熱田兵器製造所長 砲中佐 岡本 格尙
- 千種兵器製造所長 砲中佐 中島 藤太郎
- △大阪工廠(大阪市東區)  
長 少將 永持 源次
- 庶務課長 砲少佐 中村 一夫
- 作業課長 砲中佐 根本 莊行
- 技術課長 砲中佐 今村 貞治

- 會計課長 二主計正 眞鍋 實
- 火砲製造所長 砲中佐 村木 竹雄
- 彈丸製造所長 砲大佐 大塚 信照
- 鐵材製造所長 砲少佐 田村 宣武
- △小倉工廠(小倉市)  
長 中將 高橋 貞夫
- 庶務課長 砲少佐 上條 卯作
- 作業課長 砲少佐 渡邊 望
- 技術課長 砲中佐 長山 三男
- 會計課長 三主計正 谷 端 直
- 砲彈製造所長 砲中佐 吉田 智準
- 砲具製造所長 砲中佐 田 中 正
- 東京兵器製造所長 砲大佐 小須田 勝造
- △平壤兵器製造所(平壤府)  
長 砲中佐 長谷川 三郎

- 陸軍兵器本廠(麹町區車町)  
長 中將 三木 善太郎
- 廠附將官中將 森 田 宣
- 少將 藤田 進
- 少將 工藤 義雄
- 少將 山下 奉文
- △東京陸軍兵器支廠(板橋區志村清水町)  
長 砲大佐 木造 巳之藏
- △千葉陸軍兵器支廠(千葉市)  
長 工中佐 佐藤 質
- △名古屋陸軍兵器支廠(名古屋市東區)  
長 砲大佐 三浦 眞多雄
- △大阪陸軍兵器支廠(大阪市東區)  
長 砲大佐 峰尾 甲一
- △岡山陸軍兵器支廠(岡山市)  
長 砲中佐 松井 光太郎
- △廣島陸軍兵器支廠(廣島市東新開町)  
長 砲大佐 富岡 辰次郎
- △小倉陸軍兵器支廠(小倉市)  
長 砲大佐 藤岡 六之助
- 陸軍航空本部(麹町區車町)  
長 中將 堀 丈夫



職員錄——陸軍省

總務部長少將 小笠原 敷夫
第一課長 航大佐 安藤 三郎
第二課長 航大佐 木下 敏
技術部長少將 伊藤 周次郎
補給部長少將 江橋 英次郎
立川支部長 航大佐 辻 邦助
各務原支部長 航大佐 若竹 又男
檢查部長少將 牧野 正迪
所澤陸軍飛行學校(埼玉縣入間郡所澤町)
長 少將男 德川 好敏
幹事 少將 長嶺 龜助
○下志津陸軍飛行學校(千葉縣千葉郡都村)
長 中將 大江 亮一
幹事 少將 後藤 廣三
○明野陸軍飛行學校(三重縣度會郡北濱村)
長 少將 春田 隆四郎
幹事 航大佐 儀峨 徹二
濱松陸軍飛行學校(靜岡縣濱名郡神久呂村)

長 航大佐 值賀 忠治
幹事 航中佐 柴田 信一
○陸軍技術本部(澁橋區百人町四丁目)
長 中將 岸本 綾夫
總務部長少將 弘岡 好忠
第一部長少將 中島 三郎
第二部長少將 松井 命
第三部長少將 村井 勝
○陸軍科學研究所(澁橋區百人町四丁目)
長 中將 久村 種樹
第一部長少將 石井 善七
第二部長少將 川上 義弘
○陸軍工科學校(小石川區小石川町)
長 少將 木本 益雄
○憲兵司令部(麴町區丸ノ内一丁目)
司令官 中將 田代 皖一郎
總務部長憲大佐二宮 晋一
警務部長憲中佐城倉 義衛
憲兵練習所長 憲中佐 曾野 芳彦
東京憲兵隊長 憲大佐 持永 淺治

橫濱憲兵隊長 憲大佐 藤井 慎二
仙臺憲兵隊長 憲中佐 袖岡 靜太
名古屋憲兵隊長 憲中佐 梶 榮治郎
大阪憲兵隊長 憲大佐 三浦 惠一
廣島憲兵隊長 憲中佐 齋藤 繼述
熊本憲兵隊長 憲少佐 佐々木 文雄
旭川憲兵隊長 憲中佐 間瀬 勘八
弘前憲兵隊長 憲中佐 對馬 百之
金澤憲兵隊長 憲中佐 谷本 邦夫
姫路憲兵隊長 憲中佐 川島 鐵太郎
善通寺憲兵隊長 憲中佐 板尾 秀一
久留米憲兵隊長 憲中佐 山形 信廣
宇都宮憲兵隊長 憲中佐 都間 觀三

京都憲兵隊長 憲大佐 坂本 俊馬
臺灣憲兵隊長 憲中佐 沼川 佐吉
○朝鮮憲兵隊司令部(京城府)
司令官 少將 難波 光造
京城憲兵隊長 憲大佐 荻根 丈之助
平壤憲兵隊長 憲中佐 前田 良治
咸興憲兵隊長 憲中佐 齋藤 美夫
羅南憲兵隊長 憲中佐 須藤 裕
○軍馬補充部本部(赤坂區青山南町)
長 少將 原 常成
△川上支部(北海道釧路國川上郡)
長 騎中佐 兒玉 章吾
△釧路支部(北海道釧路國白糠郡)
長 騎少佐 中本 源太郎
△十勝支部(北海道十勝國中川郡)
長 騎中佐 北原 末三郎

△三本木支部(青森縣上北郡三本木町)
長 騎大佐 遊佐 幸平
△白河支部(福島縣西白河郡西郷村)
長 騎大佐 豐島 暉
△高鍋支部(宮崎縣兒湯郡上江村)
長 騎中佐 村上 亮
△雄基支部(朝鮮咸興北道慶興郡)
長 騎中佐 岡田 親秀
○陸軍築城部本部(麴町區代官町)
長 中將 高橋 眞八
○陸軍運輸部(廣島市宇品町)
長 中將 三宅 光治
○陸軍經理學校(牛込區若松町)
長(兼)主計總監平手 勘次郎
幹事一主計正 中山 二郎
○陸軍軍醫學校(牛込區戸山町)
長 軍醫監 出井 淳三
○陸軍獸醫學校(世田谷區下代田町)
長 獸醫監 新美 信太
幹事一獸醫正 田崎 武八郎
○千住製絨所(荒川區南千住町)

長心得一主計正岡本 信三
會計課長 青山 彦九郎
庶務課長(兼) 青山 彦九郎
作業課長 海老澤 柳英
製造課長 依田 誠
○陸軍糧秣本廠(深川區越中島町)
長 一主計正 石川 半三郎
△大阪支廠(大阪市港區)
長二主計正 倉本 力雄
△宇品支廠(廣島市宇品町)
長一主計正 美藤 正茂
○陸軍被服本廠(王子區赤羽町三丁目)
長 主計監 奥田 德三郎
△大阪支廠(大阪市東區法圓坂町)
長一主計正 勝野 一翁
△廣島支廠(廣島市旭町)
長一主計正 藤原 明夫
○陸軍衛生材料廠(世田谷區玉川用賀町)
長 藥劑監 田口 文太

次長 中將 杉山 元
總務部長 中將 山田 乙三
第一部長 中將 今井 清
第二部長 少將 磯谷 廉介
第三部長 少將 後宮 淳
第四部長 少將 鈴木 重康
課長 步大佐 飯村 積
步大佐 百武 晴吉
砲大佐 渡邊 右文
砲大佐 鈴木 率道
砲大佐 清水 規矩
砲大佐 西村 琢磨
砲大佐 小畑 英良
步大佐 喜多 誠一
步中佐 幸田口 廉也
步中佐 石田 保政
○陸地測量部(麴町區永田町一丁目)
長 少將 鈴木 元長
三角科長 中佐 岩倉 卯門
地形科長 中佐 中島 三柄雄
製圖科長 中佐 伊藤 精

庶務課長 步大佐 甘粕 重太郎
第一課長 步大佐 河邊 正三
第二課長 步大佐 七田 一郎
騎兵監 中將 宇佐美 興屋
砲兵監 中將 伊東 政喜
工兵監 中將 岩越 恒一
輜重兵監 中將 井上 達三
○陸軍將校生徒試驗常置委員
委員長(兼)中將 林 桂
○陸軍砲工學校(牛込區若松町)
長 中將 中岡 彌高
教授部砲兵科長 少將 松村 修巳
同工兵科長 少將 內田 莊一
○陸軍步兵學校(千葉縣千葉郡都賀村)
長 中將 香月 清司
幹事(缺)
○陸軍騎兵學校(千葉縣千葉郡二宮町)
長 少將 飯田 貞固
幹事 少將 稻葉 四郎
○陸軍野戰砲兵學校(千葉縣印旛郡千代田村)
長 少將 山室 宗武
幹事 少將 藤江 惠輔

職員錄——參謀本部・教育總監部

參謀本部
總長 元帥大將 載仁 親王

教育總監部
總監 大將 眞崎 甚三郎
本部長 中將 林 桂



職員錄——東京警備司令部・近衛師團

- 陸軍重砲兵學校(神奈川縣三浦郡浦賀町)
  - 長 少將 河村 恭輔
  - 幹事 少將 谷口 元治郎
- 陸軍工兵學校(千葉縣東葛飾郡松戸町)
  - 長 中將 佐村 益雄
  - 幹事 工大佐 横山 正雄
- 陸軍通信學校(杉並區馬橋四丁目)
  - 長 少將 星川 久七
- 陸軍自動車學校(世田谷區世田谷四丁目)
  - 長 少將 佐々木 吉良
  - 幹事 輜大佐 田中 清
- 陸軍戸山學校(牛込區戸山町)
  - 長 少將 深澤 友彦
  - 幹事 步大佐 長岡 壽吉
- 陸軍士官學校(牛込區市ヶ谷本村町)
  - 長 中將 末松 茂治
  - 幹事 少將 酒井 篤次
- 東京陸軍幼年學校(牛込區戸山町)
  - 長 步大佐 阿南 惟幾
- 仙臺陸軍幼年學校(仙臺市)

- 長 少將 中井 武三
  - 豐橋陸軍教導學校(豐橋市町畑町)
    - 長 少將 林 茂清
  - 熊本陸軍教導學校(熊本市)
    - 長 少將 佐枝 義重
  - 陸軍習志野學校
    - 長 少將 中島 今朝吾
    - 幹事 步大佐 今村 均
- 東京警備司令部**  
(麹町區車町)
- 司令官 中將 西 義一
  - 參謀長 少將 大谷 龜藏
- 近衛師團司令部**  
(麹町區代官町)
- 師團長 中將 鳩 彦王
  - 參謀長 砲大佐 澤田 茂
  - 司令官附 中將 三宅 一夫
  - 兵器部長 砲大佐 宇治田 昇造
  - 經理部長 一主計正 矢部 潤二
  - 軍醫部長 一軍醫正 高木 小三郎

- 獸醫部長 一獸醫正 小笠原 長淳
- 法務部長 菊地 廣吉
- 近衛步兵第一旅團司令部(麹町區代官町)
  - 旅團長 少將 高田 友助
  - 近衛步兵第一聯隊(麹町區代官町)
    - 聯隊長 步大佐 小泉 恭次
  - 近衛步兵第二聯隊(麹町區代官町)
    - 聯隊長 步大佐 飯沼 守
  - 近衛步兵第三聯隊(赤坂區坂區一ツ木町)
    - 旅團長 少將 大島 陸太郎
    - 近衛步兵第四聯隊(赤坂區一ツ木町)
      - 聯隊長 步大佐 伯奧 保夫
    - 近衛步兵第五聯隊(赤坂區青江北町)
      - 聯隊長 步大佐 飯田 祥二郎
    - 近衛步兵第六聯隊(千葉縣津田沼町)
      - 旅團長 少將 中山 春
      - 近衛騎兵聯隊(牛込區戸山町)
        - 聯隊長 騎大佐 笠原 幸雄
        - 騎兵第十三聯隊(千葉縣津田沼町)
          - 聯隊長 騎大佐 和田 義雄
        - 騎兵第十四聯隊(千葉縣津田沼町)
          - 聯隊長 騎大佐 熊野 利助
        - 野戰重砲兵第四旅團司令部(世田谷區三宿町)
          - 旅團長 少將 多田 駿
          - 近衛砲兵聯隊(世田谷區下馬町)
            - 聯隊長 砲大佐 岡田 實
          - 野戰重砲兵第四聯隊(千葉縣印旛郡千代田村)
            - 聯隊長 砲大佐 兒玉 清
          - 野戰重砲兵第八聯隊(世田谷區下馬町)
            - 聯隊長 砲大佐 武雄 清吾
          - 近衛工兵大隊(王子區袋町)
            - 大隊長 工大佐 神谷 勇
          - 鐵道第一聯隊(千葉縣千葉郡都賀村)
            - 聯隊長 工大佐 野口 正義
          - 鐵道第二聯隊(千葉縣津田沼町)

- 聯隊長 工大佐 安達 克己
- 戰車第二聯隊(千葉縣津田沼町)
  - 聯隊長 步大佐 木村 民藏
  - 電信第一聯隊(中野區園町)
    - 聯隊長 工大佐 加藤 一勝
  - 飛行第五聯隊(北多摩郡立川町)
    - 聯隊長 航大佐 田中 毅一
  - 氣球隊(千葉縣千葉郡都賀村)
    - 隊長 航大佐 相良 千代松
  - 近衛輜重兵大隊(目黒區上目黒八丁目)
    - 大隊長 輜大佐 湯原 均一
  - 千葉衛戍病院(千葉縣千葉郡都賀村)
    - 長 一軍醫正 松村 桓
  - 下志津衛戍病院(千葉縣印旛郡千代田村)
    - 長 一軍醫正 尾崎 文七郎
  - 立川衛戍病院(北多摩郡立川町)
    - 長 三軍醫正 高原 武一

- (赤坂區青山南町)
- 師團長 中將 柳川 平助
  - 參謀長 砲大佐 廣野 太吉
  - 司令官附 少將 中村 馨
  - 兵器部長 砲大佐 鈴木 誠
  - 經理部長 一主計正 鹿野 澄
  - 軍醫部長 軍醫監 寺師 義信
  - 獸醫部長 獸醫監 藤井 一
  - 法務部長 法務官 島田 朋三郎
  - 麻布聯隊區司令官 步大佐 田嶋 榮次郎
  - 甲府聯隊區司令官 同 春見 京平
  - 本郷聯隊區司令官 同 山口 三郎
  - 千葉聯隊區司令官 同 沼田 德重
  - 東京灣要塞司令部(橫須賀市中里町)
    - 司令官 中將 谷 壽夫
  - 父島要塞司令部(小笠原島父島大村)
    - 司令官 步大佐 富士井 末吉
  - 步兵第一旅團司令部(赤坂區青山南町)

- 旅團長 少將 園部 和一郎
- △步兵第一聯隊(赤坂區檜町)
  - 聯隊長 步大佐 本間 雅晴
- △步兵第四十九聯隊(山梨縣山梨郡相川村)
  - 聯隊長 步大佐 矢野 晋三郎
- 步兵第二旅團司令部(赤坂區青山南町)
  - 旅團長 少將 侯 前田 利爲
  - △步兵第三聯隊(麻布區新龍土町)
    - 聯隊長 步大佐 井出 宣時
  - △步兵第五十七聯隊(千葉縣印旛郡佐倉町)
    - 聯隊長 步大佐 羽守 清一郎
  - 騎兵第二旅團司令部(千葉縣津田沼町)
    - 旅團長 少將 笠井 平十郎
    - △騎兵第一聯隊(世田谷區池尻町)
      - 聯隊長 騎大佐 野澤 北地
    - △騎兵第十五聯隊(千葉縣津田沼町)
      - 聯隊長 騎大佐 和田 由恭
    - △騎兵第十六聯隊(千葉縣津田沼町)

- 野戰重砲兵第三旅團司令部(千葉縣市川町)
  - 旅團長 少將 林 幸司
  - △野砲兵第一聯隊(世田谷區三軒茶屋町)
    - 聯隊長 砲大佐 內山 英太郎
  - △騎砲兵隊(千葉縣市川町)
    - 隊長 砲中佐 東美 宗次
  - △野戰重砲兵第一聯隊(千葉縣市川町)
    - 聯隊長 砲大佐 下村 定
  - △野戰重砲兵第七聯隊(千葉縣市川町)
    - 聯隊長 砲大佐 眞井 鶴吉
  - 橫須賀重砲兵聯隊(橫須賀市)
    - 聯隊長 砲大佐 武司 於菟二
  - 工兵第一大隊(王子區袋町)
    - 大隊長 工中佐 市橋 弘助
  - 輜重兵第一大隊(目黒區上目黒)
    - 大隊長 輜大佐 井出 鐵藏
  - 東京第一衛戍病院(牛込區戸山町)
    - 長 軍醫監 田邊 文四郎
  - 東京第二衛戍病院(世田谷太

職員錄——第一師團



子堂町)  
 長 一軍醫正 佐藤 林太郎  
 ○習志野衛戍病院(千葉縣津田沼町)  
 長 一軍醫正 武内 三千春  
 ○國府臺衛戍病院(千葉縣市川町)  
 長 一軍醫正 押大 權太郎  
 ○橫須賀衛戍病院(橫須賀市)  
 長 二軍醫正 伊部 三郎  
 ○甲府衛戍病院(山梨縣西山梨郡相川村)  
 長 二軍醫正 田山 親  
 ○佐倉衛戍病院(千葉縣佐倉町)  
 長 二軍醫正 吉井 誠一  
 ○東京衛戍刑務所(澁谷區宇田川町)  
 監獄長 塚本 定吉

第二師團司令部

(仙臺市)  
 師團長 中將 秦 眞次  
 參謀長 步大佐 常岡 寛治  
 司令部附 中將 山崎 定義  
 同 少將 谷藤 長英  
 兵器部長 砲中佐 田中 清雄

經理部長 青木 諭吉  
 二主計正 松浦 光清  
 一軍醫正 山本 乙松  
 二獸醫正 山本 乙松  
 法務部長 法務官 藤井 喜一  
 仙臺聯隊區司令官 步大佐 後藤 十郎  
 福島縣聯隊區司令官 步中佐 眞山 周二  
 新發田聯隊區司令官 步大佐 今泉 吉貞  
 高田聯隊區司令官 同 今井 金一  
 ○步兵第三旅團司令部(仙臺市)  
 旅團長 少將 子谷 儀一  
 △步兵第四聯隊(仙臺市)  
 聯隊長 步大佐 石原 莞爾  
 △步兵第二十九聯隊(若松市)  
 聯隊長 步大佐 齋藤 清一  
 ○步兵第十五旅團司令部(高田市)  
 旅團長 少將 三宅 俊雄  
 △步兵第十六聯隊(新潟縣新發田町)

第三師團司令部

(名古屋市區)  
 聯隊長 步大佐 丹下 梯次郎  
 △步兵第三十聯隊(高田市)  
 聯隊長 步大佐 關 家清  
 ○騎兵第二聯隊(仙臺市)  
 聯隊長 騎大佐 小島 吉藏  
 ○野砲兵第二聯隊(仙臺市)  
 聯隊長 砲大佐 今井 良榮  
 ○獨立山砲兵第一聯隊(高田市)  
 聯隊長 砲大佐 井關 但  
 ○工兵第二大隊(仙臺市)  
 大隊長 工大佐 加藤 清  
 ○輜重兵第二大隊(仙臺市)  
 大隊長 輜大佐 藤井 孫助  
 ○仙臺衛戍病院(仙臺市)  
 長 一軍醫正 奥田 四郎  
 ○若松衛戍病院(若松市)  
 長 二軍醫正 金田 友三郎  
 ○新發田衛戍病院(新潟縣新發田町)  
 長 二軍醫正 菅原 丙夫  
 ○高田衛戍病院(高田市)  
 長 二軍醫正 原 博  
 ○仙臺衛戍拘禁所(仙臺市)  
 監獄長(兼) 藤井 喜一  
 法務官 藤井 喜一

師團長 中將 若山 善太郎  
 參謀長 步大佐 佐藤 正三郎  
 司令部附 中將 稻垣 孝照  
 同 少將 篠原 三郎  
 兵器部長 砲大佐 原田 太郎  
 經理部長 一主計正 古野 好武  
 軍醫部長 一軍醫正 齋藤 干城  
 獸醫部長 一獸醫正 西城 正之  
 法務部長 法務官 黒木 喬  
 名古屋聯隊區司令官 步大佐 恒吉 秀雄  
 岐阜聯隊區司令官 同 三橋 濟  
 豐橋聯隊區司令官 同 松岡 銜治  
 静岡聯隊區司令官 同 中井 重義  
 ○步兵第五旅團司令部(名古屋市中區)  
 旅團長 少將 周山 滿藏

△步兵第六聯隊(名古屋市區)  
 聯隊長 步大佐 齋藤 彌平太  
 △步兵第六十八聯隊(岐阜縣稻葉郡北長森村)  
 聯隊長 吉本 貞一  
 ○步兵第二十九旅團司令部(静岡市)  
 旅團長 少將 安井 藤治  
 △步兵第十八聯隊(豊橋市)  
 聯隊長 步大佐 田村 元一  
 △步兵第三十四聯隊(静岡市)  
 聯隊長 步大佐 横山 臣平  
 ○騎兵第四旅團司令部(豊橋市)  
 旅團長 少將 小川 正輔  
 △騎兵第三聯隊(愛知縣東春日井郡守山町)  
 聯隊長 騎中佐 山本 寛  
 △騎兵第二十五聯隊(豊橋市)  
 聯隊長 騎大佐 三間 良衛  
 △騎兵第二十六聯隊(豊橋市)  
 聯隊長 騎大佐 賀 茂  
 ○野戰重砲兵第一旅團司令部(静岡縣田方郡三島町)  
 旅團長 少將 平山 繁  
 △野砲兵第三聯隊(名古屋市區)

西區)  
 聯隊長 砲大佐 八木 録郎  
 △野戰重砲兵第二聯隊(静岡縣三島町)  
 聯隊長 砲大佐 橋本 欣五郎  
 △野戰重砲兵第三聯隊(静岡縣三島町)  
 聯隊長 砲大佐 和泉 勸次郎  
 △高射砲第一聯隊(濱松市)  
 聯隊長 砲大佐 馬場 保雄  
 ○工兵第三大隊(豊橋市)  
 大隊長 工中佐 後藤 和儀  
 ○飛行第一聯隊(岐阜縣稻葉郡那加村)  
 聯隊長 航大佐 藤野 市之丞  
 ○飛行第二聯隊(岐阜縣稻葉郡鷺沼村)  
 聯隊長 航大佐 竹内 貞郎  
 ○飛行第七聯隊(静岡縣濱名郡曳馬村)  
 聯隊長 航大佐 岩下 新太郎  
 ○輜重兵第三大隊(名古屋市區)  
 大隊長 輜大佐 楡垣 貞勝  
 ○名古屋衛戍病院(名古屋市區)

第四師團司令部

(大阪市區)  
 長 一軍醫正 矢澤 弘水  
 ○豊橋衛戍病院(豊橋市)  
 長 二軍醫正 吉野 三郎  
 ○三島衛戍病院(静岡縣三島町)  
 長 二軍醫正 崎田 平二  
 ○岐阜衛戍病院(岐阜縣稻葉郡北長森村)  
 長 二軍醫正 池山 清  
 ○濱松衛戍病院(濱松市)  
 長 二軍醫正 岩淵 長平  
 ○静岡衛戍病院(静岡市)  
 長 二軍醫正 杉山 亀之助  
 ○名古屋衛戍拘禁所(名古屋市區)  
 監獄長(兼) 楡垣 剛

師團長 中將 稔 彦  
 參謀長 步大佐 田中 靜壹  
 司令部附 少將 平松 英雄  
 兵器部長 砲中佐 宮崎 瓊藏  
 經理部長 主計監 二瓶 貞夫  
 軍醫部長 軍醫監 木下 福廣  
 獸醫部長 獸醫監 田川 謙吉  
 法務部長(兼)

法務官 金子 英  
 大阪聯隊區司令官 步大佐 松井 太久郎  
 神戸聯隊區司令官 同 牧 次郎  
 堺聯隊區司令官 同 高橋 省三郎  
 和歌山縣聯隊區司令官 同 福田 稔夫  
 ○由良要塞司令部(兵庫縣由良町)  
 司令官 中將 清水 喜重  
 ○步兵第七旅團司令部(大阪市區)  
 旅團長 少將 服部 兵次郎  
 △步兵第八聯隊(大阪市區)  
 聯隊長 步大佐 平林 盛人  
 △步兵第七十聯隊(兵庫縣多紀郡野野村)  
 聯隊長 步大佐 中川 廣  
 ○步兵第三十二旅團司令部(和歌山市)  
 旅團長 少將 志道 保亮  
 △步兵第三十七聯隊(大阪市區)  
 聯隊長 步大佐 三浦 敏事



- △步兵第六十一聯隊（和歌山市）
- 聯隊長步大佐鈴木 春松
- 騎兵第四聯隊（大阪府南河内郡金岡村）
- 聯隊長騎中佐 藤本 專次
- 野砲兵第四聯隊（大阪府泉北郡和泉町）
- 聯隊長砲大佐 玉川 直
- 深山重砲兵聯隊（和歌山縣海草郡加太町）
- 聯隊長砲大佐 堀 耕太郎
- 工兵第四大隊（大阪府三島郡高槻町）
- 大隊長工大佐 中島 九平
- 輜重兵第四大隊（大阪市東區）
- 大隊長輜中佐 山口 貞吉
- 大阪衛戍病院（大阪市東區）
- 長 軍醫監 伊藤 哲一
- 篠山衛戍病院（兵庫縣多紀郡岡野村）
- 長 三軍醫正 谷岡 壽長
- 深山衛戍病院（和歌山縣海草郡加太町）
- 長 三軍醫正 丹羽 錠輔
- 和歌山衛戍病院（和歌山市）

第五師團司令部

- 師團長 中將 小磯 國昭
- 參謀長 步大佐 安岡 正臣
- 司令部附 少將 坂本 健吉
- 兵器部長砲中佐 高橋 正雄
- 經理部長
- 一主計正 丸本 彰造
- 軍醫部長軍醫監法貴 六郎
- 獸醫部長
- 二獸醫正 山根 定吉
- 法務部長（兼）
- 法務官 新井 朋重
- 廣島聯隊區司令官
- 步大佐 橋本 清六
- 福山聯隊區司令官
- 同 兼久 幸一
- 濱田聯隊區司令官
- 同 世良 孝熊
- 山口聯隊區司令官
- 同 長 嶋 崧
- 步兵第九旅團司令部（廣島市）

- 長 三軍醫正 篠田 重惠
- 大阪衛戍刑務所（大阪市東區）
- 監獄長 前田 松藏

第六師團司令部

- 師團長 中將 香椎 浩平
- 參謀長 步大佐 秦 雅尚
- 司令部附 少將 浦 澄江
- 兵器部長砲中佐 宮内 陽輔
- 經理部長
- 一主計正 近藤 昌雄
- 軍醫部長
- 一軍醫正 武藤 太利三
- 獸醫部長
- 二獸醫正 高島 一雄
- 法務部長（兼）
- 法務官 大田原 清美
- 熊本聯隊區司令官

- 步大佐 原田 龍之助
- 大分聯隊區司令官
- 同 高 良 弼
- 都城聯隊區司令官
- 同 福田 伊五郎
- 鹿兒島聯隊區司令官
- 同 上田 利三郎
- 沖繩聯隊區司令官
- 同 石井 虎雄
- 豐後要塞司令部（大分縣佐賀關町）
- 司令官 少將 城島 榮興
- 奄美大島要塞司令部（鹿兒島縣大島郡東方村古仁屋）
- 司令官 步大佐 笠 藏 次
- 步兵第十一旅團司令部（熊本市）
- 旅團長 少將 松田 國三
- △步兵第十三聯隊（熊本市）
- 聯隊長步大佐 瀨 谷 啓
- △步兵第四十七聯隊（大分市）
- 聯隊長步大佐 中尾 忠彦
- 步兵第三十六旅團司令部（鹿兒島縣鹿兒島郡伊敷村）
- 旅團長 少將 吉住 良輔
- △步兵第二十三聯隊（宮崎縣

第七師團司令部

- 北諸縣郡五十市村）
- 聯隊長步大佐 豐島 房太郎
- △步兵第四十五聯隊（鹿兒島市）
- 聯隊長步大佐 伊藤 精司
- 騎兵第六聯隊（熊本市）
- 聯隊長騎大佐 高橋 重三
- 野砲兵第六聯隊（熊本市）
- 聯隊長砲大佐 足立 言三
- 工兵第六大隊（熊本市）
- 大隊長工大佐 佐 藤 隆
- 輜重兵第六大隊（熊本市）
- 大隊長輜大佐 來島 磯治
- 熊本衛戍病院（熊本市）
- 長 一軍醫正 野中 良民
- 大分衛戍病院（大分市）
- 長 三軍醫正 古屋 徹
- 都城衛戍病院（宮崎縣）
- 長 二軍醫正 有本 哲雄
- 鹿兒島衛戍病院（鹿兒島縣）
- 長 二軍醫正 吉川 友信
- 熊本衛戍拘禁所（熊本市）
- 監獄長（兼） 大田原 清美

- 師團長 中將 杉原美代太郎
- 參謀長 步大佐 濱本 喜三郎
- 司令部附 少將 平田 重三
- 兵器部長砲大佐 下村 藤市
- 經理部長
- 一主計正 石田 壽男
- 軍醫部長
- 一軍醫正 佐 藤 武
- 獸醫部長
- 一獸醫正 蟻川 隆敬
- 法務部長（兼）
- 法務官 堀木 常助
- 札幌聯隊區司令官
- 步大佐 内山 和三郎
- 函館聯隊區司令官
- 同 松尾 英一
- 釧路聯隊區司令官
- 同 仙波 毅四郎
- 旭川聯隊區司令官
- 同 小野寺 將行
- 津輕要塞司令部（函館市）
- 司令官 少將 飛鳥井 雅四
- 步兵第十三旅團司令部（旭川市）
- 旅團長 少將 谷 實夫
- △步兵第二十五聯隊（札幌郡

- 豐平町）
- 聯隊長步大佐 永見 俊徳
- △步兵第二十六聯隊長（旭川市）
- 聯隊長步大佐 高木 義人
- 步兵第十四旅團司令部（旭川市）
- 旅團長 少將 伊田 常三郎
- △步兵第二十七聯隊（旭川市）
- 聯隊長步大佐 黒岩 義勝
- △步兵第二十八聯隊（旭川市）
- 聯隊長步大佐 秋山 充三郎
- 騎兵第七聯隊（旭川市）
- 聯隊長騎中佐 吉原 吉彌
- 野砲兵第七聯隊（旭川市）
- 聯隊長砲大佐 早速 廣吉
- 函館重砲兵大隊（函館市）
- 大隊長砲中佐 竹田 一二
- 工兵第七大隊（旭川市）
- 大隊長工大佐 高橋 毅一
- 輜重兵第七大隊（旭川市）
- 大隊長輜中佐 加藤 權
- 旭川衛戍病院（旭川市）
- 長 二軍醫正 齋 藤 清
- 札幌衛戍病院（北海道豐平町）
- 長 二軍醫正 矢田 重信



○旭川衛戍事務所(旭川市)  
監獄長(兼) 田嶋 隆次

第八師團司令部

(弘前市)  
師團長 中將 中村 孝太郎  
參謀長 騎大佐 久納 誠一  
司令部附 少將 山口 正照  
兵器部長 砲大佐 桐野 宏  
經理部長  
一主計正 財部 泉  
軍醫部長 軍醫監 藤 廣  
獸醫部長  
一獸醫正 田村 重慶  
法務部長 法務官 衣川 莊藏  
青森聯隊區司令官  
步大佐 村上 嘉市  
盛岡聯隊區司令官  
同 成川 博  
秋田聯隊區司令官  
同 淺間 義雄  
山形聯隊區司令官  
同 渡部 素  
○步兵第四旅團司令部(弘前市)  
旅團長 少將 飯野 庄三郎  
△步兵第五聯隊(青森縣東津

輕部筒井村)  
聯隊長 步大佐 竹村 直臣

△步兵第三十一聯隊(青森縣  
中津輕郡千年村)  
聯隊長 步大佐 倉茂 周藏

○步兵第十六旅團司令部(秋田  
市)  
旅團長 少將 川原 侃

△步兵第十七聯隊(秋田市)  
聯隊長 步大佐 長瀬 武平

△步兵第三十二聯隊(山形市)  
聯隊長 步大佐 田中 清一

○騎兵第三旅團司令部(岩手縣  
岩手郡厨川村)  
旅團長 少將 鎌田 正信

△騎兵第八聯隊(青森縣中津  
輕郡堀越村)  
聯隊長 騎大佐 齋藤 義次

△騎兵第二十三聯隊(岩手縣  
岩手郡厨川村)  
聯隊長 騎大佐 神代 菊雄

△騎兵第二十四聯隊(岩手縣  
岩手郡厨川村)  
聯隊長 騎大佐 若見 茂

○野砲兵第八聯隊(弘前市)  
聯隊長 砲大佐 橋本 精

○工兵第八大隊(岩手縣岩手郡  
厨川村)  
大隊長 工大佐 竹内 博介

○輜重兵第八大隊(青森縣中津  
輕郡清水村)  
大隊長 輜中佐 奥村 恭平

○弘前衛戍病院(弘前市)  
長 一軍醫正 木村 虎次郎

○盛岡衛戍病院(岩手縣岩手郡  
厨川村)  
長 二軍醫正 奥友 健

○青森衛戍病院(青森縣東津輕  
郡筒井村)  
長 二軍醫正 菱木 重嗣

○秋田衛戍病院(秋田市)  
長 二軍醫正 松倉 一貞

○山形衛戍病院(山形市)  
長 三軍醫正 金光 三郎

○弘前衛戍拘禁所(弘前市)  
監獄長(兼) 衣川 莊藏

第九師團司令部

(金澤市)  
師團長 中將 外山 豊造  
參謀長 步大佐 波田 重一  
司令部附 少將 田中 稔

同  
兵器部長 砲大佐 高橋 次郎  
經理部長  
一主計正 西原 貢

軍醫部長  
一軍醫正 村上 猪柳

獸醫部長  
一獸醫正 增尾 巖

法務部長 法務官 根本 莊太郎

金澤聯隊區司令官  
步大佐 金子 定一

富山聯隊區司令官  
同 田部 章一

教賀聯隊區司令官  
同 下枝 金之輔

福井聯隊區司令官  
同 池邊 四郎

○步兵第六旅團司令部(金澤市)  
旅團長 少將 小見山 恭造

△步兵第七聯隊(金澤市)  
聯隊長 步大佐 北原 一視

△步兵第三十五聯隊(富山市)  
聯隊長 少將 苦米地 四樓

○步兵第十八旅團司令部(福井  
縣教賀郡栗野村)  
旅團長 少將 本川 省三

第十師團司令部

(姫路市)  
師團長 中將 建川 美次  
參謀長 步大佐 加納 豊壽  
司令部附 少將 石原 紀一  
兵器部長 砲中佐 水町 義道  
經理部長  
一主計正 木崎 求雄  
軍醫部長  
一軍醫正 笹井 秀恕

獸醫部長  
一獸醫正 町山 博多

法務部長(兼)  
法務官 池田 武雄

姫路聯隊區司令官  
步大佐 飯塚 慶之助

鳥取聯隊區司令官  
同 三浦 嘉門

岡山聯隊區司令官  
同 砂川 泰

松江聯隊區司令官  
同 池田 一

○步兵第八旅團司令部(姫路市)  
旅團長 少將 矢野 機

△步兵第三十九聯隊(姫路市)  
聯隊長 步大佐 竹本 宇太郎

△步兵第四十聯隊(鳥取縣岩  
美郡宇倍野村)  
聯隊長 步大佐 篠原 誠一郎

○步兵第三十三旅團司令部(岡  
山市)  
旅團長 少將 上野 良丞

△步兵第十聯隊長(岡山市)  
聯隊長 步大佐 摺澤 眞清

△步兵第六十三聯隊(鳥根縣  
八東郡津田村)  
聯隊長 步大佐 人見 與一

○騎兵第十聯隊(姫路市)  
聯隊長 騎中佐 笠井 敏松

○野砲兵第十聯隊(姫路市)  
聯隊長 砲大佐 渡邊 正夫

○工兵第十大隊(岡山市)  
大隊長 工大佐 林 柳三郎

○輜重兵第十大隊(姫路市)  
大隊長 輜大佐 米山 久馬

○陸軍教化隊(姫路市)  
隊長 步中佐 寺村 豊次郎

○姫路衛戍病院(姫路市)  
長 一軍醫正 吉田 久兵衛

○鳥取衛戍病院(鳥取縣岩美郡  
宇倍野村)  
字倍野村)  
長 三軍醫正 鳥 豊喜

○岡山衛戍病院(岡山市)  
長 二軍醫正 和爾 忠隆

○松江衛戍病院(鳥根縣八東郡  
乃木村)  
長 三軍醫正 鳥海 保一

○姫路衛戍拘禁所(姫路市)  
監獄長(兼) 池田 武雄

第十一師團司令部

(香川縣善通寺町)  
師團長 中將 古莊 幹郎  
參謀長 步大佐 重藤 千秋  
司令部附 少將 松田 卷平

兵器部長 砲中佐 梅地 庸彦  
經理部長  
一主計正 十川 登

軍醫部長  
一軍醫正 鈴木 實

獸醫部長  
二獸醫正 青木 昌一

法務部長(兼)  
法務官 三好 次太郎

丸龜聯隊區司令官

○金澤衛戍拘禁所(金澤市)  
監獄長(兼)



- 步大佐 德久 捨馬
- 松山聯隊區司令官 酒井 繁藏
- 德島聯隊區司令官 鹽田 定市
- 高知聯隊區司令官 同 瀨川 四郎
- 步兵第十旅團司令部(香川縣普通寺町) 同
- 旅團長 少將 小林 角太郎
- 步兵第十二聯隊(丸龜市) 聯隊長 少佐 余 惣
- 步兵第二十二聯隊(松山市) 聯隊長 少佐 本多 政村
- 步兵第二十二旅團司令部(德島縣名東郡加茂町) 聯隊長 少佐 熊谷 敬一
- 步兵第四十四聯隊(高知縣土佐郡朝倉村) 聯隊長 少佐 坂本 順
- 騎兵第十一聯隊(普通寺町) 聯隊長 少佐 田村 信喜
- 山砲兵第十一聯隊(香川縣普通寺町) 同

- 通寺町) 聯隊長 砲大佐 石川 方義
- 工兵第十一大隊(香川縣普通寺町) 大隊長 工大佐 山内 章
- 輜重兵第十一大隊(香川縣普通寺町) 大隊長 輜中佐 森永 武雄
- 普通寺衛戍病院(普通寺町) 長 一軍醫正 三宅 二一
- 松山衛戍病院(松山市) 長 二軍醫正 末永 代四郎
- 德島衛戍病院(德島縣名東郡加茂町) 長 二軍醫正 荒井 靜
- 高知衛戍病院(高知縣土佐郡朝倉村) 長 二軍醫正 菫田 菊次
- 普通寺衛戍拘禁所(香川縣普通寺町) 監獄長(兼) 法務官 三好 次太郎

第十二師團司令部

- (久留米市) 師團長 中將 大谷 一男

- 參謀長 砲大佐 石田 保道
- 司令部附 少將 志岐 新
- 兵器部長 砲大佐 山村 新
- 經理部長 一主計正 岩永 勝典
- 軍醫部長 一軍醫正 山本 順市
- 獸醫部長 一獸醫正 塚越 富則
- 法務部長(兼) 法務官 松下 英男
- 小倉聯隊區司令官 步大佐 堀江 貞雄
- 福岡聯隊區司令官 同 德永 乾堂
- 大村聯隊區司令官 同 村尾 朝清
- 久留米聯隊區司令官 同 湯淺 政雄
- 下關要塞司令部(下關市) 司令官 中將 下元 熊弥
- 對馬要塞司令部(長崎縣下縣郡鷗知村) 司令官 少將 高橋 勘二
- 佐世保要塞司令部(佐世保市) 司令官 少將 島 省三

- 長崎要塞司令部(長崎市) 司令官 步大佐 秋山 靜太郎
- 壹岐要塞司令部(長崎縣壹岐郡武生町) 司令官 步大佐 福島 和吉郎
- 步兵第十二旅團司令部(福岡市) 旅團長 少將 吉村 愷
- 步兵第十四聯隊(福岡縣企救郡企救町) 聯隊長 步大佐 今村 勝次
- 步兵第二十四聯隊(福岡市) 聯隊長 步大佐 上村 利道
- 步兵第二十四旅團司令部(久留米市) 旅團長 少將 東條 英機
- 步兵第四十六聯隊(長崎縣東彼杵郡西大村) 聯隊長 步大佐 間崎 一夫
- 步兵第四十八聯隊(久留米市) 聯隊長 步大佐 田邊 松太郎
- 戰車第一聯隊(福岡縣三井郡高良內村) 聯隊長 步大佐 山地 坦
- 騎兵第十二聯隊(久留米市) 同

- 聯隊長 騎大佐 佐野 織平
- 野戰重砲兵第二旅團司令部(小倉市) 旅團長 少將 井關 隆昌
- 野砲兵第二十四聯隊(久留米市) 聯隊長 砲大佐 尾崎 三雄
- 獨立山砲兵第三聯隊(久留米市) 聯隊長 砲中佐 芥川 透
- 野戰重砲兵第五聯隊(福岡縣企救郡企救町) 聯隊長 砲中佐 田部 聖
- 野戰重砲兵第六聯隊(福岡縣企救郡企救町) 聯隊長 砲大佐 岩城 庄助
- 下關重砲兵聯隊(下關市) 聯隊長 砲大佐 木全 良雄
- 佐世保重砲兵聯隊(佐世保市) 聯隊長 砲大佐 眞本 盛平
- 鷗知重砲兵大隊(長崎縣下縣郡鷗知村) 大隊長 砲中佐 渡邊 森次
- 工兵第十八大隊(福岡縣三井郡御井町) 大隊長 工大佐 廣瀬 勝滋

- 飛行第四聯隊(福岡縣三井郡太刀洗村) 聯隊長 航大佐 安倍 定
- 輜重兵第十八大隊(久留米市) 大隊長 輜大佐 平橋 兵三郎
- 久留米衛戍病院(久留米市) 長 一軍醫正 加藤 鏡吉
- 小倉衛戍病院(福岡縣企救郡企救町) 長 一軍醫正 飯塚 助治
- 大村衛戍病院(長崎縣東彼杵郡西大村) 長 三軍醫正 石井 脩三
- 福岡衛戍病院(福岡市) 長 二軍醫正 戶渡 庸二郎
- 下關衛戍病院(下關市) 長 三軍醫正 奥村 尙輔
- 鷗知衛戍病院(長崎縣下縣郡鷗知村) 長 三軍醫正 仁戶田 秀一
- 小倉衛戍刑務所(福岡縣企救町) 監獄長 黒水 壽一郎

第十四師團司令部

- (栃木縣河内郡國本村) 師團長 中將 畑 俊六

- 參謀長 步大佐 關 龜治
- 司令部附 少將 山田 健三
- 兵器部長 砲大佐 高橋 確郎
- 經理部長 一主計正 清水 幸太郎
- 軍醫部長 一軍醫正 矢崎 豊久
- 獸醫部長 一獸醫正 武富 三郎
- 法務部長(兼) 法務官 塚本 浩次
- 水戸聯隊區司令官 步大佐 高橋 良
- 宇都宮聯隊區司令官 同 天谷 直次郎
- 高崎聯隊區司令官 同 池田 水藻
- 松本聯隊區司令官 同 小野 賢三郎
- 步兵第二十七旅團司令部(栃木縣河内郡國本村) 旅團長 少將 中牟田 辰六
- 步兵第二聯隊(茨城縣東茨城郡渡里村) 聯隊長 步大佐 横山 勇

- 步兵第五十九聯隊(栃木縣河内郡國本村) 聯隊長 步大佐 富永 信政
- 步兵第二十八旅團司令部(高崎市) 旅團長 少將 平賀 貞藏
- 步兵第十五聯隊(高崎市) 聯隊長 步大佐 役山 久義
- 步兵第五十聯隊(松本市) 聯隊長 步大佐 田端 八十吉
- 騎兵第十八聯隊(栃木縣河内郡城山村) 聯隊長 騎中佐 中山 保留
- 野砲兵第二十聯隊(栃木縣河内郡委川村) 聯隊長 砲大佐 須永 俊作
- 工兵第十四大隊(水戸市) 大隊長 工中佐 里田 朗
- 輜重兵第十四大隊(栃木縣河内郡城山村) 大隊長 輜大佐 増野 忠馬
- 宇都宮衛戍病院(栃木縣河内郡國本村) 長 一軍醫正 水野 正
- 水戸衛戍病院(茨城縣東茨城郡渡里村) 同



- 三軍醫正 加藤 捨男
- 高崎衛戍病院(高崎市) 長 三軍醫正 田村 久義
- 松本衛戍病院(松本市) 長 二軍醫正 三村 英梧
- 宇都宮衛戍拘禁所(栃木縣河内郡國本村) 監獄長(兼) 法務官 塚本 浩次

第十六師團司令部

(京都市伏見區)

- 師團長 中將 蒲 穆
- 參謀長 步大佐 伊藤 知剛
- 司令部附 中將 澁谷 伊之彦
- 同 少將 古城 胤秀
- 兵器部長砲大佐妹尾 義彦
- 經理部長 一主計正 桂 興
- 軍醫部長 一軍醫正 平川 龍造
- 獸醫部長 二獸醫正 小野 紀道
- 法務部長(兼) 鈴木 忠純
- 京都聯隊區司令官 步大佐 佐藤 吉雄

- 福知山聯隊區司令官 同 土屋 兵馬
- 津聯隊區司令官 同 井上 政吉
- 奈良聯隊區司令官 同 田路 朝一
- 舞鶴要塞司令部(京都府加佐郡餘內村) 司令官 少將 菊池 門也
- 步兵第十九旅團司令部(京都市伏見區) 旅團長 少將 松村 正員
- 步兵第九聯隊(京都市伏見區) 聯隊長 步大佐 舞 傳男
- 步兵第二十聯隊(京都府福知山町) 聯隊長 步大佐 桑名 照貳
- 步兵第三十旅團司令部(三重縣一志郡久居町) 旅團長 少將 高橋 爲一郎
- 步兵第三十三聯隊(三重縣一志郡久居町) 聯隊長 步大佐 及川 源七
- 步兵第三十八聯隊(奈良市) 聯隊長 步大佐 篠原 次郎

- 騎兵第二十聯隊(京都市伏見區) 聯隊長 騎中佐 阿久津 四郎
- 野砲兵第二十二聯隊(京都市伏見區) 聯隊長 砲大佐 古野 紘之助
- 舞鶴重砲兵大隊(京都府加佐郡餘內村) 大隊長 砲中佐 濱田 五一
- 工兵第十六大隊(京都市伏見區) 大隊長 工大佐 加藤 惇三
- 飛行第三聯隊(滋賀縣神崎郡御園村) 聯隊長 航大佐 井下 忠助
- 輜重兵第十六大隊(京都市伏見區) 大隊長 輜大佐 立石 益太
- 京都衛戍病院(京都市伏見區) 長 一軍醫正 根岸 喜代助
- 福知山衛戍病院(京都府福知山町) 長 二軍醫正 瀧川 竹四
- 津衛戍病院(三重縣一志郡久居町) 長 二軍醫正 大西 吉太郎

第十九師團司令部

(朝鮮咸鏡北道羅南)

- 師團長 中將 牛島 貞雄
- 參謀長 步大佐 柳下 重治
- 兵器部長砲大佐山川 善雄
- 經理部長 一主計正 根岸 莞爾
- 軍醫部長 一軍醫正 大塚 利
- 獸醫部長 二獸醫正 海野 雅
- 法務部長(兼) 法務官 佐伯 藤三郎
- 步兵第三十七旅團司令部(咸興) 旅團長 少將 德野 外次郎
- 步兵第七十三聯隊(羅南) 聯隊長 步大佐 中野 直三
- 步兵第七十四聯隊(咸興) 聯隊長 步大佐 吉野 榮一郎
- 步兵第三十八旅團司令部(羅南) 旅團長 少將 伊丹 政吉
- 步兵第七十五聯隊(會寧) 聯隊長 步大佐 齋藤 春三
- 步兵第七十六聯隊(羅南) 聯隊長 步大佐 櫻井 正信
- 騎兵第二十七聯隊(羅南) 聯隊長 騎中佐 中村 圓太郎
- 野砲兵第二十五聯隊(羅南) 聯隊長 砲大佐 大妻 茂澄
- 工兵第十九大隊(會寧) 大隊長 工中佐 藤澤 一孝
- 羅南衛戍病院(羅南) 長 一軍醫正 大島 敬三
- 咸興衛戍病院(咸興) 長 二軍醫正 南川 義一
- 會寧衛戍病院(會寧) 長 一軍醫正 吉川 秀行

- 奈良衛戍病院(奈良市) 長 二軍醫正 矢野 義德
- 京都衛戍拘禁所(京都市伏見區) 監獄長 三木 幸雄

臺灣軍司令部

(臺北市)

- 南) 旅團長 少將 伊丹 政吉
- 步兵第七十五聯隊(會寧) 聯隊長 步大佐 齋藤 春三
- 步兵第七十六聯隊(羅南) 聯隊長 步大佐 櫻井 正信
- 騎兵第二十七聯隊(羅南) 聯隊長 騎中佐 中村 圓太郎
- 野砲兵第二十五聯隊(羅南) 聯隊長 砲大佐 大妻 茂澄
- 工兵第十九大隊(會寧) 大隊長 工中佐 藤澤 一孝
- 羅南衛戍病院(羅南) 長 一軍醫正 大島 敬三
- 咸興衛戍病院(咸興) 長 二軍醫正 南川 義一
- 會寧衛戍病院(會寧) 長 一軍醫正 吉川 秀行

第二十師團司令部

(龍山)

- 一主計正 稻葉 章
- 軍醫部長軍醫監 越川 彰
- 獸醫部長 二獸醫正 橫山 宗市
- 法務部長(兼) 法務官 岡村 峻兒
- 步兵第三十九旅團司令部(平壤) 旅團長 少將 鷺津 鈞平
- 步兵第七十七聯隊(平壤) 聯隊長 步大佐 櫻井 省三
- 步兵第七十八聯隊(龍山) 聯隊長 步大佐 秋山 義翁
- 步兵第四十旅團司令部(龍山) 旅團長 少將 長屋 尙作
- 步兵第七十九聯隊(龍山) 聯隊長 步大佐 增田 久猛
- 步兵第八十聯隊(大邱) 聯隊長 步大佐 片山 理一郎
- 騎兵第二十八聯隊(龍山) 聯隊長 騎中佐 佐久間 爲人
- 野砲兵第二十六聯隊(龍山) 聯隊長 砲大佐 坂西 平八
- 馬山重砲兵大隊(馬山府) 大隊長 砲中佐 土田 喜和
- 工兵第二十大隊(龍山) 大隊長 砲中佐 土田 喜和

- 朝鮮陸軍倉庫(京城府漢口通) 長 二主計正 宮崎 諒次郎
- 朝鮮衛戍刑務所(龍山) 監獄長(兼) 法務官 岡村 峻兒
- 朝鮮軍司令部(臺北市) 司令官 中將 伯寺內 壽一
- 參謀長 少將 桑木 崇明
- 兵器部長砲大佐高橋 政藏
- 經理部長 一主計正 山本 昇
- 軍醫部長軍醫監 石黒 大介
- 獸醫部長 二獸醫正 町田 常之助
- 法務部長(兼) 法務官 松本 倭文雄
- 基隆要塞司令部(基隆市) 司令官 少將 中島 完一
- 澎湖島要塞司令部(澎湖廳馬公街) 司令官 少將 高屋 庸彦
- 臺灣守備隊司令部(臺北市) 司令官 中將 福田 袞
- 臺灣步兵第一聯隊(臺北市) 經理部長 中將 梅崎 延太郎
- 參謀長 砲大佐 平田 健吉
- 司令部附 少將 佐伯 清一
- 兵器部長砲中佐內山 隆道
- 經理部長 中將 梅崎 延太郎



職員錄——關東軍・支那駐屯軍・海軍省

聯隊長步大佐小松 康高
△臺灣步兵第二聯隊(臺南市)
聯隊長步大佐青木 敬一
△臺灣山砲兵大隊(臺北市)
大隊長砲中佐保田 如一
○基隆重砲兵大隊(基隆市)
大隊長砲中佐 田中 峯郎
○馬公重砲兵大隊(澎湖廳馬公街)
大隊長砲大佐 橫井 爲男
○飛行第八聯隊(屏東市)
聯隊長航大佐 寺本 熊市
○臺北衛戍病院(臺北市)
長 一軍醫正 米澤 末吉
○臺南衛戍病院(臺南市)
長 二軍醫正 中野 織治
○基隆衛戍病院(基隆市)
長 三軍醫正 明渡 侃治
○澎湖島衛戍病院(馬公街)
長 三軍醫正 永松 三男
○臺北衛戍刑務所(臺北市)
監獄長(兼) 法務官 松本 倭文雄

司令官 中將 鏡山 巖
○旅順重砲兵大隊(旅順市)
大隊長砲大佐 北島 驥子雄
○關東衛戍刑務所(旅順市)
監獄長 勝田 五郎
支那駐屯軍司令部 (天津)
司令官 中將 梅津 美治郎
參謀長 步大佐 酒井 隆
○天津駐屯步兵隊(天津)
隊長 步大佐 森本 義一
○北京駐屯步兵隊(北平)
隊長 步中佐 長谷川 正憲
○支那駐屯軍病院(天津)
長 三軍醫正 成田 雄三

○軍務局 中將 吉田 善吾
第一課長大佐 阿部 勝雄
第二課長大佐 太田 泰治
第三課長 機關大佐 鈴木 久武
○人事局 少將 小林 宗之助
第一課長大佐 伊藤 整一
第二課長大佐 奧 信一
○教育局 少將 中村 龜三郎
第一課長大佐 佐藤 市郎
第二課長大佐 草鹿 任一
第三課長 機關大佐 福永 寛次郎
○軍需局 中將 小野 寺想
第一課長大佐 細萱 戊子郎
第二課長 機關大佐 柳原 博光
第三課長 主計大佐 加納 金三郎
○醫務局 中將 國府田 中
長 軍醫中將 國府田 中
經理局 主計少將 村上 春一

第一課長 主計大佐 石黑 利吉
第二課長 主計大佐 池田 平作
第三課長 主計大佐 鈴木 亨
○建築局 長 吉田 直
○法務局 長(兼) 山田 三郎
○海軍艦政本部 長(兼) 大將 中村 良三
總務部長少將 豐田 貞次郎
第一課長大佐 星 守一
第二課長 主計大佐 武井 大助
第三課長 機關大佐 石井 常次郎
第一部長少將 和 信房
第二部長少將 菊野 茂
第三部長少將 古市 龍雄
第四部長 造船中將 山本 幹之助
第五部長少將 吉成 宗雄
第六部長少將 野邊田 重興

關東軍

○旅順要塞司令部(旅順市)

長 造兵中將 箕原 勉
科學研究部長 大佐 本田 喜一郎
理學研究部長 少將 兼田市郎
電氣研究部長 機關大佐 平岡 優
造船研究部長 造船少將 河東 貞四郎
庶務課長大佐 寺田 祐次
會計課長 主計大佐 吉用 茂雄
醫務課長 軍醫大佐 小金井 良一
○海軍火藥廠(平塚市)
長 造兵少將 岸本 肇
火藥部長 造兵大佐 松岡 俊躬
爆藥部長少將 栗野原 謙三
研究部長(兼) 造兵少將 山家 信次
會計部長 主計大佐 桑久保 俊次
醫務部長 軍醫大佐 鈴木 諒爾
○海軍航空本部

長 中將 鹽澤 幸一
總務部長(兼) 少將 佐藤 三郎
第一課長大佐 山縣 正郷
第二課長 主計大佐 荒川 信
教育部長大佐 杉山 俊亮
技術部長少將 佐藤 三郎
○水路部(京橋區築地)
長 少將 小野 彌一
第一課長大佐 茂泉 慎一
第二課長大佐 栗林 今朝吉
第三課長大佐 山田 省三
第四課長技師 小倉 伸吉
會計課長 主計少佐 內藤 信利
○海軍大學校(品川區上大崎)
長 少將 井上 繼松
教頭 少將 近藤 信竹
○海軍兵學校(廣島縣江田島村)
校長 中將 及川 古志郎
教頭兼幹事長 大佐 副島 大助
○海軍機關學校(京都府中舞鶴町)
長 少將 上田 宗重

教頭兼幹事長 機關大佐 鍋島 茂明
○海軍軍醫學校(京橋區築地五丁目)
長 軍醫中將 高杉 新一郎
教官軍醫少將 菊地 貢
○海軍經理學校(京橋區小田原町)
長 主計少將 池邊 安雄
教頭主計大佐 片岡 覺太郎
○海軍航海學校
長 少將 太田垣富三郎
教頭(兼)大佐 丹下 薫二

同 大佐 牧田 覺三郎
同 大佐 戶塚 道太郎
同 大佐 稻垣 生起
同 大佐 中村 俊久
橫須賀鎮守府 (橫須賀市)
司令官大將 永野 修身
幕僚 參謀長少將男 岡田 實
人事長(兼)少將 眞崎 勝次
機關長 機關大佐 御宿 好
軍醫長(兼) 軍醫少將 福島 久之
主計長(兼) 主計少將 長田 正義
法務長 尾畑 義純
○橫須賀海軍人事部 長 少將 眞崎 勝次
○橫須賀海軍港務部 長 大佐 梶島 節雄
○橫須賀海軍工廠 長 中將 村田 豐太郎
總務部長大佐 中嶋 隆吉
造兵部長 造兵部長

職員錄——軍令部・橫須賀鎮守府







主計少將 佐々木 重藏  
 法務長 諸澤 安治  
 ○佐世保海軍人事部  
 長 大佐 田畑 啓義  
 ○佐世保海軍港務部  
 長 大佐 松野 省三  
 ○佐世保海軍工廠  
 長 少將 氏家 長明  
 總務部長大佐 成田 二郎  
 造船部長大佐 鈴木 嘉助  
 造船部長 鈴木 格司  
 造船部長 鈴木 格司  
 機關大佐 都築 伊七  
 航空機部長技師小 屋 壽  
 會計部長  
 主計大佐 時森 良穗  
 醫務部長  
 軍醫大佐 豊田 實  
 ○佐世保海軍經理部  
 長 主計少將 佐々木 重藏  
 第一課長 盛 長吉  
 第二課長 主計大佐 白神 君太郎  
 ○佐世保海軍軍需部

長 少將 梶本 金平  
 第一課長大佐 關田 繁里  
 第二課長  
 機關大佐 別府 良三  
 第三課長  
 主計中佐 内山 正太郎  
 ○佐世保海軍艦船部  
 長 少將 有馬 寛  
 ○佐世保海軍建築部  
 長 技師 甚目 雅治  
 第一課長(兼)  
 技師 甚目 雅治  
 第二課長(兼)  
 技師 甚目 雅治  
 ○佐世保海軍病院  
 長 軍醫少將 伏島 忠雄  
 第一部長 軍醫大佐 水野 虎吉  
 第二部長 軍醫大佐 岸川 忠見  
 藥劑部長  
 藥劑少佐 村田 秀  
 消毒部長(兼)  
 軍醫大佐 岸川 忠見  
 ○佐世保海軍刑務所  
 長 監獄長 吉岡 音藏

舞鶴要港部

(京都府中舞鶴町)  
 司令官 中將 百武 源吾  
 參謀長 大佐 中村 重一  
 機關長機關大佐 立花 才次郎  
 軍醫長(兼)  
 軍醫大佐 上與那原朝珍  
 主計長(兼)  
 主計大佐 熊生 榮  
 法務長 安藤 守義  
 港務部長大佐 柏木 英  
 軍需部長  
 機關大佐 氏家 親治  
 工作部長少將 南里 俊秀  
 經理部長  
 主計大佐 熊生 榮  
 病院長軍醫大佐 上與那原朝珍  
 司令官 少將 井上 肇治  
 參謀長 大佐 佐倉 武夫  
 機關長機關大佐 松本 幸得

大湊要港部

(青森縣大湊町)  
 司令官 少將 和田 秀穂  
 參謀長 中將 松下 元  
 ○上海海軍特別陸戰隊  
 司令官 少將 宇野 積藏  
 ○橫須賀警備隊  
 司令官 少將 山口 長南  
 ○吳警備隊  
 司令官 少將 北川 清  
 ○佐世保警備隊  
 司令官 少將 鈴木 義一  
 航空隊司令  
 霞少浦 少將 河村 儀一郎  
 橫須賀 少將 大西 次郎  
 館山 大佐 堀江 六郎  
 大村 大佐 大野 一郎  
 佐世保 大佐 大西 瀧治郎  
 佐伯 中佐 別府 明朋  
 大湊 中佐 吉良 俊一  
 吳 中佐 荒木 保  
 司令官 少將 三木 太市  
 參謀長 大佐 井上 成美  
 比叡 大佐 水戸 春造  
 榛名 大佐 水戸 春造

馬公要港部

(澎湖島)  
 司令官 少將 新山 良幸  
 參謀長 大佐 鈴木 新治  
 機關長機關大佐 磯貝 忍  
 軍醫長軍醫中佐 上原 純之助  
 主計長主計中佐 居倉 直記  
 港務部長中佐 六村 爲樹  
 工作部長(兼)  
 機關大佐 磯貝 忍  
 病院長(兼)  
 軍醫中佐 上原 純之助  
 鎮海要港部(朝鮮鎮海)  
 司令官 中將 市村 久雄  
 參謀長 大佐 尖戸 好信  
 機關長機關大佐 藤崎 照  
 軍醫長軍醫大佐 李川 千秋  
 主計長主計中佐 小園江芳之助

旅順要港部

(旅順市東郷町)  
 司令官 中將 枝原 百合一  
 參謀長 大佐 久保田 久晴  
 機關長機關中佐 岩川 隆澄  
 軍醫長軍醫大佐 原 隼人  
 主計長主計中佐 山口 道尹  
 港務部長中佐 東郷 二郎  
 病院長(兼)  
 軍醫大佐 原 隼人  
 駐滿海軍部  
 (滿洲國新京平安町)  
 司令官 少將 小林 省三郎  
 參謀長 大佐 大島 乾四郎  
 機關長機關大佐 清水 獎  
 主計長主計中佐 東 壽

○聯合艦隊第一艦隊  
 司令官大將 末次 信正  
 參謀長 少將 豊田 副武  
 ○第二艦隊  
 司令官中將 高橋 三吉  
 參謀長 少將 有地 十五郎  
 ○第三艦隊  
 司令官中將 今村 信次郎  
 參謀長 大佐 高須 四郎  
 ○第一戰隊  
 司令官 少將 大野 寛  
 ○第六戰隊  
 司令官 少將 後藤 章  
 ○第七戰隊  
 司令官 少將 濱田 吉治郎  
 ○第十一戰隊  
 司令官 少將 杉坂 梯二郎  
 ○第一水雷戰隊  
 司令官 大佐 町田 進一郎  
 ○第二水雷戰隊  
 司令官 少將 阿武 清  
 ○第一潜水戰隊  
 司令官 少將 平田 昇  
 ○第二潜水戰隊  
 司令官 少將 和波 豊一  
 ○第一航空戰隊

司令官 少將 和野 秀穂  
 練習艦隊  
 司令官 中將 松下 元  
 ○上海海軍特別陸戰隊  
 司令官 少將 宇野 積藏  
 ○橫須賀警備隊  
 司令官 少將 山口 長南  
 ○吳警備隊  
 司令官 少將 北川 清  
 ○佐世保警備隊  
 司令官 少將 鈴木 義一  
 航空隊司令  
 霞少浦 少將 河村 儀一郎  
 橫須賀 少將 大西 次郎  
 館山 大佐 堀江 六郎  
 大村 大佐 大野 一郎  
 佐世保 大佐 大西 瀧治郎  
 佐伯 中佐 別府 明朋  
 大湊 中佐 吉良 俊一  
 吳 中佐 荒木 保  
 司令官 少將 三木 太市  
 參謀長 大佐 井上 成美  
 比叡 大佐 水戸 春造  
 榛名 大佐 水戸 春造

霧島 大佐 高橋 伊望  
 扶桑 大佐 荒木 貞亮  
 山城 大佐 小島 謙太郎  
 伊勢 大佐 山本 弘毅  
 日向 大佐 澤本 頼雄  
 長門 大佐 佐田 健一  
 陸奥 大佐 糟谷 宗一  
 加古 大佐 橫山 徳治郎  
 古鷹 大佐 齋藤 二郎  
 衣笠 大佐 坂本 伊久太  
 青葉 大佐 三川 軍一  
 那智 大佐 祝原 不知名  
 妙高 大佐 高橋 頼雄  
 足柄 大佐 高山 菅雄  
 羽黑 大佐 山口 實  
 高雄 大佐 南雲 忠一  
 愛宕 大佐 宮田 義一  
 鳥海 大佐 小池 四郎  
 摩耶 大佐 新見 政一  
 平戸(兼)  
 二等巡洋艦  
 大佐 大橋 五郎  
 龍田 大佐 井澤 徹  
 天龍 大佐 大島 四郎  
 球磨 大佐 堀内 茂禮  
 多摩 大佐 越智 孝平



龍加	赤城	鳳翔	對馬	日進	春日	磐手	出雲	八雲	淺間	夕張	神通	川内	那珂	阿武隈	鬼怒	由良	名取	五十鈴	長良	木曾	大井	北上
大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐
桑原	近藤	塚原	竹田	中村	丹下	藤森	高須	杉山	大川内	清宮	鈴木	吉田	後藤	小橋	木橋	春日	松浦	山田	高木	角田	平岡	武田
虎雄	英次郎	二四三	六吉	一夫	實二	清一	三二	六藏	傳七	弘	幸三	庸光	英次	義亮	行篤	永次郎	武滿	武治	武治	武治	武治	武治

二見	熱津	保津	比良	堅田	勢田	巖田	鳥羽	伏見	阿部	河野	森田	後藤	久保	金子	香積	香宗	若木	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐
中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐
大石	門前	中津	板倉	古賀	中尾	原田	片山	阿部	河野	森田	後藤	久保	金子	香積	香宗	若木	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	
堅志郎	前野	成基	得止	善吾	八郎	龜	司吾	俊雄	康	一男	國權	九次	豐吉	龍雄	元次	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	大佐	

夕風	朝風	疾風	追風	旗風	松風	春風	朝風	神風	沼風	波風	野風	帆風	秋風	太刀	夕風	夕風	灘風	羽風	鳥風	沖風	澤風	峰風	浦風
少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐
吉村	天谷	天野	佐藤	小田	有賀	佐藤	丸安	山口	緒方	瀬戸	大川	河西	中村	森田	有田	山本	幸田	莊司	島居	村上	石原	成田	福吉
真武	嘉重	重隆	寅治	爲清	幸作	康夫	金免	捨次	勉秀	安秀	健三	健夫	久可	千岩	岩多	格郎	喜一郎	喜一郎	威美	暢之助	繁一	茂夫	保夫

天霧	夕霧	朝霧	敷波	綾波	浦波	磯波	白雲	薄雲	東雲	叢雲	初雲	白雪	吹雪	夕月	望月	三日月	菊月	長月	文月	水無月	卯月	彌生	如月	陸月
中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐
佐藤	成田	木村	伊崎	藤田	古木	酒井	岡野	田村	西村	秋山	久宗	金井	伊集院	中川	篠田	島崎	田中	山田	小川	橋本	清水	杉野	阪野	井原
俊美	忠良	昌福	俊二	造藏	百雄	一雄	慶三郎	劉吉	茂泰	輝男	米次郎	義夫	松治	浩	清	利雄	積二	喜次	雄次	利夫	修一	匡身	美岐	雄

高薄	葵菊	藤萩	梅柿	栗	檜	柳(兼)	檜(兼)	桃(兼)	櫻	初春	子日	電	雷	潮	曉	曉	曉	曉	曉	曉	曉	曉	曉
少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐	中佐
成富	野間口	竹内	前川	高橋	折田	脇田	久保	中野	岡部	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西	小西
武光	兼知	虎四郎	新一郎	龜四郎	常雄	喜一郎	義一郎	三二	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人	要人

同第一	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四	同第五十四
少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐
今里	新野	竹野	加藤	松尾	岩上	小林	清原	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	高塚	
博	荒太郎	馨	與四郎	義保	義壽	一	省一	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	忠夫	

同第五十四	同第三十二	同第三十一	同第三十	同第二十九	同第二十八	同第二十七	同第二十六	同第二十五	同第二十四	同第二十三	同第二十二	同第二十一	同第二十	同第十九	同第十八	同第十七	同第十六	同第十五	同第十四	同第十三	同第十二	同第十一	同第十	同第九
大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉	大尉
山本	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	江見	
皓	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	哲四郎	

朝日	神威	能登呂	初雁	千鳥	眞鶴	同第六十八	同第六十七	同第六十六	同第六十五	同第六十四	同第六十三	同第六十二	同第六十一	同第六十	同第五十九	同第五十八	同第五十七	同第五十六	同第五十五	同第五十四	同第五十三	同第五十二	同第五十一	同第五十
大佐	大佐	中佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐
大佐	大佐	今村	柳川	山田	篠原	清水	都築	演野	山田	岡本	南里	七字	原野	西野	藤井	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	
亥之吉	幸吉	幸吉	正男	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	助弘	



攝津 中佐 大橋 五郎  
 大和 中佐 國生 行孝  
 膠州 中佐 脇坂 乘平  
 青島 中佐 犬塚 惟重  
 洲崎 中佐 阪本 敏  
 室戸 大佐 岸 福治  
 野島 大佐 佐藤 源藏  
 知床 大佐 田村 直文  
 鶴見 中佐 小村 三良  
 早瀬 中佐 若林 清作  
 鳴戸 中佐 中村 季雄  
 間宮 大佐 水野 準一  
 大泊 中佐 佐々木 清恭  
 大佐 塚原 胤一

司法省

大臣 小原 直  
 政務次官 原 次郎  
 次官 金山 季逸  
 參事官 舟橋 清賢  
 大臣官房 子  
 秘書官 窪田 傳一  
 同(兼) 齋藤 直一  
 秘書課長 齋藤 直一

人事課長 坂野 千里  
 會計課長 黒川 涉  
 保護課長 金澤 次郎  
 調査課長 池田 克  
 民事局長 大森 洪太  
 刑事局長 木村 尙達  
 行刑局長 岩松 玄十  
 大審院長(麹町區西日比谷町) 和仁 貞吉  
 檢察總長 林 頼三郎  
 東京控訴院(麹町區西日比谷町) 院長 皆川 治廣  
 大阪控訴院(大阪市北區) 院長 田中 右橋  
 名古屋控訴院(名古屋市中區) 院長 吉益 俊次  
 立石 謙輔  
 鹽野 季彦  
 長崎控訴院(長崎市) 院長 石井 豊七郎  
 宮城 長五郎

札幌控訴院(札幌市大通) 院長 霧山 精一  
 東京地方裁判所 檢察長 田中 昌太郎  
 三宅 正太郎  
 岩村 通世  
 鬼頭 豐隆  
 松井 和義  
 浦和地方裁判所 檢察長 森 章三郎  
 福岡 安次  
 千葉地方裁判所 檢察長 長岡 熊雄  
 緒方 省一郎  
 水戸地方裁判所 檢察長 松田 孫治郎  
 國枝 謙三  
 宇都宮地方裁判所 檢察長 矢野 慎治  
 加藤 治之丞  
 前橋地方裁判所 檢察長 石田 伊太郎  
 南部 金夫  
 靜岡地方裁判所 檢察長 篠原 泰助

甲府地方裁判所 檢察長 水田 正之  
 細谷 朝次  
 遠藤 常壽  
 長野地方裁判所 檢察長 原田 繁藏  
 宮重 左馬吉  
 新潟地方裁判所 檢察長 井上 直吉  
 藤井 建一  
 京都地方裁判所 檢察長 久保田 美英  
 三橋 市太郎  
 大阪地方裁判所 檢察長 長谷川 菊太郎  
 和田 良平  
 神戸地方裁判所 檢察長 鈴木 秀人  
 瀧川 秀雄  
 奈良地方裁判所 檢察長 立石 種一  
 森 勇  
 大津地方裁判所 檢察長 加藤 健一  
 眞野 歡三郎  
 和歌山地方裁判所 檢察長 眞野 歡三郎

岡 慶治  
 徳島地方裁判所 檢察長 友眞 碩太郎  
 兼松 謙太郎  
 高松地方裁判所 檢察長 矢部 桂輪  
 増田 晴彦  
 高知地方裁判所 檢察長 柴田 貞輝  
 香取 久吉  
 名古屋地方裁判所 檢察長 多田 常太郎  
 榎木 悦太郎  
 安濃津地方裁判所 檢察長 井上 鏡太郎  
 石川 近之進  
 岐阜地方裁判所 檢察長 白井 茂  
 田中 惠  
 福井地方裁判所 檢察長 三輪 並助  
 中野 並助  
 金澤地方裁判所 檢察長 岡崎 善太  
 佐藤 伊惣治

富山地方裁判所 檢察長 藤井 義成  
 里見 虎藏  
 廣島地方裁判所 檢察長 淺沼 彦一郎  
 帆高 壽一  
 山口地方裁判所 檢察長 水野 忠行  
 石塚 撥一  
 岡山地方裁判所 檢察長 安藤 茂富  
 植田 条三郎  
 鳥取地方裁判所 檢察長 樋口 良助  
 前田 前之助  
 松江地方裁判所 檢察長 末松 正行  
 谷田 勝之助  
 松山地方裁判所 檢察長 福田 一覺  
 山本 市三  
 長崎地方裁判所 檢察長 大原 利文  
 黒正 太助  
 佐賀地方裁判所 檢察長 上條 桂十郎

福岡地方裁判所 檢察長 國分 丸治  
 櫻田 壽  
 大分地方裁判所 檢察長 猪俣 治六  
 秋山 高彦  
 川副 安一  
 熊本地方裁判所 檢察長 生津 和太郎  
 松野 嘉七  
 鹿兒島地方裁判所 檢察長 諸隈 元次郎  
 宮崎 國吉  
 宮崎地方裁判所 檢察長 大野 惠眼  
 古賀 才治郎  
 那覇地方裁判所 檢察長 坂口 清  
 長嶺 敦心  
 仙臺地方裁判所 檢察長 白井清左衛門  
 神谷 敏行  
 福島地方裁判所 檢察長 石井 壽太郎  
 後藤 省三  
 山形地方裁判所 檢察長 後藤 省三

盛岡地方裁判所 檢察長 田沼 金造  
 若林 祐三郎  
 田口 環  
 秋田地方裁判所 檢察長 吉田 茂久郎  
 中島 織三  
 青森地方裁判所 檢察長 佐藤 元吉  
 稻塚 庄三郎  
 札幌地方裁判所 檢察長 和田 一夫  
 安岡 静四郎  
 函館地方裁判所 檢察長 橋川 喜三夫  
 西村 卯  
 旭川地方裁判所 檢察長 淺沼 猪助  
 浦川 忠藏  
 釧路地方裁判所 檢察長 松野 祐齋  
 中村 惣平  
 樺太地方裁判所 檢察長 小玉 平太郎  
 松田 計治



文部省

大臣 松田 源治  
 政務次官 添田 敬一郎  
 次官 三邊 長治  
 參事官 山折 儀重  
 ○大臣官房 小島 五郎  
 秘書官 菊澤 季廣  
 秘書課長(兼) 高田 休廣  
 文書課長 山川 建  
 會計課長 柴垣 鼎太郎  
 建築課長 岩原 拓  
 體育課長 赤間 信義  
 ○專門事務局 赤間 信義  
 局長 石丸 優三  
 學務課長 有光 次郎  
 普通事務局 下村 壽一  
 局長 服部 巖二  
 學務課長 山崎 厚二  
 庶務課長 菊池 豐三郎  
 ○實業事務局 菊池 豐三郎  
 局長 中島 靈圓  
 農業者教育課長 田中 保平  
 商工教育課長 田中 保平  
 社會教育局

局長 河原 春作  
 成人教育課長 松尾 長造  
 庶務課長(兼) 松尾 長造  
 青年教育課長 朝比奈策太郎  
 ○圖書局 芝田 徹心  
 局長 谷原 義一  
 編輯課長 藤岡 繼平  
 發行課長 藤岡 繼平  
 ○宗教局 菊澤 季廣  
 局長 橋本 綱太郎  
 宗務課長 柴沼 直  
 保存課長 柴沼 直  
 ○思想局 伊東 延吉  
 局長 阿原 謙藏  
 思想課長 阿原 謙藏  
 調查課長 岡田 恒輔  
 ○教育調查部 藤原 助市  
 部長(兼) 藤原 助市  
 ○傳染病研究所(芝區白金臺町) 宮川 米次  
 局長 和野 小六  
 ○航空研究所(目黒區駒場町) 早乙女 清房  
 局長 早乙女 清房  
 ○東京天文臺(北多摩郡三鷹村) 早乙女 清房  
 局長 早乙女 清房  
 ○地震研究所(東京帝國大學構内) 石本 巳四雄

○化學研究所(京都帝國大學内) 喜多 源逸  
 局長 喜多 源逸  
 ○金屬材料研究所(仙臺市片平丁) 石原 寅治郎  
 局長 石原 寅治郎  
 ○溫泉治療學研究所(大分縣速見郡石垣村) 小野寺 直助  
 局長 小野寺 直助  
 ○帝國圖書館(上野公園) 松本 喜一  
 館長 松本 喜一  
 ○中央氣象臺(麹町區竹平町) 岡田 武松  
 臺長 岡田 武松  
 ○高層氣象臺(茨城縣筑波郡小野川村) 大石 和三郎  
 臺長 大石 和三郎  
 ○緯度觀測所(岩手縣水澤町) 木村 榮  
 所長 木村 榮  
 ○東京科學博物館(上野公園) 秋保 安治  
 館長 秋保 安治  
 ○體育研究所(澁谷區代々木四原町) 岩原 拓  
 所長(兼) 岩原 拓  
 ○航海練習所(文部省内) 菊池 豐三郎  
 所長(兼) 菊池 豐三郎  
 ○國民精神文化研究所(品川區上大崎) 岩原 拓

○測地學委員會 關屋 龍吉  
 委員長 平山 信  
 ○教育檢定委員會 栗屋 謙  
 會長 栗屋 謙  
 ○理學文書目錄委員會 櫻井 銳二  
 會長 櫻井 銳二  
 ○帝國學士院(上野公園) 櫻井 銳二  
 院長 櫻井 銳二  
 幹事 姉崎 正治  
 第一部長 富井 政章  
 第二部長 佐藤 三吉  
 ○維新史料編纂會 金子 堅太郎  
 總裁 金子 堅太郎  
 顧問 田中 光顯  
 ○維新史料編纂事務局(麹町區三年町) 三邊 長治  
 局長 三邊 長治  
 ○帝國美術院 正木 直彦  
 院長 正木 直彦  
 ○教科書調查會 永田 秀次郎  
 會長 永田 秀次郎  
 副會長 野村 益三  
 ○學術研究會議 櫻井 銳二  
 會長 櫻井 銳二  
 副會長 田中 信

○臨時國語調査會 上田 萬年  
 會長 上田 萬年  
 ○航空評議會 松田 源治  
 會長 松田 源治  
 ○學校衛生調査會 三邊 長治  
 會長 三邊 長治  
 ○震災豫防評議會 三邊 長治  
 會長 三邊 長治  
 ○宗教制度調査會 平沼 騏一郎  
 會長 平沼 騏一郎  
 ○國寶保存會 細川 護立  
 會長 細川 護立  
 ○體育運動審議會 松田 源治  
 會長 松田 源治  
 ○臨時口字調査會 松田 源治  
 會長 松田 源治  
 ○農林省 大臣 山崎 達之輔  
 政務次官 守屋 榮夫  
 次官 長瀬 貞一  
 參事官 森 肇  
 ○大臣官房 山口 茂立  
 秘書官(兼) 山口 茂立  
 同 山口 茂立  
 秘書課長 山口 茂立

文書課長 細川 利壽  
 統計課長 本多 佐七  
 會計課長 田淵 敬治  
 ○農務局 小濱 八彌  
 局長 湯河 元成  
 農政課長 片岡 謙  
 耕地課長 間部 彰  
 農產課長 重政 誠之  
 肥料課長(兼) 重政 誠之  
 ○山林局 村上 龍太郎  
 局長 村上 龍太郎  
 監理課長(兼) 三浦 一雄  
 林政課長 井上 俊太郎  
 業務課長 貴島 圭三  
 林務課長 田中 八百八  
 ○水産局 戶田 保忠  
 局長 戶田 保忠  
 監督課長 井出 正孝  
 漁政課長 山中 鍊治  
 海洋課長 下田 奎一  
 ○畜産局 高橋 武美  
 局長 高橋 武美  
 家畜保險課長 三須 武男  
 畜政課長(兼) 石井 英之助  
 畜産課長 石崎 芳吉  
 馬産課長 横屋 潤

○蠶絲局 井野 碩哉  
 局長 井野 碩哉  
 繭絲課長 吉田 清二  
 蠶業課長 明石 弘  
 △橫濱輸出生絲登錄所長 植田 武彦  
 △神戶輸出生絲登錄所長 難波 理平  
 ○米穀局 荷見 安  
 局長 荷見 安  
 米政課長 村上 富士太郎  
 外地課長 中尾 桂一郎  
 内地課長 横山 敬教  
 經理課長 平岡 梓  
 調查課長 小松 孝行  
 △東京米穀事務所長 對馬 彌作  
 △大阪米穀事務所長 井水 正名  
 △神戶米穀事務所長 柴田 勝三郎  
 △酒田米穀事務所長 郷 勝三郎  
 △門司米穀事務所長 水川 潔  
 △新潟米穀事務所長 水川 潔

酒井 正男  
 △名古屋米穀事務所長 新井 陸治  
 △金澤米穀事務所長 佐藤 續  
 △岡山米穀事務所長 齋藤 慶三  
 △熊本米穀事務所長 野々村 卯平  
 △小樽米穀事務所長 中野 代二  
 △仙臺米穀事務所長 白井 勇  
 △京城米穀事務所長 須田 立  
 ○經濟更生部 小平 權一  
 部長 小平 權一  
 總務課長 永松 陽一  
 產業組合課長 田中 長茂  
 金融課長 周東 英雄  
 副業課長 五十子 卷三  
 ○農事試驗場(瀧野川區西夕原町) 安藤 廣太郎  
 場長 安藤 廣太郎  
 ○茶業試驗場(靜岡縣金谷町) 安藤 廣太郎  
 場長(兼) 安藤 廣太郎







所長 若狹 源藏  
 所長 (岐阜市大字本莊)  
 所長 高木 頼三  
 所長 (福島縣伊達郡川俣町)  
 所長 萩原 博  
 所長 (鶴岡市家中新町)  
 所長 志賀 俊雄  
 所長 (福井縣足羽郡木田村)  
 所長 岡本 善之  
 所長 (金澤市長町河岸)  
 所長 中村 林治  
 所長 (富山縣上新川郡堀川町)  
 所長 齋藤 辰五郎  
 臨時産業合理局  
 長官商工大臣 町田 忠治  
 第一部長 藤田 國之助  
 第二部長 竹内 可吉  
 會計課長 東 榮二  
 庶務課長 宮田 忠雄  
 工業審査委員會  
 委員長商工次官吉野 信次  
 工業品規格統一調查會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 副會長商工次官吉野 信次  
 瓦斯事業委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治

○國產振興委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 ○不當廉賣審查委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 ○統制委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 ○發明獎勵委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 ○石油業委員會  
 會長商工大臣 町田 忠治  
 逓信省  
 大臣 床次 竹二郎  
 政務次官 青木 精一  
 次官 大橋 八郎  
 參事官 平野 光雄  
 ○大臣官房  
 秘書官 春名 成章  
 同(兼) 藤川 靖  
 秘書課長 藤川 靖  
 文書課長 山田 良秀  
 保健課長 平井出 貞三  
 監察課長 武田 泰郎  
 逓信官吏練習所長(兼) 久 桝 茂  
 逓信博物館長(兼) 茂

○郵務局  
 局長 久 桝 茂  
 外國郵便課長 萩原 丈夫  
 業務課長 西村 知一  
 規畫課長 中村 純一  
 ○電務局  
 局長 進藤 誠一  
 規畫課長 飯野 毅夫  
 業務課長 遠藤 俊一  
 外國電信課長 長岡 信捷  
 無線課長(兼) 奧村 喜和男  
 ○工務局  
 局長 梶 井 剛  
 庶務課長 松濤 菊五郎  
 機械課長 大 森 敬吉  
 線路課長 小 船 井 敬吉  
 無線課長 荒川 大太郎  
 ○電氣局  
 局長 清水 順治  
 監理課長(心得) 荒木 盛人  
 檢查課長 田 波 芳二  
 業務課長 立 花 章  
 水力課長 野口 寅之助  
 技術課長 森 秀

○郵船局  
 局長 淺野 平二  
 監理課長 伊勢谷 次郎  
 海員課長 福原 敬次  
 船務課長 安田 丈助  
 船舶試驗所長 重 光 一磨  
 ○航空局  
 局長 片岡 直道  
 監理課長 田村 謙次郎  
 技術課長 新井 三郎  
 ○經理局  
 局長 富安 謙次  
 需品課長 山田 忠次  
 主計課長 手 島 榮  
 監查課長 廣 瀨 勝  
 管轄課長 和 田 信夫  
 ○貯金局(麻布區飯倉町)  
 局長 猪熊 貞治  
 業務課長 平尾 壬午郎  
 經理課長 高木 正道  
 集計課長 岩 永 修  
 振替貯金課長 砥 綿 保  
 第一貯金課長 水 谷 彌一  
 恩給課長 岡 井 彌三郎  
 第二貯金課長 岸 上 俊吉  
 爲替課長 小笠原 光壽

庶務課長 中澤 勝次郎  
 證券課長 三浦 義二郎  
 ○簡易保險局(芝區赤羽町)  
 局長 平井 宜英  
 業務課長 佐藤 吉郎  
 監督課長 安藤 守孝  
 年金監理課長 中村 太郎  
 經理課長 小 松 茂  
 規畫課長 生田 武夫  
 積立金運用課長 森島 美之助  
 契約課長 安部 民次  
 年金契約課長(兼) 安部 民次  
 會計課長 安部 民次  
 司計課長 弓 木 幹  
 貸付課長 渡 邊 聰  
 第二徵收課長 小 島 富徳  
 第四徵收課長 清水 匡輔  
 第一支拂課長 柴 水 匡六  
 第一徵收課長 松 原 一義  
 庶務課長 吉 村 正太郎  
 第三支拂課長 福 田 敬之  
 第三徵收課長 勝 部 虎之助  
 第五徵收課長 奥 田 芳夫  
 第二支拂課長 山 中 道夫  
 第四支拂課長 安 原 武夫  
 第六徵收課長 深 水 六郎

○電氣試驗所(品川區五反田)  
 所長 堀内 國夫  
 第二部長 高 津 清  
 第三部長 肥 田 丈夫  
 第四部長 小 川 若三郎  
 第一部長 密 田 良太郎  
 第四部長 神 保 成吉  
 ○東京逓信局(赤坂區表参道)  
 局長 佐 谷 台二  
 監督課長 中 村 松次郎  
 規畫課長 大 塚 齊一  
 保險課長 渡 邊 香二郎  
 經理課長 平 田 耕藏  
 購買課長 肥 爪 龜三  
 庶務課長 中 谷 武  
 工務課長 大 山 喜四郎  
 電氣課長 長 南 主税  
 海事部長 田 倉 八郎  
 ○名古屋逓信局(名古屋市中區)  
 局長 大 和 田 佛二  
 監督課長 前 田 穰  
 規畫課長 中 山 次郎  
 經理課長 渡 邊 浩  
 保險課長 中 村 恭治  
 庶務課長 古 池 信三

工務課長 市岡 萬次郎  
 電氣課長 小山 熊治郎  
 海事部長 板 部 成雄  
 ○大阪逓信局(大坂市中區)  
 局長 關 正雄  
 海事部長 淺 田 正一  
 保險課長 千 葉 清七  
 監督課長 齊 藤 維一郎  
 購買課長 岩 男 省三  
 規畫課長 森 義 信  
 經理課長 赤 木 鐵夫  
 庶務課長 宮 本 吉夫  
 工務課長 宮 川 三夫  
 電氣課長 川 島 親生  
 ○廣島逓信局(廣島市基町)  
 局長 平 澤 要  
 監督課長 白 井 修一  
 規畫課長 津 田 鐵外喜  
 經理課長 守 屋 秀雄  
 庶務課長 長 井 宅三郎  
 工務課長 星 野 貞治  
 電氣課長 田 中 敏郎  
 海事部長 堀 尚 靖  
 ○熊本逓信局(熊本市花畑町)  
 局長 小 野 猛

海事部長 猪間 信一郎  
 監督課長 出 塚 祐助  
 保險課長 井 關 博行  
 規畫課長 濱 田 清治  
 經理課長 立 川 繁  
 庶務課長 岡 野 久夫  
 工務課長 長 島 正隆  
 電氣課長 大 岡 馬廬雄  
 ○仙臺逓信局(仙臺市多門通)  
 局長 三 宅 航一  
 監督課長 佐 佐 三  
 海事部長(兼) 佐 佐 三  
 保險課長 今 村 定治  
 規畫課長 伊 藤 敏行  
 經理課長 渡 邊 達也  
 庶務課長 後 藤 隆吉  
 工務課長 眞 崎 尚忠  
 電氣課長 豊 口 熊雄  
 ○札幌逓信局(札幌市大通西二丁目)  
 局長 祝 島 男  
 海事部長 三 村 令次郎  
 監督課長 山 根 貞一  
 經理課長 深 川 太一郎  
 規畫課長 木 村 庸治  
 庶務課長 岡 本 忠雄



保險課長 山戶 利生  
 工務課長 堤 正岡  
 電氣課長 大跡 喜久太  
 ○燈臺局 局長 長川 豊樹  
 監理課長 遠藤 精一  
 工務課長 森田 富士助  
 ○高等海員審判所 所長(兼) 淺野 平二  
 ○東京地方海員審判所 所長(兼) 佐谷 台二  
 ○大阪地方海員審判所 所長(兼) 關 正雄  
 ○門司地方海員審判所 所長(兼) 猪間 信一郎  
 ○函館地方海員審判所 所長(兼) 三村 令次郎  
 ○電氣委員會 會長 渡信大臣 床次 竹二郎  
 ○船員職業紹介委員會 會長 渡信次官 大橋 八郎  
 ○簡易生命保險審査會 會長 渡信次官 大橋 八郎  
 ○簡易生命保險積立金運用委員會 會長 渡信大臣 床次 竹二郎

鐵道省

大臣 內田 信也  
 次官 樋口 典常  
 參事官 喜安 健次郎  
 監察官 兼田 秀雄  
 ○大臣官房 秘書官(兼) 村上 季平  
 同 鳥岡 浩一郎  
 人事課長 高橋 邦夫  
 文書課長 坂口 忠次  
 法規課長 鳥岡 浩一郎  
 保健課長 五十嵐 明  
 現業調査課長 大島 清  
 研究所長 池井 哲次  
 ○監督局 局長 山田 隆二  
 總務課長 前田 秀雄  
 陸運課長 大山 慎一  
 業務課長 早川 慎一  
 技術課長 永田 民也  
 運輸局 局長 新井 堯爾  
 貨物課長 片岡 壽郎  
 配車課長 生野 源太郎

自動車課長 山中 雅實  
 旅客課長 鈴木 清秀  
 總務課長 山田 新十郎  
 運輸課長 高木 新十郎  
 船務課長 山本 照  
 ○建設局 局長 河原 直文  
 工事課長 平山 復二郎  
 計畫課長 堀越 清六  
 工務局 局長 平井 喜久松  
 保線課長 井上 隆根  
 計畫課長 古川 淳三  
 改良課長 黒田 武定  
 建築課長 坂本 鎮雄  
 ○工作局 局長 朝倉 希一  
 工場課長 曾根 嘉治郎  
 機械課長 紀伊 壽次  
 車輛課長 徳永 晋作  
 ○電氣局 局長 古川 光造  
 電力課長 那野 義夫  
 電化課長 森田 重彦  
 通信課長 石井 直  
 ○經理局 局長 尾上 清治郎  
 電氣課長 永田 盛三  
 運輸課長 福井 國男  
 運輸課長 深浦 龍雄  
 運輸課長 吉川 美男  
 運輸課長 江口 胤顯  
 運輸課長 青盛 忠雄  
 運輸課長 阿曾 均  
 運輸課長 池上 信治郎  
 運輸課長 松尾 喜一  
 運輸課長 千谷 虎雄  
 運輸課長 山岸 輝雄  
 運輸課長 野中 春三  
 運輸課長 山脇 秀輔  
 運輸課長 中島 寅之助  
 運輸課長 五十嵐 三郎  
 運輸課長 牧野 喜太郎  
 運輸課長 高桑 謙二  
 ○札幌鐵道局(札幌市北五條) 局長 瓜生 卓爾  
 運輸課長 塚田 正美  
 運輸課長 藤本 梓  
 運輸課長 中村 健吾

局長 工藤 義男  
 購買第一課長 山岡 祐章  
 購買第二課長 田中 謙造  
 調査課長 三輪 清一郎  
 會計課長 長崎 徳之助  
 倉庫課長 玉置 善雄  
 被服工場長 中村 橋男  
 木材防腐工場長 數賀山 兼寛  
 ○東京鐵道病院(澁谷區千駄ヶ谷) 院長 近藤 庫舟  
 副院長 井村 英次郎  
 北海道建設事務所長 片桐 嘉靖  
 熊本建設事務所長 淺間 逸雄  
 東京建設事務所長 長屋 脩  
 米子建設事務所長 出島 嘉吉  
 岡山建設事務所長 田代 瑞穂  
 山口建設事務所長 倉田 玄二  
 熱海建設事務所長

盛岡建設事務所長 高井 信一  
 秋田建設事務所長 岡田 實  
 長岡建設事務所長 佐藤 忠三郎  
 岐阜建設事務所長 小林 紫朗  
 東京改良事務所長 佐武 正一  
 大阪改良事務所長 大田 明治  
 東京電氣事務所長 池田 晋  
 信濃川電氣事務所長 杉 温平  
 釘宮 馨  
 ○國際觀光局 局長 田 誠  
 庶務課長 河崎 精一  
 事業課長 高田 寛  
 ○鐵道會議 議長 鐵道大臣 內田 信也  
 ○國際觀光委員會 會長 鐵道大臣 內田 信也

○鐵道運賃審議會 會長 結城 豊太郎  
 ○東京鐵道局(麹町區丸の内) 局長 池田 勝三郎  
 運輸課長 前田 四朗  
 運輸課長 手塚 操  
 運輸課長 上林 市太郎  
 運輸課長 武井 明通  
 運輸課長 松村 務  
 運輸課長 加藤 仲二  
 運輸課長 戸原 與四郎  
 ○名古屋鐵道局(名古屋西區) 局長 須田 博  
 運輸課長 湯本 昇  
 運輸課長 菅 健治郎  
 運輸課長 堀木 鎌三  
 運輸課長 佐土原 勳  
 運輸課長 淺野 英夫  
 運輸課長 小坂 彌二  
 運輸課長 落合 嘉五郎  
 ○大阪鐵道局 局長 日 淺  
 運輸課長 藤原 久信  
 運輸課長 木村 隆規  
 運輸課長 森本 義夫  
 運輸課長 佐藤 鼎

工作課長 尾上 清治郎  
 電氣課長 永田 盛三  
 運輸課長 福井 國男  
 運輸課長 深浦 龍雄  
 運輸課長 吉川 美男  
 運輸課長 江口 胤顯  
 運輸課長 青盛 忠雄  
 運輸課長 阿曾 均  
 運輸課長 池上 信治郎  
 運輸課長 松尾 喜一  
 運輸課長 千谷 虎雄  
 運輸課長 山岸 輝雄  
 運輸課長 野中 春三  
 運輸課長 山脇 秀輔  
 運輸課長 中島 寅之助  
 運輸課長 五十嵐 三郎  
 運輸課長 牧野 喜太郎  
 運輸課長 高桑 謙二  
 ○札幌鐵道局(札幌市北五條) 局長 瓜生 卓爾  
 運輸課長 塚田 正美  
 運輸課長 藤本 梓  
 運輸課長 中村 健吾

拓務省

工務課長 野村 弘  
 運輸課長 原田 盛  
 大臣(兼) 岡田 啓介  
 次官 田中 武雄  
 參事官 坪上 貞二  
 參事官 手代木 隆吉  
 ○大臣官房 秘書官(兼) 杉田 芳郎  
 同 鈴木 武  
 秘書課長 杉田 芳郎  
 文書課長 棟居 俊一  
 會計課長 小河 正儀  
 ○朝鮮部 部長 拓務次官 坪上 貞二  
 第一課長 森重 千夫  
 第二課長(兼) 山越 道三  
 ○管理局 局長 生駒 高常  
 地方課長 一番 瀬佳雄  
 企畫課長 森重 千夫  
 警務課長 八田 三郎  
 ○殖産局 局長 北島 謙次郎  
 交通課長 稻垣 征夫







職員錄——貴族院

德川 喜翰(公) 長基 連(公) 小畑 大太郎(公) 大井 成元(公) 大藏 公望(公) 大寺 純藏(公) 大森 佳一(公) 沖田 貞男(公) 渡邊 汀(公) 渡邊 修二(公) 加藤 成之(公) 金子 有道(公) 郷誠 之助(公) 高崎 弓彦(公) 高木 喜寬(公) 國田 武彦(公) 辻 太郎(公) 銅島 直明(公) 中村 謙一(公) 中島 久萬吉(公) 黑田 長和(公) 山根 健男(公) 矢吹 省三(公) 安場 保健(公) 松岡 均平(公) 松尾 義夫(公)

松平 外與磨(公) 深尾 隆太郎(公) 福原 俊丸(公) 近藤 滋彌(公) 有地 藤三郎(火) 赤松 範一(公) 足立 豐(公) 淺田 良逸(公) 安保 清種(公) 佐藤 達次郎(公) 阪谷 芳郎(公) 坂本 俊篤(公) 紀 俊秀(公) 北大路 實信(公) 北河原 公平(公) 北島 貴孝(公) 菊池 武夫(公) 肝付 兼英(公) 三須 精一(公) 斯波 忠三郎(公) 四條 隆英(公) 東久世 秀雄(公) 關 義壽(公) 千田 嘉平(公) 千秋 季隆(公) 周布 兼道(公)

勅選議員

杉溪 由言(公) 岩田 宙造(和) 市來 乙彦(研) 大塚 勝太郎(交) 磯村 豐太郎(研) 稻畑 勝太郎(和) 今井 五介(研) 伊澤 多喜男(同) 馬場 鏡一(研) 八田 嘉明(研) 原 保太郎(和) 橋本 圭三郎(交) 坂西 利八郎(無) 仁井田 益太郎(無) 西野 元(研) 堀切 善次郎(研) 堀切 泳(無) 德富 猪一郎(和) 富谷 銚太郎(研) 大橋 新太郎(研) 大川 平三郎(交) 大谷 尊由(研) 太田 政弘(研) 大塚 惟精(研)

大山 綱昌(交) 大島 健一(和) 岡田 文次(和) 岡崎 邦輔(研) 岡喜 七郎(交) 織田 萬(和) 小倉 正恒(研) 若林 費藏(研) 若尾 璋八(交) 若槻 禮次郎(和) 渡邊 千代三郎(同) 渡邊 暢(無) 和田 彦次郎(交) 川上 親晴(同) 川村 竹治(交) 榊山 資英(無) 川崎 卓吉(和) 加藤 政之助(同) 門野 幾之進(和) 各務 謙吉(和) 嘉納 治五郎(和) 金山 英五郎(研) 上山 滿之進(和) 芳澤 謙吉(交) 田所 美治(和) 高橋 琢也(交)

職員錄——貴族院

高田 早苗(同) 武富 時敏(同) 竹越 與三郎(交) 田澤 義鋪(無) 塚本 清治(同) 次田 大三郎(同) 根津 嘉一郎(研) 內藤 久寬(研) 長岡 隆一郎(交) 中川 小十郎(交) 永田 秀次郎(和) 中村 純九郎(交) 室田 義文(交) 內田 康哉(無) 內田 重成(交) 鷗澤 總明(交) 宇佐美 勝夫(無) 潮 惠之輔(研) 野村 德七(和) 黑田 英雄(無) 黑崎 定三(研) 桑山 鐵男(交) 倉知 鐵吉(和) 山岡 萬之助(研) 山川 端夫(研) 山本 達雄(交)

丸山 鶴吉(同) 松井 慶四郎(無) 松井 茂(無) 松村 義一(公) 松村 眞一郎(無) 松浦 鎮次郎(和) 松本 丞治(無) 眞野 文二(和) 藤原 銀次郎(研) 藤沼 庄平(無) 藤田 謙一(無) 藤山 雷太(研) 二上 兵治(無) 福永 吉之助(無) 木場 貞長(研) 後藤 文夫(無) 小久保 喜七(交) 小山 松吉(無) 小幡 西吉(無) 古島 一雄(交) 江口 定條(和) 阿部 房次郎(和) 有賀 光豐(研) 有吉 忠一(和) 青木 周三(同) 赤池 濃(和)

帝國學士院會員勅任議員

安立 綱之(和) 佐藤 三吉(交) 佐藤 鐵太郎(無) 木村 清四郎(和) 菊池 恭三(同) 三井 清一郎(研) 水上 長次郎(交) 光永 星郎(和) 水野 鍊太郎(交) 南 弘(交) 美濃部 達吉(無) 宮田 光雄(研) 宮尾 舜治(無) 三宅 秀(同) 柴田 善三郎(同) 勝田 主計(研) 幣原 喜重郎(和) 土方 寧(無) 土方 久徵(無) 幸 顯(同) 關屋 貞三郎(研) 菅原 通敬(同) 小野塚 喜平次(無) 田中 館 愛橘(無)

多額納稅議員

三上 參次(無) 長岡 半太郎(無) 宮崎 岩崎 清行(交) 島根 絲原 武太郎(研) 北海道 板谷 宮吉(研) 佐賀 石川 三郎(研) 山口 林平 四郎(交) 千葉 濱口 儀兵衛(研) 長崎 橋本 辰二郎(研) 和歌山 西本 健次郎(研) 東京 細田 安兵衛(研) 石川 本多 政樹(公) 福井 飛嶋 文吉(研) 香川 大西 虎之介(交) 茨城 大和田 健三郎(同) 福岡 太田 清藏(交) 同 大藪 守治(無) 京都 大澤 德太郎(研) 北海道 金子 元三郎(研) 福島 金成 通(研) 富山 金岡 又左衛門(同) 神奈川 上郎 清助(研) 京都 風間 八左衛門(研) 鳥取 米原 章三(研) 滋賀 吉田 羊治郎(交)



新瀨 高島 順作(研)  
 埼玉 田中 德兵衛(交)  
 兵庫 田村 新吉(同)  
 長野 武井 覺太郎(交)  
 東京 津村 重舍(研)  
 秋田 辻 兵吉(無)  
 山梨 名取 忠愛(研)  
 愛媛 仲田 傳之松(研)  
 静岡 中村 圓一郎(研)  
 熊本 長野 忠次(研)  
 鹿兒島 上野 喜左衛門(無)  
 岐阜 上松 泰造(研)  
 青森 宇野 勇作(交)  
 高知 野村 茂久馬(研)  
 栃木 久保 市三郎(研)  
 鹿兒島 久米田 新太郎(研)  
 岡山 山上 岩二(交)  
 熊本 山隈 康(研)  
 奈良 山本 米三(同)  
 兵庫 松岡 潤吉(研)  
 愛知 松澤 清次郎(研)  
 廣島 松本 勝太郎(和)  
 埼玉 松本 眞平(研)  
 三重 小林 嘉平治(和)  
 長野 小坂 順造(同)  
 茨城 青木 才次郎(交)

宮城 佐藤 龜八郎(研)  
 岡山 坂野 鉄次郎(同)  
 大阪 佐々木 八十八(和)  
 福島 油井 德藏(同)  
 千葉 三橋 彌(交)  
 廣島 水野 甚次郎(交)  
 山形 三浦 新七(無)  
 德島 三木 與吉郎(研)  
 新潟 白勢 春三(研)  
 群馬 澁澤 金藏(交)  
 愛知 下出 民義(交)  
 神奈川 平沼 亮三(同)  
 神戶 平尾 喜三郎(研)  
 大分 久恒 貞雄(交)  
 大阪 森 平兵衛(研)  
 岩手 瀨川 彌右衛門(和)  
 静岡 鈴木 幸作(研)

○貴族院事務局  
 書記官長 長 世吉  
 議事課長 瀨古 保次  
 庶務課長 小林 次郎  
 委員課長 近藤 英明  
 速記課長 角倉 志朗  
 守衛長 石橋 徳作

議長 秋田 清(政)  
 副議長 植原 悦二郎(政)  
 東京府  
 第一區(五人)  
 立川 太郎(政)  
 高橋 義次(民)  
 本田 義成(政)  
 大神田 軍治(民)  
 缺員一人  
 第二區(五人)  
 犬養 健(政)  
 駒井 重次(民)  
 鳩山 一郎(政)  
 安部 磯雄(第一)  
 中島 彌圓次(民)  
 第三區(四人)  
 安藤 正純(政)  
 伊藤 仁太郎(政)  
 頼母木 桂吉(民)  
 缺員一人  
 第四區(四人)  
 磯部 尙(政)  
 國枝 拾次郎(政)  
 朴 春琴(第一)  
 眞鍋 儀十(民)  
 第五區(五人)

三上 英雄(政)  
 牧野 賤男(政)  
 鈴木 富士彌(民)  
 高木 正年(民)  
 斯波 貞吉(民)  
 第六區(五人)  
 前田 米藏(政)  
 中村 繼男(國)  
 佐藤 正(民)  
 松谷與二郎(第一)  
 缺員一人  
 第七區(三人)  
 津雲 國利(第一)  
 八並 武治(民)  
 坂本 一角(政)  
 京都府  
 第一區(五人)  
 中村 三之丞(民)  
 鈴木 吉之助(政)  
 鷲野 米太郎(政)  
 川橋 豊治郎(民)  
 福田 關次郎(民)  
 第二區(三人)  
 中野 種一郎(政)  
 磯部 清吉(政)  
 田中 祐四郎(民)

大阪府

第三區(三人)  
 長田 桃藏(政)  
 芦田 均(政)  
 水島 彦一郎(政)  
 第一區(三人)  
 板野 友造(政)  
 一定 定吉(民)  
 桥谷 寅吉(民)  
 第二區(三人)  
 山本 芳治(政)  
 竹田 儀一(民)  
 沼田 嘉一郎(政)  
 第三區(四人)  
 上田 孝吉(政)  
 内藤 正剛(民)  
 青田 勝晴(政)  
 缺員一人  
 第四區(四人)  
 森田 政義(政)  
 中山 福藏(民)  
 本田 彌市郎(民)  
 吉川 吉郎兵衛(民)  
 第五區(四人)  
 勝田 永吉(民)  
 杉山 元治郎(第一)  
 岩崎 幸治郎(政)

神奈川縣  
 第一區(三人)  
 野方 次郎(政)  
 戸井 嘉作(民)  
 三宅 磐(民)  
 第二區(四人)  
 川口 義久(政)  
 鈴木 喜三郎(政)  
 小泉 又次郎(民)  
 岩切 重雄(民)  
 第三區(四人)  
 胎中楠右衛門(政)  
 鈴木 英雄(政)  
 河野 一郎(政)  
 平川 松太郎(民)  
 兵庫縣  
 第一區(五人)  
 砂田 重政(政)  
 野田 文一郎(國)  
 中井 一夫(政)  
 濱野 徹太郎(民)

中 亥歳男(民)  
 第二區(四人)  
 藤山 貞吉(政)  
 立川 平(政)  
 前田 房之助(民)  
 原 淳一郎(民)  
 第三區(三人)  
 小林 網治(政)  
 多木久米次郎(政)  
 青木 雷三郎(政)  
 第四區(四人)  
 原 惣兵衛(政)  
 田中 武雄(民)  
 清瀬 一郎(國)  
 缺員一人  
 第五區(三人)  
 若宮 貞夫(政)  
 齋藤 隆夫(民)  
 畑 七右衛門(政)

新潟縣  
 第一區(三人)  
 山本 梯二郎(政)  
 田邊 熊一(政)  
 山田 助作(民)  
 第二區(四人)  
 松木 弘(政)  
 渡邊 幸太郎(政)  
 出塚 助衛(政)  
 佐藤 與一(民)  
 第三區(五人)  
 加藤 知正(政)  
 高橋 金治郎(政)  
 山田 又司(政)  
 大竹 貫一(國)  
 原 吉郎(民)  
 第四區(三人)  
 鈴木 義隆(政)  
 武田 徳三郎(政)  
 増田 義一(民)  
 埼玉縣  
 六三九



第一區(四人) 高橋 泰雄(政) 松永 東(民) 宮崎 一(政) (缺員一人)

第二區(四人) 横川 重次(政) 長島 隆二(政) 一瀬 一二(政) 高橋 守平(民)

第三區(三人) 野中 徹也(國) 出井 兵吉(政) 門田 新松(政)

群馬縣

第一區(五人) 中島 知久平(政) 青木 精一(無) 飯塚 春太郎(民) 清水 留三郎(民) 増田 金作(政)

第二區(四人) 畑 桃作(政) 木暮 武太夫(政) 篠原 義政(政) 木村 三四郎(民)

千葉縣

第一區(四人) 多田 滿長(民) 本多 貞次郎(政) 川島 正次郎(政) (缺員一人)

第二區(三人) 鷗澤 宇八(民) 鳩山 秀夫(政) 今井 健彦(政)

第三區(四人) 土屋 清三郎(民) 竹澤 太一(政) 小高 長三郎(政) 岩瀬 亮(政)

茨城縣

第一區(四人) 内田 信也(無) 宮古 啓三郎(政) 葉梨 新五郎(政) 豊田 豊吉(民)

第二區(三人) 石井 三郎(無) 山崎 猛(政) 中井川 浩(民)

第三區(四人)

栃木縣

第一區(五人) 飯村 五郎(政) 堀江 正三郎(政) 佐藤 洋之助(政) 風見 章(國)

第二區(四人) 船田 中(政) 坪山 德彌(政) 高田 耘平(民) 岡田 喜久治(民) (缺員一人)

第三區(四人) 松村 光三(政) 岡本 一巳(第) 上野 基三(政) 栗原 彦三郎(國)

第四區(五人) 江藤 源九郎(第) 岩本 武助(政) 八木 逸郎(民) 福井 甚三(政) 松尾 四郎(民)

三重縣

第一區(五人) 加藤 久米四郎(政) 伊坂 秀五郎(政)

愛知縣

第一區(五人) 加藤 録五郎(政) 小山 松壽(民) 田中 善立(政) 瀬川 嘉助(政) (缺員一人)

第二區(三人) 丹下 茂十郎(政) 山田 佐一(政) (缺員一人)

第三區(三人) 瀧 正雄(無) 加藤 綱一(國) 田中 貞二(政)

第四區(三人) 小笠原 三九郎(政) 小林 銜(政)

武富 清(民)

第五區(三人) 大口 喜六(政) 近藤 壽市郎(政) 鈴木 正吾(國)

靜岡縣

第一區(五人) 山口 忠五郎(政) 宮本 雄一郎(政) 深澤 豊太郎(政) 海野 數馬(民) 平野 光雄(民)

第二區(四人) 仁田 大八郎(政) 春名 成章(無) 勝又 春一(政) 岸 衛(國)

第三區(四人) 太田 正孝(政) 倉元 要一(政) 永田 善三郎(民) 井上 剛一(國)

山梨縣(全縣一區五人)

田邊 七六(政) 川手 甫雄(政) 大崎 清作(政)

滋賀縣(全縣一區五人)

竹内 友治郎(政) 福田 虎龜(國) 清水 銀藏(政) 服部 岩吉(政) 堤 康次郎(民) 仙波 久良(政) 青木 亮貫(民)

岐阜縣

第一區(三人) 西田 銳吉(政) 大野 伴睦(政) 清 寛(民)

第二區(三人) 佐竹 直太郎(政) 楠 基道(政) 後藤 亮一(民)

第三區(三人) 牧野 良三(政) 古屋 慶隆(國) 平井 信四郎(政)

長野縣

第一區(三人) 松本 忠雄(民) 山本 慎平(政) (缺員一人)

宮城縣

第一區(五人) 内々崎作三郎(民) 守屋 榮夫(無) 宮澤 清作(政) 菅原 傳(政) 佐々木家壽治(政)

第二區(三人) 星 康平(政) 大石 倫治(政) 村松 久義(民)

福島縣

第一區(三人)

第二區(三人) 山本 莊一郎(政) 小山 邦太郎(民) 鷲澤 與四二(國)

第三區(四人) 小川 平吉(政) 有馬 淺雄(政) 戸田 由美(國) (缺員一人)

第四區(三人) 高橋 保(政) 百瀬 渡(民) (缺員一人)

岩手縣

第一區(三人) 田子 一(民) 八角 三郎(政) (缺員一人)

第二區(四人) 志賀 和多利(政) 小野 寺章(政) 廣瀬 爲久(政) 高橋 壽太郎(國)

青森縣

第一區(三人) 藤井 達也(政)

第二區(五人) 堀切 善兵衛(政) 菅野 善右衛門(政) 林 平馬(民) 八田 宗吉(政) 小島 智善(政) 助川 啓四郎(政) 中野 寅吉(政) (缺員一人)

第三區(三人) 佐藤 庄太郎(政) 比佐 昌平(民) 鈴木 辰三郎(政)



梅村 大(政)

工藤 鐵男(民)

第二區(三人)

工藤 十三雄(政)

兼田 秀雄(無)

菊池 良一(國)

山形縣

第一區(四人)

西方 利馬(第一)

高橋 熊次郎(政)

戸田 虎雄(政)

佐藤 啓(國)

第二區(四人)

佐藤 理吉(國)

熊谷 直太(政)

清水 徳太郎(民)

松岡 俊三(政)

秋田縣

第一區(四人)

杉本 國太郎(政)

鈴木 安孝(政)

町田 忠治(民)

(缺員一人)

第二區(三人)

小山田 義孝(政)

猪股 謙二郎(民)

(缺員一人)

福井縣(全縣一區五人)

齋藤 直橋(民)

熊谷五右衛門(政)

山本 条太郎(政)

添田 敬一郎(民)

猪野毛 利榮(政)

石川縣

第一區(三人)

永井 柳太郎(民)

箸本 太吉(政)

(缺員一人)

第二區(三人)

青山 憲三(政)

櫻井 兵五郎(民)

益谷 秀次(政)

富山縣

第一區(三人)

石坂 豊一(政)

高見 之通(政)

野村 嘉六(民)

(缺員一人)

第二區(三人)

島田七郎右衛門(政)

土倉 宗明(政)

松村 謙三(民)

鳥取縣(全縣一區四人)

豐田 收(無)

矢野 晋也(政)

由谷 義治(國)

山橋 儀重(民)

島根縣

第一區(三人)

櫻内 幸雄(民)

木村小左衛門(民)

原 夫次郎(民)

第二區(三人)

島田 俊雄(政)

沖島 謙三(政)

俵 孫一(民)

岡山縣

第一區(五人)

岡田 忠彦(政)

横山 泰造(政)

難波 清人(政)

大山 斐瑳磨(政)

久山 知之(政)

第二區(五人)

小谷 節夫(政)

小川 郷太郎(民)

星島 二郎(政)

西村 丹治郎(民)

則井 萬壽雄(政)

廣島縣

第一區(四人)

岸田 正記(政)

名川 侃市(政)

荒川 五郎(民)

藤田 若水(民)

第二區(五人)

渡邊 伍(政)

望月 圭介(政)

山道 襄一(國)

田中 貢(民)

第三區(五人)

宮澤 裕(政)

米田 規矩馬(政)

森田 福市(政)

作田 高太郎(民)

横山 金太郎(民)

山口縣

第一區(四人)

久原 房之助(政)

保良 淺之助(政)

庄 晋太郎(政)

藤井 啓一(民)

第二區(五人)

窪井 義道(無)

西村 茂生(政)

澤本 與一(民)

兒玉 右二(政)

(缺員一人)

和歌山縣

第一區(三人)

木本 圭一郎(政)

玉置 吉之丞(政)

松山 常次郎(政)

第二區(三人)

世耕 弘一(政)

三尾 邦三(政)

小山 谷藏(國)

徳島縣

第一區(三人)

紅 露 昭(政)

生田 和平(政)

谷原 公(民)

第二區(三人)

伊藤 皆次郎(政)

眞鍋 勝(民)

(缺員一人)

香川縣

第一區(三人)

宮脇 長吉(政)

上原 平太郎(政)

戸澤 民十郎(民)

職員錄——衆議院

第二區(三人)

山下 谷次(政)

三土 忠造(政)

矢野 庄太郎(民)

愛媛縣

第一區(三人)

大本 貞太郎(政)

武知 勇記(民)

須之内 品吉(政)

第二區(三人)

森昇 三郎(政)

河上 哲太(政)

村上 紋四郎(民)

第三區(三人)

白城 定一(政)

山村 豊次郎(政)

(缺員一人)

高知縣

第一區(三人)

田村 實(政)

中谷 貞頼(政)

富田 幸次郎(民)

第二區(三人)

林 讓 治(政)

依光 好秋(政)

川淵 洽馬(民)

福岡縣

第一區(四人)

原口 初太郎(政)

中野 正剛(國)

宮川 一貫(政)

吉田 朝明(政)

第二區(五人)

實岡 牛之助(政)

龜井貫一郎(第一)

田尻 生五(政)

田島 勝太郎(民)

高野 喜六(民)

第三區(五人)

野田 俊作(政)

貝谷 眞孜(政)

山崎 達之輔(無)

高倉 寛(政)

樋口 典常(無)

第四區(四人)

小池 四郎(第一)

勝 正 憲(民)

末松 借一郎(民)

林 田 操(政)

大分縣

第一區(四人)

金光 庸夫(政)

熊本縣

第一區(五人)

木村 正義(政)

松野 鶴平(政)

村田 虎之助(政)

安達 謙藏(國)

大塚 唯男(民)

第二區(五人)

上 塚 司(政)

三善 信房(政)

職員錄——衆議院



職員錄——朝鮮總督府

中野 猛雄(政)
伊豆 富人(國)
深水 清(國)
宮崎縣(全縣一區五人)
平島 敏夫(政)
渡邊 與七(政)
田尻 藤四郎(政)
水久保 甚作(政)
(缺員一人)
鹿兒島縣
第一區(五人)
床次 竹二郎(無)
藏園 三四郎(政)
井上 知治(政)
中村 嘉壽(政)
(缺員一人)
第二區(四人)
東郷 實(政)
天辰 正守(政)
寺田 市正(政)
(缺員一人)
第三區(三人)
金井 正夫(政)
津崎 尙武(政)
永田 良吉(政)
沖繩縣(全縣一區五人)

金城 紀光(政)
花城 永渡(政)
崎山 嗣朝(政)
竹下 文隆(政)
伊禮 肇(國)
北海 道
第一區(四人)
壽原 英太郎(政)
山本 厚三(民)
丸山 浪彌(政)
岡田 伊太郎(政)
第二區(四人)
東 武(政)
林 路一(政)
田中 喜代松(政)
坂東 幸太郎(民)
第三區(三人)
佐々木 平次郎(政)
林 儀作(政)
大島 寅吉(民)
第四區(五人)
板谷 順助(政)
松實 喜代太(政)
山本 市英(政)
松尾 孝之(政)
手代木 隆吉(民)

第五區
三井 德實(政)
尾崎 天風(政)
木下 成太郎(政)
小池 仁郎(國)
○衆議院事務局
書記官長 田口 彌一
議事課長 大木 操
警務課長(兼) 大木 操
調查課長(兼) 大木 操
秘書課長 中御門 經民
委員課長(兼) 中御門 經民
庶務課長(兼) 大池 眞
會計課長(兼) 大池 眞
速記課長 西澤 哲四郎
守衛長 西村 千代作
文官高等懲戒
委員會
委員長 荒井 賢太郎
樞密顧問官 荒井 賢太郎
會計検査官懲
戒裁判所
長官 樞密顧問官 荒井 賢太郎

行政裁判所長官評
定官懲戒裁判所
裁判長 荒井 賢太郎
樞密顧問官 荒井 賢太郎
朝鮮總督府
總督
政務總監
○總督官房
秘書官(兼)
室田 寅雄
同 矢野 義男
秘書課長 安井 誠一郎
人事課長 上 瀧 基
外事課長 田中 武雄
文書課長(兼) 安井 誠一郎
會計課長 澤 慶治郎
臨時國勢調査課長(兼) 安井 誠一郎
○內務局
局長 牛島 省三
地方課長 西岡 芳次郎
土木課長 樺葉 孝平
△京城土木出張所長 川澤 章明
△裡里土木出張所長

職員錄——朝鮮總督府

武居 軍次郎
△草梁土木出張所長 八島 茂
△平壤土木出張所長 特山 義雄
△鎮南浦土木出張所長 福井 游
△元山土木出張所長 長郷 衛二
△清津土木出張所長 野方 寅吉
○財務局
局長 林 繁藏
司計課長 水田 直昌
理財課長 西崎 鶴司
稅務課長 景山 宜景
殖産局
局長 穂積 眞六郎
鑛山課長 石田 千太郎
商工課長 山澤 和三郎
水産課長 西本 計三
商工獎勵館長(兼)
山澤 和三郎
地質調査所長 立岩 巖
農林局
局長 渡邊 忍

農産課長 湯村 辰二郎
土地改良課長 碓井 忠平
農政課長 古庄 逸夫
林政課長 塩田 正洪
林業課長 伊藤 重次郎
水利課長 橋本 左太郎
○法務局
局長 笠井 健太郎
法務課長(兼) 宮本 元
行刑課長 大原 龍三
○學務局
局長 渡邊 豊日子
社會課長 嚴 昌
學務課長 大野 謙一
編修課長 稻垣 茂一
觀測所長 後藤 一郎
○警務局
局長 池田 清
保安課長 近藤 常尙
警務課長 上内 彦作
圖書課長 清水 重夫
衛生課長 西龜 三圭
○中樞院
議長 今井田 清德
副議長 朴 泳
書記官長(兼) 牛島 省三

○朝鮮關稅訴訟審査委員會
會長 政務總監 今井田 清德
○朝鮮史編修會
會長 政務總監 今井田 清德
○林野調査委員會
委員長 政務總監 今井田 清德
○朝鮮簡易生命保險審査會
會長 政務總監 今井田 清德
○逕信局
局長 井上 清
保險監理課長 田中 淨夫
保險運用課長 矢野 桃郎
海事課長 高松 順茂
庶務課長 池 隆三
監理課長 川面 隆三
經理課長 村上 好
保險業務課長 飯倉 文甫
工務課長 今井 頼次郎
電氣課長 今井 頼次郎
海事課長(代理) 松崎 嘉雄
海員審判所
所長 逕信局長 井上 清
○鐵道局
局長 吉田 浩
庶務課長 澤崎 修

營業課長 佐藤 作郎
監督課長 萩原 三郎
監理課長 小林 利一
建設課長 光田 光之助
運輸課長 衛藤 祐盛
工作課長 福見 貞治
工務課長 清水 幸次
○專賣局
局長 松田 正之
事業課長 信原 聖
庶務課長 森 長文
鹽務課長 山本 義一郎
製造課長 山地 靖之
京城支局長 關口 聰
全州支局長 松島 清
大邱支局長 山本 坂太郎
平壤支局長 中原 史郎
○仁川稅關
稅關長 吉岡 三浦
○釜山稅關
稅關長 小池 泉
○新義州稅關
稅關長 瀬戸 道一
○京城稅務監督局
局長 美座 流石
○平壤稅務監督局



局長 甘庶 義邦  
 ○大邱稅務監督局 藤本 修三  
 ○光州稅務監督局 多賀 秀敏  
 ○威興稅務監督局 芳賀 文三  
 局長 深澤 新一郎  
 ○京城覆審法院 小川 至德  
 ○平壤覆審法院 岡本 至德  
 ○大邱覆審法院 伊東 淳吉  
 ○京城地方法院 原 正鼎  
 ○京城地方法院 野村 調太郎  
 ○公州地方法院 水野 重功  
 ○咸興地方法院 多田 吉彌  
 ○咸興地方法院 千綿 榮六

院長 田尻 隣造  
 ○清津地方法院 平山 正祥  
 ○平壤地方法院 橋本 恒五郎  
 ○新義州地方法院 多田 吉鐘  
 ○海州地方法院 大沼 惟隆  
 ○釜山地方法院 金子 秀顯  
 ○釜山地方法院 齋藤 榮治  
 ○釜山地方法院 原田 鶴吉  
 ○釜山地方法院 石川 鶴吉  
 ○釜山地方法院 長谷部 光雄  
 ○釜山地方法院 里見 寬二  
 ○釜山地方法院 森田 秀治郎  
 ○釜山地方法院 奈良井 多一郎  
 ○釜山地方法院 吉田 平治郎  
 ○釜山地方法院 山澤 佐一郎  
 ○釜山地方法院 五味 逸平  
 ○釜山地方法院 柳原 茂

○濟生院(京城府) 渡邊 豐日子  
 ○穀物検査所(京城府) 石塚 峻  
 ○種馬牧場(京畿道水原郡) 油井 治  
 ○農事試驗場(京畿道水原郡) 湯川 又夫  
 ○中央試驗所(京城府) 山村 銳吉  
 ○獸疫血清製造所(慶尙南道東萊郡) 昆野 恒太郎  
 ○警察官講習所(京城府) 池田 清  
 ○水産試驗場(釜山府) 長友 寬  
 ○林業試驗場(京畿道高陽郡) 鎬木 德二  
 ○京城帝國大學 山田 三良  
 ○法文學部長 船田 享二  
 ○醫學部長 高楠 榮  
 ○醫學部長 中村 寅松  
 ○京城法學專門學校 鷹松 龍種

○京城醫學專門學校 佐藤 剛藏  
 ○水原高等農林學校 湯川 又夫  
 ○京城高等商業學校 岩佐 重一  
 ○京城師範學校 渡邊 信治  
 ○平壤師範學校 津田 信  
 ○大邱師範學校 鳥飼 生駒  
 ○京城工業學校 山村 銳吉  
 ○永興學校—感化院—(咸鏡南道文川郡) 阿部 虎之助  
 ○圖書館(京城府) 萩山 秀雄  
 ○經學院(京城府) 鄭 萬朝  
 ○大提學 松本 誠  
 ○京畿道 金 東勳  
 ○京畿道 大島 良士  
 ○京畿道 金 東勳  
 ○京畿道 大島 良士

○忠清北道 竹内 健郎  
 參事官 南宮 贊  
 內務部長 伊藤 泰吉  
 ○忠清南道 岡崎 哲郎  
 參事官 朱 榮煥  
 內務部長 尹 泰彬  
 ○全羅北道 高 元勳  
 參事官 李 鍾殷  
 內務部長 阿部 明治太郎  
 ○全羅南道 高 橋敏  
 知事 矢島 杉造  
 參事官 姜 弼成  
 內務部長 兒島 高信  
 產業部長(兼) 姜 弼成  
 警察部長 柳生 繁雄  
 ○慶尙北道 金 瑞圭  
 知事 金 時權  
 參事官 大竹 十郎  
 內務部長

產業部長(兼) 金 時權  
 ○慶尙南道 關水 武  
 參事官 孫 永穆  
 內務部長 孫 永穆  
 產業部長(兼) 孫 永穆  
 ○黃海道 鄭 僑源  
 知事 鄭 僑源  
 參事官 張 錫元  
 內務部長 佐々木 忠右衛門  
 ○平安南道 古川 兼秀  
 參事官 藤原 喜藏  
 內務部長 藤原 喜藏  
 ○平安北道 河野 節夫  
 知事 佐伯 顯  
 參事官 土師 盛貞  
 內務部長 高 安彦  
 ○江原道 丹下 郁太郎  
 知事 李 範益  
 參事官 洪 鍾國

○總督府 新貝 眞一  
 總督 山下 眞一  
 總務長官 萩原 彦三  
 秘書官(兼) 能澤 外茂吉  
 秘書官(兼) 能澤 外茂吉  
 同 能澤 外茂吉  
 秘書課長 能澤 外茂吉  
 文書課長 能澤 外茂吉  
 法務課長 山下 眞平  
 會計課長(兼) 山岸 金三郎  
 調查課長(兼) 能澤 外茂吉  
 警備課長 井手 薰  
 ○臨時國勢調查部

○內務部 小濱 淨鏡  
 部長 小濱 淨鏡  
 地方課長 赤堀 鐵吉  
 地理課長(兼) 赤堀 鐵吉  
 土木課長 木原 圓次  
 ○文敎局 安武 直夫  
 局長 安武 直夫  
 社會課長 王野 代治郎  
 學務課長 郡 茂德  
 編修課長 三 屋 靜  
 ○財務局 岡田 信  
 局長 岡田 信  
 主計課長 中島 一郎  
 金融課長 山岸 金三郎  
 稅務課長 江藤 昌之  
 ○殖産局 中瀨 拙夫  
 局長 中瀨 拙夫  
 特産課長 奧田 達郎  
 農務課長 猪俣 一郎  
 商工課長 須田 一二三  
 水産課長 須田 一二三  
 山林課長 須田 一二三  
 礦務課長(兼) 西村 高兄  
 ○警務局 西村 高兄



局長 石垣 倉治  
 理審課長 鈴木 秀夫  
 保安課長 坂口 主稅  
 衛生課長 高橋 秀人  
 警務課長 森田 俊介  
 ○高等法院 竹内 佐太郎  
 院長 佐野 喜四郎  
 ○臺北地方法院 大里 武八郎  
 院長 古山 春司郎  
 ○臺中地方法院 緒方 清繼  
 院長 上瀧 汎  
 ○臺南地方法院 鈴木 英男  
 院長 石橋 省吾  
 ○交通部 堀田 鼎  
 總務課長 松本 虎太  
 鐵道港灣課長 (欠)  
 鐵道部長 堀田 鼎  
 事務取扱 堀田 鼎  
 選信部長 堀田 鼎  
 ○專賣局 田端 幸三郎

庶務課長 三輪 幸助  
 酒課長 本多 保太郎  
 鹽課長 平 輝雄  
 煙草課長 堤 正威  
 ○基隆稅關 增田 秀吉  
 稅關長 川 副龍雄  
 ○臺北帝國大學 幣原 坦  
 總長 今村 完道  
 文政學部長 青木 文一郎  
 理農學部長 堀内 次雄  
 ○臺北醫學專門學校 堀内 次雄  
 校長 堀内 次雄  
 ○臺北高等商業學校 切田 太郎  
 校長 切田 太郎  
 ○臺南高等工業學校 若槻 道隆  
 校長 若槻 道隆  
 ○臺北高等學校 谷本 清心  
 校長 谷本 清心  
 ○臺北第一師範學校 濱武 元次  
 校長 濱武 元次  
 ○臺北第二師範學校 根井 久吾  
 校長 根井 久吾  
 ○臺中師範學校 大岩 榮吾  
 校長 大岩 榮吾

○臺南師範學校 田中 友二郎  
 校長 田中 友二郎  
 ○警察官及司獄官練習所 倉治  
 所長 倉治  
 ○圖書館 山中 樞  
 館長 山中 樞  
 ○成德學院(臺北州七星郡) 杵淵 義房  
 院長 杵淵 義房  
 ○松山療養所(臺北州七星郡) 新 勝  
 所長 新 勝  
 ○樂生院(臺北州新莊郡) 上川 豐  
 院長 上川 豐  
 ○中央研究所(臺北市幸町) 廣義  
 所長 廣義  
 ○總務長官平塚 廣義  
 所長 廣義  
 ○農務部長 澁谷 紀三郎  
 林業部長 關 文彦  
 工業部長 加福 均三  
 衛生部長 堀内 次雄  
 庶務課長 廣谷 致員  
 ○糖業試驗所(臺南市竹篙厝) 岡出 幸生  
 所長 岡出 幸生  
 ○臺北州 野口 敏治  
 知事 野口 敏治  
 內務部長 福元 岩吉  
 警務部長 石川 定俊  
 港務部長(兼) 石川 定俊

○新竹州 內海 忠司  
 知事 內海 忠司  
 內務部長 藤村 寬太  
 警務部長 高原 逸人  
 ○臺中州 竹下 豐次  
 知事 竹下 豐次  
 內務部長 中田 榮次郎  
 警務部長 慶谷 隆夫  
 ○臺南州 今川 潤  
 知事 今川 潤  
 內務部長 川村 直岡  
 警務部長 佐々木金太郎  
 ○高雄州 西澤 義徵  
 知事 西澤 義徵  
 內務部長 小林 長彦  
 警務部長 宮尾 五郎  
 港務部長(兼) 宮尾 五郎  
 臺東廳 本間 善庫  
 廳長 本間 善庫  
 ○花蓮港廳 政所 重三郎  
 廳長 政所 重三郎  
 ○澎湖廳 大磐 誠三  
 廳長 大磐 誠三  
 ○關東廳 菱刈 隆  
 長官(兼) 菱刈 隆

顧問 滿鐵總裁 伯林 博太郎  
 ○長官官房 鹽原 時三郎  
 秘書課長 水谷 秀雄  
 文書課長 米内山 震作  
 調查課長 御厨 信市  
 外事課長 日下 辰太  
 ○內務局 安永 登  
 局長 田邊 秀雄  
 地方課長 田中 稔  
 學務課長 山中 德二  
 農林課長 清水 本之助  
 農工課長 山本 之助  
 土木課長 中村 孝次郎  
 ○財務局 小宮 孝次郎  
 局長 杉村 正  
 經理課長 杉村 正  
 稅務課長 杉村 正  
 理財課長 杉村 正  
 ○警務局 大場 鑑次郎  
 局長 大場 鑑次郎  
 高等警察課長 本田 忠男  
 警務課長 青木 重臣  
 保安課長 大神田 彌一  
 衛生課長 小坂 隆雄  
 刑事課長(兼) 石井 金三郎  
 監察官 石井 金三郎

○旅順民政署 伴 東  
 署長 伴 東  
 ○大連民政署 御影池 辰雄  
 署長 御影池 辰雄  
 ○金州民政署 山口 俊太郎  
 署長 山口 俊太郎  
 ○普蘭店民政署 林田 龍喜  
 署長 林田 龍喜  
 ○貔子窩民政署 互 元啓  
 署長 互 元啓  
 ○臨時土地調查部 中村 孝次郎  
 部長 中村 孝次郎  
 ○高等法院 杉浦 忠雄  
 院長 杉浦 忠雄  
 檢察官長 下田 勝久  
 ○地方法院 中里 龍  
 院長 中里 龍  
 檢察官長(兼) 下田 勝久  
 ○海務局 渡邊 浩  
 局長 渡邊 浩  
 庶務課長 鹽谷 末吉  
 海事課長 藤城 吉太郎  
 港務課長 江原 幹三  
 ○觀測所 草間 茂登  
 所長 草間 茂登  
 ○選信局 草間 茂登  
 局長 草間 茂登

局長 藤井 崇治  
 監理課長 大久保 武雄  
 經理課長 藤川 洋  
 總務課長(兼) 大久保 武雄  
 庶務課長 近藤 儀一  
 工務課長 中田 末廣  
 電氣課長 中里 末雄  
 ○專賣局 御影池 辰雄  
 局長(兼) 御影池 辰雄  
 業務課長 高木 喜徳  
 庶務課長 井上 謙三郎  
 ○農事試驗場 中富 貞夫  
 場長 中富 貞夫  
 ○水産試驗場 姉 帶 定助  
 場長 姉 帶 定助  
 ○鹽業試驗場 松田 信吉  
 場長 松田 信吉  
 ○旅順工科大学 野田 清一郎  
 大學長 野田 清一郎

○農林部 高島 久次郎  
 部長 高島 久次郎  
 ○警察部 高橋 敏雄  
 部長 高橋 敏雄  
 ○鐵道事務所 山崎 隆義  
 所長 山崎 隆義  
 ○中央試驗所 大鳥 忠康  
 所長 大鳥 忠康  
 ○南洋廳 三宅 康次  
 長官 三宅 康次  
 庶務課長(兼) 林 壽夫  
 財務課長 只野 安房  
 警務課長 林 壽夫  
 拓殖課長 工藤 幸亮  
 通信課長 上野 省三  
 院長 只野 安房  
 ○高等法院 石川 晉次  
 院長 石川 晉次  
 ○警視廳 藤沼 庄平  
 警視總監 藤沼 庄平  
 總監官房 村地 信夫  
 官房主事 原 信次郎  
 監察官 水野 薫



同 岩城 佛  
 ○警務部 三島 誠也  
 警務課長 武内 哲夫  
 警衛課長 伊能 芳雄  
 ○特別高等警察部  
 部長 安倍 源基  
 調停課長 石原 專一  
 外事課長 久安 博忠  
 勞働課長 官脇 參三  
 檢閱課長 赤羽 三積  
 特別高等課長 毛利 三郎  
 内鮮課長 榎本 三郎  
 ○刑事部  
 部長 橋本 清吉  
 捜査第二課長 盛本 完  
 同 第一課長 浦川 秀吉  
 ○保安部  
 部長 林 信夫  
 工場課長 鈴木 信藏  
 健康保險課長 佐藤 新  
 保安課長 重田 忠保  
 交通課長 大島 弘夫  
 建築課長 北澤 五郎  
 ○衛生部  
 部長 上田 誠一

衛生検査所長 野副 豊三郎  
 獸醫課長 池上 幸健  
 防疫課長 井口 乘海  
 警務課長 加藤 寛二郎  
 細菌検査所長 大坪 五也  
 衛生課長 岸本 太郎  
 ○消防部  
 部長 早川 元  
 消防課長 岩城 彌太郎  
 ○警察練習所  
 所長(兼) 三島 誠也  
 ○消防練習所  
 所長(兼) 早川 元

地方官

北海通廳(札幌市)  
 長官 佐上 信一  
 内務部長 西山 茂  
 學務部長 後藤 耕造  
 土木部長 泊 武治  
 拓殖部長 外山 福男  
 産業部長 奥田 茂造  
 警察部長 藤岡 長敏  
 東京府(東京市)  
 知事 香坂 昌康  
 内務部長 安藤 狂四郎

長崎縣(長崎市)  
 知事 鈴木 信太郎  
 内務部長 大津 敏男  
 學務部長 小山 三郎  
 警察部長 森部 隆  
 新潟縣(新潟市)  
 知事 千葉 了  
 内務部長 石川 芳太郎  
 學務部長 柴山 博  
 土木部長 川上 國三郎  
 警察部長 土肥 米之  
 埼玉縣(浦和市)  
 知事 飯沼 一省  
 内務部長 玉田 昇次郎  
 學務部長 上原 參良  
 警察部長 副見 喬雄  
 群馬縣(前橋市)  
 知事 金澤 正雄  
 内務部長 三樹 樹三  
 學務部長 星子 政雄  
 警察部長 久保田 峻  
 千葉縣(千葉市)  
 知事 岡田 文秀  
 内務部長 藤田 俱治郎  
 學務部長 堀口 功  
 警察部長 矢野 兼三

茨城縣(水戸市)  
 知事 阿部 嘉七  
 内務部長 中村 安次郎  
 學務部長 松木 茂一  
 警察部長 高野 源進  
 栃木縣(宇都宮市)  
 知事 萱場 軍藏  
 内務部長 安原 舜一  
 學務部長 菊地 角馬  
 警察部長 内藤 三郎  
 奈良縣(奈良市)  
 知事 兒玉 政介  
 内務部長 平 敏孝  
 學務部長 久慈 學  
 警察部長 泉 守紀  
 三重縣(津市)  
 知事 早川 三郎  
 内務部長 松崎 謙二郎  
 學務部長 甲斐 正顯  
 警察部長 江邊 清夫  
 愛知縣(名古屋市)  
 知事 篠原 英太郎  
 内務部長 羽生 雅則  
 學務部長 小田 光伴  
 土木部長 川 越 篤  
 警察部長 吉永 時次

靜岡縣(靜岡市)  
 知事 田中 廣太郎  
 内務部長 足立 牧  
 學務部長 廣田 増太郎  
 土木部長 木村 憲七郎  
 警察部長 歌田 千勝  
 山梨縣(甲府市)  
 知事 關屋 延之助  
 内務部長 立田 清辰  
 學務部長 長橋 茂男  
 警察部長 荒木 義夫  
 滋賀縣(大津市)  
 知事 伊藤 武彦  
 内務部長 九鬼 三郎  
 學務部長 永井 浩  
 警察部長 梁井 淳二  
 岐阜縣(岐阜市)  
 知事 宮脇 梅吉  
 内務部長 熊野 英  
 學務部長 北里 善從  
 警察部長 山内 繼喜  
 長野縣(長野市)  
 知事 岡田 周造  
 内務部長 小早川 貞登  
 學務部長 内藤 寬一  
 土木部長 岩崎 雄治

警務部長 山本 義章  
 宮城縣(仙台市)  
 知事 牛井 清  
 内務部長 二見 直三  
 學務部長 今松 治郎  
 土木部長 土肥 憲二郎  
 警察部長 中野 與吉郎  
 福島縣(福島市)  
 知事 畑山 四男美  
 内務部長 赤土 正強  
 學務部長 末原 貫一郎  
 警察部長 渡 正監  
 岩手縣(盛岡市)  
 知事 石黒 英彦  
 内務部長 小山 知一  
 學務部長 湯本 二郎  
 警察部長 北村 英明  
 青森縣(青森市)  
 知事 小林 光政  
 内務部長 安井 章一  
 學務部長 宇都宮 孝平  
 警察部長 淵上 房太郎  
 山形縣(山形市)  
 知事 石原 雅二郎  
 内務部長 山縣 三郎  
 學務部長 山田 武雄

警務部長 石建 國次郎  
 秋田縣(秋田市)  
 知事 武部 六藏  
 内務部長 麻生 亮藏  
 學務部長 相野田 彌平  
 警察部長 鳥田 昌福  
 福井縣(福井市)  
 知事 近藤 駿介  
 内務部長 辻野 三郎  
 學務部長 奥田 久七郎  
 警察部長 松澤 龍雄  
 石川縣(金澤市)  
 知事 館 哲二  
 内務部長 中村 忠充  
 學務部長 辻 利吉  
 警察部長 富田 健治  
 富山縣(富山市)  
 知事 齊藤 樹  
 内務部長 田島 義士  
 學務部長 遠山 信一郎  
 警察部長 松原 久人  
 鳥取縣(鳥取市)  
 知事 中谷 秀  
 内務部長 竹田 武男  
 學務部長 迫 靜吾  
 警察部長 鳥川 直英



**島根縣(松江市)**  
 知事 福邑 正樹  
 内務部長 松島 源造  
 學務部長 熊野 周二  
 警察部長 清水谷 徹  
**岡山縣(岡山市)**  
 知事 多安 安信  
 内務部長 土屋 正三  
 學務部長 並川 義隆  
 警察部長 岩上 夫美雄  
**廣島縣(廣島市)**  
 知事 湯澤 三千男  
 内務部長 本間 精  
 學務部長 鈴木 省吾  
 警察部長 山口 十一郎  
**山口縣(山口市)**  
 知事 菊山 嘉男  
 内務部長 小西 竹次郎  
 學務部長 大坪 保雄  
 警察部長 佐々木 芳遠  
**和歌山縣(和歌山市)**  
 知事 清水 良策  
 内務部長 川久保 常次郎  
 學務部長 高橋 一郎  
 警察部長 山内 義文

**徳島縣(徳島市)**  
 知事 金森 太郎  
 内務部長 加賀谷 朝藏  
 學務部長 三浦 直彦  
 警察部長 松崎 陽一  
**香川縣(高松市)**  
 知事 木下 義介  
 内務部長 鈴木 登茂  
 學務部長 中村 四郎  
 警察部長 中村 四郎  
**愛媛縣(松山市)**  
 知事 一戸 二郎  
 内務部長 田中 修  
 學務部長 瀬谷 修  
 警察部長 連 修  
**高知縣(高知市)**  
 知事 坂間 棟治  
 内務部長 中村 恒三郎  
 學務部長 上村 靖  
 警察部長 赤木 親之  
**福岡縣(福岡市)**  
 知事 小栗 一雄  
 内務部長 戸塚 九一郎  
 學務部長 川島 傳三  
 警察部長 坂本 鐵臣

**大分縣(大分市)**  
 知事 田口 易之  
 内務部長 内藤 晴三郎  
 學務部長 堀 五之介  
 警察部長 眞崎 長年  
**佐賀縣(佐賀市)**  
 知事 藤岡 長和  
 内務部長 關 壯二  
 學務部長 光田 信  
 警察部長 宮村 才一郎  
**熊本縣(熊本市)**  
 知事 鈴木 敬一  
 内務部長 別宮 秀夫  
 學務部長 山本 秋廣  
 警察部長 山内 逸造

**宮崎縣(宮崎市)**  
 知事 君島 清吉  
 内務部長 土居 章平  
 學務部長 坂井 貞一  
 警察部長 廣瀬 永造  
**鹿兒島縣(鹿兒島市)**  
 知事 市村 慶三  
 内務部長 足立 達夫  
 學務部長 長船 克己  
 警察部長 郡山 義夫  
**沖繩縣(那覇市)**  
 知事 井野 次郎  
 内務部長 山口 尙章  
 學務部長 堀江 英一  
 警察部長 竹崎 米吉

### 主要銀行會社役員録

**安藝電氣(株)** 長野縣大町  
 社長 内山 昇  
 常務取締役 岩本 庸也  
 取締役 高橋 正雄  
 平林 秀吾 大和 壽雄  
 福島 幸重 高橋 亨  
 折井 仲三郎 高橋 保  
 監査役 薄井 左馬次  
 藤森 馨 百瀬 彦一郎  
 増田 留吉

**愛知銀行** 名古屋市中區御幸本町  
 常務取締役 高瀬 八郎  
 取締役 阿部 和永吉  
 河野 善九郎 林 清五  
 八田 宗吉 白勢 量作  
 監査役 齊藤 義雄  
 林 平八郎 田代 興三久  
 支配人 高橋 喜一  
**愛知電氣鐵道(株)** 名古屋市中區  
 常務取締役 渡邊 義郎  
 取締役 山浦 護  
 青木 英作  
 岡谷 惣助  
**各務一** 岡田 良右衛門  
 監査役 岡田 左衛門  
 松平 義為 伊藤 次郎  
 高橋 龍造 鈴木 信吉  
 支配人 久保 寺良吉  
**愛知電氣鐵道(株)** 名古屋市中區  
 常務取締役 志水 正太郎  
 取締役 藍川 清成

**淺野セメント(株)** 後藤 安太郎  
 社長 野々上 薫  
 常務取締役 高橋 正彦  
 白石 勝彦  
 水谷 登免吉  
 深川 區清澄  
**淺野同族(株)** 淺野 總一郎  
 社長 淺野 良三  
 常務取締役 金子 喜代太  
 淺野 八郎  
 乙竹 茂郎  
 大川 平三郎  
 澁澤 武之助  
 阪谷 芳郎  
**旭硝子(株)** 淺野 總一郎  
 社長 淺野 良三  
 常務取締役 淺野 義夫  
 監査役 馬杉 秀

**旭硝子(株)** 淺野 總一郎  
 社長 淺野 良三  
 常務取締役 淺野 義夫  
 監査役 馬杉 秀  
**旭硝子(株)** 淺野 總一郎  
 社長 淺野 良三  
 常務取締役 淺野 義夫  
 監査役 馬杉 秀  
**旭硝子(株)** 淺野 總一郎  
 社長 淺野 良三  
 常務取締役 淺野 義夫  
 監査役 馬杉 秀

主要銀行會社役員録

六五三

**南郷次郎氏著 我國體觀と時弊の源究**  
 定價 金拾錢 (送料別)  
 發行所 東京・京橋・銀座 國民新聞社  
 振替東京三六六三番

現在の日本は正に非常なる難局に遭遇してゐる、之を打開する  
 途は、それは國民舉つて國體の精神に還る事だ！ 本書は詳々  
 として我國體の本義を説き非常時國民の行くべき途を示して  
 る、何人も必讀の大文字である



主要銀行會社役員錄

同 柳原 佐祐 取 市川 誠次 渡邊 義郎 田原 豊 覆並直三郎 上島五一郎 ベルナルド・モリア カール・ペンラート 監 查 役 各務幸一郎 堀 啓次郎 荻生 傳 金田榮太郎 木島敏三郎 フリッツ・リユートゲン 尼崎築港(株) 龜町區丸ノ内 專務取締役 長 淺野總一郎 常務取締役 關 内藤正太郎 同 淺野 義夫 取 締 役 大川平三郎 阪谷 芳郎 今岡純一郎 淺野 良三 山下 太郎 岡部 三郎 山下 太郎 監 查 役 山下龜三郎 白石元治郎 安田善五郎 藤田好三郎 安田善五郎 雙國生命保險(株) 龜町區有樂 專務取締役 長 原 邦造 藤道 文藝

常務取締役 本庄 忠治 取 締 役 根津嘉一郎 岸本兼太郎 中野金次郎 布田 典雅 監 查 役 駒井 久吉 青梅電氣鐵道(株) 東京府青梅 町 專務取締役 長 小澤 太平 專務取締役 山崎文五郎 取 締 役 平岡久左衛門 大島 三橋 金子喜代太 監 查 役 淺野總一郎 指田茂十郎 中村半左衛門 伊勢電氣鐵道(株) 四日市市 專務取締役 長 中田 貢 取 締 役 伊坂秀五郎 名坂 彌市 小川彌太郎 監 查 役 長谷川重太郎 支 配 人 高田 民郎 伊藤産業(合名) 名古屋市中 伊藤次郎左衛門 代表社員 伊藤松之助 出資社員 伊藤銑次郎 伊藤忠(合名) 大阪市東區安土 伊藤忠三郎

町二ノ五一 代表社員 伊藤忠兵衛 伊藤忠三 伊藤茂八郎 伊藤孝太良 伊藤忠商事(株) 大阪府東區安 土町二ノ五一 社 長 矢部 豊次 專務取締役 長 伊藤忠兵衛 伊藤竹之助 取 締 役 伊藤竹太郎 井上 富三 中村信太郎 井上 三三 田中 靖郎 藤野 三一 功力 寅次 淵田 太郎 伊藤茂八郎 小菅宇一郎 伊藤孝太良 監 查 役 安井眞之助 伊那電氣鐵道(株) 龜町區丸ノ内 專務取締役 長 櫻木 亮三 常務取締役 近藤 賢造 同 生垣 賢造 取 締 役 伊原五郎兵衛 山口英九郎 大河原榮之助 林 七六 常任監査役 中田 貢

六五四 監 查 役 永松 利藤 松下修一郎 池上 文磨 伊藤鐵道電氣(株) 松山市 大宰 孫九 副 社 長 大本貞太郎 同 社 長 阿部秀太郎 取 締 役 武智 鼎 近藤竹次郎 井上 要 近藤伊三郎 仲田傳之助 德本 良一 小倉鎮太郎 監 查 役 露口悦次郎 村瀬 正敬 清家 俊三 近藤 爲義 黑川雄之進 山中 義貞 飯山鐵道(株) 長野縣下水内郡 飯山町 專務取締役 長 河西豐太郎 取 締 役 氣賀 高次 牧野 長藏 小林 一三 綾部健太郎 八卷 彌一 監 查 役 佐野 精一 田邊 七六 支 配 人 吉田 次雄 飯塚鑛業(株) 龜町區丸ノ内 三谷 一二

主要銀行會社役員錄

常務取締役 村上 伸雄 取 締 役 池田龜三郎 長崎團次郎 河手 捨二 村田 敏 大阪府東區北濱 岩井商店(株) 四ノ四三 社 長 岩井勝次郎 取 締 役 岩井雄二郎 岩井文一郎 太田富三郎 下田伊三郎 尾上梅太郎 監 查 役 岩井 豊治 支 配 人 藤村 松雄 出雲電氣(株) 鳥取縣松江市 櫻内 幸雄 社 長 本間 學 常務取締役 山本 權七 取 締 役 市川 誠次 江角 興義 市川 誠次 野口 進 佐々田 憲 絲原武太郎 鈴木祐三郎 監 查 役 鈴木祐三郎 板倉 隆治 増野 正 堀 藤十郎 堀 藤十郎 磐城セメント(株) 龜町區丸ノ内二ノ二 社 長 岩崎 清七

常務取締役 高木 百行 取 締 役 根津嘉一郎 岡野利兵衛 吉永 仁藏 安部政次郎 南 俊二 日崎 恒男 佐藤 照治 監 查 役 泉山岩次郎 木村 清治 大橋新太郎 平林 三郎 山田 肇 相 談 役 支 配 人 磐城炭礦(株) 龜町區丸ノ内 社 長 淺野總一郎 專務取締役 渡邊 六藏 同 前川 益以 取 締 役 白石元治郎 石井駒次郎 阪谷 芳郎 淺野 良三 小坂 梅吉 岡部 正樹 渡邊 得男 監 查 役 渡邊 得男 河合 潔 内山吉五郎 伊勢丹(株) 四谷區新宿三 社 長 小菅 丹治 常務取締役 林田 操 同 小菅千代市 取 締 役 小菅 正造 遠藤 宗六 小菅 金重

廣田 種雄 安田 與一 監 查 役 相澤光五郎 池貝鐵工所(株) 芝區三田四國 町 社 長 千葉恒次郎 副 社 長 池貝 杉二 專務取締役 寺井 雄一 取 締 役 今井 三吉 監 查 役 今井 三吉 千葉 胤吉 品川區上大 池上電氣鐵道(株) 品川區上大 時 專務取締役 五島 慶太 常務取締役 篠原三千郎 取 締 役 小林 一三 精明 圭造 中川 正左 取 締 役 支 配 人 松浦由太郎 常任監査役 澁澤 秀雄 監 查 役 丹羽 武朝 石川島飛行機製作所(株) 龜町 區丸ノ内海上ビル新館 社 長 澁澤武之助 常務取締役 澁谷 澄 鎌田 繁治 山田馬次郎 取 締 役 松村 菊男

六五五 監 查 役 田中榮八郎 中村爲三郎 後藤 幸三 相 談 役 大川平三郎 門野重九郎 有川 鷹一 石原(合名) 京都市下京區吉祥 院西浦町七三ノ九 代表社員 石原廣一郎 無限社員 石原新三郎 高田儀三郎 山下 留吉 鹽山 恭夫 京橋區銀座三 入山採炭(株) 京橋區銀座三 社 長 島岡亮太郎 專務取締役 渡邊寛一郎 取 締 役 門野重九郎 梅浦 健吉 岩瀬 德藏 大崎 新吉 島山 藏六 監 查 役 本宿 家全 理 事 太田 文雄 宇治川電氣(株) 大阪府北區宗 是町一 社 長 林 安繁 副 社 長 影山統三郎 常務取締役 山崎 主計 取 締 役 淺見 又藏



主要銀行會社役員錄

野口 專三 前川 善平 永井 專三 岸 國次郎 雨龍電力(株) 龜町區有樂町 藤原銀次郎 專務取締役 田中 治朗 高島菊次郎 足立 正 濱田 東稻 溝口 潔夫 松本 弘造 監査役 寺田 省歸 高田 直屹 橋原 啓藏 浦賀船渠(株) 龜町區丸ノ内一ノ六 今岡純一郎 社 取 締 役 長 村上 豊作 藤田 益三 竹内 正三 近藤昇次郎 椿 官次 監査役 山下 龜三郎 西園寺龜次郎 藤原英三郎 同 永村 清 鹽水港製糖(株) 臺灣臺南州新 警部新營街 羽鳥 精一 社 常務取締役 長

同 取 締 役 大西 一三 勝又 秀博 岡田幸三郎 内ヶ崎良平 監査役 榎 武 遠州銀行 濱松市田町 工藤金三郎 常務取締役 高林 泰虎 中山 均 同 取 締 役 平野繁太郎 神谷八太郎 竹山 純平 藤田彌三郎 高橋誠太郎 山口忠五郎 監査役 津倉 龜作 山田實太郎 名切牛太郎 鈴木 幸作 小倉石油(株) 日本橋區小舟町 一ノ一 小倉彦四郎 社 取 締 役 長 兵須 久 佐々木彌市 高草 朴介 監査役 中島七五郎 小田原急行鐵道(株) 澁谷區千

秋谷町千秋ヶ谷四 社 常務取締役 利光 鶴松 常務取締役 安東 龍五 栗崎康太郎 三浦 貢 小川市太郎 兒玉 準植 小久保喜七 益田 元亮 西野 守藏 楠 熊治郎 監査役 利光 學一 星 光 鈴木茂兵衛 小野田セメント製造(株) 原田 十衛 縣厚狹郡小野田町 山口 社 取 締 役 長 笠井 眞三 專務取締役 狩野 宗三 常務取締役 朝枝信太郎 河内 通祐 毛利 元恒 取 締 役 土屋 政三 岩原 謙三 廣澤 豊作 監査役 菊谷 菊吉 末廣 忠介 大分市 大分セメント(株) 專務取締役 田上爲次郎 常務取締役 山本 義人 取 締 役 伊藤傳右衛門 田淵榮次郎 風間八左衛門 狩野 宗三

六五六 監査役 河野 香治 小竹 岩楠 相談 役 笠井 眞三 大川(合名) 龜町區丸ノ内 大川平三郎 代表社員 大川 鐵雄 無限社員 田邊タカ子 大川 義雄 迫本てい子 中山 多滿 清水 勝雄 池田 新一 支 配 人 京橋區銀座二ノ二 大倉組(合名) 大倉喜七郎 頭 取 門野重九郎 副 取 玉木誠次郎 今井 修二 山田馬次郎 島岡亮太郎 松田登三郎 大倉鑛業(株) 京橋區銀座 會 長 本宿 家全 常務取締役 岩瀨 德藏 同 大崎 新吉 取 締 役 河野久太郎 鮫島 宗平 梶山 又吉 監査役 本宿 家全 速水篤治郎 寺區上本町六ノ一 寺區上本町六ノ一 長 金森又一郎 社 專務取締役 種田 虎雄 取 締 役 鍵田忠次郎 片岡 直方 森 平藏 大戸 武之 瀧川伊之助 監査役 三谷 軌秀 林 市藏 五島 慶太 大阪電力(株) 大阪市東區高麗 橋 代表取締役 増田 次郎 取 締 役 寺田 甚吉 太田 光熙 藤波 收 加藤 保一 宮寺 敏雄 取 締 役 支 配 人 中上川三郎治 監査役 續木篤次郎 大阪北港(株) 大阪市此花區恩 貴島南之町七三ノ一 會 長 小倉 正恒 常務取締役 田島房太郎 取 締 役 城 周彦 川田 順 清海復三郎 八代 則彦 水野鶴之助 取 締 役 支 配 人 今村 幸男 監査役

主要銀行會社役員錄

大倉商事(株) 京橋區銀座 會 長 玉木誠次郎 常務取締役 脇 道譽 取 締 役 今井 文平 皆川多三郎 武田 正巳 石田 直吉 監査役 今井 修二 有村良太郎 大倉彦一郎 相談 役 門野重九郎 同 山田馬次郎 大阪鑛業セメント(株) 大阪市 北區堂島濱通二ノ一四 社 取 締 役 長 磯野 良吉 專務取締役 谷口 徳政 取 締 役 淺田 平藏 河村 秀九 白崎 廣文 監査役 中 辰之助 大阪瓦斯(株) 大阪市東區平野 町 會 長 片岡 直方 專務取締役 横山 巖 取 締 役 野村 徳七 渡邊千代三郎 外山 拾造 下村孝太郎 清水 太郎 常任監査役

監査役 松方 正雄 前田 秀實 大阪海上火災保險(株) 大阪市 北區堂島濱通二ノ二 社 取 締 役 長 新庄 清一 專務取締役 伊賀 歌吉 取 締 役 松本 與一 廣岡久右衛門 太田丙子郎 田中 市藏 坂本 茂 監査役 南郷 三郎 瀧川 儀作 範多 龍平 大阪株式取引所(株) 大阪市東 區 理事 長 濱崎 定吉 理事 濱島 千八 常務理事 榎木航五郎 副 理 押木 政治 櫻木航五郎 濱野 照道 監査役 柴山 鷲雄 大谷 順作 大阪商船(株) 大阪市北區宗是 町 社 取 締 役 長 村田 省藏 副 社 長 太田丙子郎 專務取締役 岡田永太郎 堀 新 阿部彦太郎 取 締 役

深尾隆太郎 小倉 正恒 安宅 彌吉 末永 一三 監査役 原田 六郎 中橋 武一 原田 六郎 堀 啓次郎 相談 役 大坂此花區 櫻島南之町一七 代表取締役 鮎川 義介 同 原田 六郎 常務取締役 阿部 嘉八 取 締 役 伊藤 文吉 公莊 惟篤 中橋 武一 監査役 下河邊建二 大阪府南河內郡 富田林町毛人谷 社 取 締 役 長 佐竹 三吾 專務取締役 石田義太郎 取 締 役 山岡 俊 北野 忠治 本所 又次 種田 虎雄 村井善四郎 監査役 野田吉兵衛 木村 敦俊 木口 貞藏 小松茂三郎 支 配 人 大阪市天王 大阪電氣軌道(株)

六五七 寺區上本町六ノ一 長 金森又一郎 社 專務取締役 種田 虎雄 取 締 役 鍵田忠次郎 片岡 直方 森 平藏 大戸 武之 瀧川伊之助 監査役 三谷 軌秀 林 市藏 五島 慶太 大阪電力(株) 大阪市東區高麗 橋 代表取締役 増田 次郎 取 締 役 寺田 甚吉 太田 光熙 藤波 收 加藤 保一 宮寺 敏雄 取 締 役 支 配 人 中上川三郎治 監査役 續木篤次郎 大阪北港(株) 大阪市此花區恩 貴島南之町七三ノ一 會 長 小倉 正恒 常務取締役 田島房太郎 取 締 役 城 周彦 川田 順 清海復三郎 八代 則彦 水野鶴之助 取 締 役 支 配 人 今村 幸男 監査役



主要銀行會社役員錄

松本 順吉 加納友之介 日本橋區本町三  
大橋本店(株) 大橋新太郎 大橋進一  
吉谷 專吉 大橋 勇吉 王子區王子町  
王子製紙(株) 藤原銀次郎 高島菊次郎  
副社長 長 田中 治朗 足立 正  
專務取締役 井上 憲一 松本 弘造  
酒原 啓藏 大橋新太郎 阿部房次郎  
取締 井上 周 大川 鐵雄  
井上 貞吉 眞島幸次郎 益田 信世  
監査 小池厚之助 小西喜兵衛  
岸田 李 相談 役 大川平三郎  
王子電氣軌道(株) 豐島區西巢  
鴨三ノ九六五 金光 庸夫  
社 常務取締役 小平 保藏  
取締 井上篤太郎 廣橋嘉七郎 田村 周藏

佐々田 愨 松永安左衛門  
後藤 國彦 監査 役 宇都宮政市  
宮川 竹馬 相談 役 植村 俊平  
支配 人 今泉 健三 神戶市神戶  
岡崎本店(合資) 區浪花町五六  
無限社員 岡崎 忠雄  
有限社員 岡崎 眞一  
岡崎 君 岡崎 眞一  
專務理事 大隈 行一  
常務理事 片野 雄二  
理 芥川 順治 勝山 勝司  
沖ノ山炭礦(株) 山口縣宇部市  
大字小串沖海面埋立地  
取締 役 依田 明  
名和田哲郎 金野 藤衛  
高良 宗七 西野嘉四郎  
新川元右衛門 笠井 良介  
村田 義夫 大石 榮作  
監査 役 西村 宇吉  
國谷 左門 上田 久  
高良 四郎

大林組(株) 大阪市東區京橋三  
社 長 大林 義雄  
副社長 大林 賢四郎  
常務取締役 植村 克己 白杉 龜造  
取締 役 松井 清足  
同 支配 人 鈴木 甫  
取締 役 近藤 博夫  
中村寅之助 本田 登  
高橋 誠一 石田 信夫  
常任監査役 大林 龜松  
監査 役 安井 豊  
同 小原 孝平  
同 堀通 岡 胤信  
岡谷(合資) 名古屋市鐵砲町一  
代 表 岡谷 惣助  
無限社員 岡谷 喜三郎  
岡谷順之助 岡谷 正男  
有限社員 岡谷 融  
岡谷 重雄 岡谷 悅治郎  
支配 人 棚橋悅治郎  
沖電氣(株) 芝區田町四  
會 長 淺野總一郎  
常務取締役 小瀨 虎  
同 鈴木紋次郎  
取締 役 阪谷 芳郎

安田善五郎 清水 釘吉  
押田 三郎 監査 役 戶澤 芳樹  
白石喜太郎  
加島銀行 大阪市西區土佐堀通  
頭 取 廣岡 惠三  
取締 役 松井 萬綠  
廣岡久右衛門 廣岡 松三郎  
監査 役 茂原 虎雄  
加輪上勢七  
加島信託(株) 大阪市西區土佐  
堀通  
取締 役 長 廣岡 惠三  
專務取締役 廣岡 松三郎  
取締 役 星野 行則  
田附政次郎 多羅尾源三郎  
松井 萬綠 松岡 潤吉  
松方 正雄 平澤 眞  
常任監査役 加輪上勢七  
監査 役 岸本吉左衛門  
相談 役 祇園清次郎  
貝島炭礦(株) 下關市唐戸町  
取締 役 長 具島 太市  
取締 役 玉井 磨輔  
石原 才助 草場 義夫

主要銀行會社役員錄

森本邦治郎 京橋區京橋  
片倉製絲紡績(株) 今井 五介  
社 長 片倉 武雄  
常務取締役 尾澤福太郎  
取締 武井覺太郎 片倉 勝衛  
今井 眞平 片倉 修一  
片倉 直人 林 清夫  
櫻澤 鶴吉 森谷彦太郎  
野崎熊次郎 小口 友龜  
常任監査役 黑澤 剛  
監査 役 勝田汽船(株) 神戶市神戶區仲  
町 勝田銀次郎  
社 長 勝田 末吉  
取締 木本 末吉  
監査 役 加藤喜太郎  
總淵紡績(株) 向島區隅田町  
社 長 津田 信吾  
副社長兼常務 山口八左吉  
取締 名取 和作  
中村 庸 三宅 郷太  
瀧川 定次 丸山 幸藏  
監査 野崎 廣太

室田 義文 中上川三郎治  
前山 久吉 染谷 寛治  
樺太鐵道(株) 樺太榮濱郡落合  
町 取締 役 長 奧平 昌恭  
取締 役 大川平三郎 足立 正  
大川中榮八郎 藤原銀次郎  
田中 義男 塚越卯太郎  
光澤 義次郎 松本 弘造  
野依 次郎 高島菊次郎  
監査 役 中村金太郎  
酒原 啓藏  
田中 傳太  
釜石鑛山(株) 日本橋區室町二  
會 長 牧田 環  
常務取締役 西村小次郎  
取締 香村 小録 木瀬 和吉  
阿部 雅雄 古井保太郎  
監査 役 今井 繁  
神岡水電(株) 日本橋區室町二  
社 長 牧田 環  
常務取締役 田川正二郎  
取締 大野 德風 増田 次郎  
尾形 次郎 近藤 茂

村瀬 末一 神戶市海岸通  
川崎汽船(株) 平生飢三郎  
取締 役 長 鶴谷 正輔  
川崎 芳熊  
川崎第百銀行 日本橋區通一  
頭 取 松村 守一  
副頭 取 星 章  
常務取締役 關根 善作  
吉田 良三 河合 鐵二  
取締 役 川崎 肇  
渡邊 眞平  
原 邦造 高梨 博司  
常任監査役 高梨 博司  
監査 役 神戶市和田山通  
川崎車輦(株) 下田 文吾  
取締 石井 清  
山本 盛正  
監査 役 小川榮太郎  
谷村一太郎 多田 重彦  
關西共同火力發電(株) 大阪市  
北區宗是町一 池尾 芳藏  
社 長 池尾 實一  
專務取締役

工藤 正平 林 安繁  
取締 役 長 內藤 熊喜  
增田 次郎 村瀬 末一  
田中 博 田邊 隆三  
監査 役 影山銑三郎 大阪市東區北濱  
關西信託(株) 大阪市東區今橋  
社 長 山口謙四郎  
專務取締役 加藤小太郎  
常務取締役 小林儀三郎  
同 丹羽 俊彦  
取締 佐々木駒之助 山口吉郎兵衛  
弘世助太郎 菅谷 元治  
同 支配 人 瀧川 清  
監査 役 森信 敬二 瀧本 得之  
支配 人 原田 龜齡  
關西土地(株) 大阪市東區今橋  
二 常務兼支配 人 建石 辰治  
取締 役 藤井 善助 橫江萬治郎  
林 市藏 後藤 幸三  
監査 役 池尾 芳藏 寺田元之助  
池尾 芳藏 國枝 謹  
久保 治



主要銀行會社役員錄

**關東水力電氣(株)** 麹町區丸ノ内一  
 社長 淺野總一郎  
 常務取締役 淺野八郎  
 取締役 山崎林太郎  
 野村孝 下村善右衛門  
 廣野良三 中野寅次郎  
 廣瀬爲久 太刀川平治  
 杉本好太郎 木暮松三郎  
 金子喜代太 利光學一  
 鈴木紋次郎 鶴田勝三  
 相談役 利光鶴松  
**加能合同銀行** 金澤市  
 頭取 米谷牛平  
 常務取締役 金子幹男  
 本仁次郎 濱野太三郎  
 中川正範 松村長五郎  
 取締 長野與平 中島德太郎  
 南吉郎 八木又右衛門  
 三宅伊右衛門 佐竹彌八郎  
 植田忠平 中野佐太郎  
 同村舜三 金谷與平  
 松田吉三郎 小林直次  
 常任監査役

監査役 府波八太郎  
 石田精作 青木友三郎  
 支配人 八田幸次郎  
**貝島(合名)下關市**  
 代表社員 貝島太市  
 社員 貝島榮一  
 貝島健次  
 貝島延吉  
 玉井磨輔 森本邦治郎  
 石原才助 神戶市東川崎  
**川崎造船所(株)**  
 町二 平生夙三郎  
 專務取締役 川崎芳熊  
 同 鑄谷正輔  
 取締 吉岡貞保  
 小田切延壽 竹崎友吉  
 岩倉道俱 長尾良吉  
 三輪小十郎 皆川多三郎  
 松村守一 長崎英造  
 監査 坂田幹太  
 寺田甚吉 大久保立  
 顧 大誠之助  
 相談 井出謙治  
 同 日本橋  
**花王石鹼長瀬商會(株)**

區馬喰町二ノ二  
 代表取締役 長瀬富郎  
 取締役 秋元直  
 長瀬篤郎 長瀬六郎  
 取締 伊藤正世  
 山崎高晴 伊藤英三  
 常任監査役 長瀬常一  
 監査役 長瀬宮太郎  
**鹿島組(株)** 京橋區橫町二  
 社長 鹿島精一  
 專務取締役 鹿島新吉  
 取締 菅野忠五郎 鹿島龍藏  
 眞田三千藏 永淵清介  
 湖松茂吉 高石庫治  
 監査 山田虎之助 櫻井金作  
 顧 竹内六藏  
 山田虎之助 太田金之助  
**海外興業(株)** 麹町區丸ノ内三  
 社長 井上雅二  
 專務取締役 龍江義信  
 取締 野村德七  
 大谷登

監査役 堀新  
 渡邊水太郎 山田省吾  
 主 三谷四郎  
**開鑿業(株)** 日本橋區小舟町  
 取締 窪田四郎  
 小野耕一 丹治經三  
 別府丑太郎 中村圓一郎  
 監査 板谷順助 酒原啓藏  
**片倉(合名)** 長野縣諏訪郡川岸  
 無限社員 片倉兼太郎  
 片倉勝衛 片倉武雄  
 片倉直人 今井五介  
 片倉修一 林敏子  
 今井眞平 林三平  
 今井方平 片倉清太  
 今井五郎 片倉耕介  
 片倉五郎 片倉亮平  
**神谷傳兵衛商店(株)** 淺草區花  
 川戸町 神谷傳兵衛  
 取締 久松源次郎  
 神谷傳彌 神谷信夫  
 監査 神谷信夫  
 支配人 神谷誠

主要銀行會社役員錄

**川西航空機(株)** 兵庫縣鳴尾  
 社長 川西龍三  
 取締 高尾繁造 清水朝郎  
 坂東舜一 有坂亮平  
 監査 井上治郎  
 西岡謙二 川西清兵衛  
 相談役  
**本津川土地運河(株)** 大阪市西  
 成區津守町四一二  
 取締 早瀬太郎三郎 青山竹一  
 吉川吉郎兵衛 野田吉兵衛  
 監査 鬼怒川水力電氣(株)  
 取締 駄ヶ谷五ノ八六二 濃谷區千  
 利光鶴松  
 同 副社長 中野寅次郎  
 常務取締役 利光學一  
 取締 上杉松太郎 太田國馨  
 石川貢 藤江周輔  
 小杉小之助  
 白杉次郎太郎  
 井上敬次郎  
 利光永松  
 監査 池邊稻生

**基隆炭礦(株)** 基隆市旭町三  
 取締 代表取締役 顏國年  
 取締 小寺信一 顏憲吟  
 河野俊雄 尾家重治  
 監査 顏欽賢 小林正直  
**麒麟麥酒(株)** 橫濱市鶴見區生  
 專務取締役 伊丹二郎  
 同 磯野長藏  
 取締 山岸慶之助  
 松本新太郎 平沼亮三  
 大河原太郎 淺野敏郎  
 監査 大原幸太郎  
**九州勸業(株)** 福岡市上吳服町  
 社長 太田新吉  
 取締 太田凱夫  
 太田恒太郎 太田辨次郎  
 岸田恒太郎 太田勘太郎  
 監査 太田儀平  
 支配人 太田一郎

**九州水力電氣(株)** 福岡市大字  
 社長 太田黑重五郎  
 專務取締役 木村平右衛門  
 取締 大藪守治 八塚秀二郎  
 永井菅治 内本浩亮  
 大屋敦 眞具貫一  
 常任監査役 黒木佐久馬  
 監査 渡邊綱三郎 上野山重太夫  
 麻生益良 鶴丸卓市  
 支配人 池田常二  
**九州送電(株)** 麹町區丸ノ内三  
 常務取締役 木村平右衛門  
 取締 山口恒太郎 堀内秀太郎  
 奥村政雄 海東要造  
 堀三太郎 内本浩亮  
 矢島富造 久野五十志  
 監査 松永安左衛門 小倉正恒  
 相談 伊藤傳右衛門  
 大橋新太郎

**九州電氣軌道(株)** 小倉市京町  
 社長 太田黑重五郎  
 專務取締役 村上巧兒  
 常務取締役 草刈雄治  
 取締 山田正隆 榑谷音三  
 野田勢次郎 廣瀬良知  
 監査 黒木佐久馬 麻生義之介  
**九州電力(株)** 麹町區有樂町  
 社長 井上博通  
 副社長 上田萬平  
 常務取締役 小林正直  
 同 坂内義雄  
 取締 縣左吉 四條隆英  
 大原雅一 近藤鎮次



主要銀行會社役員錄

藍查役 紫藤 章  
岡田 光治 麴町區丸ノ内  
北澤太輔(株) 川上 俊彦  
取締役 長 橋本圭三郎  
藤岡 淳吉 加藤五十造  
岩瀬 徳藏 河手 捨二  
村山鹿之介 前川 益次  
監査役 矢島 富造  
支配人 東條 義雄  
北澤太石油(株) 麴町區丸ノ内  
三 中里 重次  
社 取締役 長 伊藤 文吉  
橋本圭三郎 河手 捨二  
牧田 環 崎川才四郎  
監査役 津下紋太郎  
矢島 富造 小泉 武三  
支配人代理 大阪市北區  
共同火災保險(株) 大坂市北區  
會根崎上二 佐々木胸之助  
會 廣瀬鏡太郎  
事務取締役 小倉 誠介  
常務取締役 田所 美治  
取締役 寺田 甚吉

鈴木梅四郎 杉山 喬  
柴山佳四郎 久野春之助  
監査役 大塚和三郎  
廣海二三郎 原 邦造  
共同漁業(株) 神戸市湊東區古  
取締役會長 鮎川 義介  
社 取締役 長 田村 啓三  
專務取締役 國司 浩助  
常務取締役 岩本千代馬  
取締役 今井 直城  
植木 憲吉 鈴木 英雄  
監査役 鷺池平九郎  
山岡千太郎 田村 市郎  
相談役 松崎 壽三  
共同信託(株) 大坂市東區今橋  
三 取締役會長 菊池 恭三  
副社長 志波 慶治  
常務取締役 門脇 正  
同 吉田 平吾  
取締役 藤山愛一郎  
宮本利右衛門 森 平兵衛  
八馬 兼介  
寺田 甚吉

常任監査役 阪上 重信  
監査役 銅島 直明  
佐野 政清 藤山 雷太  
相談役 尼崎伊三郎  
京都瓦斯(株) 京都市下京區中  
堂寺坊城町二三  
取締役社長 隅田 保  
取締役副社長 奧主一郎  
取締役 内貴清兵衛  
津田榮太郎 平井仁兵衛  
杉野 爲吉 岡 善吉  
取締役支配人 田中 一馬  
監査役 下郷 傳平  
京都電燈(株) 京都市中京區河  
原町通錦藥師下ル備前島町  
社 取締役 長 田中 博  
副社長 田邊 隆二  
常務取締役 山本 和七  
同 石川芳次郎  
取締役 曾野作太郎  
藤井 善助 大澤徳太郎  
佐々木富造 田中 一馬  
監査役 原 逸郎

相談役 大澤 善助  
近海郵船(株) 麴町區丸ノ内二  
會 各務 鎌吉  
專務取締役 安田繁三郎  
取締役 長 大橋新太郎  
大谷 登 清水 安治  
恩田 銅吉 河村金五郎  
堀田 勝吉 金澤市  
錦華紡績(株) 佐藤曆治郎  
社 取締役 長 倉知 鐵吉  
取締役 酒井 宗吉 加藤 正人  
杉野 道助 門野重九郎  
門田 秀 中島 理一  
川畑 恒二 高島 伊作  
監査役 增田 義一 西野 藤助  
九州製鋼(株) 八幡市  
會 常務取締役 長 松本健次郎  
常務取締役 安川清三郎  
取締役 安川敬一郎  
石渡信太郎 小出 英男  
監査役 小西 春雄 河上 謹一

主要銀行會社役員錄

久原本店(合名) 麴町區丸ノ内  
二 代表社員 久原 光夫  
社員 久原房之助  
久原 幸三  
久原用地部(株) 麴町區丸ノ内  
二 代表社員 笠原 正二  
取締役 高橋鏡三郎  
取締役 下河邊建二  
監査役 佐々木第吉  
熊本電氣(株) 熊本市  
社 取締役 長 上田 萬平  
取締役 安田 善助  
紫藤 章 大川平三郎  
田中榮八郎 長谷川太郎吉  
安田善兵衛 糸山準太郎  
林 市藏 中島 爲喜  
坂内 義雄 平山 岩彦  
澤山精八郎 杉原 惟敬  
監査役 中津熊太郎 高木第四郎  
相談役 安田善次郎  
倉敷綿織(株) 倉敷市  
取締役社長 大原孫三郎  
常務取締役 山内 顯

常務取締役 藥師寺主計  
取締役 原 澄治  
福島 郁三 吉井 仲助  
監査役 大原 五一 柿原 得一  
倉敷紡績(株) 倉敷市  
社 取締役 長 大原孫三郎  
常務取締役 柿原 得一  
同 神 柳吉  
取締役 林 桂二郎 原 澄治  
監査役 小林益太郎 永瀬 又七  
小笠原 又七  
吳羽紡績(株) 大坂市東區安土  
社 取締役 長 伊藤忠兵衛  
專務取締役 井上 富三  
取締役 豐島 久七 泉 彌市  
豐島 久七 小泉 逸平  
松岡 潤吉 古橋 林司  
山田 昌作  
岸本吉左衛門  
監査役 早瀬太郎三郎 伊藤竹之助  
早瀬太郎三郎 大林 義雄  
田中榮八郎 平生 飢三郎  
黒部川電力(株) 富山市

取締役社長 山田 昌作  
專務取締役 神吉 英三  
常務取締役 福田 俊  
取締役 坂内 義雄 小林 正直  
坂内 義雄 馬瀬清九郎  
谷 欽太郎 吉見 靜一  
近藤 鏡次 羽村 協輔  
監査役 新田 與一  
岡田 光治 藤原銀次郎  
相談役 京都府河鹿郡綾  
郡是製絲(株) 京都府河鹿郡綾  
部町字青野 川合 信水  
教育總理 遠藤三郎兵衛  
社 取締役 長 片山金太郎  
專務取締役 波多野林一  
常務取締役 高木半兵衛 小野 藏三  
取締役 高木半兵衛 小野 藏三  
高木重兵衛 宅間 藤馬  
監査役 高木重兵衛 村上 正夫  
由良 金一 西垣 藤松  
高木重兵衛 鈴木 太一  
群馬水電(株) 日本橋區吳服橋  
三ノ七東京建物ビル内 田島 達策

專務取締役 佐竹 義文  
取締役 本間 利雄  
同 田島庄太郎  
同 宮口 竹雄  
同 四條 隆英  
監査役 丹治 經三 澁谷 祥三  
京王電氣軌道(株) 澁谷區幡ヶ  
谷 榎塚町  
取締役社長 井上篤太郎  
常務取締役 渡邊 孝  
同 青木 重匡  
取締役 磯田 正朝 金光 庸夫  
木村篤太郎 後藤 國彦  
穴水 熊雄 井上平左衛門  
常任監査役 二見滿次郎  
監査役 高梨 博司 宮本政次郎  
城所國三郎 田中榮八郎  
相談役 植村 俊平  
京城電氣(株) 朝鮮京城府南大  
門通二ノ五 大橋新太郎  
取締役社長 武者 鍊三  
專務取締役 山口太兵衛  
取締役



本會二  
吉谷 專吉  
監査 役  
高津 六平  
東京電氣鐵道(株)  
押上町二〇三  
本所區向島  
本多貞次郎  
後藤 國彦  
上原 鹿造  
大井田 瑞足  
高梨 博司  
井上 敬次郎  
大塚 尙  
京都電氣鐵道(株)  
內郡枚方町岡六〇四  
大阪府北河  
太田 光熙  
有田 邦敬  
濱崎 健吉  
井上 周  
松島寛三郎  
湯淺七左衛門  
支配 人  
東京コークス(株)  
内海上ビル新館七階  
長 參木 録郎

取締 役  
江口 鶴雄  
渡邊 扶  
太田亥十二  
監査 役  
富次 素平  
東京電氣鐵道(株)  
會 長  
川崎市京町  
望月軍四郎  
生野 團六  
葦田 成亮  
小川市太郎  
田中 百畝  
内野五郎三  
上郎 清助  
中野 武二  
會我部直之進  
若尾鴻太郎  
石倉 巳吉  
谷口 守雄  
北村 幹  
川崎市京町  
望月軍四郎  
生野 團六  
葦田 成亮  
小川市太郎  
田中 百畝  
内野五郎三  
上郎 清助

常務取締役  
取締 役  
井東茂兵衛  
鹽川三四郎  
熊己 義憲  
常任監査役  
監査 役  
多川 一治  
山中 義貞  
三上富五郎  
五十銀行 茨城縣新治郡土浦町  
取締役頭取  
專務取締役  
常務取締役  
堀 定次郎  
酒井爲太郎  
武川 守藏  
中島 正敏  
尾形德兵衛  
鹿志村龜吉  
五頭庄三郎  
坂入與兵衛  
清水 直七  
稻葉源一郎  
野瀬七郎平  
藤田龜太郎  
阿部市太郎

藤井 善助  
西村磯右衛門  
北川 與平  
監査 役  
田附政次郎  
神戸岡崎銀行  
花町五六  
頭 取  
專務取締役  
取締 役  
常任監査役  
監査 役  
空閑 義治  
神戸瓦斯(株)  
生町五ノ一七二ノ四  
常務取締役  
取締 役  
瀧川 英一  
監査 役  
太田保太郎  
支配 人  
神戸海上運送火災保險(株)  
神戸市神戶區海岸通五  
長 岡崎 忠雄

常務取締役  
取締 役  
辰馬吉左衛門  
加納友之介  
小島 豊俊  
監査 役  
菊池 吉藏  
石丸 忠實  
川島 稅  
支配 人  
神戸製鋼所(株)  
脇濱町一ノ三一  
長 永安晋太郎  
專務取締役  
常務取締役  
遠藤 壽一  
取締 役  
德田治三郎  
西山 勉  
監査 役  
佐々木義彦  
顧 問  
稻川 與一  
興亞起業(株)  
代表取締役  
取締 役

荻野樺太郎  
監査 役  
杉山岩三郎  
相談 役  
支配 人  
鴻池(合名)  
代表社員  
無限社員  
鴻池 幸武  
鴻池 幸清  
社 員  
平井 銳夫  
鴻池信託(株)  
五 長  
社 長  
常務取締役  
取締 役  
小西新右衛門  
逸見嘉一郎  
和田久左衛門  
監査 役  
江崎 政忠  
合同毛織(株)  
代表取締役  
取締 役

廣瀬 耕作  
監査 役  
合同油脂(株)  
取締役社長  
專務取締役  
常務取締役  
取締 役  
大橋 退治  
長郷 幸治  
常任監査役  
監査 役  
金光 庸夫  
國際汽船(株)  
社 長  
取締 役  
淺野 良三  
住田 正一  
常任監査役  
代表取締役  
國際興業(株)  
同 長  
同 長  
常務取締役  
取締 役  
久保田光郎  
監査 役

國際信託(株)  
會 長  
取締 役  
龍岡 榮吉  
監査 役  
支配 人  
國際運送(株)  
社 長  
專務取締役  
常務取締役  
取締 役  
吉田秀次郎  
竹島銀太郎  
恩田 銅吉  
監査 役  
山本吉五郎  
相談 役  
金剛山電氣鐵道(株)  
道鐵原郡鐵原邑外村里  
取締役會長  
專務取締役  
取締 役  
木村 雄次  
久米平八郎  
監査 役  
韓 相 龍



主要銀行會社役員錄

小林商店(株) 本所區麻橋一  
社長 小林富次郎  
副社長 小林喜一  
取締役 井口昌藏  
神谷市太郎  
監査役 小林幸吉  
内堀慶三郎  
理事 中尾清太郎  
清水儀三郎  
同 藤卷太一  
佐賀炭礦(株) 麴町區大手町二  
代表取締役 古宇田巖  
取締役 藤卷太一  
服部久三郎  
監査役 中野正永  
西都瓦斯(株) 福岡市千代町二  
事務取締役 山勝正次  
常務取締役 入江孝次  
取締役 有川龍吉  
梶原康道 吉岡龜男  
中原太一郎 内山八十治郎  
監査役 都留信郎  
渡邊綱三郎 池田増太郎  
相談役 松永安左衛門  
岡本櫻  
三共(株) 日本橋區室町二ノ二

社 常務取締役 鹽原又策  
常務取締役 古田宗二郎  
取締役 湯淺武孫  
植村澄三郎 大橋新太郎  
監査役 室田義文  
上中啓三  
三十八銀行 姫路市中吳服町  
頭取 伊藤長次郎  
專務取締役 麻生政一郎  
常務取締役 野々上喜藏  
取締役 川口木七郎  
山本眞藏 尾上作兵衛  
常任監査役 山口次郎  
監査役 大路環  
三信鐵道(株) 麴町區丸ノ内一  
社長 石川六郎  
常務取締役 倉田藤四郎  
取締役 山形要助  
古島安二 伊原五郎兵衛  
島山好伸 神野三郎  
村瀬末一 田高喜太郎  
監査役 吉川亮夫  
野原文四郎 福谷藤太郎  
遠山林景 稻垣兵太郎  
技術顧問

相談役 青木周三  
理事 清水省三  
山陽中央水電(株) 大阪市東區  
北濱四ノ四八  
社長 速水太郎  
專務取締役 土居脩治  
常務取締役 梅田雄三  
取締役 井上雄三  
清水榮次郎 南郷三郎  
木原通一 志津野直文  
野口一三 田中千里  
小林一三 河手捨二  
高島滋三郎 伊藤長次郎  
監査役 木間瀨策三 影山銑三郎  
木間瀨策三 大阪市天王  
寺區上本町六ノ一  
參宮急行電鐵(株)  
社長 金森又一郎  
專務取締役 井内彦四郎  
取締役 三谷執秀  
鍵田忠次郎 片岡直方  
森平藏 五島慶太  
監査役 瀧川伊之助 林市藏  
三和銀行 大阪市東區今橋三丁

取締役頭取 中根貞彦  
常務取締役 森信敬二  
同 佐野政清  
同 松野龍雄  
同 下山元一  
取締役 菊池恭三  
山口吉郎兵衛 鴻池善右衛門  
一瀬榮吉 佐々木剛之助  
加藤晴比古 尼崎伊三郎  
弘世助太郎 田中栗  
常任監査役 三崎伊太郎  
前田雄之助 河崎助太郎  
三省堂(株) 神田區通神保町一  
社長 龜井寅雄  
專務取締役 龜井豐治  
取締役 神保周藏  
末次保 永井茂彌  
監査役 齋藤精輔 柏佐一郎  
齋藤精輔 龜井忠一  
四國水力電氣(株) 香川縣多度  
會津 景山甚右衛門  
專務取締役 高橋正忠

主要銀行會社役員錄

常務取締役 田中陸  
取締役 寒川恒貞  
合田房太郎 福澤駒吉  
大西虎之介 鎌田榮  
風間八左衛門 鎌田勝太郎  
監査役 增田次郎 武田謙  
塩田忠左衛門  
芝浦製作所(株) 麴町區有樂町  
社長 平田篤次郎  
常務取締役 納富馨一  
取締役 福井菊三郎  
岩原謙三 オープルスマン  
安川雄之助 ジェー・アール  
黃金井晴正 百田貞次  
大田黒静生 久保正吉  
エツチ・ユー・ピアース  
監査役 越英之介  
國安卯一  
瀧澤同族(株) 麴町區丸ノ内一  
帝國生命ビル内  
社長 瀧澤敬三  
取締役 白石喜太郎  
渡邊得男 阪谷芳郎  
監査役 瀧澤武之助

主 井田善之助  
十五銀行 京橋區木挽町八  
頭取 西野元  
常務取締役 森俊六郎  
同 橫山昌次郎  
取締役 小畑大太郎  
阿野季忠 山中忠方  
監査役 西尾忠方  
乾長次郎 室孝吉  
十七銀行 福岡市博多橋口町  
頭取 安田善兵衛  
常務取締役 土屋長衛  
取締役 伊藤傳右衛門  
安田善衛 森采一  
時枝誠之  
監査役 土斐崎三右衛門  
溝口虎五郎  
支店 安田善次郎  
配人 兒島健爾  
十二銀行 富山市袋町  
頭取 中田清兵衛  
常務取締役 山城尙由  
取締役 山田信昌  
馬瀬清九郎 吉田耕三  
山村爲介 田中作太郎  
常任監査役 奥野要吉郎

監査役 石場清一郎  
不破重兼 竹多松之助  
支店 明珍昌規  
十八銀行 長崎市榮町  
頭取 松田精一  
常務取締役 松田一三  
取締役 藤瀬宗一郎  
高橋興一 永見省一  
監査役 松田嘉一 足立瀧二郎  
正隆銀行 大連市大山路  
頭取 安田善四郎  
常務取締役 楊井勇三  
取締役 高橋勇  
佐藤至誠 張本政  
監査役 飯田武也  
池田眞裕 雁志順  
相談役 安田善次郎  
庄川水力電氣(株) 麴町區内幸  
町 六角宇太郎  
代表取締役 木津太郎平  
取締役 淺野八郎  
監査役 石井顯一郎

主 今井正之助  
三 京橋區新富町  
社長 白井松次郎  
副社長 大谷竹次郎  
常務取締役 町田唯介  
同 城戸四郎  
取締役 堤友次郎  
白井信太郎 小島勇之助  
井上伊三郎 山本吉太郎  
井上重正 平井權七  
監査役 田中貞二  
相談役 根津嘉一郎  
松竹興行(株) 京橋區新富町三  
社長 白井松次郎  
會 大谷竹次郎  
專務取締役 白井信太郎  
同 城戸四郎  
同 多田福太郎  
同 井上伊三郎  
同 岡清三郎  
取締役 岡清三郎  
向山庄太郎 木村錦之助  
遠山彌市 三島良藏  
細谷祐偉 兔太静太郎  
波多海藏



主要銀行會社役員錄

常任監査役 堀友次郎
監査役 名川侃市
町田唯介 長谷川吉次
相談役 橋本喜作
井上周一 根津嘉一郎
小林一三
昭和銀行 日本橋區室町三
頭取 生田定之
常務取締役 田島道治
同 菅野尙志
取締役 菊本直次郎
瀨下清 大平賢作
園部潜 大澤佳郎
監査役 邦造
原邦造
昭和毛糸紡績(株) 名古屋市中
區新柳町六丁目三
社 長 川西清兵衛
取締役 小曾根貞松
遠山孝三 田村市郎
三輪喜兵衛 塚脇敬三郎
櫻井清
監査役 伊藤長次郎
神野金之助 伊藤次郎左衛門
松本鐵次郎 毛戸勝元
支配人 阿部莊吉

昭和商業(株) 麴町區丸ノ内二
取締役 阿久津庄右衛門
監査役 齋藤浩介 松田茂朗
齋藤浩介 松下文太郎
昭和製鋼所(株) 南滿洲鞍山
取締役社長 伍堂卓雄
常務取締役 富永能雄
取締役 梅根常三郎 久留島秀三郎
南治之助 山西恆郎
監査役 貝瀬謹吾 堀耕齋
具瀬謹吾 堀義雄
昭和電力(株) 麴町區丸ノ内一
取締役社長 增田次郎
同 副社長 村瀬末一
專務取締役 小原喜三郎
取締役 田川信男 近藤茂
常任監査役 窪田四郎
下出民義 寺田甚吉
福澤桃介
相談役 堂島濱通二ノ八
堂島濱通二ノ八
社 長 阿部房次郎
副社長 庄司乙吉
常務取締役 岩尾德太郎

同 中山秀一
取締役 種田健藏
關桂三 伊藤傳七
監査役 齋藤恒三
服部廉輔 橫濱市鶴見
相談役 湘南電氣鐵道(株)
區平安町一ノ二
取締役會長 野村龍太郎
專務取締役 生野團六
近藤賢二
谷口守雄 望月軍四郎
原善一郎 中川登代吉
取締役支配人 大倉余馬
中村房次郎
上海製造絹業(株) 上海極司非
而路一三八
社 長 王一亭
副社長 桑原虎治
常務取締役 倉知四郎
長澤健一
福長永太郎 山本健吉
監査役 小林笑一 龜町區丸ノ内一
上毛電力(株) 龜町區丸ノ内一

社 長 大川平三郎
專務取締役 加藤子郎
取締役 小西喜兵衛
千明賢治 結城安次
宮口竹雄 田邊文之助
取締役支配人 長谷川太郎吉
監査役 鈴木實 伊藤長次郎
鈴木達策
白木屋(株) 日本橋區通一ノ九
社 長 大村彦一郎
專務取締役 山田忍三
取締役 西野惠之助
大橋新太郎 梅田建次郎
岡清藏 鏡山忠男
下郷傳平 片岡隆起
監査役 福島行信
澤田文之助 若森清次
廣岡惠三
相談役 廣岡惠三
白山殖産(株) 大阪市西成區津
守町一四二
社 長 白石善五郎
取締役 白石茂次郎
池内源吉 小川艶太郎
長瀬小六郎

監査役 奥村松之助
吉川吉郎兵衛 江上彦助
相談役 長野縣須坂町
信濃電氣(株) 長野縣須坂町
社 長 小坂順造
常務取締役 花岡俊夫
取締役 諏訪部庄左衛門
名取和作 丸山盛雄
飯島正一 西澤喜太郎
兒玉衛一 越六郎
監査役 山田莊左衛門
橫田文五郎 小坂武雄
小田切繁太郎 大岩復一郎
支配人 神戶市海岸通
神樂生糸(株) 神戶市海岸通
社 長 岡崎忠雄
專務取締役 伊藤長次郎
取締役 伊藤長次郎
川口木七郎 岡田支良
佐伯新太郎 齊藤力
取締役總支配人 田代竹司
川島信太郎 田代竹司
新田喬雄 秋田信太郎
相談役 榎並充造
神都電氣興業(株) 宮崎市
專務取締役 永井菅治

常務取締役 香月盈司
取締役 大和田市郎
高橋源次郎 鈴木憲太郎
塚本貞次郎 木村平右衛門
今井三郎 鶴丸卓市
佐藤長太郎 織田啓治
渡邊綱三郎 村上巧兒
監査役 小野原弘 山本彌右衛門
黑木佐久馬 玉繁悟
支配人 新大阪土地(株) 大阪市東成區
大今里町六八六
專務取締役 中本豊造
同 小堤健雄
取締役 福村富三
辛島勝一 福村富三
監査役 資生堂(株) 京橋區銀座八
社 長 福原信三
專務取締役 松本信三
常務取締役 末川清香
取締役 伊藤隆男
土橋信太郎 福原信辰
若山孝二 伊藤定次郎
伊與田光男 小西喜兵衛

監査役 石田公四郎
若山三郎 福原信義
自動車工業(株) 京橋區新佃島
西町三ノ五
取締役社長 加納友之介
常務取締役 新井源水
村上義諦 長谷川正五
栗田金太郎 鮎川義介
石井信太郎 淺原源七
監査役 大澤佳郎 三ツ木秀治
昭和火災保險(株) 麴町區丸ノ
内ユニオン館内
社 長 根津嘉一郎
專務取締役 篠本鼎
取締役 永橋至剛
淺野總一郎 原邦造
吉田義輝 片岡安
監査役 小林中 東胤祿
杉村倉庫(株) 大阪市港區北福
崎西之町六
社 長 八代祐太郎
取締役 清水榮次郎

菊池文吾 今西與三郎
南郷三郎 松原務
常任監査役 飯尾一二 野村徳七
支配人 井上正美
鈴木商店(株) 京橋區寶町一ノ
七
社 長 鈴木忠治
專務取締役 鈴木三郎助
取締役 鈴木六郎
鈴木三千代 高梨新三郎
取締役支配人 井上哲
同 副支配人 甘田誠三郎
監査役 太田徳七
住友銀行 大阪市東區北濱五
專務取締役 八代則彦
常務取締役 大平賢作
同 岡橋林
同 大島堅造
取締役 住友吉左衛門
堀啓次郎 小倉正恒
今村幸男 加賀覺次郎
常任監査役 鈴木謙三郎
監査役 河上謹一







主要銀行會社役員錄

取締役 高杉 晋 橋本卯太郎 馬越幸二郎 山本爲三郎 常任監査役 渡邊 得男 辰馬 悅藏 仙石 良平 植村 泰二 宮島清次郎 植村 茂富 植村 登三郎 上野金太郎 矢木久太郎 同 尼崎市 大日本紡績(株) 尼崎市 菊池 恭三 小寺 源吾 倉田 教三 今村 奇男 田代 重三 取締役 松村 謙成 木咲利之助 大島 茂 野村菊之助 三村 和義 監査役 伊藤 萬助 岩田宗次郎 辰馬 悅藏 北野種次郎 大丸(株) 大阪市南區心齋橋筋 大丸(株) 長 下村正太郎 里見 純吉 下村昇之助 森 八郎助 常務取締役 取締役

西村齊次郎 安田孝次郎 監査役 市川吉太郎 大連汽船(株) 大連市山縣通 常務取締役 增田 義男 川村 龍雄 高木 磐雄 藥島 信司 同 吉富 金一 監査役 八木 開一 武部治右衛門 大連中央土地(株) 大連市 鮎町區丸ノ内 取締役 田村 啓三 佐々木第吉 安久津庄右衛門 監査役 松田 茂朗 大連取引所信託(株) 大連市 專務取締役 田村 羊三 取締役 村井啓太郎 福田顯四郎 監査役 村井啓太郎 古澤 文作 瓜谷 長造 相生常三郎 安 慈 民 支 配 人 本多 忠孝 大連農事(株) 大連市

代表取締役 小倉 謙二 取締役 長山 七治 監査役 多田 晃 太平洋炭礦(株) 日本橋區室町二 會 長 木村久太郎 取締役 西加 二太 松方 正熊 木村 泰治 川島 三郎 安永五三二 大東 藤吉 富田 太郎 監査役 清水 源作 古賀三千人 牧田 環 相 談 役 牧田 環 副 頭 取 事 吉田 勉 荒木正次郎 柳田 直吉 井上德太郎 曾我 祐邦 柳 悅 耳 臺灣製糖(株) 臺灣屏東市 武智 直道 益田 太郎 草鹿砥祐吉 專務取締役 平山寅次郎 取締役

朝吹 常吉 岩原 謙三 城戸崎廣三 丸山治太郎 監査役 丸山治太郎 ロベルト・ウォルカー・アルウ キン・ジュニオール 神代 貞三 臺灣製糖(株) 臺北市 社 長 赤司初太郎 取締役 波江野吉太郎 林 瑞 騰 漆山 雅喜 楓 武 櫻井貞次郎 監査役 坂本 登 高須時太郎 永野榮太郎 支 配 人 齊藤 悅次 花香 伯貢 臺北市 社 長 松木幹一郎 理 事 宇賀 四郎 安達房治郎 島山 敏行 監 事 梶原 仲治 牧野 忠篤 第一銀行 鮎町區丸ノ内一 頭 取 石井 健吾 副 頭 取 明石 照男 常務取締役 杉田 富 濫澤 敬三 田中 二郎

主要銀行會社役員錄

取締役 野口 弘毅 尾上登太郎 加納友之介 佐々木修二郎 監査役 西園寺龜次郎 大澤 佳郎 佐々木勇之助 相 談 役 佐々木勇之助 第一生命保險(相互) 京橋區京橋三ノ一 社 長 矢野 恒太 取締役 大橋新太郎 森村市左衛門 今村 繁三 取締役 石坂 泰三 常任監査役 伊藤萬太郎 監査役 濱口吉兵衛 小林 一三 柳澤 保惠 第五十九銀行 弘前市 頭 取 宇野 勇作 副 頭 取 佐々木嘉太郎 專務取締役 大原 胤夫 常務取締役 鹿俣徳四郎 同 西田 亮 取締役 宮川久一郎 渡邊 佐助 佐賀清太郎 監査役 工藤 惣助 字野 善造 坂上五郎兵衛

野宮 忠吉 安田 才助 美濃部俊吉 第三銀行 日本橋區兜町一ノ四 頭 取 安田善兵衛 專務取締役 大泉 哲 取締役 藤山 雷太 鄉 誠之助 森脇 榮 岡崎 國臣 取締役 北川 慶治 渡邊善十郎 飯田 武也 安田善八郎 副 頭 取 安田善次郎 副 支 配 人 明石幸三郎 第四銀行 新潟市 頭 取 白勢 春三 池田 正平 五十嵐甚藏 西脇清三郎 內木清三郎 田卷堅太郎 市島 徳厚 上田 弘毅 同 兼 支 配 人 南部 虎造 監査役 藤田 簡吉 第十銀行 甲府市 頭 取 細田 武雄 取締役 矢島 榮助 名取 忠愛 山本 彦吉

取締役 牛山榮太郎 淺川 湖朗 監査役 淺川 湖朗 新海 祐六 第二富士電力(株) 鮎町區丸ノ内 會 長 森村市左衛門 代表取締役 朝倉 每人 取締役 伊東 要藏 日比谷平左衛門 川崎 榮助 棚橋琢之助 山口喜三郎 關本 英作 素木 晃治 彭城嘉津馬 木村平右衛門 監査役 柳 莊太郎 櫻井 好一 佐佐木行忠 室伏 完 高橋 朴平 相 談 役 各務幸一郎 鹿兒島市 湯池 定敏 海江田金次郎 取締役 岩元 善藏 鳥津 半彦 岩元 善藏 原田 耕夫 大磯 岩熊 監査役 大坪岩次郎 藤安新之助 山元玄十郎 高岡銀行 高岡市 頭 取 高廣 次平 常務取締役 正村六之助

取締役 菅野傳右衛門 荒井 健三 宮林彦九郎 佐藤助九郎 米澤 元吉 監査役 櫻井宗一郎 糞 彦九郎 荒木 文平 宮崎 間平 支 配 人 青木久太郎 高島屋(株) 京都市下京區烏丸通 社 長 飯田 新七 專務取締役 飯田直次郎 取締役 橋爪 源吾 村松善次郎 細原 和一 林田裕次郎 飯田新太郎 大澤徳太郎 原 邦造 監査役 飯田藤二郎 片岡 鐵雄 竹田量之助 高松市 常務取締役 宮武 恒造 同 鹽田伊三郎 取締役 品治 隆 井戸文四郎 今井 傳太 下津 揆一 中村新太郎 大西虎之介 北村 苟吉 監査役 都崎發太郎



主要銀行會社役員錄

**相談役** 鎌田勝太郎  
**五川水道(株)** 大森區入新井一  
 社長兼事務 栗原 幸藏  
 常務取締役 豐田亮太郎  
 取締役 永橋 至剛  
 中原岩三郎  
 監査役 渡邊 三郎  
 久保田藤造  
 常任理事 秋本 毅  
**五川電氣鐵道(株)** 澁谷區大和  
 田町一  
 社長 平沼 亮三  
 常務取締役 鷗飼 重雄  
 取締役 井上篤太郎  
 金光 庸夫  
 監査役 村瀬 末一  
 後藤 國彦  
 相談役 門野幾之進  
 顧問 西 大助

**千葉合同銀行** 千葉市  
 頭取 川崎甲子男  
 專務取締役 古莊四郎彦  
 取締役 高梨 博司  
 吉田丹次兵衛  
 登倉 源吾

**千代田火災保險(株)** 京橋區京  
 橋二ノ二  
 取締役支配人 關澄 龍尾  
 常任監査役 吉田 敬三  
 監査役 高橋 熊三  
 相談役 宇佐美敬三郎  
 社 長 門野幾之進  
 取締役 松原 重榮  
 成瀬 正行  
 取締役支配人 近 權内  
 取締役 岩倉 道俱  
 監査役 赤星 鐵馬  
 福澤大四郎  
**千代田信託(株)** 京橋區京橋一  
 會 長 藤山 雷太  
 常務取締役 田村藤四郎  
 取締役 岩原 謙三  
 岡崎 國臣  
 小熊幸一郎  
 監査役 青木謙太郎  
 伊吹 震  
 支配人 藤山愛一郎  
 中央電氣(株) 高田市  
 今井 五介

**中華企業(株)** 麹町區丸ノ内三  
 本社支配人 龜町區丸ノ内三  
 社長 橫田 久雄  
 社 長 三上 豐夷  
 取締役 濱岡 清次  
 取締役 長見 順吉  
 取締役 北川 大藏  
 取締役 高橋 正彦  
 監査役 鈴木 圭三  
 野呂 靜  
 相談役 濱岡 光哲  
**中華銀行** 天津法租界中街  
 總 理 會 誠 僑  
 專務理事 原田梁二郎  
 理事 丁士 源  
 加藤三郎

**中國銀行** 岡山市  
 頭取 大原孫三郎  
 常務取締役 土居 通博  
 副頭取 中村純一郎  
 同 尾崎 生三  
 取締役 高戶 郁三  
 龜山 虎治  
 高田 爲美  
 常任監査役 鈴木幾太郎  
 監査役 橋本 雅三  
**中國合同電氣(株)** 岡山市  
 社 長 坂野鐵次郎  
 取締役 清水榮次郎  
 田中 榮治  
 速水 太郎  
 牛尾 健治  
 監査役 有本 立  
 吉村 薰男  
 木原 通一  
**秩父セメント(株)** 龜町區丸ノ内  
 內日本工業クラア内

六七四

**社 長** 諸井 恒平  
 常務取締役 大友 幸助  
 取締役支配人 諸井 貫一  
 取締役 深谷辰次郎  
 柿原 龜吉  
 淺野總一郎  
 監査役 三輪善兵衛  
 渡邊 得男  
 相談役 鈴木 六郎  
 同 根津嘉一郎  
 同 大橋新太郎  
**秩父鐵道(株)** 熊谷市  
 社 長 諸井 恒平  
 常務取締役 柿原 龜吉  
 同 河野 繁一  
 同 大森喜右衛門  
 取締役 根津嘉一郎  
 諸井 四郎  
 出井 兵吉  
 柿原 萬藏  
 監査役 澁澤 秀雄  
 松本 眞平  
 石橋 要  
**朝鮮銀行** 京城府南大門通  
 總 裁 加藤敬三郎  
 理事 松原 純一  
 監 事 色部 貢  
 伊藤紀兵衛

**朝鮮南鐵道(株)** 忠清南道天  
 本店支配人 小島 誠  
 常任監事 河口 眞  
 會 長 國澤新兵衛  
 副社 長 秋本豐之進  
 取締役 深川三三郎  
 西崎鶴太郎  
 佐久間俊一  
 不破 重兼  
 監査役 松田 榮  
 韓翼 敬  
**朝鮮信託(株)** 京城府南大門  
 通 谷多 喜磨  
 社 長 韓 相 龍  
 會 長 色部 貢  
 取締役 閔 大 植  
 朴 榮 喆  
 金 漢 奎  
 森 菊五郎  
 監査役 渡邊 彌幸  
 金 季 洙  
 支配人 三木 清一  
**朝鮮窒素肥料(株)** 咸鏡南道興  
 南

**朝鮮鐵道(株)** 京城府古市町  
 社 長 大川平三郎  
 專務取締役 新田留次郎  
 取締役 長谷川太郎吉  
 東條 正平  
 小島 誠  
 賀田 直治  
 監査役 井上 周  
 松田貞治郎  
**朝鮮無煙炭(株)** 京城府南大門  
 支配人 野田 薰吉  
 代表取締役 加藤五十造  
 取締役 濱岡 清次  
 大橋新太郎  
 吉田英三郎  
 藤山 雷太

**低溫工業(株)** 品川區西大崎町  
 取締役 星 一  
 日村 豐藏  
 松本 昌光  
 監査役 北郷 三郎  
 下山田政經  
**帝國火災保險(株)** 龜町區内幸  
 町 龜町區内幸  
 社 長 川崎 肇  
 副社 長 山崎 清  
 常務取締役 辻 重治  
 取締役 松本健次郎  
 橋本 龍一  
 小林 暢  
 河合 良成  
 多羅尾源三郎  
 監査役 久米 幸藏  
 大須賀末郎  
**帝國火藥工業(株)** 龜町區丸ノ内  
 內 常務取締役 太田 半六

六七五



主要銀行會社役員錄

取締役 深尾 七郎  
 同 參木 錄郎  
 同 田林喜三郎  
 監査役 長崎 英造  
 磯部英一郎  
 帝國海上火災保險(株) 麴町區  
 大手町一ノ六  
 社 長 阿部 壽準  
 常務取締役 林 季彦  
 取締役 安田善五郎  
 安田善衛 三宅龜三郎  
 戶倉惣太郎 鹽川 八男  
 倉田 庫太  
 監査役 南 莞爾  
 中村 精一 森田 甫  
 相談役 安田善次郎  
 帝國人造絹糸(株) 大阪市北區  
 中ノ島二江東ビル内  
 社 長 佐藤 法潤  
 專務取締役 内海靜太郎  
 常務取締役 永田 與  
 取締役 久村 清太  
 秦 逸三 佐々木義彦  
 永野 護 間宮 壽人  
 監査役 宇田 成和  
 谷村一太郎 河合 良成

帝國製糖(株) 臺中市高砂町一  
 八  
 社 長 松方 正熊  
 專務取締役 田原哲次郎  
 常務取締役 林原彌太郎  
 同 伊東 祐吉  
 取締役 山口誠太郎  
 小畑 勇吉 小栗 良三  
 監査役 廣瀬徳次郎 吉村鐵之助  
 帝國製麻(株) 日本橋區室町一  
 社 長 四條 隆英  
 常務取締役 河路 寅三  
 取締役 阪本 治郎 大橋新太郎  
 安田 善助 鈴木 鈴馬  
 安田善五郎 平塚 直治  
 取締役支配人 玉木誠次郎  
 飯田藤二郎 下河邊行一  
 監査役 伊藤 忠三 塚越丘二郎  
 電氣化學工業(株) 麴町區有樂  
 町  
 社 長 小林 正直  
 專務取締役 近藤 鏡次  
 常務取締役 岡田 光治  
 日比 勝治

取締役 大橋新太郎  
 馬越幸次郎 羽村 協輔  
 伊東二郎丸 柳 莊太郎  
 監査役 縣 左吉  
 間島 與喜 植村澄三郎  
 黒川福三郎 藤原銀次郎  
 相談役 牧田 環  
 帝都電鐵(株) 澁谷區千駄ヶ谷  
 町  
 社 長 利光 鶴松  
 副社 池邊 稻生  
 取締役 中川 小十郎  
 太田 一平 伊藤 文吉  
 利光 學一 宇井 孝三  
 監査役 井上敬次郎  
 中野寅次郎  
 土佐セメント(株) 高知市  
 社 長 淺野總一郎  
 副社 増山 忠次  
 常務取締役 下元鹿之助  
 同 入谷 春彦  
 取締役 溝淵 辨助  
 宮地 茂秋 西山 龜七  
 入交 太藏

取締役支配人 辻 琢磨  
 監査役 島中 義雄  
 井上直太郎 大西 正幹  
 相談役 宇田友四郎  
 土佐電氣(株) 高知市  
 社 長 宇田友四郎  
 專務取締役 上田 保  
 取締役 片岡宇太郎  
 森 淳太郎 松村正太郎  
 川崎庄五郎 入交 太藏  
 監査役 野中常三郎  
 中島 武寛  
 支配人 島中 義雄  
 戸畑鑄物(株) 麴町區丸ノ内  
 社 長 鮎川 義介  
 專務取締役 村上 正輔  
 常務取締役 矢野 美章  
 取締役 大貝潜太郎 工藤 恭平  
 藤田 政輔 久保田靜一  
 山本 惣治 久保田篤次郎  
 監査役 柳川精四郎 山田 敬亮  
 東亞興業(株) 麴町區丸ノ内  
 會 長 門野重九郎  
 常務取締役 内田 勝司

主要銀行會社役員錄

取締役 白岩 龍平  
 小貫 慶治 岩佐 逞藏  
 伊藤 文吉 安川雄之助  
 三宅川百太郎 小倉 正恒  
 監査役 大橋新太郎  
 深尾隆太郎 荻野元太郎  
 東亞殖産(株) 麴町區丸ノ内  
 取締役會長 美濃部俊吉  
 專務取締役 河野 英良  
 取締役 市來 乙英  
 山田 陸穂 寺田 正男  
 早川芳太郎 森 長造  
 荳野 長知 坂井 正義  
 監査役 江平 重雄  
 小橋藻三郎  
 小西 傳七  
 東亞煙草(株) 麴町區丸ノ内  
 社 長 金光 庸夫  
 專務取締役 富澤 充  
 取締役支配人 松尾 晴見  
 取締役 岩波藏三郎  
 川村 桃吉 秀村 得一  
 監査役 山本節次郎  
 東株代行(株) 日本橋區兜町  
 取締役 鈴木 圭三

渡邊善十郎 平野 長藏  
 望月 乙彦 山口富次郎 遠山 元一  
 取締役支配人 山口富次郎 小山正之助  
 監査役 德田 昂平 杉野 喜精  
 東京火災保險(株) 麴町區大手  
 町  
 社 長 四條 隆英  
 副社 南 莞爾  
 取締役 安田善五郎  
 安田善助 大橋新太郎  
 川西清兵衛 安藤 眞雄  
 取締役支配人 菊地 文吾  
 川崎 清男  
 監査役 林 季彦  
 高橋 是賢 安田善次郎  
 評議委員 渡邊福三郎  
 長松 篤榮 佐々田 懋  
 東京瓦斯(株) 麴町區丸ノ内  
 社 長 井坂 孝  
 副社 岡本 櫻  
 取締役支配人 岩村榮次郎  
 取締役 都留 信郎  
 原 邦造 太田 半六  
 橋本圭三郎 神谷 啓三

朝吹 常吉 磯村豊太郎  
 常任監査役 常任監査役 小山 完吾  
 監査役 關谷 兵助  
 東京海上火災保險(株) 麴町區  
 丸ノ内一  
 會 長 各務 謙吉  
 常務取締役 鈴木 祥枝  
 高木 馨 龜山 俊藏  
 八卷 連三 岩崎小彌太  
 取締役 平生鈺三郎 桐島 像一  
 間島 與喜 木村久壽彌太  
 串田 萬藏 小菅 金造  
 監査役 加藤 武男 永原 伸雄  
 東京株式取引所(株) 日本橋區  
 兜町六  
 理 事 長 梶原 仲治  
 理事 立石 信郎  
 常務理事 松本孫右衛門  
 關谷 兵助 南波 禮吉  
 長崎 英造  
 常務理事支配人 大串 三夫  
 常任監査役 勝部 兵助  
 監査役 窪田 四郎  
 菅 禮之助

相談役 郷 誠之助  
 岡崎 國臣 小布施新三郎  
 杉野 喜精 日本橋區吳服橋  
 東京製綱(株) 日本橋區吳服橋  
 三  
 專務取締役 赤松 範一  
 常務取締役 戶村 理順  
 取締役 深山 正  
 大倉 余馬 藤田好三郎  
 監査役 山田 進  
 野口 彌三 日本橋區吳服橋  
 東京建物(株) 日本橋區吳服橋  
 三  
 常務取締役 宮本繁次郎  
 取締役 安田善五郎  
 大倉 余馬 大橋新太郎  
 川崎 清男 加藤 定吉  
 監査役 池田 眞裕  
 小山 傳治 麴町區大手  
 東京地下鐵道(株)  
 社 長 根津嘉一郎  
 專務取締役 早川 徳次  
 取締役 野村龍太郎  
 大川平三郎 増田 義一  
 浦邊 襄夫



主要銀行會社役員錄

取締役支配人 愛甲 勇吉
監査役 星野 錫
青木 周三 阪谷 芳郎
相談役 川崎市 山口喜三郎
東京電氣(株) 專務取締役社長 エツチ・
專務取締役副社長 ヌー・ヒヤース
取締役 岩垂 邦彦
淺野 應輔 岩原 謙三
立川 龍 シェー・ア
オール・スミス
監査役 大塚 榮吉
石井 伍四郎 清水 與七郎
副社長 津守 豊治
東京電燈(株) 芝區田村町一
會社 長 郷 誠之助
社 長 小林 一三
常務取締役 河西 豊太郎
五十嵐直三 廣瀬 爲久
大橋新太郎
取締役 太刀川 平治
本間 利雄 松永安左衛門
鈴木 忠治 田島 達策

新井 章治
常務監査役 伊東 三郎
監査役 萩原 幸吉
戸澤 芳樹
東京モスリン紡織(株) 向島區
吾嬬町西三ノ一
社 長 鶴見左吉雄
常務取締役 楠本吉次郎
杉本 德三 白石 德三郎
取締役 岡田 壯四郎
小松恒太郎 角田晴之助
監査役 金子 良吉
犬塚勝之丞 深井 三男
相談役 青木 五兵衛
東京横濱電鐵(株) 品川區上大
崎 品川區上大
專務取締役 五島 慶太
常務取締役 篠原 三千郎
取締役 緒明 圭造
中川 正左 小林 一三
小宮 次郎 丹澤 秀雄
常任監査役 渡邊 利二郎
監査役 松浦 由太郎
支配人 鮎 町區丸ノ内
東京鐵道立(株)

一社 長 淺野 總一郎
專務取締役 大川 平三郎
白石元治郎
取締役支配人 淺野 義夫
取締役 關 毅
阪谷 芳郎 太田 清藏
安田 善五郎 淺野 良三
乙竹 次郎 渡邊 福三郎
監査役 尾高 豊作 淺井 弘吉
尾高 豊作 淺井 弘吉
東山農事(株) 鮎 町區丸ノ内二
專務取締役 坂本 正治
取締役 桐島 像一
青藤 延 岩崎 隆彌
監査役 深井 三男
東京電氣(株) 京橋區寶町一
社 長 鈴木 忠治
專務取締役 森 蘆規
取締役 川崎友之介
高橋 保 廣瀬 爲久
浦山助太郎 白勢 量作
三野 熊雄 小林 一三
小坂 順造 石渡 吉治
太刀川 平治

監査役 高梨 新三郎
宮口 竹雄 鈴木 三郎助
東神倉庫(株) 日本橋區箱崎町
會社 長 福井 菊三郎
常務取締役 加藤 直法
同 手島 知健
取締役 林 健
監査役 越 英之助
同 門野 鍊八郎
東電證券(株) 芝區田村町一
社 長 河西 豊太郎
取締役 小林 一三
五十嵐直三 本間 利雄
監査役 新井 章治
支配人 佐野 太郎
東武鐵道(株) 本所區小梅町一
社 長 根津 嘉一郎
專務取締役 吉野 傳治
取締役 原 邦造
前田 利定 根津 啓吉
塚田 要藏 如中 四郎
常任監査役 須田 宣
監査役 正田 貞一郎
龜田 寅吉 宇都宮 政市

主要銀行會社役員錄

支配人 如中 四郎
東京電力(株) 鮎 町區丸ノ内二
社 長 橋本 萬之介
常務取締役 西山 龜太郎
穴水 熊雄 櫻木 亮三
江幡 新
取締役支配人 内田 百合正
監査役 加納 友之介
七島 德太郎 榎原 啓藏
東邦瓦斯(株) 名古屋市中區御
器所町字高繩手
社 長 岡本 櫻
常務取締役 藤本 憲治
池田 増太郎 永瀧 松之輔
取締役 都留 信郎
塚田 實則 岡谷 惣助
服部 直吉
監査役 松永安左衛門
大喜多寅之助 青木 鎌太郎
豐田 利三郎 鮎 町區丸ノ
東邦證券保有(株)
社 長 松永安左衛門
內海上ビル内
常務取締役 井手 徳一
取締役 宮川 竹馬
鈴木 春 古島 安二

神谷 忠雄 進藤 甲兵
監査役 鮎 町區丸ノ内一
東京電力(株) 社 長 松永安左衛門
專務取締役 海東 要造
常務取締役 竹岡 陽一
進藤 甲兵 宮川 竹馬
取締役 阿本 太右衛門
名取 和作 井手 徳一
堀 三太郎 西山 信一
常任監査役 角田 正喬
監査役 各務 幸一郎
門野 幾之進 大島 小太郎
豐田 利三郎
東北鐵道鐵業(株) 下谷區上野
北大門町一二(假事務所)
專務取締役 小長 井幸太郎
常務取締役 前田 利乘
同 河原 彌三郎
取締役 谷村 唯一郎
鈴木 巖 大矢 馬太郎
千葉 庄八 田原 盛義
常任監査役 川區中津濱通一ノ九
東洋毛織紡績(株) 大阪 市東淀
社 長 河崎 助太郎

取締役 伊藤 傳七
伊藤 竹之助 田附 政次郎
田村 駒治郎 竹中 源助
岡田 彦次郎 高津 忠
監査役 竹村 清次郎
平生 夙三郎 高橋 幸三
東京拓殖(株) 鮎 町區山下町一
總 裁 高山 長幸
理 事 山田 勳
中野 太三郎 田淵 勳
常任監査役 本倉 文雄
監査役 福本 元之助
石鎮 衛 香椎 源太郎
常務顧問 中谷 庄兵藏
井上 雅二 中島 清一郎
囑 託 小椋 長春
支配人 大阪市北區堂島
東洋紡績(株) 大阪 市北區堂島
濱通二ノ八
社 長 阿部 房次郎
副社 長 庄司 乙吉
常務取締役 種田 健藏
同 關 桂三
取締役 伊藤 傳七
服部 廉輔 谷口 豊三郎
山口 仲次郎

監査役 阿部 彦太郎
齊藤 恒一 山邊 清亮
神野 金之助 九鬼 紋七
相談役 齊藤 恒三
同 飯尾 一二
東洋棉花(株) 大阪 市東區高麗
橋 山崎 一保
專務取締役 權野 健三
常務取締役 安川 雄之助
取締役 塚田 公太 島 專吉
佐倉 貞一郎 三ッ 矢勝治郎
已斐 平二
監査役 仲谷 芳雄
福井 菊三郎 戶川 濱男
井上 治一 堤 祐三
永田 泰造 日本橋區室
東洋レヨン(株)
會社 長 安川 雄之助
專務取締役 辛島 淺彦
常務取締役 井上 治一
小澤 武 若林 卯三郎
南條 金雄 川村 貞次郎
取締役 平田 篤次郎



主要銀行會社役員錄

監査役 武村貞一郎
同田省胤 麹町區丸ノ内
東洋冷蔵(株) 葛原 猪平
取締役 木下 重作
下川 宗七
青木 豊蔵
監査役 増野 正
福田 亮輔 木下 國明
同興紡績(株) 上海楊樹浦路
飯尾 一二
社 常務取締役 立川 團三
取締役 隅田 光藏
谷口 豊三郎 秋田 幹久
監査役 坂田 幹太
竹中 源助 岸本勘左衛門
常務銀行 水戸市上市南町
頭 江幡 新
常務取締役 佐藤 五郎
取締役 吉見 輝
秋山 誠明 長竿 繁
間々田 惣助 荒川 爲吉
外池 格次郎 中尾藏之助
野村 太助 濱平右衛門
菊池 八次郎 樋口貞四郎
角田 林兵衛 龜山 甚
三宅 亮一

監査役 川崎友之介
秋山藤左衛門 花塚仁兵衛
今井 惟明 室田 義文
相談役 杉浦甲子郎
富士紡績(株) 大阪東區安土町
伊藤忠兵衛
社 常務取締役 井上 富三
取締役 泉 彌市 伊藤竹之助
古橋 林司 早瀬太郎三郎
監査役 西脇 健治 山田 正年
豐田紡績(株) 名古屋市中區
豐田 佐助
社 常務取締役 豐田 利三郎
取締役 西川 秋次 豐田 喜一郎
豐田 平吉 鈴木 利藏
取締役支配人 岡本藤次郎
監査役 藤野 勝太郎 園田 忠雄
藤野 賢吉 藤野 つゆ
豐田紡績(株) 上海極司非而
豐田利三郎

專務取締役 西川 秋次
常務取締役 石黒 昌明
取締役 豐田 喜一郎
監査役 豐田 佐助 藤野 勝太郎
村野 時哉 鈴木 利藏
名古屋銀行 名古屋市中區榮町
一 取締役頭取 恒川小三郎
常務取締役 長戸 備
鈴木 廣二 渡邊喜兵衛
取締役 森本 善七 首藤 正壽
監査役 加藤泰次郎 北尾伊三郎
奈賀電氣鐵道(株) 京都府宇治
町 專務取締役 長田 桃藏
專務取締役 佐藤 辰二
內外綿(株) 神先惣右衛門
町 專務取締役 大阪市北區堂島北
專務取締役 佐々木國藏
大西 喜一

岡田源太郎 山口幸三郎
取締役 阿部彦太郎
天木繁二郎 大谷 登
玉木 永久
監査役 半田虎之助
川邨利兵衛 中野嘉三郎
支配人 荒川 太逸
長野電燈(株) 長野市
社 常務取締役 小坂 順造
副社長 諏訪部庄左衛門
湯淺 三郎 花岡 俊夫
取締役 湯淺 三郎 神津 藤平
半田 善四郎 高橋 保
小坂 武雄 鈴木 宗次
監査役 宮下 友雄 大塚 宗次
高山 郷三 鈴木 雄次郎
支配人 楠 慶治
成田急行電鐵(株) 日本橋區吳
服橋一ノ三三和ビル内
專務取締役 葛西又次郎
取締役 宮崎 賢一
監査役 玉屋時次郎
下川 美登
南海鐵道(株) 大阪市南區難波

取締役會長 根津嘉一郎
社 專務取締役 寺田 甚吉
取締役 中山 隆吉
佐々木勇太郎 岡田 意一
垂井清右衛門 肥塚源次郎
後藤 佐彦 大塚 晃長
監査役 寺田元之助
南米拓殖(株) 向島區隅田町二
福原 八郎
社 取締役 高津久右衛門
堀 朋近 野崎 廣太
前山 久吉 中上川三郎治
千葉 三郎 有馬 頼寧
監査役 染谷 寛治
室田 義文 八木 幸吉
鈴木 忠治 南洋サイパン島
南洋興發(株) 南洋サイパン島
社 常務取締役 松江 春次
取締役 村田 命穆
水野 恒路 色部 米作
監査役 山田 穆 加藤 俊平
新潟電力(株) 新潟市

社 長 松永安左衛門
副社長 白勢 量作
常務取締役 山縣 鼎一
取締役 田代與三久 田卷堅太郎
中野 欽治 中野四郎太
松木 弘 奥山 龜藏
古島 安二 藤田 簡吉
常務監査役 飯村 俊二
監査役 高桑 確一 井手 徳一
會津 亦質 中野忠太郎
支配人 佐野良太郎
新高製糖(株) 臺灣臺中州彰化
片山三男三
郡和美庄中寮字竹園子
取締役會長 藤山 雷太
常務取締役 秋山孝之輔
金行 二 望月軍四郎
取締役 赤司初太郎
監査役 名取 和作
西脇(合名) 日本橋區江戸橋二
代表社員 西脇 健治
無限社員 西脇 健治
日華紡績(株) 上海勞勃生路
取締役社長 田邊 輝雄

常務取締役 越智喜三郎
取締役 河崎助太郎
伊藤竹之助 日比谷平左衛門
矢野慶太郎 大島 亮治
赤司初太郎 持田 巽
南郷 三郎 野村 徳七
監査役 上野山重太夫 小野 英貴
支配人 伊與田英二
日興證券(株) 麹町區丸ノ内一
岩井重太郎
社 取締役 田中 市藏
原 邦造 菊池鈴太郎
取締役支配人 西脇 濟三郎
監査役 賣來 市松 西脇 濟三郎
支配人 星野 剛男
日清汽船 麹町區内幸町一
深尾隆太郎
社 常務取締役 米里 紋吉
取締役 各務 鎌吉 島村 幡彦
村田 省藏 大谷 登
監査役 石崎 震二 須賀 虎松
日清製粉(株) 日本橋區小網町

社 長 正田貞一郎
常務取締役 石島爲三郎
星野 唯三 丸山良太郎
取締役 森田 一郎 加藤 徳雄
常任監査役 恩賀太一郎
監査役 村松 甚藏 茂木啓三郎
高橋 鍊逸 長柄徳次郎
相談役 根津嘉一郎
日清紡績(株) 城東區龜戸町二
宮島清次郎
社 常務取締役 村田 由藏
常務取締役 鷺尾 勇平 岡田壯四郎
取締役 田邊 熊一 鈴木 充形
山本 倍三 綿貫 明永
監査役 川崎友之介 岩崎 清七
日電證券(株) 大阪市北區宗是
代表取締役 池尾 芳藏
內藤 熊喜 石原正太郎
取締役 福中佐太郎 境田 賢吉

主要銀行會社役員錄



主要銀行會社役員錄

内山敬三郎 深野 憲一 岸田 幸雄 秋山武三郎 武藤 嘉門 矢野慶太郎 田中榮八郎 溝口 直亮 三木國太郎 新島 詳三 支配人 前島 詳三 日本火災保險(株) 日本橋區通 二 川崎 肇 川崎守之助 副社長 大原 祥一 常務取締役 藤山 雷太 取締役 高橋 熊三 河合 鐵二 笠松津兵衛 佐久間心一郎 監査役 高梨 博司 相談役 川崎八右衛門 協議役 山崎 清 日本海上保險(株) 大阪市西區 江戶堀上通一 右近權左衛門 社長 右近 和作 副社長 右近 福次郎 常務取締役 八十島五郎右衛門 取締役 八十千之助

川口 義宏 中村 泰藏 監査役 早瀬 完二 川畑 清藏 日本勸業銀行 麹町區内山下町 一 總裁 馬場 鏡一 副總裁 石井 光雄 理事 杉浦 儉一 大橋 信吉 原口 徠 近藤 有會 田邊加多丸 參與理事 志立鐵次郎 大橋新太郎 伊谷以知二郎 監査役 田口 晋吉 奧居 彦松 平山 鼎 日本汽船(株) 神戸市播磨町 社長 田村 市郎 取締役 二見 松三 吉川小三郎 田村 啓三 監査役 大阪東區高 麗橋五ノ一〇 日本揮發油(株) 大阪東區高 會社 島 德藏 社長 實吉 雅郎 專務取締役 角田 駒治 取締役 木越 進 渡邊千代三郎

大谷 順作 日本銀行 日本橋區本石町二ノ 二 總裁 土方 久徵 副總裁 深井 英五 理事 永池 長治 司城 元義 清水賢一郎 堀越 鐵藏 今北策之助 監査役 川上直之助 濱岡 五雄 青木 信光 參 鄉 誠之助 池田 成彬 串田 萬藏 八代 則彦 秘書役 岡野 清豪 檢査役 金子 壽雄 佐渡仲太郎 神森 敏三 吉川智慧丸 神戶市西出町 日本毛織(株) 川西清兵衛 社長 堀脇敬二郎 常務取締役 田村 市郎 取締役 小倉 喜一 小曾根貞松 八馬 兼介 川西 清司 松本鐵次郎 監査役 佐野彌三郎 毛戸 勝元

日本航空輸送(株) 芝區田村町 一 社長 原 邦造 常務取締役 戶川 政治 取締役 稻畑勝太郎 大川平三郎 大橋新太郎 橋本圭三郎 監査役 松永 武吉 根津嘉一郎 橋本圭三郎 川西清兵衛 阪谷 芳郎 相談役 結城豐太郎 日本興業銀行 麹町區丸ノ内一 總裁 實來 市松 理事 河上 弘一 公森 太郎 岩佐 逞藏 小竹 茂 監査役 田中 直一 田中 直一 秘書役 北 謙治 日本鋼管(株) 川崎市 社長 大川平三郎 副社長 白石元治郎 常務取締役 松下 長久 間島 三久 大橋新太郎 今泉嘉一郎 取締役 香田 五郎 太田 清藏 田中榮八郎

主要銀行會社役員錄

監査役 西野惠之助 吉本吉左衛門 日本鑛業(株) 麹町區丸ノ内二 會長 鮎川 義介 社長 竹内 維彦 常務取締役 今井喜代志 坂本 威郎 取締役 奧田 利吉 濱田八之助 小平 浪平 監査役 伊藤 文吉 日本産業(株) 麹町區丸ノ内二 社長 鮎川 義介 副社長 竹内 維彦 專務取締役 下河邊建二 取締役 伊藤 文吉 小平 浪平 監査役 岩田 宙造 山田 敬亮 片山 義勝 日本紙業(株) 四谷區元町 副社長 中内久太郎 常務取締役 大脇 順路 中内 松次 加藤 正雄 取締役 川崎 清男 河路 寅三 三階堂三郎左衛門 森木恒之助

監査役 宇田龜代滿 宮口 竹雄 日本車輻製造(株) 名古屋市南 區熱田東町梅ノ木 社長 後藤 幸三 副社長 三瓶 勇佐 常務取締役 秋山 正八 取締役 三輪喜兵衛 岩垂 捨三 門野重九郎 青柳一太郎 監査役 天野 文司 日本信託銀行 大阪市今橋二 會長 車谷馬太郎 常務取締役 石川秀之助 取締役 上島益三郎 中村爲三郎 橫江萬治郎 監査役 中村秀五郎 支配人 北島房太郎 中田 秀雄 日本人絹パルプ(株) 麹町區丸ノ内海上ビル 取締役社長 高島菊次郎 專務取締役 塚越卯太郎 常務取締役 光澤 義男

常務取締役 溝口 新平 取締役 田中 治朗 山内 幾馬 中村金太郎 鈴木 實 榎原 啓藏 監査役 安場 保健 日本セメント(株) 麹町區丸ノ内海上ビル新館三階 社長 淺野總一郎 專務取締役 淺野 良三 同 金子喜代太 同 宮地 茂秋 取締役 長崎 英造 中尾 眞吉 綠川 政藏 監査役 田中榮八郎 橫山 光次 日本橋區室町 日本製鋼所(株) 三井三號館 會長 磯村豐太郎 常務取締役 石塚 余藏 取締役 牧田 環 油谷 堅藏 山田 泰作 松田 義一 村越 八郎 伊勢喜之助 常任監査役 川部孫四郎 監査役 有賀 長文

監査役 赤羽 克己 顧問 榎山 愛輔 水谷 叔彦 日本製絲(株) 米子市 社長 坂口清太郎 常務副社長 坂口 二郎 取締役 平野 復男 同 清水榮次郎 同 松本宗十郎 同 伊藤 政庸 同 菊池 恭三 同 福本元之助 日本製粉(株) 京橋區京橋三 會長 安川雄之助 代表取締役 中村 藤一 同 小林 正直 同 田中 寬 監査役 田中 文藏 八尋 俊介 田中 英夫 監査役 藤谷 英夫 同 御酒木德松 日本石油(株) 麹町區丸ノ内三 社長 橋本圭三郎 專務取締役 中野 鐵平 同 水田 政吉 同 取締役 大橋新太郎 山口誠太郎



主要銀行會社役員錄

西陽濟三郎 津下紋太郎 渡部 介 山口 政治 監査 牧野 忠篤 同 大阪此花 日本染料製造(株) 區春日出町 取締役社長 稻畑勝太郎 常務取締役 稻畑 二郎 取締役 大橋新太郎 藤山 雷太 渡邊千代三郎 三好久太郎 湯川忠三郎 監査 中村 茂 森 平兵衛 支配 人 森山勇三郎 日本曹達工業(株) 常務取締役 山口縣徳山 取締役 岩瀬徳三郎 同 岩井勝次郎 監査 岩井雄二郎 同 岩井 豊治 日本窒素肥料(株) 宗是町一 取締役社長 野口 遼 同 副社長 市川 誠次 專務取締役 榎並直三郎 常務取締役 金田榮太郎 常務取締役 荻生 傳

取締役 桐島 像一 渡邊 義郎 監査 各務幸一郎 同 堀 啓次郎 日本晝夜銀行 京橋區銀座西 四 頭 取 安田善四郎 副頭 取 川崎 清男 取締役 安田善兵衛 榎本 平七 飯田 武也 監査 池田 眞裕 永井 正作 富永 靜雄 支配 人 芝區三田四國町 日本電氣(株) 二 取締役會長 秋山武三郎 專務取締役 志田 文雄 取締役 岩垂 好徳 朝吹 常吉 安川雄之助 エンヂイシラー 監査 矢島 富造 大井伊太郎 池尾 芳蔵 日本電力(株) 大阪北區宗是

專務取締役 內藤 熊喜 取締役 石原正太郎 福中佐太郎 堀田 賢吉 內山敬三郎 深野 憲一 岸田 幸雄 秋山武三郎 武藤 嘉門 矢野慶太郎 監査 溝口 直亮 田中榮八郎 新 啓 三木國太郎 麴町區大手 日本無線電信(株) 町 取締役社長 岩原 謙三 常務取締役 東郷 安 同 吉野 圭三 取締役 井坂 孝 門野重九郎 弘世助太郎 小倉 正恒 串田 萬藏 米田奈良吉 稻畑勝太郎 伊藤次郎左衛門 森 廣藏 日本棉花(株) 大阪北區中之 鳥二ノ一〇 社 長 南郷 三郎 取締役 大岡破挫魔 山川 萬吉 加藤 末雄 日置 保彦 中井榮三郎

八木清太郎 瀧ノ川儀作 監査 野田吉兵衛 武内 和二 日本郵船株式會社 麴町區丸ノ 內 取締役社長 各務 鎌吉 同 副社長 大谷 登 專務取締役 渡邊水太郎 同 清水 安治 取締役 菊池 恭三 大橋新太郎 木村久壽彌太 井坂 孝 山本 直良 監査 宮崎 清則 東久世秀雄 宮崎 誠之助 相談 役 郷 誠之助 日本レイヨン(株) 町 取締役 長 菊池 恭三 社 長 福本元之助 取締役 小寺 源吾 松村 謙成 平野 復男 逢坂 佐七 宮野源一郎 菊池 文吾 今村 奇男 監査 岩田宗次郎 伊藤 萬助 日本海電氣(株) 富山市 山田 昌作

主要銀行會社役員錄

常務取締役 新田 與一 吉見 靜一 馬瀨清九郎 取締役 樋爪讓太郎 谷 飲太郎 深尾 貞 島山小兵衛 中田清兵衛 織部次右衛門 馬場 正治 監査 青木善四郎 京橋區木挽町七 日本製鐵(株) 取締役社長 中井 勳作 常務取締役 野田 鶴雄 保倉熊三郎 井上匡四郎 取締役 磯村豐太郎 渡邊 義介 磯山 齊 香村 小録 吉田 豊彦 米山 辰夫 黒田 泰造 松田貞治郎 牧田 環 松本健次郎 荒城 二郎 濫澤 正雄 郷 誠之助 太田嘉太郎 常任監査役 西村小次郎 監査 西野惠之助 濱田 彪 榊山 愛輔 麴町區丸ビル内 日魯漁業(株) 長 窪田 四郎

專務取締役 平塚常次郎 常務取締役 眞藤慎太郎 同 松下 高 同 藤田 秀雄 取締役 加藤 恭平 加藤 辰彌 加藤 喜代太 中野 正永 山田 穆 山下 太郎 柿内常次郎 常任監査役 井出 智 監査 本川藤三郎 高橋 鍊逸 松本 良七 川上 俊彦 相談 役 佐野 滋 樺山 資英 伊藤眞五郎 米津嘉九郎 三原 美男 宮城 敬 佐野 滋 支配 人 野田糖油(株) 千葉縣野田町 社 長 茂木七左衛門 常務取締役 茂木佐平治 同 中野榮三郎 取締役 高梨兵左衛門 茂木順三郎 茂木房五郎 茂木啓三郎 中野長兵衛 監査 役

野村銀行 大阪東區備後町二 正田貞一郎 頭 取 野村元五郎 專務取締役 松島 準吉 常務取締役 熊本 石造 同 西村勝太郎 取締役 片岡 香吾 今井 豊吉 柴山 鷲雄 監査 野村義太郎 野村 徳七 野村(合名) 大阪東區備後町 二ノ二 社 長 野村 徳七 副社 長 野村元五郎 理事 柴山 鷲雄 理事 片岡 香吾 理事 松島 準吉 山内 貢 理事 支配 人 野村義太郎 野村(證券) 大阪東區安土 町二ノ六一 社 長 片岡 香吾 常務取締役 横田 浩 同 瀨尾 昭

取締役 野村元五郎 飯田 清三 丹羽 實 監査 野村義太郎 柴山 鷲雄 相談 役 野村 徳七 西館水電(株) 京橋區銀座四丁 目 專務取締役 穴水 熊雄 取締役 渡邊又四郎 石津 龍輔 監査 岡野 豪夫 岡田伊太郎 岡野 逸藏 箱根土地(株) 北多摩郡谷保村 取締役 若王子文健 中島 夢 畔上 鋭 監査 中島 夢 土岐 義彦 八十二銀行 長野市 取締役頭取 小林 暢 同 副頭取 黒澤 利重 常務取締役 木内 榮司 同 飯島 正一 取締役 片倉兼太郎 鈴木 鶴治 中山武三郎 市川 新治 松澤 鷹三 六八五



兒玉 衛一 大瀧傳十郎  
 監査 役 中島吉左衛門  
 山中 助藏 小田切彌兵衛  
 宮坂伊兵衛 平林 莊治  
 順 間 鳥田 誠雄  
**服部時計店(株)** 京橋區銀座  
 取締 役 服部 玄三  
 篠原三千郎 河田 源三  
 津田今朝藏 服部 正次  
 監査 役 松山 陸郎  
**林業商店(株)** 下關市  
 社 長 中部幾次郎  
 專務取締役 中部 兼市  
 常務取締役 中部 謙吉  
 同 中部 悦良  
 取締 役 伊東 猪六  
 有吉 京吉 中部利三郎  
 監査 役 中部 義吉  
 顧 問 藤田 若水  
**阪神急行電鐵(株)** 大阪府池田  
 町 取締 役 長 小林 一三  
 副 社 長 上田 寧  
 專務取締役 佐藤 博夫

取締 役 速水 太郎  
 井上 周 岸本兼太郎  
 山口謙四郎 廣岡久右衛門  
 岩倉 具光 吉岡重三郎  
 林 藤之輔 清水榮次郎  
 監査 役 八馬 兼介 松岡 潤吉  
 和久左衛門 神戶市榮町通二  
**阪神築港(株)** 山下龜三郎  
 社 長 常務取締役 平山 敬三  
 同 内田 敬三  
 取締 役 今岡純一郎  
 吉富 金一 清水 賢雄  
 山下 太郎 湖 文一  
 監査 役 大塚 清夫 林田 精一  
 支 配 人 潮 文一  
**阪神電氣鐵道(株)** 尼崎市  
 社 長 堀 啓次郎  
 專務取締役 今西與三郎  
 常務取締役 山口 覺二  
 取締 役 小西新右衛門  
 片岡 直方 辰馬勇治郎  
 細野 直方 松本 順吉  
 監査 役 松本 順吉

外山 捨造 小曾根貞松  
 顧 問 太田保太郎  
 同 菅原 春二  
**阪和電氣鐵道(株)** 大阪府天王  
 寺區悲田院町 木村 清  
 社 長 林 安繁  
 取締 役 太田 光熙 高取 盛  
 田中 千里 竹中 源助  
 木本主一郎 平松 憲夫  
 川崎 肇 橋本 喜作  
 業務顧問 長尾 良吉  
 支 配 人 守屋源次郎  
 平松 憲夫  
**日立製作所(株)** 麴町區丸ノ内  
 二ノ一二久原ビル内 鮎川 義介  
 社 長 小平 浪平  
 常務取締役 古山石之助  
 同 六角 三郎  
 同 高尾直三郎  
 同 竹内 維彦  
 同 伊藤 文吉  
 同 堀 哲三郎  
 同 下河邊建二

和歌山縣御坊町 日出紡織(株)  
 取締 役 長 田中榮八郎  
 專務取締役 加名生良信  
 常務取締役 石田 氏敏  
 村野 貞朗  
 木代 良太  
 米澤吉次郎  
 伊藤 熊三  
 笹野梅太郎  
 越野 三藏  
 大川平三郎  
 伊藤長次郎  
 大阪府東  
**東大阪電氣鐵道(株)** 區京橋前ノ町三  
 社 長 太田 光熙  
 取締 役 增田 次郎  
 濱崎 健吉 田中 千里  
 宮崎 彌平 石田 勝作  
 白井 勤助 有田 邦敬  
 監査 役 高桑 確一 溝口 澄江  
 支 配 人 東 佐平治  
**經川電力(株)** 芝區田村町一ノ  
 一東電ビル内 田邊 七六  
 取締 役 河西豐太郎

八卷 彌一 原 安三郎  
 村瀨 末一 萩原 英雄  
 中野四郎太 廣瀬 爲久  
 松浦圓四郎 廣瀬 爲久  
 監査 役 久接  
**百五銀行** 津市  
 頭 取 川喜田久太夫  
 常務取締役 雲井憲二郎  
 同 岡田 藤吉  
 取締 役 土井八郎兵衛  
 柏原孫左衛門 速水健治郎  
 川喜田四郎兵衛 吉田善三郎  
 橋本市太郎 米本平左衛門  
 大澤 梧郎  
 常任監査役 久保茂太郎  
 監査 役 後藤仁兵衛  
 筒井喜一郎 神戶市榮町  
**兵庫大同信託(株)** 神戶市榮町  
 通 伊藤長次郎  
 社 長 橋本 重幸  
 副 社 長 掛井 生治  
 常務取締役 岡崎 忠雄  
 取締 役 毛戸 勝元  
 川西清兵衛 中村 準作  
 八馬 兼介 長部 慎三  
 澤野 定七

瀧川 儀作 山田 甚一  
 田治米吉郎右衛門 神戶市榮町通  
**兵庫縣農工銀行** 久米 幸藏  
 頭 取 伊藤長次郎  
 取締 役 小西新右衛門  
 初井奈良吉 毛戸 勝元  
 川本 直信 伊崎 光衛  
 監査 役 平尾源太夫 廣岡(合名) 大阪市西區土佐堀  
 代表社員 廣岡 惠三  
 無限社員 廣岡久右衛門  
 同 廣岡松三郎  
 常務理事 加輪上勢七  
**廣島電氣(株)** 廣島市  
 社 長 守屋 義之  
 副 社 長 鈴木 貫一  
 常務取締役 稻葉 實  
 取締 役 澤原 精一 島津 需吉  
 井原 外助 井東茂兵衛  
 坂口 武市 熊巳 義憲  
 大平要太郎 戶田宗三郎  
 木村 平八 太刀掛正一  
 監査 役 太刀掛正一

阪口清太郎 松本榮一郎  
 牧田孫太郎  
**扶桑海上火災保險(株)** 麴町區  
 丸ノ内一ノ二 小倉 正恒  
 會 長 小山 九一  
 專務取締役 平生飢三郎  
 取締 役 山岸 哲夫  
 三倉 滋 山下龜三郎  
 監査 役 矢島 富造 小山卓次郎  
 支 配 人 菅谷益之助  
 三宅 寬二 日本橋區兜  
**富士瓦斯紡績(株)** 日比谷平左衛門  
 町 會 長 鹿村 美久  
 專務取締役 森村市左衛門  
 取締 役 後藤 正堯  
 各務幸一郎 戶坂 隆吉  
 木内 直 川崎 榮助  
 川崎 榮助 伊東 要藏  
 監査 役 棚橋琢之助  
 大山 五郎 津田 五郎  
 荒木 團藏 川崎市  
**富士電機製造(株)** 吉村萬治郎

根津嘉一郎 小野 耕一  
 堀内 良平  
**富士川電力(株)** 芝區田村町一  
 取締 役 本間 利雄  
 田邊 七六 萩原 拳吉  
 監査 役 小林 完一  
**富吹水電(株)** 麴町區丸ノ内三  
 取締 役 池田 五六  
 小島兼太郎 町田 儀正  
 廣瀬重太郎 廣瀬 爲久  
 監査 役 廣瀬 爲久  
 取締 役 長 名取 和作  
**富士身延鐵道(株)** 日本橋區本  
 町 相 談 役 河西豐太郎  
 社 長 小野 連三  
 常務取締役 西川武三郎  
 取締 役 田邊 七六 氣賀 高次  
 取締 役 支配人 高橋 平吉  
 監査 役 山中 勇  
 鎮目 泰輔  
 相 談 役 根津嘉一郎  
 小野 耕一 堀内 良平  
**富士川電力(株)** 芝區田村町一  
 取締 役 本間 利雄  
 田邊 七六 萩原 拳吉  
 監査 役 小林 完一  
**富吹水電(株)** 麴町區丸ノ内三  
 取締 役 池田 五六  
 小島兼太郎 町田 儀正  
 廣瀬重太郎 廣瀬 爲久  
 監査 役 廣瀬 爲久



主要銀行會社役員錄

小島重次郎 根津 啓吉  
支配人 安田 保郎  
福島電燈(株) 福島市  
取締役支配人 西形吉次郎  
取締役 松本庸之助  
濱田 忠喜 山森佐太郎  
近藤 甲 櫻木 亮三  
太田秋之助 鈴木 文七  
監査役 木村重三郎  
神谷 啓三 永松 利熊  
岩澤岩次郎 白井 千尋  
相談役 松永安左衛門  
復興建築助成(株) 松永安左衛門  
下町東洋ビル内 麹町區内山  
取締役社長 沼田政二郎  
取締役 大橋新太郎  
井坂 孝 原 邦造  
弓削孝太郎 門野重九郎  
監査役 松本 蒸治  
澁澤 義一  
渡邊利二郎  
藤田鎮業(株) 大阪市堂島  
常務取締役 藤田徳太郎  
取締役 日吉 平吉  
藤田平太郎

藤田彦三郎 宮原 清  
新山 敏介 村松 孝宜  
白石慶太郎  
監査役 西村圭太郎  
古河鑛業(合名) 麹町區丸ノ内  
社長 古河虎之助  
副社長理事 吉村萬治郎  
專務理事 佐々木敏綱  
理事 古河 從純  
中川 末吉 杉本五十鈴  
古河石炭鑛業(株) 佐藤 鐵  
内二ノ八 麹町區丸ノ内  
社長 古河虎之助  
副社長 古河 從純  
代表取締役 佐々木敏綱  
取締役 吉村萬治郎  
長谷川恭平 坂本 修作  
松葉谷良太郎 鈴木恒三郎  
監査役 西條峯三郎  
古河電氣工業(株) 日本橋區室  
町 佐藤 鐵  
專務取締役 中川 末吉  
杉本五十鈴

取締役 三谷 一二  
長谷川鐵太郎 荻野元太郎  
利根川守三郎 鈴木 元  
金子 智  
監査役 青木 菊雄  
平沼 亮三 鈴木恒三郎  
福助足袋(株) 堺市  
社長 辻本豊三郎  
取締役 村田 豊  
竹本 芳造 小西熊次郎  
山本 秀一 辻本 英一  
妹香義一郎 中谷 米藏  
桑原 貫一  
監査役 森山實五郎  
小林 太吉  
豐年製油(株) 麹町區丸ノ内  
取締役社長 杉山金太郎  
取締役 妹尾 清助  
原田三左衛門 菊池土用三  
木岡 豊喜  
監査役 小島 久太  
北越水力電氣(株) 小島 久太  
常務取締役 山口誠太郎  
田邊 元治

取締役 本間 新作  
山口 政治 西脇濟三郎  
監査役 目黒 文平  
田村豊太郎  
北海道拓殖銀行 札幌市  
頭取 松本 備  
取締役 清水 英嗣  
間宮 脩治 永田 昌緯  
監査役 門野重九郎  
三浦英太郎  
常任監査役 西森敏太郎  
北海道炭礦汽船(株) 日本橋區  
室町二ノ一ノ一  
社長 磯村豊太郎  
常務取締役 赤羽 克己  
高洲鐵一郎  
倉知 鐵吉  
榎野 禮助  
有賀 長文 藤岡 淨吉  
藤井暢七郎 加藤 德行  
監査役 日比谷平左衛門  
志田 勝民  
北海道鐵道(株) 北海道白石村  
社長 足立 正  
專務取締役 伊東 祐啓  
安東定治郎

主要銀行會社役員錄

佐々木平次郎 後藤 國彦  
監査役 高橋 熊三  
加藤藤太郎  
北海道電燈(株) 京橋區銀座四  
社長 大川平三郎  
常務取締役 穴水 熊雄  
取締役 田中榮八郎  
高橋貞三郎 榎原 啓藏  
小野 耕一 矢島 富造  
穴水嘉三郎 小野 連三  
監査役 岡野喜太郎  
北電興業(株) 京橋區銀座四  
社長 大川平三郎  
取締役 堀原 啓藏  
田中榮八郎 穴水 熊雄  
監査役 高橋貞三郎  
松江銀行(株) 松江市  
頭取 絲原武太郎  
常務取締役 福井 益造  
取締役 田部長右衛門  
小川 貞一 恒松於克二  
谷口源十郎 江角 泰助  
三島 祥通 山本 孝吉  
山田 美治 江角 興義

持田榮太郎 竹原 熊重  
監査役 森山 金一  
近藤順一郎 大村 貞藏  
石橋長右衛門 山根太郎三郎  
松坂屋(株) 名古屋市中區南大  
津町二ノ八 小松貞次郎  
社長 伊藤松之助  
專務取締役 小林八百吉  
常務取締役 塚本鉢三郎  
取締役 伊藤銃次郎  
同 鬼頭 幸七  
同 安田久之助  
同 伊藤鈴三郎  
同 伊藤次郎左衛門  
同 大連市  
同 山内 靜夫  
同 三 多  
同 前田 直造 井上 乙彦  
同 西田猪之輔  
同 西山 左内  
同 八木 開一  
同 大連市  
同 斯波忠三郎  
滿洲化學工業(株) 長  
滿洲電信電話(株) 伊藤次郎左衛門  
相談役 大連市  
取締役總裁 山内 靜夫  
取締役 三 多  
同 副總裁 井上 乙彦  
同 理事 西田猪之輔  
前田 直造 西山 左内  
監査役 八木 開一  
范培 忠  
滿洲化學工業(株) 長  
斯波忠三郎

常務取締役 右近 又雄  
同 深水 壽  
取締役 根橋 積二  
田村 羊三 奥村 政雄  
藤川 永充 高橋 是賢  
堀 義雄 中村房次郎  
滿洲銀行 大連市  
頭取 村井啓太郎  
常務取締役 高雨 武夫  
取締役 劉雨 武夫  
邵 尙 倫 石田 武亥  
吉谷 吉藏 藤平 泰一  
監査役 佐藤 至誠 村田 懿磨  
三池鹽業工業(株) 日本橋區室  
町 日本橋區室  
町 日本橋區室  
會 長 不破 熊雄  
常務取締役 高島 基江  
取締役 牧田 環  
藤原銀次郎 中井 四郎  
監査役 日比 勝治  
屬 最吉  
三重鹽業工業(株) 津市  
頭取 小林嘉平次

取締役 川喜田久太夫  
橋本市太郎 速水健治郎  
奧井周太郎 伊藤 傳七  
具探榮之助 筒井喜一郎  
監査役 眞弓 吉雄  
安保 庸三 高木 秀通  
川喜田四郎兵衛 高木 秀通  
支配人 日本橋區室町二  
三井(合名) 三井 高公  
社長 三井元之助  
副社長 三井源右衛門  
同 三井壽太郎  
同 三井守之助  
同 益田 孝  
同 相談役 有賀 長文  
同 池田 成彬  
同 福井菊三郎  
同 米山 梅吉  
同 牧田 環 安川雄之助  
同 阪井徳太郎 大島雅太郎  
同 調査役 三井 高長  
同 三井 高途  
同 三井 高陽  
同 三井 高公  
出資社員 三井源右衛門  
三井元之助







富田 租

武藏野鐵道(株)

代表取締役 埼玉縣飯能町 山名 義尚  
常務取締役 小高 義一  
取締役 小能 五郎  
金子忠五郎 柏木 代八  
高橋文太郎 小島正治郎  
監査役 大野 鎌三  
東方友次郎 尾形 直吉

目黒蒲田電鐵(株)

品川區上大崎四  
專務取締役 五島 慶太  
常務取締役 篠原三千郎  
取締役 精明 圭造  
中川 正左 小林 一三  
小宮 次郎 澁澤 秀雄  
常任監査役 石川善太郎  
監査役 丹羽 武朝  
支配人 松浦由太郎  
名鐵鐵道(株) 名古屋市西區西  
柳町二丁目 跡田 直一  
取締役社長 後藤 幸三

明治生命保險(株)

三木 榮八 古谷辰四郎  
相談役 大橋新太郎  
內一 麴町區丸ノ  
會 長 武市 利美  
專務取締役 藤田 謙  
取締役 桐島 像一  
小山 完吾 各務幸一郎  
串田 萬藏 川原林順治郎  
山下 恒雄 加藤 武男  
阿部 章藏 川喜田久太夫  
監査役 物集女清明

盛岡電燈(株)

盛岡市  
社 長 加勢 清雄  
常務取締役 松崎了四郎  
取締役 金田一 光  
一戸 三矢 田島 貞雄  
宮澤 直治 村井 昌八  
菊池長右衛門 佐藤金兵衛  
佐藤德一郎 梅津東四郎  
梅津 健吉  
監査役 小野崎篤造  
萬昌一郎 佐々木勇吉  
支配人 高山 武雄

取締役支配人

山田 芳市  
松久 正博  
神野金之助  
監査役 村瀬淳一郎  
上遠野 孝 箕浦 宗吉  
富田 重郎 麴町區丸ノ

有島 健助  
藤野 幹  
相馬 半治  
久保田富三  
佐々木定證  
山田 貞雄  
森村市左衛門  
大橋新太郎  
宮尾 舜治  
磯野 長藏  
米井 信夫  
刑部 贊二  
塚本 淳藏  
大谷 房吉  
河合 演吉  
服部保太郎  
相馬 中治  
有島 健助  
伊東 一二  
福島四一郎  
小出 義男  
山本 留次

大木 正博  
村瀬淳一郎  
箕浦 宗吉  
麴町區丸ノ  
各務 鎌吉  
平生 夙三郎  
高木 馨  
鈴木 祥枝  
永原 伸雄  
加藤 武男  
江崎 眞澄  
飯田 眞澄  
井上 峰藏  
神野 七郎  
加藤 義晴  
齋藤 雄二  
臺南州會文郡麻

明治火災保險(株)  
會 長 各務 鎌吉  
取締役 平生 夙三郎  
押本 重平  
取締役支配人 高木 馨  
同 鈴木 祥枝  
同 永原 伸雄  
同 加藤 武男  
同 江崎 眞澄  
同 飯田 眞澄  
同 井上 峰藏  
同 神野 七郎  
同 加藤 義晴  
同 齋藤 雄二  
同 臺南州會文郡麻

明治銀行  
名古屋市西區馬町七  
頭 取 加藤 武男  
常務取締役 江崎 眞澄  
取締役支配人 飯田 眞澄  
取締役 井上 峰藏  
取締役 神野 七郎  
富田 孝造 加藤 義晴  
常任監査役 齋藤 雄二  
監査役 齋藤 雄二  
明治製糖(株)  
臺南州會文郡麻

明治銀行  
名古屋市西區馬町七  
頭 取 加藤 武男  
常務取締役 江崎 眞澄  
取締役支配人 飯田 眞澄  
取締役 井上 峰藏  
取締役 神野 七郎  
富田 孝造 加藤 義晴  
常任監査役 齋藤 雄二  
監査役 齋藤 雄二  
明治製糖(株)  
臺南州會文郡麻

森永製菓(株)

芝區田町一  
專務取締役 森永太一郎  
取締役 松崎牛三郎  
森永 善吉 益田 太郎  
中村 芳三 大串 松次  
監査役 辻 清次郎  
櫻井 小一 武智 直道

久留島通彦  
後藤 一藏  
常務取締役 山形 要助  
同 高木 得三  
同 小山 柳一  
同 川崎友之介  
同 下出 義雄  
同 増田 次郎  
同 野村 孝  
同 石田新一郎

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三

ヤマサ醤油(株)

千葉縣銚子市  
社 長 濱口儀兵衛  
專務取締役 濱口 勉太  
取締役 濱口 擔  
同 濱口 四郎  
取締役支配人 川島 豊吉  
取締役 水崎鐵治郎  
櫻田 平治 岡本 勇五  
常任監査役 濱口八十五  
監査役 濱口 大

久留島通彦  
後藤 一藏  
常務取締役 山形 要助  
同 高木 得三  
同 小山 柳一  
同 川崎友之介  
同 下出 義雄  
同 増田 次郎  
同 野村 孝  
同 石田新一郎

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三

ヤマト土地産業(株)

大阪市東區備後町二ノ二二  
社 長 柴山 鷲雄  
取締役 山内 貢  
佐藤 哲 平井 治一  
監査役 高山 準平  
植村 治

久留島通彦  
後藤 一藏  
常務取締役 山形 要助  
同 高木 得三  
同 小山 柳一  
同 川崎友之介  
同 下出 義雄  
同 増田 次郎  
同 野村 孝  
同 石田新一郎

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三

安田信託(株)  
日本橋區吳服橋  
社 長 安田善次郎  
專務取締役 戶澤 芳樹  
常務取締役 齋藤 順三  
取締役 齋藤 定吉  
渡邊千代三郎 毛戸 勝元  
川西清兵衛 藤山 雷太  
森 廣藏 石毛竹治郎  
監査役 安田善四郎  
田中 市藏 山口誠太郎  
濱田 勇三 芝原 豐三







浦兼一△大同忠禮△大同忠綱△大給近孝△大久保忠言△大久保忠春△大久保立△大久保敦尚△大河內輝耕△大河內正敏△大河內正倫△大迫武彦△大迫尙一△大島陸太郎△大島久忠△大關增輝△大田原鏡清△大宮公孝△大村泰敏△太田實業△岡崎泰光△岡澤精一△岡部長景△奧田直元△奧田直恭△奧田直昭△押小路公知△愛宕通經△加藤克明△加藤泰通△加藤泰成△加藤隆義△加納久朗△勸解由小路資淳△海江田幸吉△風早公武△片桐貞央△交野政遇△唐橋在知△川上邦良△川村景敏△河瀨眞△河田春雄△河崎實英△木下利福△木下俊哲△北小路三郎△北小路實武△吉川元光△清岡長言△清岡龍△京極高修△京極高光△京極高量△京極高頼△九鬼隆輝△九鬼隆治△久世廣武△久世通章△久留島健三郎△楠筒隆徳△朽木綱博△栗野慎一郎△黒田文紀△黒田長教△黒田廣志△小出英延△五條爲正△五島盛輝△近衛秀磨△米田國臣△佐竹義勝△稅所篤滿△齋藤實△酒井忠英△酒井忠康△酒井忠一△相良頼綱△實吉純郎△榊原政春△櫻井忠榮△櫻井義功△持明院基揚△慈光寺愛仲△穴戸功男△七條光明△品川清太郎△芝山孝豐△澁澤敬三△白川資長△新庄直知△諏訪忠元△末松春彦△杉七郎△關長博△仙石政敬

△曾我祐邦△曾福昌孝△相馬孟胤△園池公致△田尻喜通△田中阿歌磨△田村不顯△伊達宗定△高丘季昭△高木正得△高倉永則△高島友武△高辻宜磨△高松公春△高橋是賢△瀧脇宏光△竹内惟斌△竹屋春光△立花種忠△立見豐丸△建部光磨△谷儀一△谷閑衛△千種有秀△津輕益男△土御門照光△土屋正直△堤雄長△土岐章△土井利孝△土井利章△土井利美△戸澤正巳△戸田氏次△戸田忠雄△戸田忠庸△戸田忠肅△戸田康保△外山英資△東風祿△藤堂高寬△遠山健彦△徳川武定△富小路隆直△豐岡圭資△鳥居忠一△鳥尾敬光△内藤信利△内藤正惠△内藤正陽△内藤政道△内藤政光△内藤頼輔△中國輝雄△中牟田武信△永井尙敏△永井通景△永井直邦△長岡護孝△長谷信道△鍋島直和△鍋島直繩△鍋島直庸△成瀬正雄△南部利克△南部信俊△難波宗治△仁禮景嘉△丹羽氏郷△丹羽長徳△西勝男△西尾忠方△西大路吉光△西洞院信意△西四辻公亮△錦織保親△錦小路頼孝△野宮定茂△野村益三△波多野二郎△萩原眞振△橋本長俊△八條隆正△花園公榮△花房孝太郎△濱尾四郎△日野西資博△樋口誠康△東園△東坊城政長△久松勝親△久松定秋△土方雄武△一柳直徳△一柳末幸△平松時陽△福岡孝紹△福羽眞

城△伏原宣義△藤井兼直△藤谷爲寛△藤波茂時△舟橋清賢△保科正昭△北條萬八△細川興治△細川立興△細川利文△堀秀孝△堀河康文△堀田正路△堀田正享(禮遇停止)△本庄兼則△本庄宗正△本多助信△本多忠晃△本多忠昭△本多恒彦△本多辰男△本多正震△本多猶一郎△本多涉△間部詮信△前田利弘△前田利定△牧野一成△牧野貞亮△牧野忠篤△牧野健之助△牧野康照△蒔田廣城△増山正興△町尻量弘△松井康昭(禮遇不享)△松浦靖△松平定晴△松平吉修△松平忠諒△松平鏡之助△松平忠正△松平忠壽△松平親義△松平直一△松平直頼△松平直平△松平直幹△松平信美△松平乘統△松平乘文△松平保男△松平康春△松平義爲△松平慶民△松平頼和△松平頼孝△松平秋雄△松平頼安△松前正廣△三浦矢一△三浦義次△三島通陽△三室戸敬光△三宅忠強△三好東一△水無瀬忠政△水野忠陽(禮遇不享)△水野忠泰△水野勝邦△水野忠款△武者小路公共△毛利高範△毛利元雄△毛利元恒△毛利元秀△本野盛一△森清△森俊成△森可久△森川恒△柳生俊久△柳澤光治△藪篤磨△山井兼武△山内豊健△柳澤徳忠△山内豊英△山尾三郎△山岡鐵雄△山口十八△山口弘行△山地位元忠△山本公慶△由利正通△吉

井信康△吉田清風△吉田良兼△米倉昌達△米津政賢△冷泉爲男△六角英通△六郷白雨△六條有直△脇坂安之△渡邊武宜△渡邊千冬△渡邊英綱

男爵

△阿蘇惟孝△足立豊△相浦助一△青山敏貞△青山徹藏△赤松範一△明石元長△淺田良逸△淺野忠允△淺野守夫△淺野養長△栗田口信豊△新井清一△荒尾之茂△荒尾博正△荒木田泰園△有阪勉△有地藤三郎△有馬康純△有馬正頼△有吉立生△安東貞雄△安藤直義△安保清種△井上惺三郎△井上清純△井田磐楠△伊江朝助△伊賀氏英△伊木忠愛△伊集院松治△伊集院虎一△伊瀬知輝△伊丹重雄△伊地知精△伊東義節△伊藤一郎△伊藤安吉△伊藤文吉△生駒道孝△飯田精太郎△池田勝吉△池田長康△池田眞次郎△池田博知△池田政之△諫早英雄△石河光逸△石本惠吉△一木喜徳郎△一條實基△稻田昌植△茨木守之△今枝直規△今園國貞△岩倉具徳△岩倉道俱△岩佐新△岩崎久彌△岩崎小彌太△岩村一木△岩村博△到津公熙△宇佐川正雄△上田稔△上田宗雄△内海勝二△内田敏雄△内山小二郎△太泰康光△瓜生外吉△小澤定雄△小野尊光△小畑太郎△小原謙太郎△尾崎忠孝△尾崎洵盛△大井成元

△大久保光野△大倉喜七郎△大藏公望△大寺純藏△大島△大沼盾雄△大村純之△大森佳一△岡俊二△岡春雄△岡内重清△岡崎正雄△岡野節△沖貞男△沖原光彦△奥田剛郎△奥村榮同△奥村内膳△押小路忠雄△賀島政一△加藤泰邦△加藤成之△鹿野眞夫△掛取三郎△梶野行和△片岡藤太△片岡和雄△片倉健吉△金子有道△上村從義△神尾行三△神山嘉瑞△川口武和△川崎寛正△川崎武之助△川田龍吉△河邊三郎△紀俊秀△木越専八△木梨亮一△木邊孝慈△木俣守一△菊池武夫△北大路實信△北垣晋一△北河原公平△北島貴孝△北島義郎△北島千畝△吉川重國△肝付兼英△九鬼隆一△九條良致△九條良政△久保田讓△楠本正敏△國司直行△倉富勇三郎△黒川秀雄△黒瀬義一△黒田稔△黒田長和△小池正晃△小早川四郎△小松行一△久我通保△五條頼次△兒玉清雄△籠手田龍△郷誠之助△鴻池善右衛門△近藤滋彌△近藤雅樹△佐雙立業△佐竹敬治△佐竹義輔△佐竹義利△佐竹義履△佐藤昌介△佐藤達次郎△佐野智勝△阪井戒爾△阪谷芳郎△坂本俊篤△酒井忠精△相樂公愛△眞田幸世△澤宜一△澤村武雄△鮫島具重△四條隆英△清水康春△斯波忠三郎△鹿園直治△穴戸乙彦△幣原喜重郎△芝小路豊俊

△芝亭公同△柴山昌生△澁谷隆敏△島津徳之助(禮遇不享)△島津繁磨△島津忠彦△島津貴暢△島津忠正△島津齊視△島津備愛△島津忠丸△島津準彦△島津久厚△島津久英△島村初太郎△尙順△尙琳△勝田二郎△白川義正△白根松介△周布兼道△杉溪由言△鈴木修治△住友吉左衛門△關義壽△千家尊統△千秋季隆△千田嘉平△園田武彦△園田實△田中龍夫△田中美津男△田宮篤太郎△多久龍三郎△伊達正人△伊達宗經△伊達宗克△伊達康夫△高木喜寛△高崎正光△高崎弓彦△高千穂宣磨△高橋新二△高平小太郎△鷹司信照△竹腰正文△武井守成△立花馨△種子島時望△玉松公敏△團伊能△長基連△調所一郎△津輕承靖△津田道明△津守通秀△都筑忠春△塚本浩次△辻幸之助△辻太郎△土屋光豊△堤正之△角田猛△鶴殿家勝△出羽重芳△寺島敏三△田篤△土倉光三郎△外松龜太郎△東郷安△藤堂高伸△常磐井篤猷△徳川喜翰△徳川誠△徳川義恕△徳川好敏△徳大寺則磨△富井政章△富岡定俊△富岡明雄△奈良武次△名和長憲△奈良原三次△梨羽時介△中川良長△中島久萬吉(禮遇不享)△中根實元△中御門經民△中溝三郎△中村謙一△中村貫之△中山信實△永山武敏△永山盛綱△長松篤葉△長與立吉△鍋



島直定△鍋島綱磨△鍋島直明△鍋島陸郎△今歸仁朝英△南部健夫△南部日實△二條豐基△西野乙△西竹一△西五辻光仲△西島助繼△西高辻信雅△西村敬三△新田義美△若王子文健△野崎貞義△野田龜喜△野村正二郎△野村素一△橋元正輝△華園眞淳△原口棟△原田熊雄△林權助△林忠一△日高莊輔△平佐春弼△平沼賦一郎△平野長克△平山洋三郎△東久世秀雄△東三條公博△深尾隆太郎△福島四郎(禮遇不享)△福原邦樹△福原俊九△福原基彦△藤井慶三△藤枝雅備△藤大路親美△藤田平太郎△藤村△船越光之丞△古市六三△古河虎之助△日置德太郎△穗積重遠△穗積俊玄△坊城俊賢△細川興生(禮遇不享)△細川一之助△細川忠督△本田不二磨△本多副恭△本多政樹△本堂親雄△眞木平一郎△眞鍋十藏△萬里小路元秀△前島彌△前田勇△前田孝△前田利功△前田直行△前田雄吾△益田兼施△益田太郎△松井慶四郎△松井敏之△松尾義夫△松岡均平△松木宣彦△松園信淳△松田正之△松平外與磨△松平齊光△松永正雄△松前靖廣△松村務△松村弘之△松本罪一△松本本松△三井高精△三井高公△三井壽太郎△三浦英太郎△三須精一△三好禎介△壬生泰正△箕作祥一△水谷川忠磨△水野忠武△南光利△南岩會具威△宮成公勳(禮遇停止)△宮原旭△向山均△村井長八郎△村上隆吉△村木雅技△村田保定△目賀田綱美△毛利元良△毛利忠男△毛利祥久△餅原誠△元田竹彦△森岡銜一郎△安場保健△八代五郎造△山内豐靜△山内豐政△山内長世△山内志郎△山縣有光△山川洵△山川健△山口正男△山崎治敏△山澤靜一△山下知彦△山田東三郎△山名義路(禮遇不享)△山中秀二郎△山根成一△山根健男△山本勝△山本達雄△山田祐△橫山隆良△若槻禮次郎△鷲尾光通△渡邊修二△渡邊汀

都市公職員

市長一覽

(昭和九年八月末)

札 橋本 正治  
函 坂本 森一  
小 板谷 宮吉  
旭 渡邊 勘一  
室 松尾 豐次  
路 茅野 滿明

帶 渡部 守治  
東 牛塚 虎太郎  
八 李代 龍喜  
京 大森 吉五郎  
大 關 一  
阪 河盛 安之介  
堺 岸和 田  
横 横須賀  
川 横須賀  
平 川崎 正一  
神 戶 勝田 銀次郎

姫 佐藤 復三  
尼 櫻井 忠剛  
明 磯野 鶴太郎  
西 藤山 品次  
長 笹井 幸一郎  
佐 御厨 規三  
世 小柳 牧衛  
保 木村 清三郎  
新 川合 直次  
高 飛田 新作  
三 早川 金十郎  
川 新井 良作

浦 岩田 三史  
和 高橋 泰雄  
前 江原 桂三郎  
高 山浦 市三  
桐 關口 義慶二  
千 川村 芳次  
子 中崎 俊秀  
水 河合 長藏  
都 久保 種一  
奈 石原 善三郎  
津 堀川 美哉

四 吉田 勝太郎  
日 福地 由康  
市 小出 三郎  
宇 大岩 勇夫  
治 神戶 小三郎  
山 小瀧 喜七郎  
田 森林 右衛門  
泉 崎 三郎  
菅 貞仁  
高 柳覺 太郎  
山 小田 正直  
田 大石 惠直  
新 海 榮治  
堀 田 義次郎  
松 尾 國松  
東 島 卯八  
七 澤 清助  
小 里 頼永  
成 澤 伍一郎  
澁 谷 德三郎  
石 母 田 正輔  
佐 藤 素澤  
須 藤 素  
和 田 潤  
大 矢 馬 太郎  
加 賀 秀雄

弘 石 郷 岡 文吉  
八 神 田 重雄  
山 大 沼 保吉  
米 登 坂 又藏  
鶴 巖 田 周八  
酒 中 里 重吉  
秋 湊 鶴 吉  
福 大 月 齊 庵  
金 片 岡 安  
富 山 米 次郎  
高 早 苗 西 藏  
岡 楠 城 嘉一  
鳥 西 尾 常 彦  
取 石 倉 俊 寬  
米 石 原 市 三 郎  
松 平 松 俊 太郎  
江 小 沼 敬 三 郎  
子 小 沼 敬 三 郎  
島 渡 邊 伍  
高 奧 山 源 三 郎  
岡 中 野 有 光  
富 松 井 信 助  
津 國 吉 信 義  
倉 中 野 治 介  
網 山 口 勝 藏  
大 渡 邊 行 太 郎

新 角 源 泉  
宮 柳 彌 五 郎  
海 藤 岡 直 兵 衛  
德 高 松 正 市  
島 丸 龜 三 郎  
高 丸 龜 三 郎  
松 丸 龜 三 郎  
今 井 上 久 吉  
和 井 上 久 吉  
宇 井 上 久 吉  
高 井 上 久 吉  
福 井 上 久 吉  
久 留 米 清 一  
門 村 上 紋 四 郎  
小 村 上 紋 四 郎  
若 松 倉 司  
大 車 田 慎 吾  
八 前 田 慎 吾  
戶 田 中 無 事 生  
直 田 中 無 事 生  
飯 猪 野 重 吉  
大 猪 野 重 吉  
別 猪 野 重 吉  
中 猪 野 重 吉  
佐 猪 野 重 吉  
唐 猪 野 重 吉  
熊 猪 野 重 吉  
宮 猪 野 重 吉

市 長 牛 塚 虎 太 郎  
助 役 落 合 慶 四 郎  
助 役 澤 本 與 一  
助 役 鷲 尾 弘 準  
助 役 大 里 常 弘  
助 役 平 野 義 貞  
副 收 入 役 石 崎 菊 次 郎  
副 收 入 役 平 山 泰  
監 查 局 長 後 藤 梯 次  
財 務 局 長 荒 木 孟  
產 業 局 長 伊 藤 昌 庸  
教 育 局 長 澤 逸 與  
社 會 局 長 宮 川 宗 德  
保 健 局 長 原 全 路  
水 道 局 長 近 新 三 郎  
土 木 局 長 山 下 又 三 郎  
電 氣 局 長 山 下 又 三 郎

東京市役所職員

東京市參事會員



人名錄——都市公職員

赤塚 五郎 倉持 忠助 遠山 丙市 山口久太郎 佐藤 榮志 天野 頼義 瀧澤龍太郎 瀧澤 七郎 有竹 雅己 大橋清太郎 安部 利七 桑原 信助 酒井熊次郎 杉ノ原英太郎 山室仁太郎

東京市區長

麹町區長 天矢 景光 神田區長 宮尾 時司 日本橋區長 川口 寛三 京橋區長 鹽川 正藏 芝區長 黒川 一治 麻布區長 羽生 正 赤坂區長 井上 桂 四谷區長 土生文之助 牛込區長 佐藤傳四郎 小石川區長 市川 守吉 本郷區長 片岡文太郎 下谷區長 岡崎 榮松 淺草區長 神谷 秀吉 本所區長 萬 富次郎 深川區長 三好 隆治 品川區長 工藤 隆治

東京市會議員(定員二四)

(昭和九年八月末日現在) 議長 子爵 森 俊成 副議長 松永 東 麹町區(定員二)池田 清秋(一) 目黒區長 千葉 胤次 荏原區長 上田 房吉 大森區長 正木 虎藏 蒲田區長 加藤 守道 世田谷區長 岡野 民徳 澁谷區長 岸本 千秋 池田哲太郎 中野區長 野中富三郎 杉並區長 増田 勲 豊島區長 石森 勲夫 瀧野川區長 服部鶴五郎 荒川區長 田淵 義雄 王子區長 守屋 正二 板橋區長 兒玉 益治 足立區長 三村 鶴太郎 向島區長 竹内 竹丸 城東區長 石黒 良縁 葛飾區長 高橋徳太郎 江戸川區長 矢田部美佐保

遠山 丙市(一)吉田治郎八(市) 王子區(定員三)小川紋太郎(市) 高木 惣市(一)江口 義一(市) 板橋區(定員三)鈴木 義顯(市) 瀨田 麟一(一)篠 房輔(市) 足立區(定員三)吉田四郎平(市) 板垣 信春(一)千々崎嘉助(市) 向島區(定員四)小野内壽松(一) 有馬 秀雄(市)大澤梅次郎(一) 城東區(定員四)山田 清(一) 鈴木菊太郎(一)宇田川啓輔(市) 綾井 樹(市) 葛飾區(定員二)奥田重兵衛(一) 安藤 徳雄(市) 江戸川區(定員二)田中 源(市) 島田 文治(市)

大森區(定員四)横溝 直也(一) 酒井熊次郎(市)山本 半藏(市) 田中 祐貞(一) 蒲田區(定員二)代田 朝義(市) 吉田 直治(一) 世田谷區(定員三)鈴木堅次郎(一) 河野 惣八(市)廣川 弘(市) 澁谷區(定員五)辰野 保(市) 平川進市郎(一)川田 友之(市) 石原勲右衛門(市) 淀橋區(定員四)萩島 茂留(市) 佐藤 榮志(市)市倉 兼吉(一) 小針孫太郎(一) 中野區(定員三)森 俊成(市) 小池長太郎(市)花村 四郎(市) 杉並區(定員三)内田秀五郎(市) 淺川 保平(黎)高橋徳三郎(市) 豊島區(定員六)中村 梅吉(一) 錦木由七郎(市)山口 玉造(市) 瀧澤龍太郎(黎)笠井 重治(市) 須藤喜三郎(一) 瀧野川區(定員三)淺香銀治郎(一) 戸枝錦太郎(一)横瀬 精一(黎) 荒川區(定員七)天野 頼義(市) 林 連(市)田中 榮藏(黎) 山口久太郎(市)丸山 秀夫(市)

人名錄——政黨

同同助市

大坂市役所職員 長 關 加々美武夫 役 瀧山 良一 池川大次郎

政友會役員 總 鈴木喜三郎 副 安藤 正純 東 高橋熊次郎 高見 之通 加藤久米四郎 山口 義一 岡田 忠彦 河上 哲太 幹事 三上英雄 小高長三郎 大石 倫治 林 儀作 益谷 秀次 瀨川 嘉助 世耕 弘一 岸田 正記 林 讓治 平島 敏夫 東條 貞 會計監督 加藤録五郎 山下 谷次 砂田 重政 山崎 猛 工藤十三雄 熊谷 直太 同副會長 寺田市正、山本慎平

民政黨役員 總 若槻禮次郎 務 富田幸次郎

神田區(定員五)高橋 秀臣(一) 赤塚 五郎(一)深澤豊太郎(市) 桑原 信助(市)鈴木正之助(新) 日本橋區(定員四)渡邊秀雄(黎) 大野 菊三(市)野波 淳(新) 河崎義三郎(新) 京橋區(定員五)篠原虎之輔(黎) 早川庄太郎(市)富田富治郎(黎) 中南定太郎(一)黒田 保次(黎) 芝 區(定員六)箱田 市藏(市) 黒井 直良(黎)川手 忠義(市) 畔高 定行(市)中塚榮次郎(一) 鹽坂 雄策(一) 麻布區(定員三)小久保豐之助(市) 村松恒一郎(一)中村 又一(一) 赤坂區(定員二)羽田 如雲(一) 中西 敏二(一) 四谷區(定員三)橋本 祐幸(一) 本田 義成(市)廣瀬喜之助(市) 牛込區(定員四)島田辰太郎(市) 菊池 民一(一)横井 春野(新) 溝口 信(一) 小石川區(定員五)松永 東(一) 北川榮次郎(市)田仲忠左衛門(市) 川口 壽(市)森脇源三郎(一) 本郷區(定員五)友成 四郎(一) 杉ノ原英太郎(一)安部 利七(一) 高崎高次郎(一)豊島 茂一(一) 下谷區(定員六)長野 高一(一) 森 富太(黎)倉持 忠助(市) 田代 義徳(新)小野利三郎(市) 中林 軍平(市) 淺草區(定員八)茂木 太市(一) 松崎權四郎(市)伊藤仁太郎(市) 山室仁太郎(新)鈴木慶四郎(一) 加藤 榮助(一)鮎貝 昌藏(一) 有竹 雅己(一) 本所區(定員八)糟谷 磯平(無) 森 兼道(一)杉野 善作(市) 井田 友平(市)瀧澤 七郎(市) 赤羽彌吾司(市)阿部 茂夫(黎) 深川區(定員六)淺沼稻次郎(黎) 一又 安平(市)本多 市郎(新) 廣瀬 新平(一)宮村 龜一(黎) 中西 雄洞(一) 品川區(定員五)大橋清太郎(一) 石原 永明(市)中島勝五郎(黎) 松原 傳吉(市)仲澤 芳朗(市) 目黒區(定員三)須田 綱治(一) 神山鏡五郎(一)加藤 榮助(市) 荏原區(定員三)山口 直(新) 伊藤武七郎(一)鈴木小平次(市)











人名錄—文藝家一覽

加藤 武雄 東京市外砦村成城學園前  
金子 洋文 杉並區上荻窪町六四八  
上川 小剣 大森區北千束六一九  
川端 康哉 下谷區上野櫻木町三六  
金子 薫園 杉並區上荻窪四九九  
川路 柳虹 澁橋區上落合二ノ五六九  
菊池 幽芳 兵庫縣武庫郡本山村  
岸田 國士 杉並區松庵南町二〇曙通  
北村 小松 大森區北千束町五四九  
喜多壯一郎 小石川區水道町四〇  
木村 毅 澁橋區西大久保三ノ四七  
北原 白秋 東京市外砦村大藏一八六九  
久保田万太郎 芝區三田四國町二六  
久米 正雄 鎌倉町二階堂  
倉田 百三 大森區新井宿四ノ一〇九  
窪田 空穂 小石川區雜司ヶ谷町八八  
甲賀 三郎 澁谷區榮通一ノ四三  
齋藤 茂吉 赤坂區青山南町五ノ八一  
里々木茂索 麴町區紀尾井町四三  
佐々木憲之助 麴町區下六番町一〇  
佐々木信綱 川崎市砂子町一ノ二六  
佐藤 春夫 小石川區關口町二〇七  
白井 喬二 世田谷區代田一ノ七六三  
白鳥 省吾 小石川區高田豊川町四二

鳥崎 藤村 麻布區飯倉町三三  
子母澤 寛 大森區新井宿二ノ一七四六  
島田 青峰 牛込區若松町八二  
關口 次郎 澁谷區幡ヶ谷本町二ノ三三六  
芹澤光治良 中野區小瀧町五二  
高田義一郎 府下國立大學町西三條通り  
武野 藤介 杉並區天沼二ノ四六九  
辰野 九紫 本郷區向ヶ岡彌生町三六一  
田中貢太郎 目黒區原町一三六七  
谷崎潤一郎 兵庫縣魚崎町横屋西田五五四  
谷崎 精二 牛込區原町一ノ六七  
高濱 虚子 鎌倉町材木座上向原  
中條百合子 四谷區東信濃町一〇  
近松 秋江 中野區上ノ原九五四  
土屋 文明 赤坂區青山南町六ノ三六  
土岐 善麿 目黒區下目黒町四ノ八〇四  
德田 秋聲 本郷區駒込千駄木町五七  
豐島與志雄 本郷區駒込二ノ一一九  
戸川 秋骨 杉並區元町文化アパート  
長田 秀雄 本郷區西巢鴨二ノ一九六九  
中村 吉藏 神奈川縣藤澤町辻堂  
中村武羅夫 市外千歳村祖師ヶ谷  
中河 與一 四谷區東信濃町一〇  
長田 幹彦 府下西多摩郡三田村  
中里 介山 市外吉祥寺町七八七  
野口 雨情 市外吉祥寺町七八七

野口米次郎 中野區櫻山四一  
長谷川 伸 品川區西大崎町四ノ八二九  
長谷川時雨 赤坂區檜町三  
土師 清二 澁谷區代々木初臺五三六  
畑 耕一 本郷區元町文化アパート  
林 房雄 靜岡縣伊東町松原別荘内  
林 美英子 澁橋區下落合四ノ二一三三  
馬場 孤蝶 芝區三田豊岡町二  
廣津 和郎 世田谷區世田谷町二〇一九  
平林たい子 中野區沼袋町南一ノ一五八二  
藤森 成吉 豐島區池袋二ノ一二四三  
細田 民樹 市外吉祥寺町山谷二六五八  
前田 夕暮 澁橋區西大久保三ノ一二八  
三上於菟吉 赤坂區檜町三  
水上瀧太郎 麴町區富士見町一ノ一八  
室生 犀星 大森區馬込東三ノ七六三  
森田 草平 目黒區上目黒一ノ一四三  
山本 有三 市外吉祥寺町一八二〇  
山田清三郎 澁橋區上落合二ノ七九二  
吉井 勇 小田急沿線南林間都市  
吉川 英治 芝區芝公園一四號地  
吉屋 信子 澁橋區下落合四ノ二一〇八  
與謝野 寛 杉並區下荻窪  
與謝野 晶子 同  
龍膽寺 雄 杉並區高圓寺一ノ四三三  
水原秋櫻子 神田區表參道町八

商工會議所

(昭和九年六月現在)

會議所 所在地  
札幌市北一條四二ノ一  
小樽市 小樽市  
函館市 函館市鶴岡町一  
旭川市 旭川市六條通十丁目  
室蘭市 室蘭市常盤町二  
釧路市 釧路市  
東京 麴町區丸ノ内  
八王子 八王子市本町六六  
京都 京都市烏丸通夷川上ル  
大阪 北區堂島濱通二ノ一二  
堺市 堺市甲斐町  
横濱市 横濱市  
横須賀市 横須賀市  
神戸市 神戸市海岸通  
姫路市 姫路市本町二六  
明石市 明石市大明石町  
長崎 長崎市櫻町一ノ二  
佐世保 佐世保市松浦町  
新潟 新潟市上大川前通七番町  
長岡 長岡市坂上町  
高田 高田市大町三丁目  
直江津 直江津町

人名錄—商工會議所

設立年月日 會頭  
明治三〇・九 大瀧甚太郎  
三・三・二 杉江仙次郎  
三・九・七 岡本康太郎  
大正八・八・六 岡田重次郎  
三・二・六 宮 幸助  
三・二・七 兩角 榮治  
明治三〇・一・二 郷 誠之助  
三・七・八 久保田豊右衛門  
三・三・七 田中 博  
三・四・一 森 平兵衛  
大正一四・九・三〇 辻本豊三郎  
明治三六・二・九 有吉 忠一  
昭和三・二・七 小佐野皆吉  
明治三三・二・九 岡崎 忠雄  
大正二・七・二 福島安次郎  
一・三・三〇 木下吉左衛門  
明治三六・三・七 脇山啓次郎  
大正三・八・二 富田 等平  
明治三九・七・三 白勢 量作  
天・三・七 鷲尾德之助  
昭和四・八・一 玉井義太郎  
明治三・一・二 高橋 喜六

七〇七



















資本金壹千五百萬圓



# 松竹キネマ株式会社

本社 東京市京橋區新富町 電話京橋四一三一—四一三八番  
大阪支店 大阪市南區久左衛門町 電話南五三二〇・五三二一番  
北海道營業所 札幌市南四條西三丁目 電話三五〇番

○松竹蒲田撮影所

東京市蒲田區御園町 電話〔蒲田六番七三番  
大森五二六番

○松竹京都撮影所

京都市下鴨宮崎町 電話上一、一八七番

○市川右太衛門撮影所

奈良市外あやめヶ池



# 日本活動寫真株式會社

社長 中谷貞賴

## ○東京本社

東京市京橋區京橋三丁目十一番地 電話・京橋 自二、一二二  
至二、一二九

## ○大阪支店

大阪市東區北久寶寺町三丁目五二番地 電話・船場 自三、六七四  
至三、六七五

## ○東京撮影所

東京府・北多摩郡調布 電話 武藏調布 一三三・一七六

## ○京都撮影所

京都市・右京區太秦 電話西陣一、〇九五・三、二五二